参考資料１

令和３年度

千葉市生涯学習基礎調査報告書

１　千葉市生涯学習市民意識調査報告書

２　千葉市生涯学習関係団体報告書

未定稿

千葉市教育委員会

令和３年度

千葉市生涯学習市民意識調査報告書

千葉市教育委員会

目　　次

Ⅰ．　調査概要 2

１．　調査目的 2
２．　調査設計 2
３．　配布・回収結果 2
４．　報告書の見方 3

Ⅱ．　調査回答者の属性 5

１．　性別 5
２．　年齢 5
３．　性別×年齢 6
４．　居住地区 7
５．　職業 7
６．　末子の学齢 8

Ⅲ．　調査結果の分析 10

１．　生涯学習活動の意義 10
２．　生涯学習活動を行う上で最も重視していること 12
３．　この１年間に行った生涯学習活動 16
４．　生涯学習活動を行っている方法・機会 22
５．　生涯学習活動を行う主な曜日と時間帯 26
６．　生涯学習活動をしない理由 30
７．　生涯学習活動を通じて身につけた知識・技能や経験の生かし方 34
８．　今後の生涯学習活動意向 39
９．　この１年間に利用した施設 46
１０．　施設を利用する理由 52
１１．　施設を利用しなかった理由 55
１２．　今後利用してみたい施設 58
１３．　施設を利用してみたい理由 65
１４．　生涯学習関連施設について、市が力を入れる点 68
１５．　生涯学習に関する情報の入手経路 72
１６．　生涯学習活動に関する情報の充実度合い 77
１７．　インターネットを利用する際、最も使用している機器 79
１８．　インターネットを利用しない理由 82
１９．　今後のインターネット利用意向 84
２０．　生涯学習事業について、市が力を入れる点 86
２１．　地域課題の解決などへの取組状況 90

２２．　地域社会の活力を向上させるために市が力を入れる点 92
２３．　身近な地域のどのようなものに愛着を感じるか 96
２４．　千葉市の歴史や文化財への愛着 100
Ⅳ．　調査票 104

Ⅰ．調査概要

Ⅰ．調査概要

１．調査目的

本調査は、次年度策定予定の第６次生涯学習推進計画の基礎的資料として活用するため、前回実施した調査以降の市民意識の変化を調査することにより、第５次生涯学習推進計画における課題の洗い出しを行うとともに、千葉市民の生涯学習の現状と将来の動向、生涯学習推進施策の課題を明らかにすることを目的とする。

２．調査設計

（１）調査地域：千葉市全域
（２）調査対象：千葉市在住の満 18 歳以上の男女
（３）標 本 数：2,500 人
（４）標本抽出：住民基本台帳からの無作為抽出
（５）調査方法：郵送配布－郵送及びインターネット回収
※ 調査期間中に督促を兼ねた「礼状はがき」を１回送付
（６）調査項目：後掲の調査票を参照
（７）調査期間：令和 3 年 9 月 10 日（金）～9 月 30 日（木）
（８）調査機関：株式会社綜合企画　千葉事務所

３．配布・回収結果

配布数	回収数			回収率
		郵送回収	インターネット回収	
2,500人	1,006人	758人	248人	40.2%

４．報告書の見方

（１）結果の表示方法

本報告書を見るにあたって、留意すべきこととして以下の事項があげられる。

①比率はすべて百分率で表し、小数点第２位を四捨五入して算出した。したがって、すべての選択肢の比率の合計が 100%にならないことがある。

②基数となるべき実数はｎとして掲載した。各比率はｎを 100%として算出した。

③複数回答の質問では、すべての選択肢の比率の合計は通常 100%を超える。

④誤差を考慮し、ｎが小さい場合（10 未満）は、基本的に検討の対象としない。

（２）標本誤差

標本誤差は、次式により得られる。ただし、信頼度は一般的に用いられる 95%とする。

（注）「信頼度 95%」とは、100 回同じ調査を実施したときに、おおむね 95 回はこの精度が得られることを示す。

$$b = \pm 1.96\sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}} \fallingdotseq \pm 1.96\sqrt{\frac{P(1-P)}{n}}$$

ただし、ｂ＝標本誤差
Ｎ＝母集団数（千葉市全体・人）
ｎ＝サンプル数（人）…本報告書ではこれをｎ（比率算出の基数）で示す。
Ｐ＝回答比率

また、Ｎはｎより十分大きいため、$\frac{N-n}{N-1} \fallingdotseq 1$ とみなしている。

上式をもとに、本調査の標本誤差の早見表を掲げる。

◆今回の調査結果の標本誤差（信頼度95%）

回答比率（P） n（人）	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%程度
1,006	±1.85%	±2.47%	±2.83%	±3.03%	±3.09%
558	±2.49%	±3.32%	±3.80%	±4.06%	±4.15%
423	±2.86%	±3.81%	±4.37%	±4.67%	±4.76%
200	±4.16%	±5.54%	±6.35%	±6.79%	±6.93%
100	±5.88%	±7.84%	±8.98%	±9.60%	±9.80%
50	±8.32%	±11.09%	±12.70%	±13.58%	±13.86%

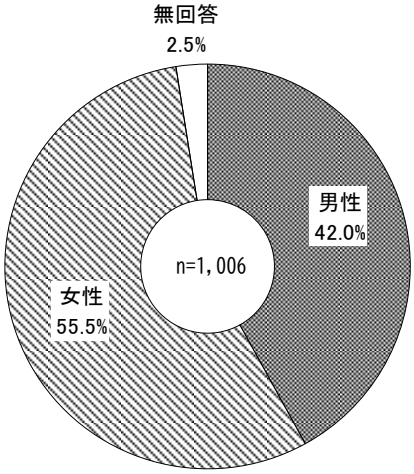
（表の見方）例えば、ある設問の回答者数が 1,006 人であり、その設問中にある選択肢の回答比率が 50%であった場合、「回答比率の誤差の範囲は±3.09%以内（46.91%～53.09%）である。ただし信頼度が 95%であるので、誤差の範囲が±3.09%以内となる確率は 95%である。」と見ることができる。

Ⅱ．調査回答者の属性

Ⅱ．調査回答者の属性

１．性別

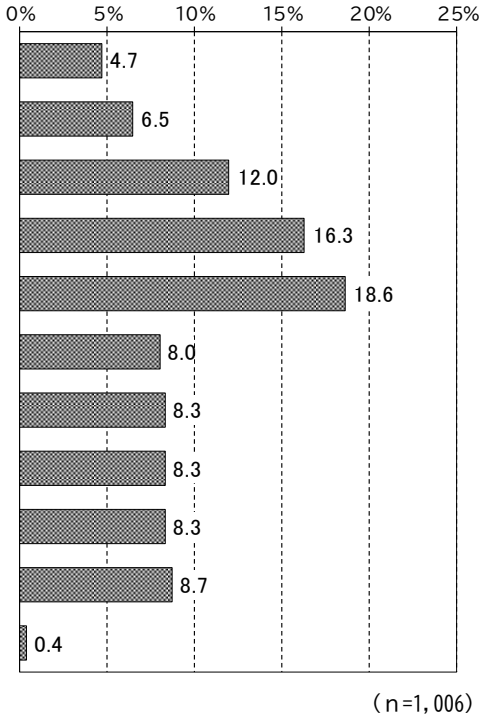
	件数	構成比（%）
１．男性	423	42.0
２．女性	558	55.5
（不明・無回答）	25	2.5
合　　計	1,006	100.0



図Ⅱ－１　性別

２．年齢

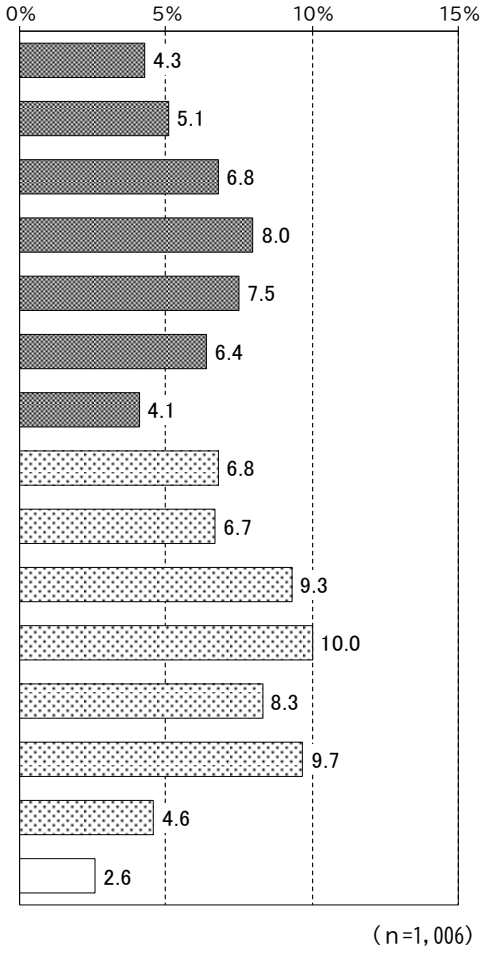
	件数	構成比（%）
１．１８～２２歳	47	4.7
２．２３～２９歳	65	6.5
３．３０～３９歳	121	12.0
４．４０～４９歳	164	16.3
５．５０～５９歳	187	18.6
６．６０～６４歳	80	8.0
７．６５～６９歳	83	8.3
８．７０～７４歳	84	8.3
９．７５～７９歳	83	8.3
10．８０歳以上	88	8.7
（不明・無回答）	4	0.4
合　　計	1,006	100.0



図Ⅱ－２　年齢

３．性別×年齢

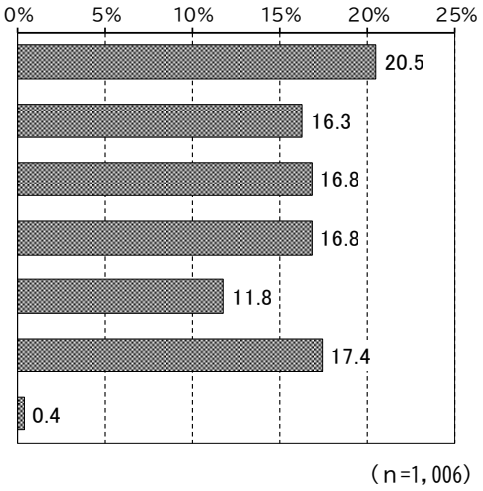
	件数	構成比（%）
１．男性 １８～２９歳	43	4.3
２．男性 ３０～３９歳	51	5.1
３．男性 ４０～４９歳	68	6.8
４．男性 ５０～５９歳	80	8.0
５．男性 ６０～５９歳	75	7.5
６．男性 ７０～７９歳	64	6.4
７．男性 ８０歳以上	41	4.1
８．女性 １８～２９歳	68	6.8
９．女性 ３０～３９歳	67	6.7
10．女性 ４０～４９歳	94	9.3
11．女性 ５０～５９歳	101	10.0
12．女性 ６０～５９歳	84	8.3
13．女性 ７０～７９歳	98	9.7
14．女性 ８０歳以上	46	4.6
（不明・無回答）	26	2.6
合　　計	1,006	100.0



図Ⅱ－３　性別×年齢

４．居住地区

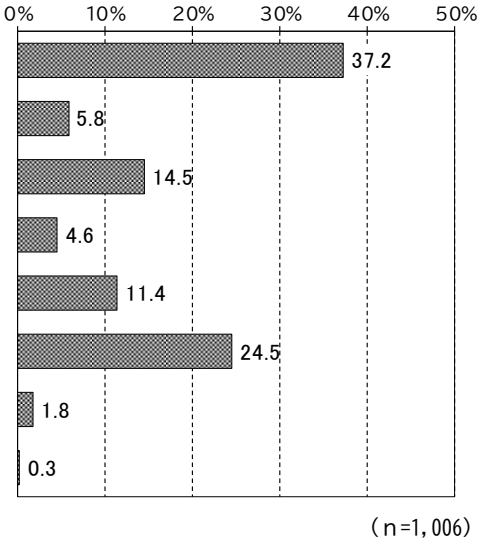
	件数	構成比（%）
１．中央区	206	20.5
２．花見川区	164	16.3
３．稲毛区	169	16.8
４．若葉区	169	16.8
５．緑区	119	11.8
６．美浜区	175	17.4
（不明・無回答）	4	0.4
合　　計	1,006	100.0



図Ⅱ－４　居住地区

５．職業

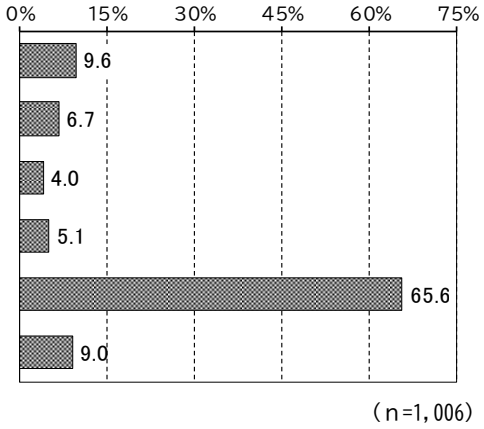
	件数	構成比（%）
１．会社員・公務員	374	37.2
２．自営・自由業	58	5.8
３．パート・アルバイト	146	14.5
４．学生	46	4.6
５．専業主婦・主夫	115	11.4
６．無職（年金生活を含む）	246	24.5
７．その他	18	1.8
（不明・無回答）	3	0.3
合　　計	1,006	100.0



図Ⅱ－５　職業

６．末子の学齢

	件数	構成比（%）
１．未就学児	97	9.6
２．小学生	67	6.7
３．中学生	40	4.0
４．高校生※	51	5.1
５．未就学児から高校生※の同居している子どもはいない	660	65.6
（不明・無回答）	91	9.0
合　　計	1,006	100.0



※高校生には、高校生に相当する年齢の方を含む

図Ⅱ－６　末子の学齢

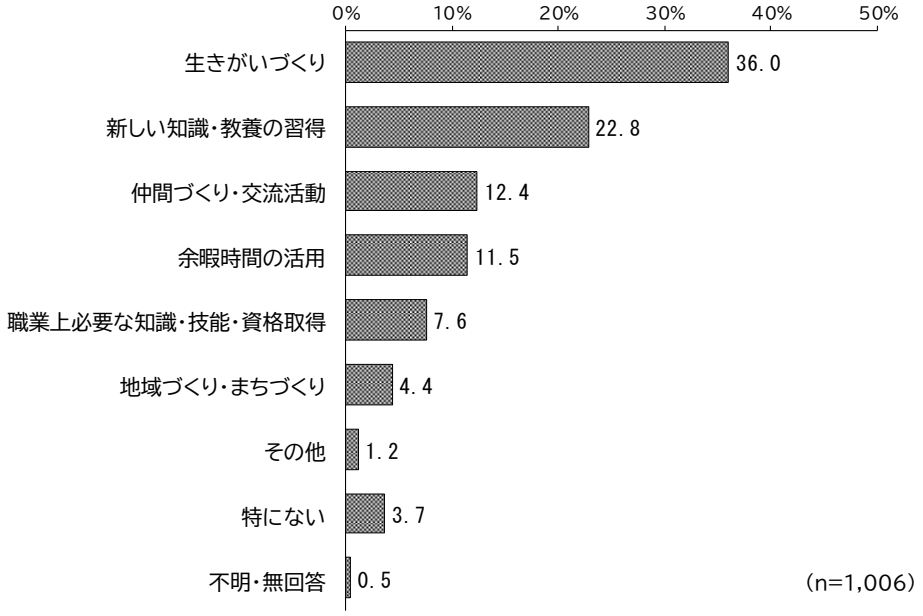
Ⅲ．調査結果の分析

Ⅲ．調査結果の分析

１．生涯学習活動の意義

【問１】生涯学習活動はこれからの時代にどのような意義があると思いますか。あなたのお考えにもっとも近い番号に１つ○印をつけてください。

生涯学習活動はこれからの時代にどのような意義があるかについてたずねたところ、「生きがいづくり」（36.0%）が最も高く、次いで「新しい知識・教養の習得」（22.8%）、「仲間づくり・交流活動」（12.4%）、「余暇時間の活用」（11.5%）などと続いている。

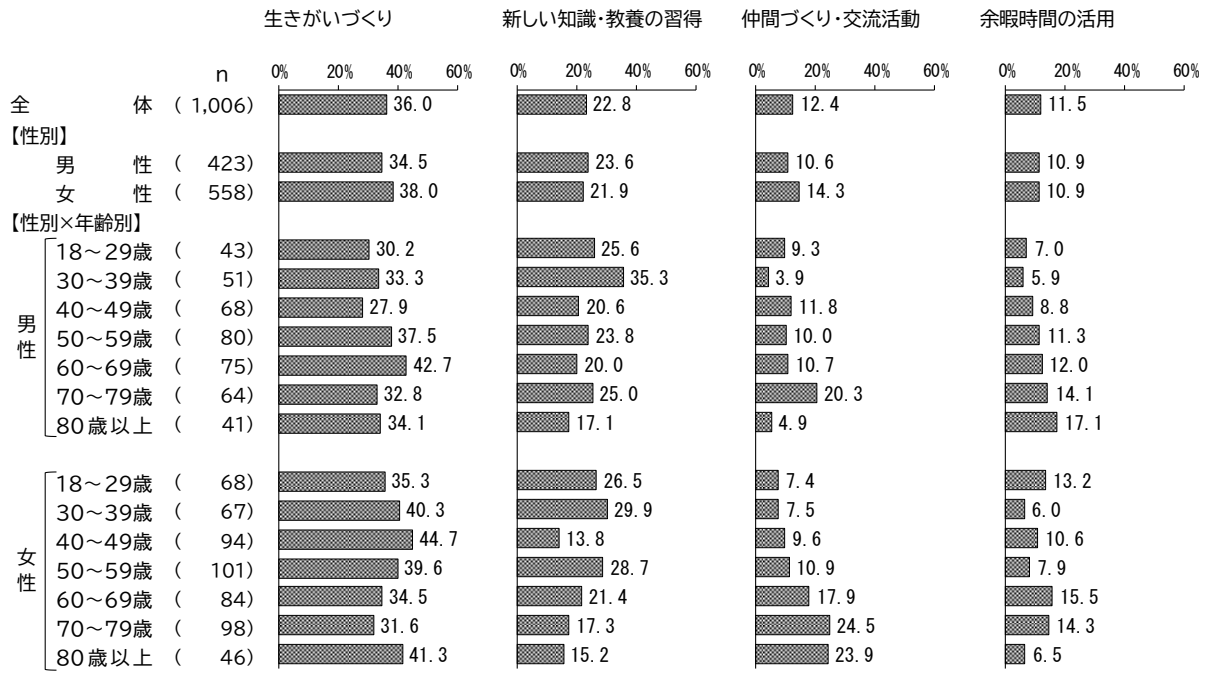


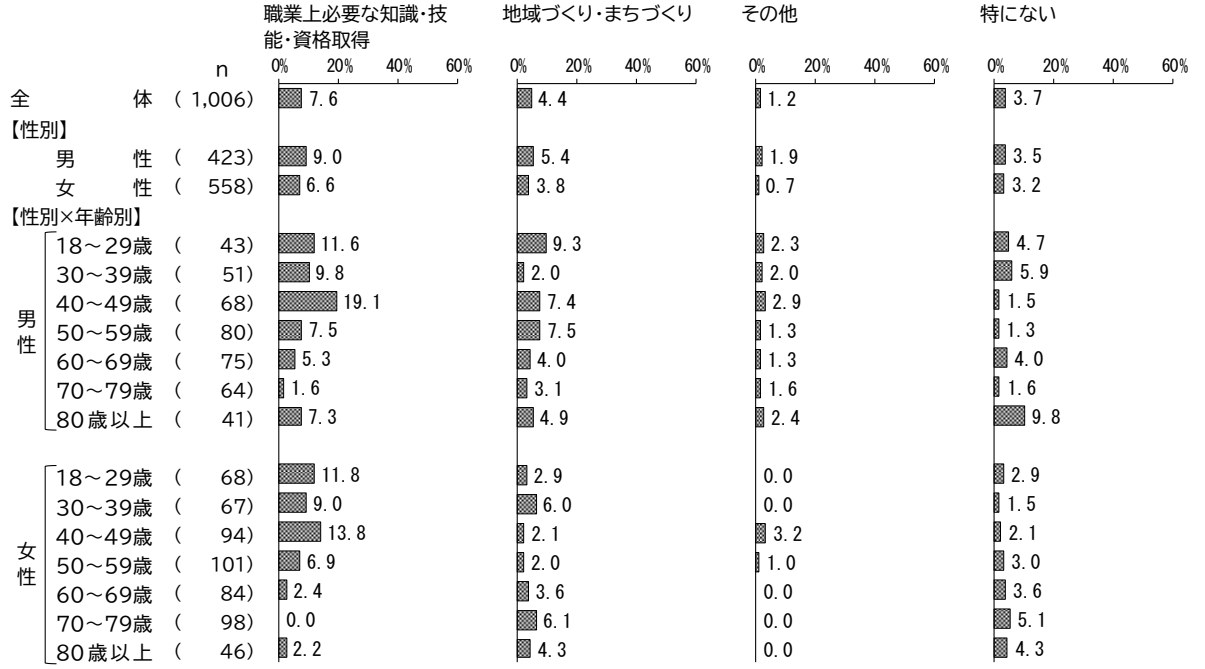
図Ⅲ－１－１　生涯学習活動の意義

【性別／年齢×年齢別】

性別で比較しても、男女間で大きな差はみられない。

性別×年齢別にみると、「新しい知識・教養の習得」は、男性 30～39 歳で 35.3％と高くなっている。また、「仲間づくり・交流活動」は、女性 70～79 歳と女性 80 歳以上でそれぞれ 24.5％、23.9％と高く、「職業上必要な知識・技能・資格取得」は、男性 40～49 歳で 19.1％と高くなっている。



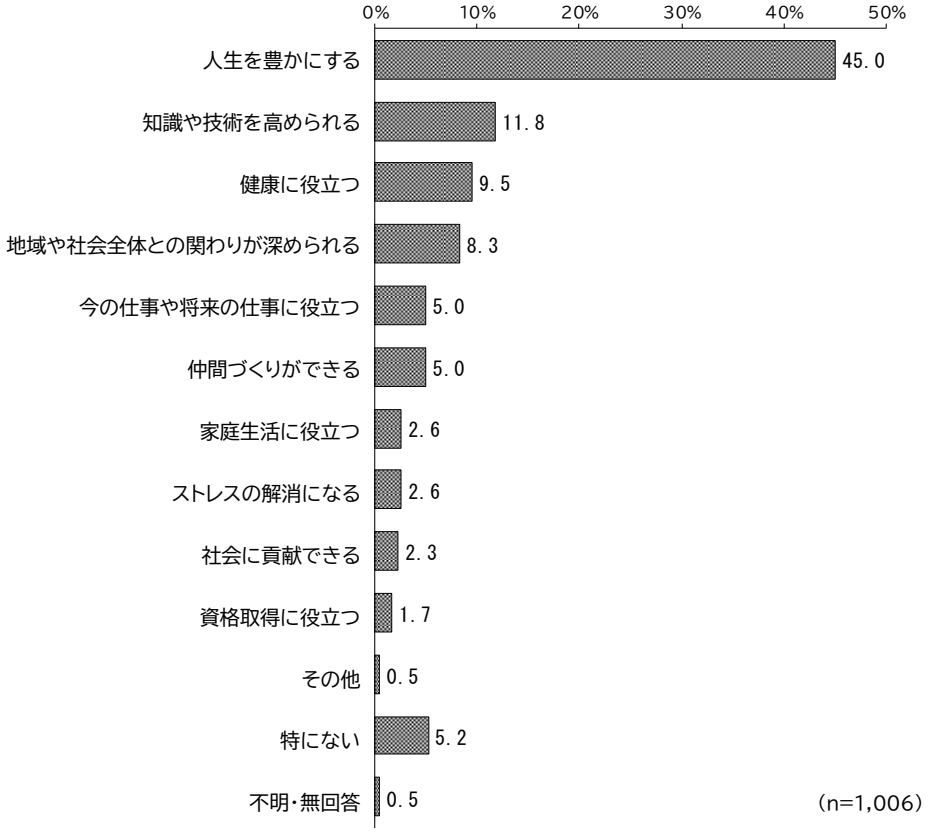


図Ⅲ－１－２　生涯学習活動の意義（性別／性別×年齢別）

２．生涯学習活動を行う上で最も重視していること

【問２】あなたが生涯学習活動を行う上で最も重視していることは何ですか。あてはまる番号に１つ○印をつけてください。

生涯学習活動を行う上で最も重視していることをたずねたところ、「人生を豊かにする」（45.0%）が最も高く、次いで「知識や技術を高められる」（11.8%）、「健康に役立つ」（9.5%）、「地域や社会全体との関わりが深められる」（8.3%）などと続いている。

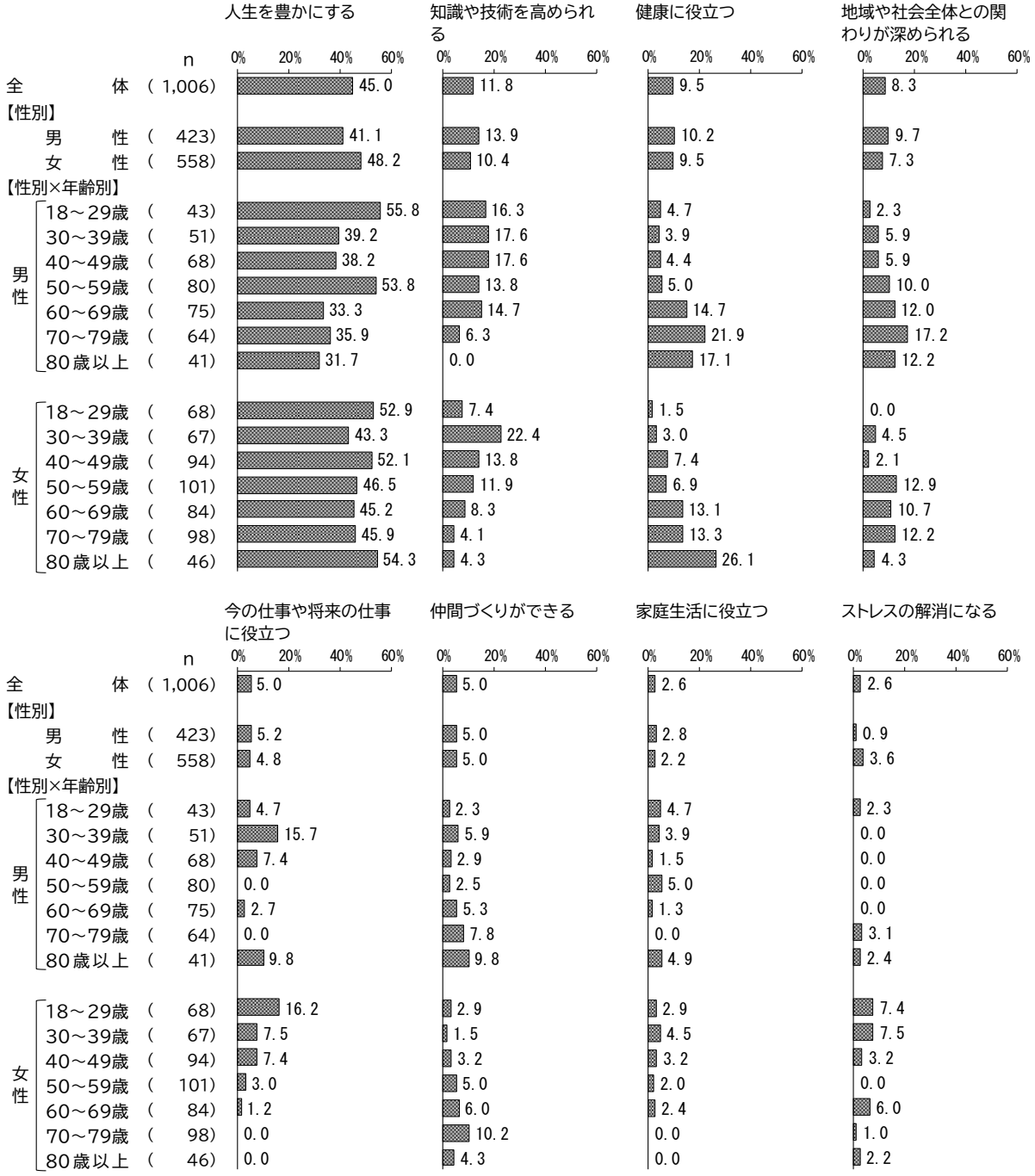


図Ⅲ－２－１　生涯学習活動を行う上で最も重視していること

【性別／性別×年齢別】

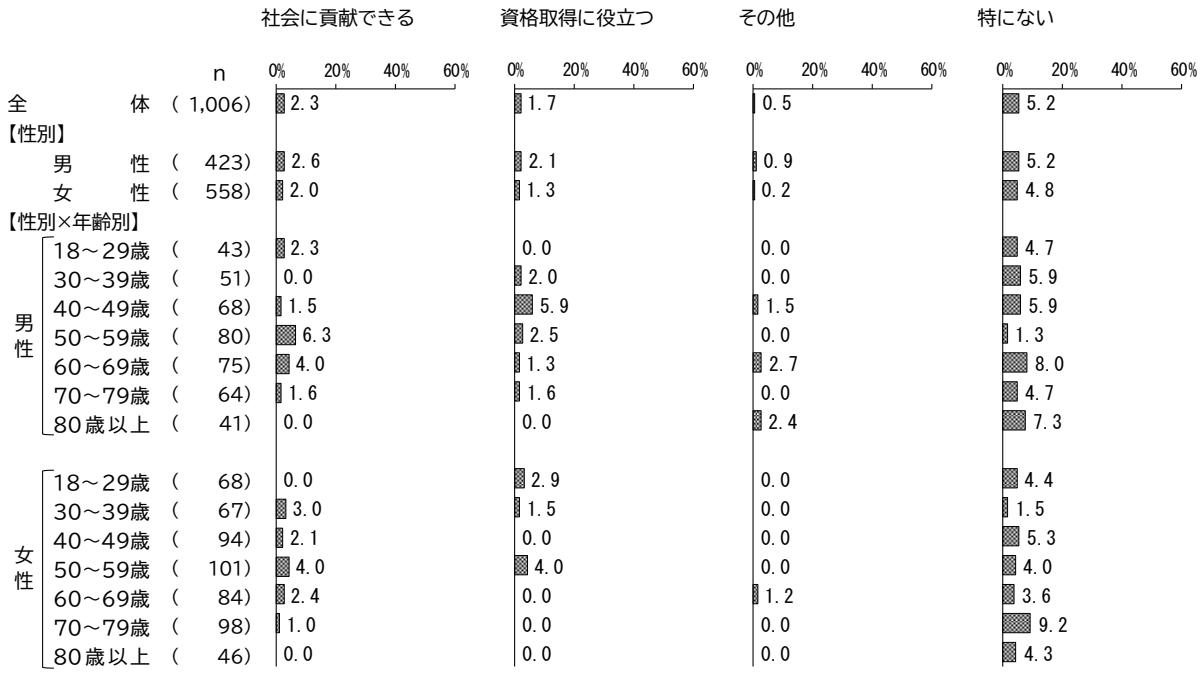
性別で比較しても、男女間で大きな差はみられない。

性別×年齢別にみると、「知識や技術を高められる」は、女性 30～39 歳で 22.4％と高くなっている。また、「健康に役立つ」は、女性 80 歳以上と男性 70～79 歳でそれぞれ 26.1％、21.9％と高く、「地域や社会全体との関わりが深められる」は、男性 70～79 歳で 17.2％、「今の仕事や将来の仕事に役立つ」は、女性 18～29 歳と男性 30～39 歳でそれぞれ 16.2％、15.7％と高くなっている。



図Ⅲ－２－２　生涯学習活動を行う上で最も重視していること（性別／性別×年齢別）

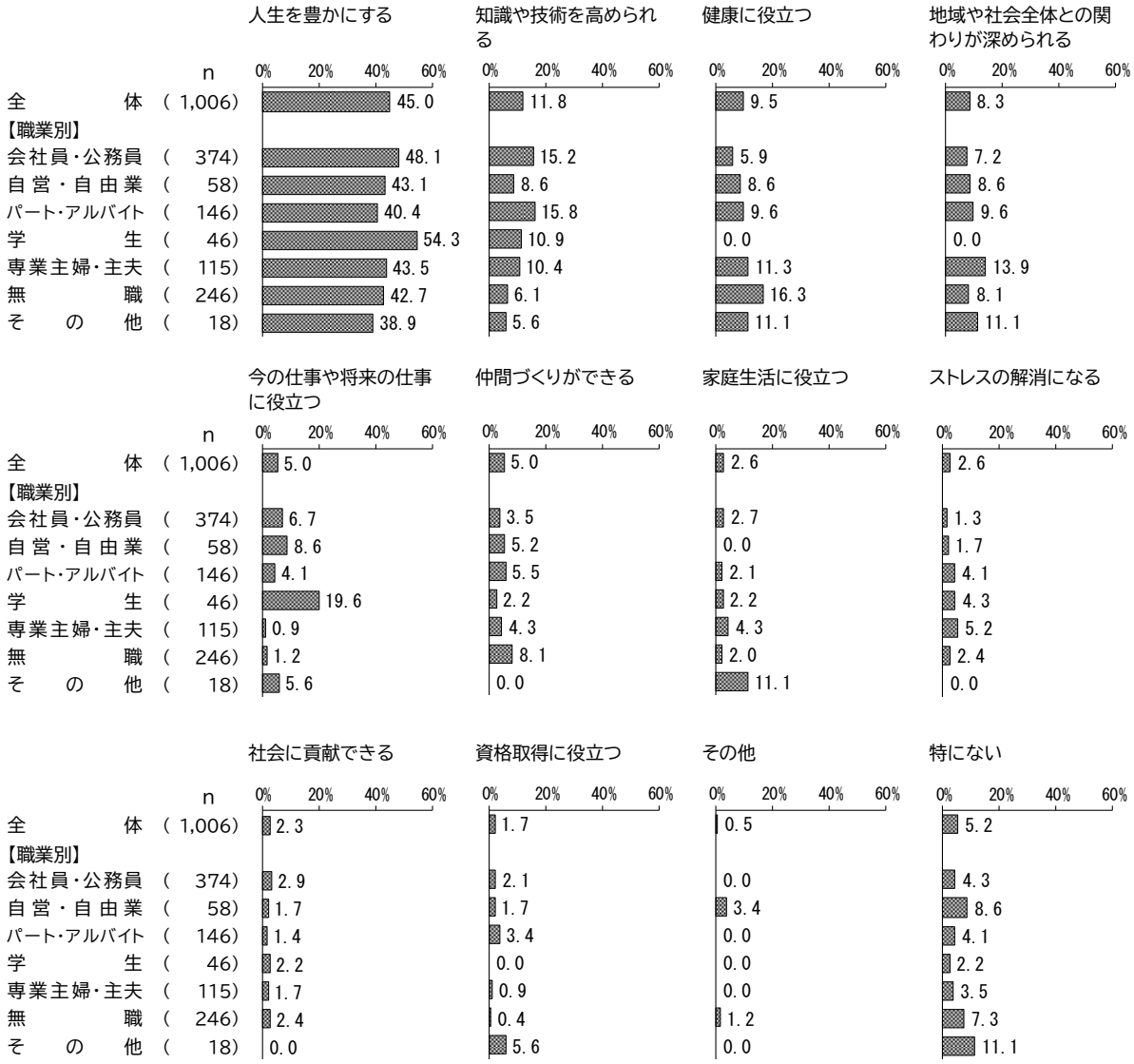
【性別／性別×年齢別】（続き）



図Ⅲ－２－３　生涯学習活動を行う上で最も重視していること（性別／性別×年齢別）

【職業別】

職業別にみると、「人生を豊かにする」と「今の仕事や将来の仕事に役立つ」は、学生でそれぞれ 54.3%、19.6%と高く、「健康に役立つ」は、無職で 16.3%と他の職業に比べて高くなっている。



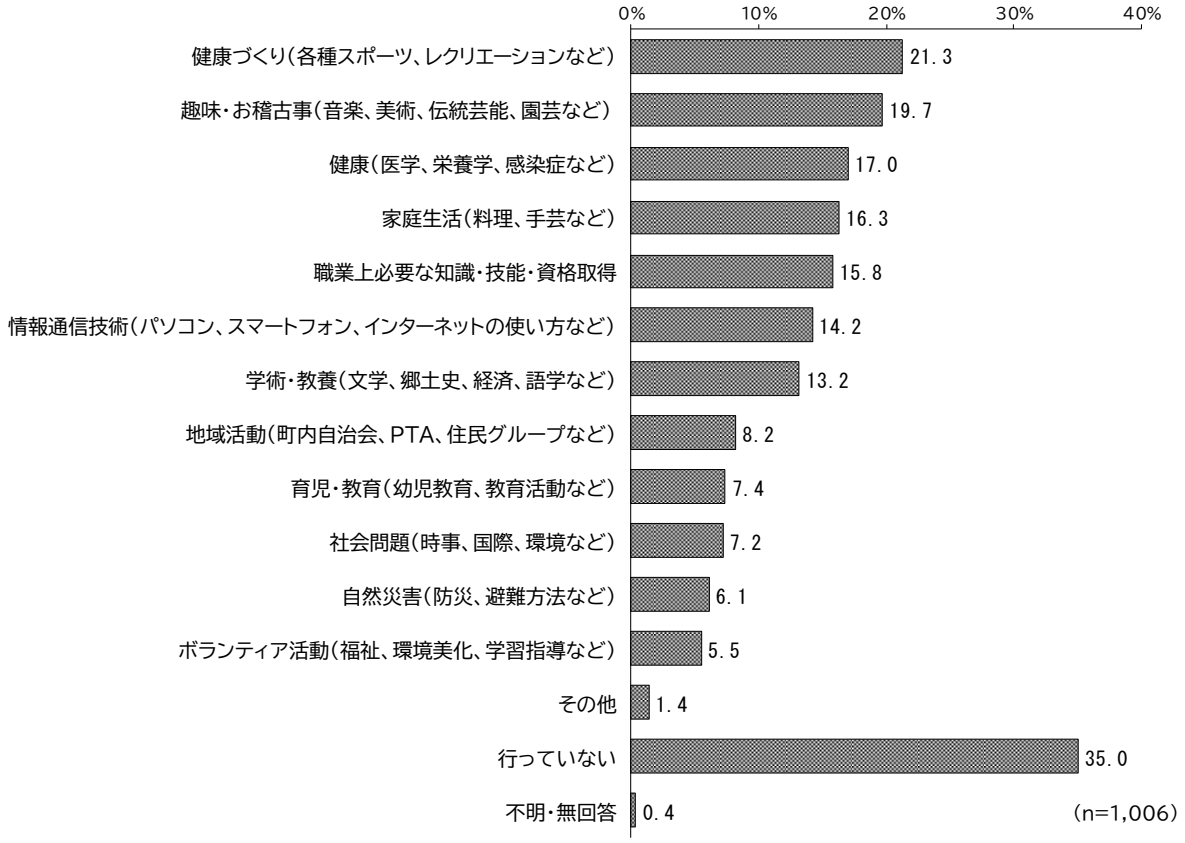
図Ⅲ－２－４　生涯学習活動を行う上で最も重視していること（職業別）

３．この１年間に行った生涯学習活動

【問３】あなたは、この１年間に、どのような生涯学習活動を行いましたか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

この１年間に行った生涯学習活動についてたずねたところ、「健康づくり（各種スポーツ、レクリエーションなど）」が 21.3％で最も高く、次いで「趣味・お稽古事（音楽、美術、伝統芸能、園芸など）」（19.7％）、「健康（医学、栄養学、感染症など）」（17.0％）、「家庭生活（料理、手芸など）」（16.3％）、「職業上必要な知識・技能・資格取得」（15.8％）、「情報通信技術（パソコン、スマートフォン、インターネットの使い方など）」（14.2％）などと続いている。

一方、「行っていない」は、35.0％となっている。

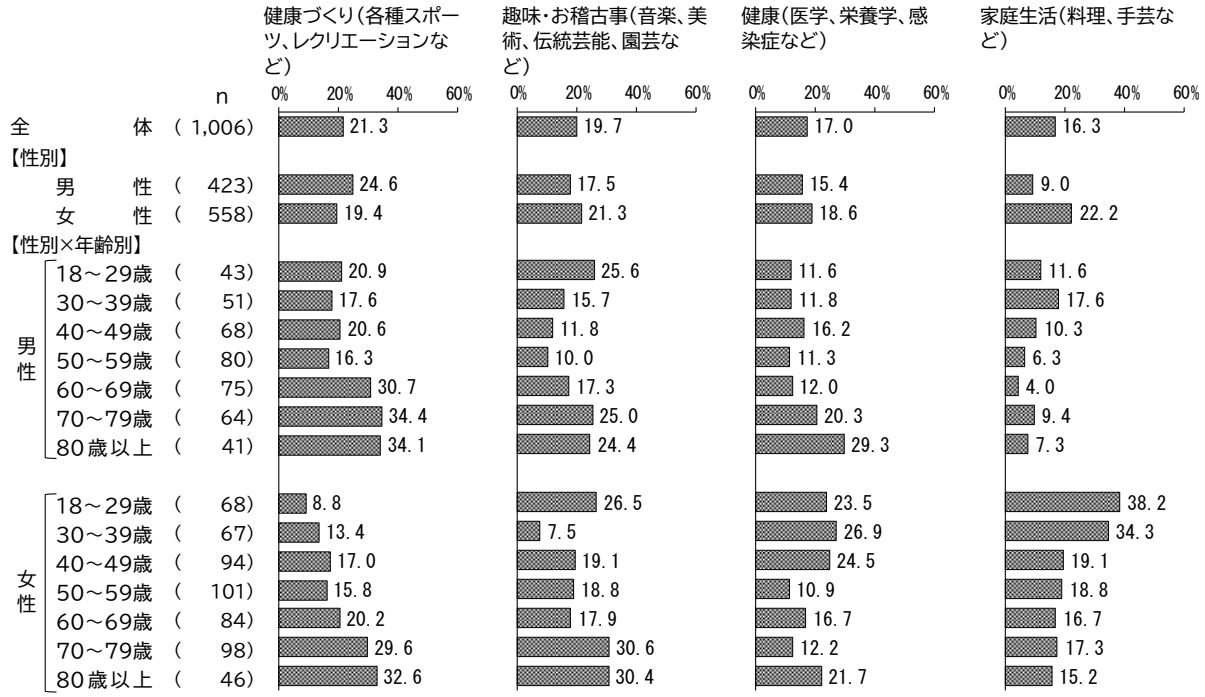


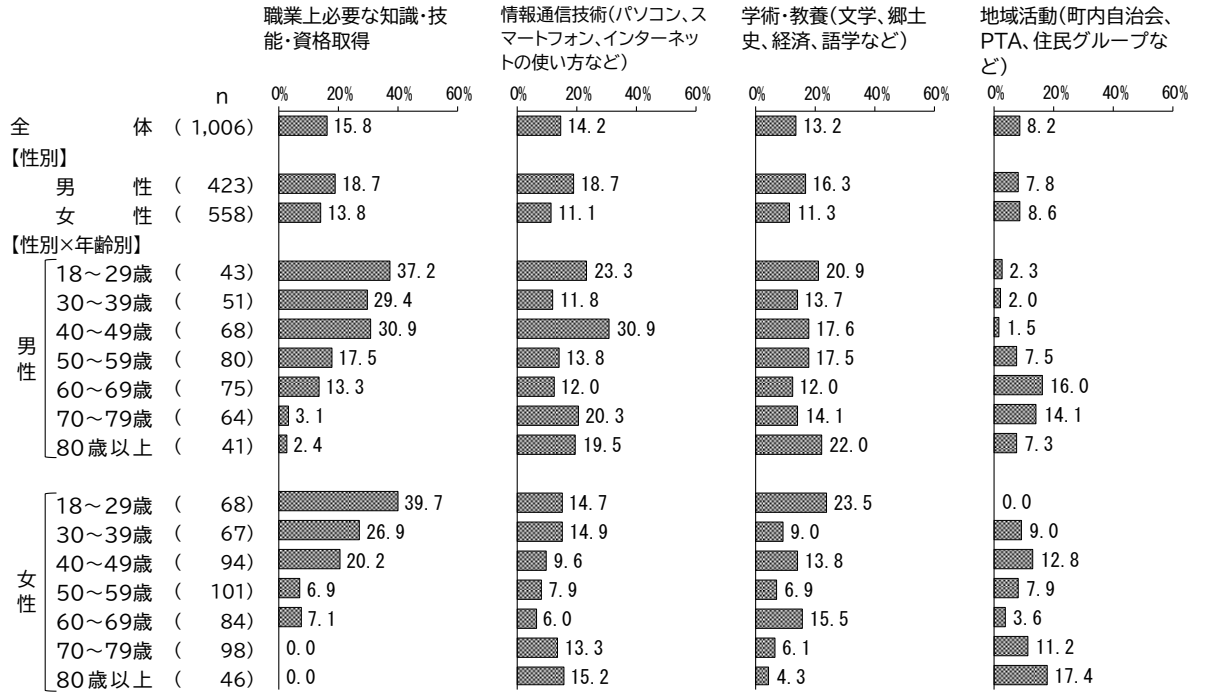
図Ⅲ－３－１　この１年間に行った生涯学習活動

【性別／性別×年齢別】

性別にみると、「家庭生活（料理、手芸など）」は、女性で 22.2%と高く、「情報通信技術（パソコン、スマートフォン、インターネットの使い方など）」と「社会問題（時事、国際、環境など）」は、男性でそれぞれ 18.7%、10.4%と高くなっている。

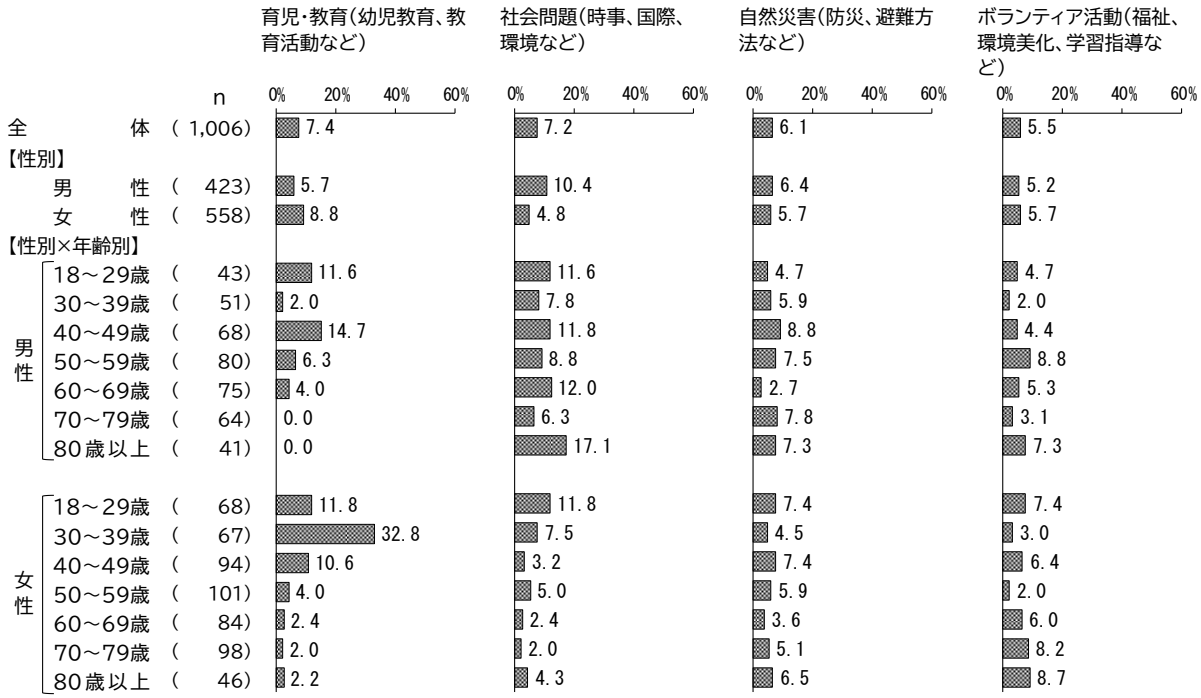
性別×年齢別にみると、「健康づくり（各種スポーツ、レクリエーションなど）」は、男性 60～69 歳以上の年齢と女性 80 歳以上で、「趣味・お稽古事（音楽、美術、伝統芸能、園芸など）」は、女性 70～79 歳以上の年齢で、「家庭生活（料理、手芸など）」は、女性 18～29 歳と女性 30～39 歳で、「職業上必要な知識・技能・資格取得」は、男女ともに 18～29 歳と男性 40～49 歳で、「情報通信技術（パソコン、スマートフォン、インターネットの使い方など）」は、男性 40～49 歳で、「育児・教育（幼児教育、教育活動など）」は女性 30～39 歳で 3 割を超えて高い。

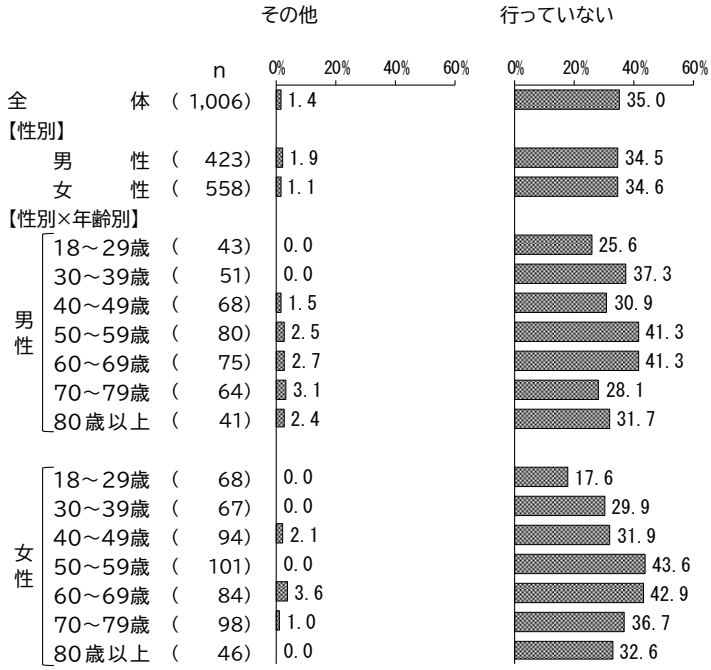




図Ⅲ－３－２　この１年間に行った生涯学習活動（性別／性別×年齢別）

【性別／性別×年齢別】（続き）

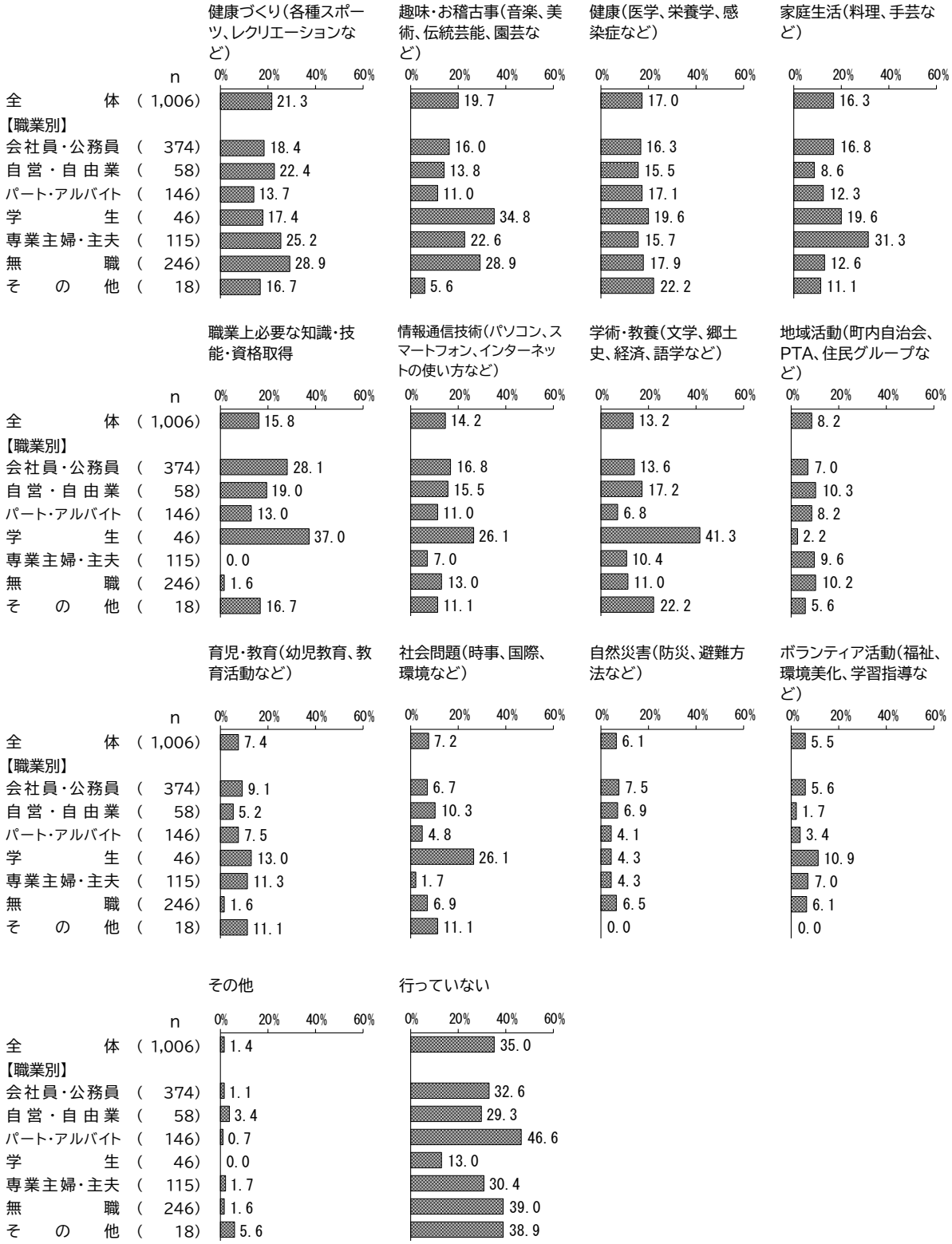




図Ⅲ－３－３　この１年間に行った生涯学習活動（性別／性別×年齢別）

【職業別】

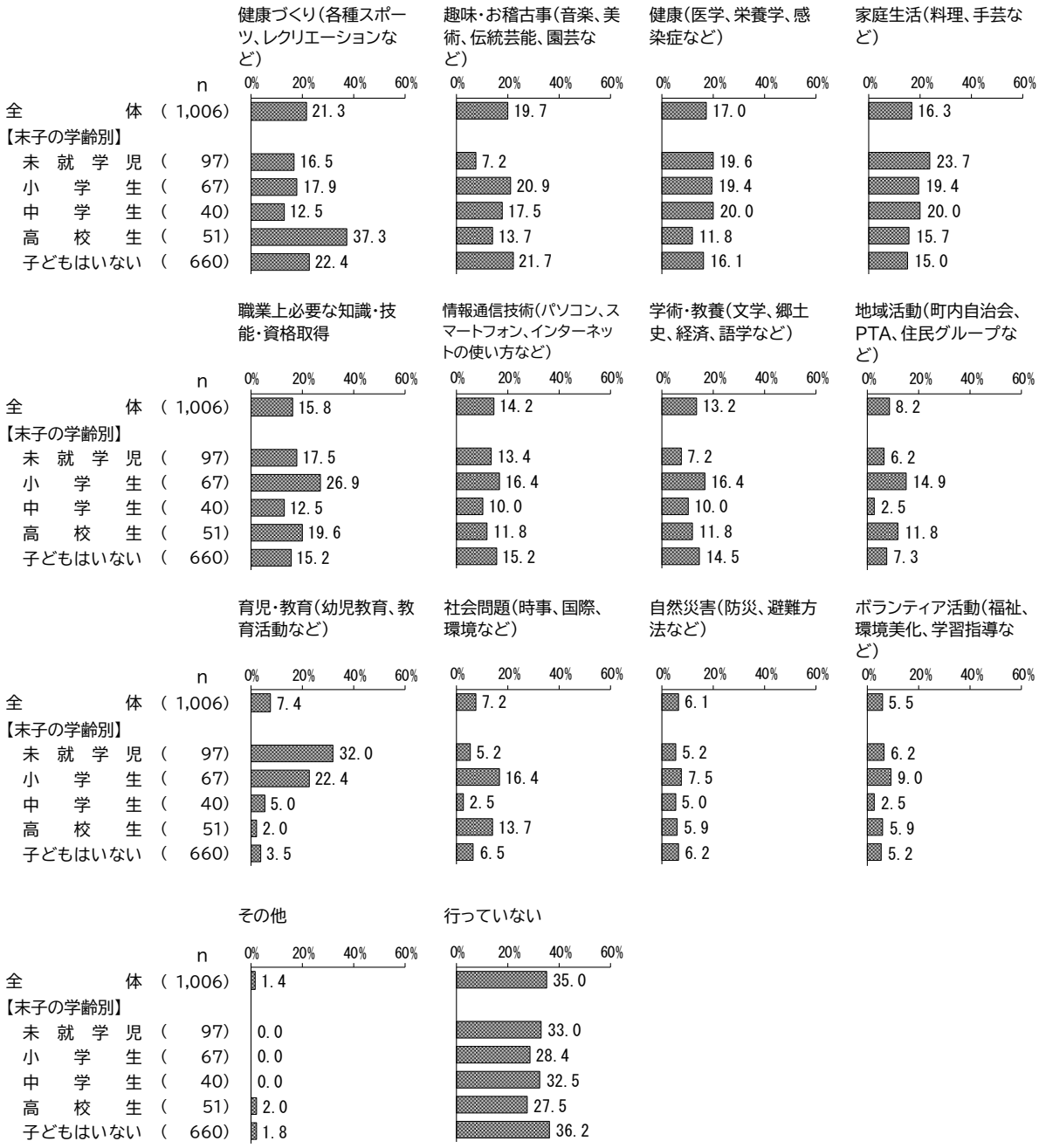
職業別にみると、「学術・教養（文学、郷土史、経済、語学など）」、「職業上必要な知識・技能・資格取得」、「趣味・お稽古事（音楽、美術、伝統芸能、園芸など）」は、学生でそれぞれ 41.3%、37.0%、34.8%と他の職業に比べて高くなっている。また、「家庭生活（料理、手芸など）」は、専業主婦・主夫で 31.3%、「健康づくり（各種スポーツ、レクリエーションなど）」は無職で 28.9%と高くなっている。なお、「行っていない」は、パート・アルバイトで 46.6%と最も高くなっている。



図Ⅲ－３－４　この１年間に行った生涯学習活動（職業別）

【末子の学齢別】

末子の学齢別にみると、「健康づくり（各種スポーツ、レクリエーションなど）」は、末子に高校生がいる層で 37.3％と高く、「育児・教育（幼児教育、教育活動など）」は、未就学児がいる層で 32.0％、「職業上必要な知識・技能・資格取得」は、小学生がいる層で 26.9％と高くなっている。



図Ⅲ－３－５　この１年間に行った生涯学習活動（末子の学齢別）

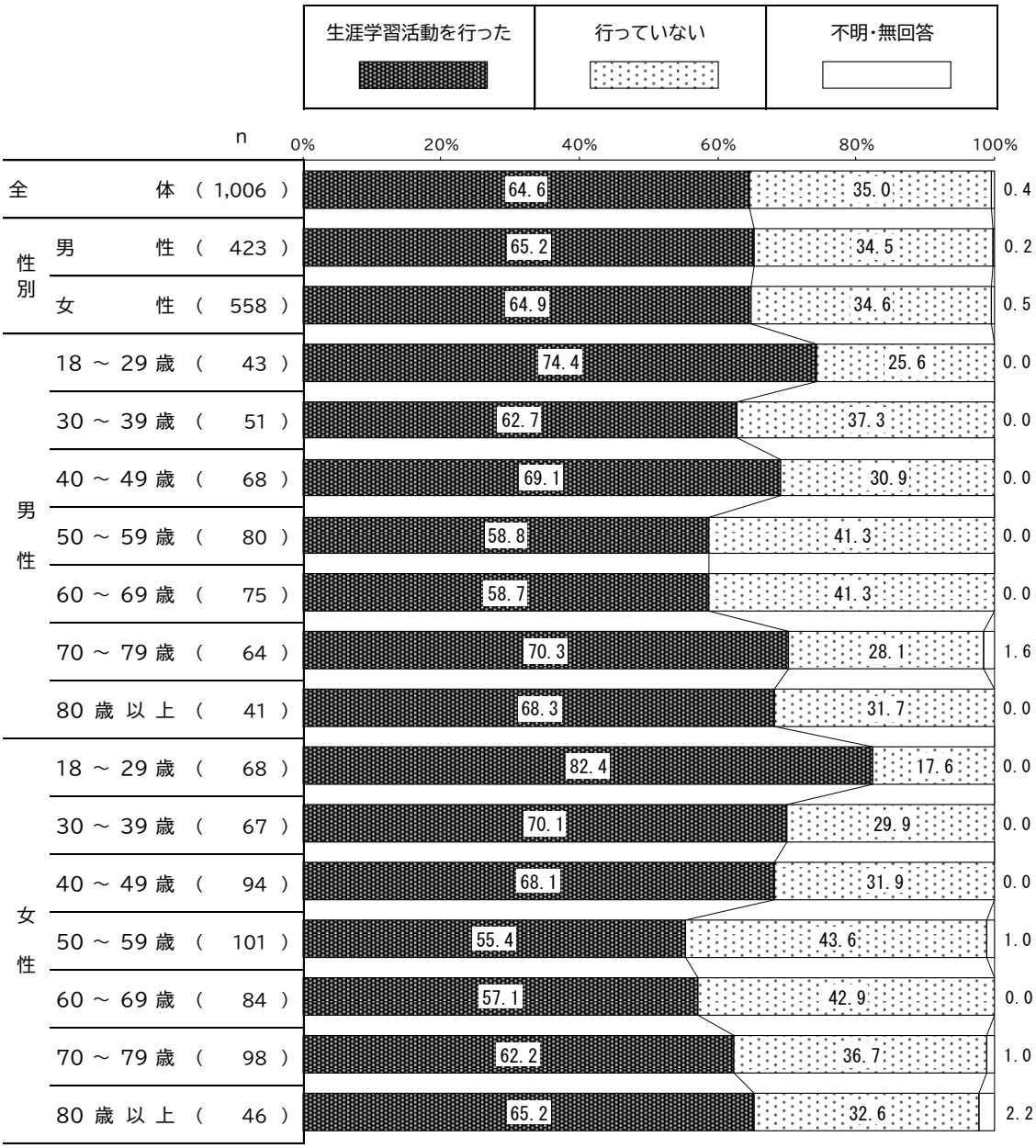
■この１年間の生涯学習活動の活動有無

この１年間に生涯学習活動を行ったか否かの割合をみるため、回答選択肢１～13（P111、調査票参照）の中から１つ以上選んだ方を「生涯学習活動を行った」として、集計を行った。

全体で、この１年間に生涯学習活動を行った方の割合をみると、64.6%だった。

性別で比較しても、男女間で大きな差はみられない。

性別×年齢別にみると、「生涯学習活動を行った」は、女性 18～29 歳で 82.4%と 8 割を超えて最も高く、男性 18～29 歳と女性 30～39 歳ではそれぞれ 74.4%、70.1%と 7 割を超えている。一方、男女ともに 50～59 歳と 60～69 歳で「生涯学習活動を行った」は、55.4～58.8%と 5 割台に留まり、他の年齢層と比べて低くなっている。

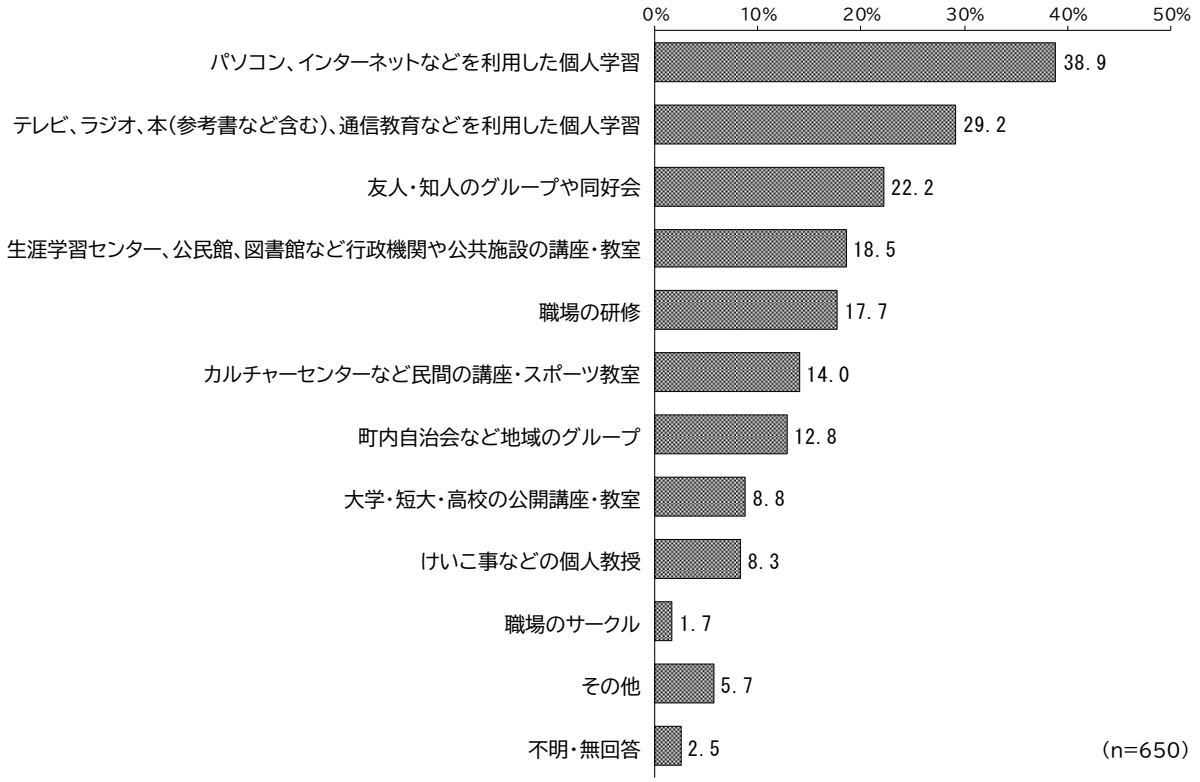


図Ⅲ－３－６　この１年間の生涯学習活動の活動有無（性別／性別×年齢別）

４．生涯学習活動を行っている方法・機会

問３で１～１３に○印をつけた方（この１年間に生涯学習活動を行った方）におたずねします。
【問４】あなたは、どのような方法・機会を利用して生涯学習活動を行っていますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

この１年間に生涯学習活動を行ったと回答した方に、どのような機会や方法で生涯学習活動を行ったかについてたずねたところ、「パソコン、インターネットなどを利用した個人学習」が38.9%で最も高く、次いで「テレビ、ラジオ、本（参考書など含む）、通信教育などを利用した個人学習」（29.2%）、「友人・知人のグループや同好会」（22.2%）、「生涯学習センター、公民館、図書館など行政機関や公共施設の講座・教室」（18.5%）、「職場の研修」（17.7%）、「カルチャーセンターなど民間の講座・スポーツ教室」（14.0%）などと続いている。

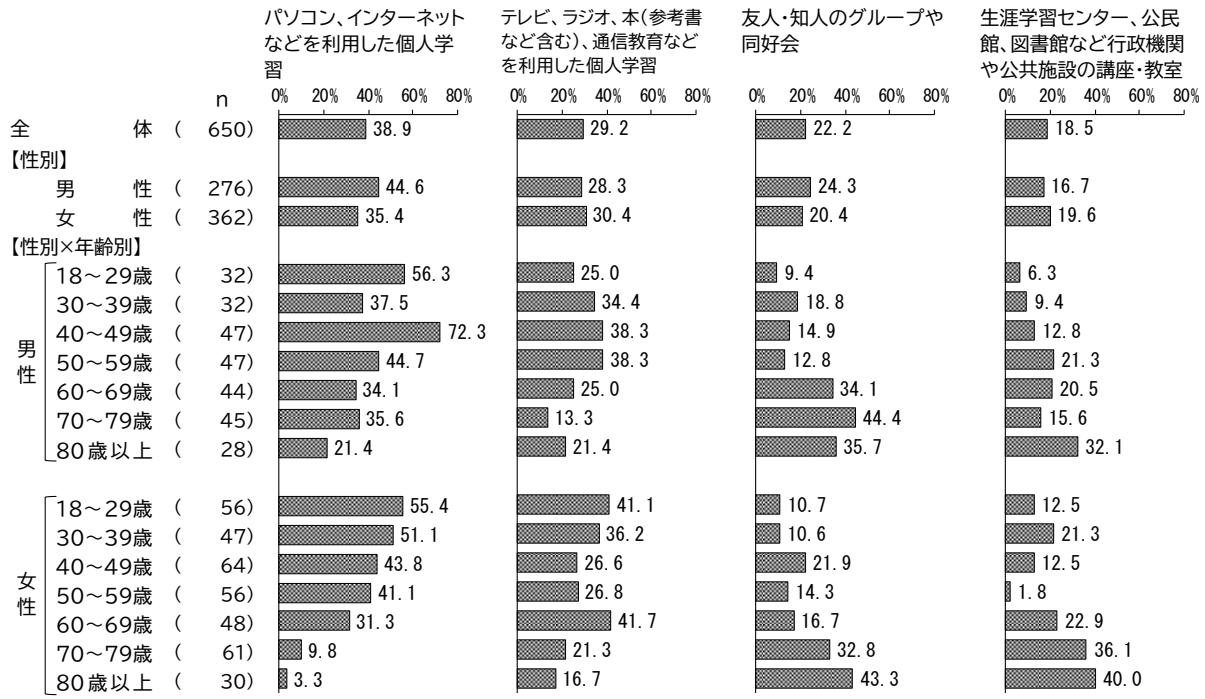


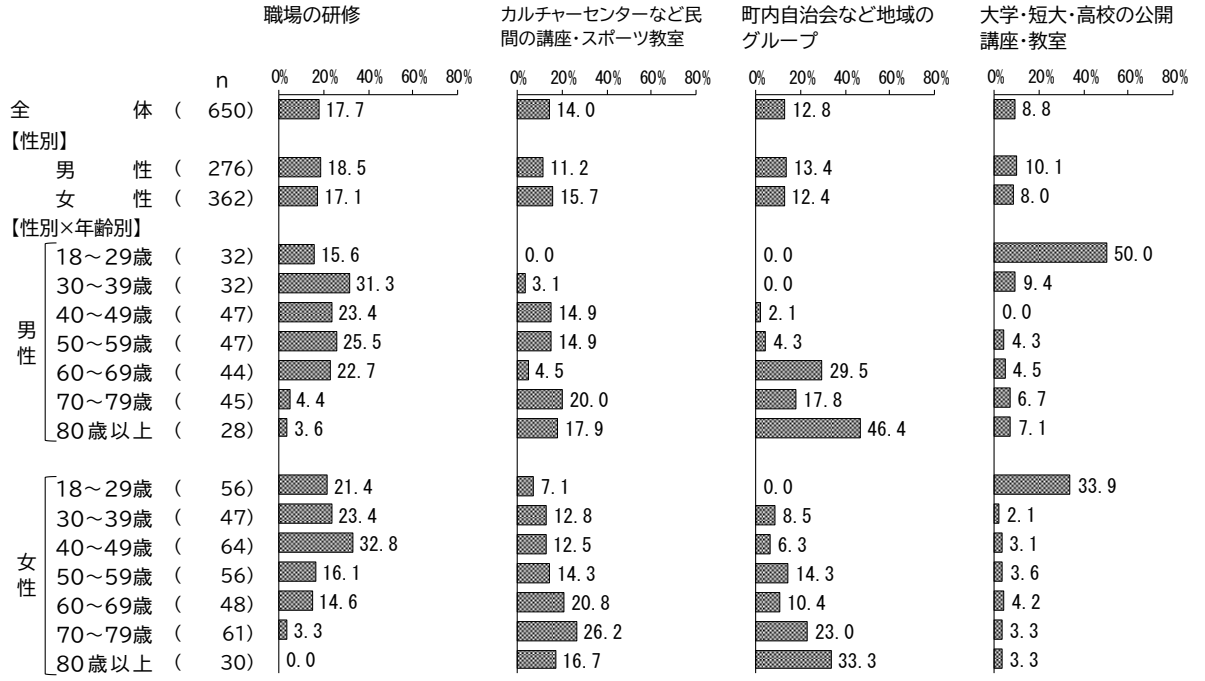
図Ⅲ－４－１　生涯学習活動を行っている方法・機会

【性別／性別×年齢別】

性別にみると、「パソコン、インターネットなどを利用した個人学習」は、男性で 44.6%と高くなっている。

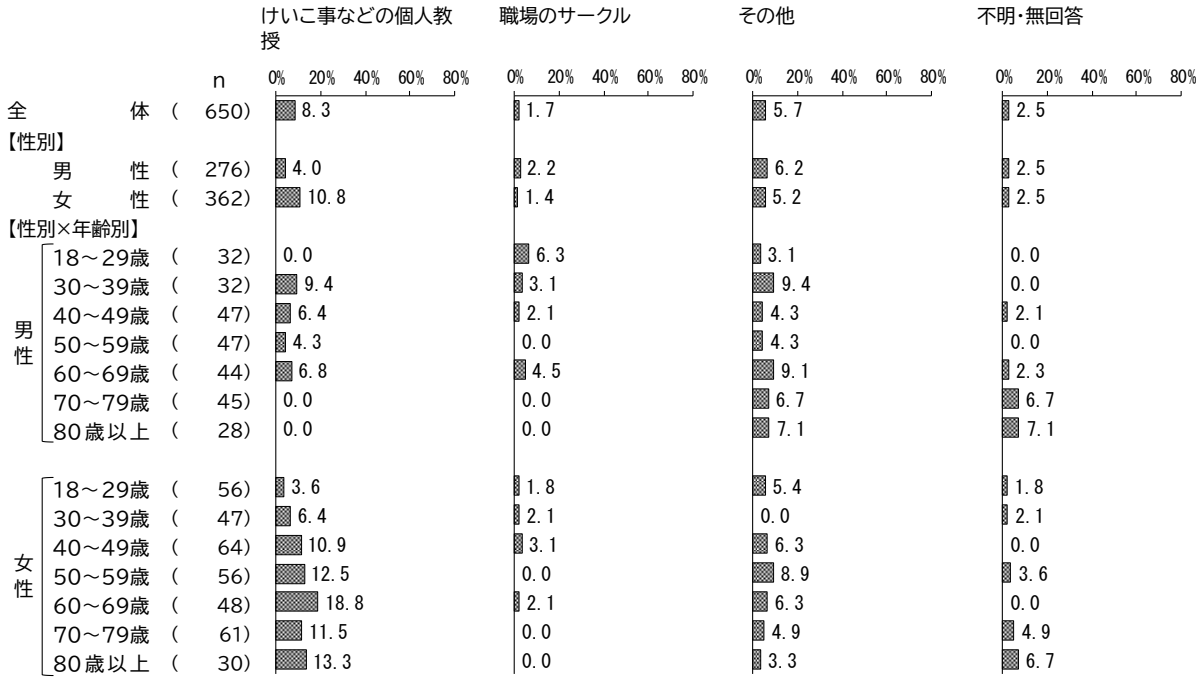
性別×年齢別にみると、「パソコン、インターネットなどを利用した個人学習」は、男性 40～49 歳で 72.3%と突出して高く、「大学・短大・高校の公開講座・教室」は、男性 18～29 歳で 50.0%、「町内自治会など地域のグループ」は、男性 80 歳以上で 46.4%、「友人・知人のグループや同好会」は、男性 70～79 歳と女性 80 歳上でそれぞれ 44.4%、43.3%、「テレビ、ラジオ、本（参考書など含む）、通信教育などを利用した個人学習」は、女性 60～69 歳で 41.7%、「生涯学習センター、公民館、図書館など行政機関や公共施設の講座・教室」は、女性 80 歳以上で 40.0%といずれも他の年齢層と比べて高くなっている。





図Ⅲ－４－２　生涯学習活動を行っている方法・機会（性別／性別×年齢別）

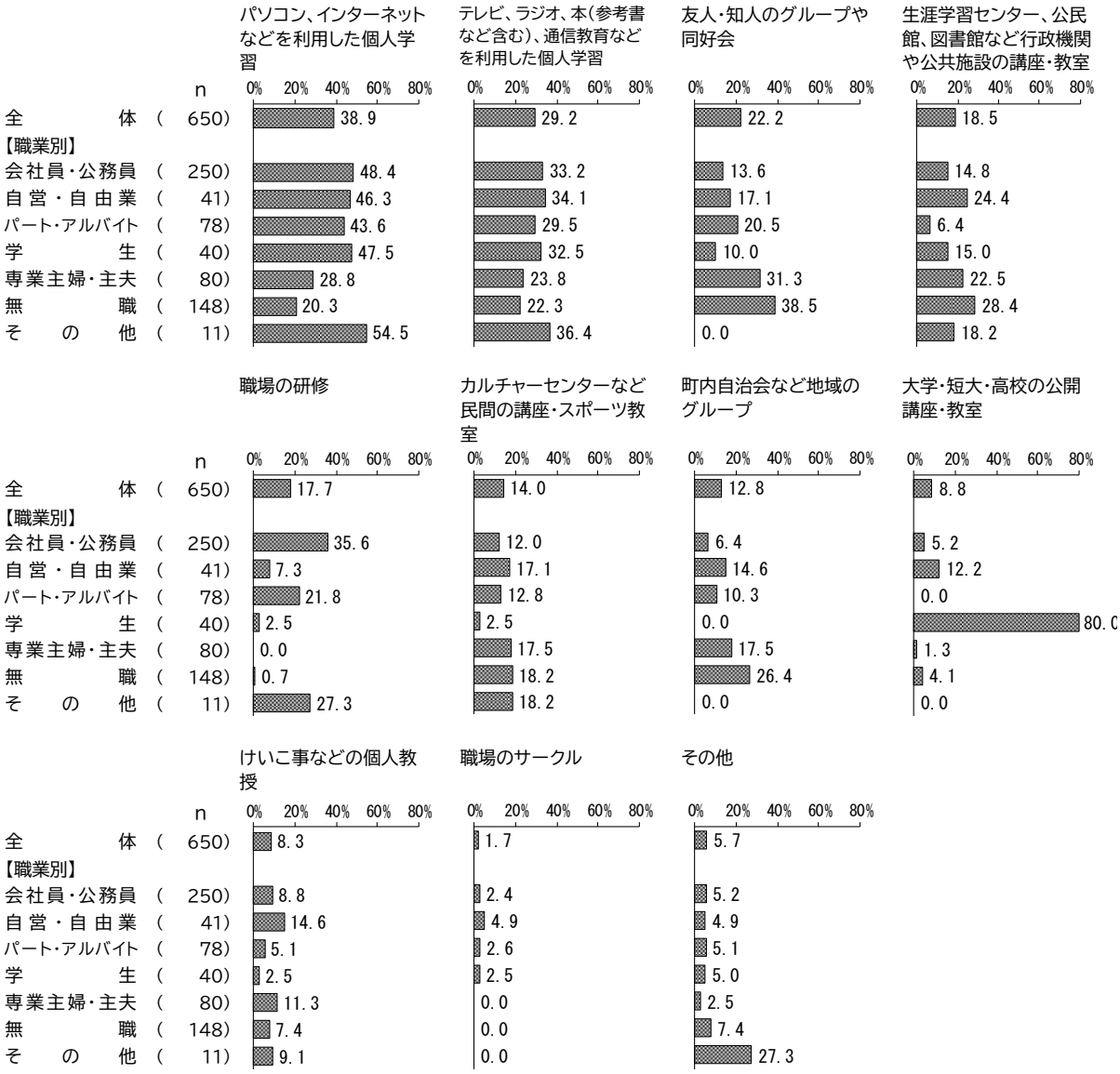
【性別／性別×年齢別】（続き）



図Ⅲ－４－３　生涯学習活動を行っている方法・機会（性別／性別×年齢別）

【職業別】

職業別にみると、「大学・短大・高校の公開講座・教室」は、学生で 80.0％と突出して高く、「友人・知人のグループや同好会」は、無職で 38.5％、「職場の研修」は、会社員・公務員で 35.6％と他の職業に比べて高くなっている。

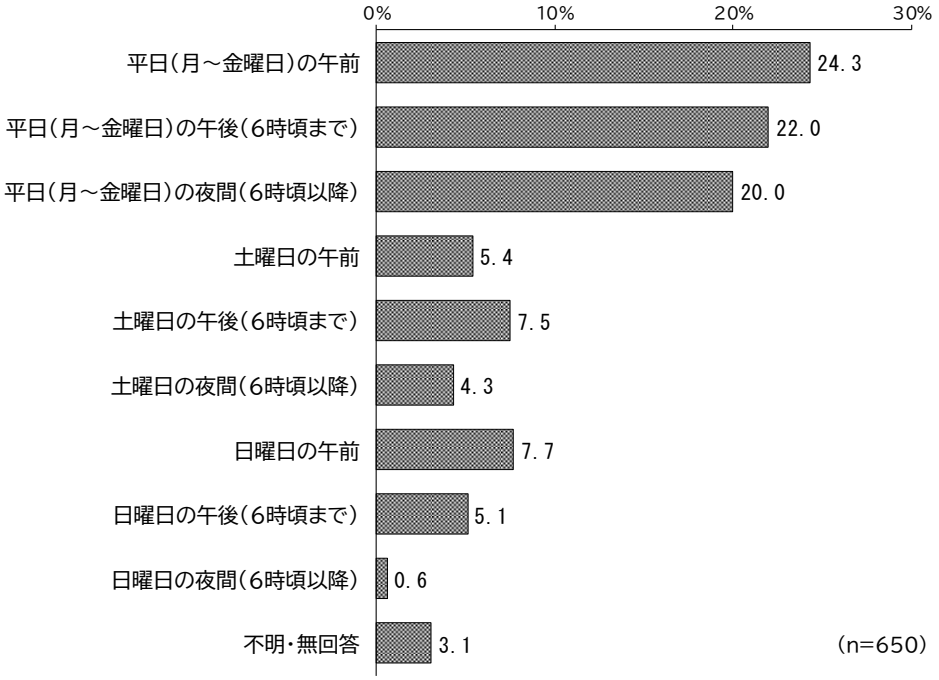


図Ⅲ－４－４　生涯学習活動を行っている方法・機会（職業別）

５．生涯学習活動を行う主な曜日と時間帯

引き続き、問３で１～１３に○印をつけた方（この１年間に生涯学習活動を行った方）におたずねします。
【問５】あなたが、生涯学習活動を行うのは、主に何曜日のどの時間帯ですか。もっともあてはまる番号に１つ○印をつけてください。

この１年間に生涯学習活動を行ったと回答した方に、生涯学習活動を行うのは主に何曜日のどの時間帯かをたずねたところ、「平日（月～金曜日）の午前」が 24.3%で最も高く、次いで「平日（月～金曜日）の午後（６時頃まで)」(22.0%)、「平日（月～金曜日）の夜間（６時頃以降)」(20.0%）などと続いており、平日の時間帯だけで 66.3%を占めている。

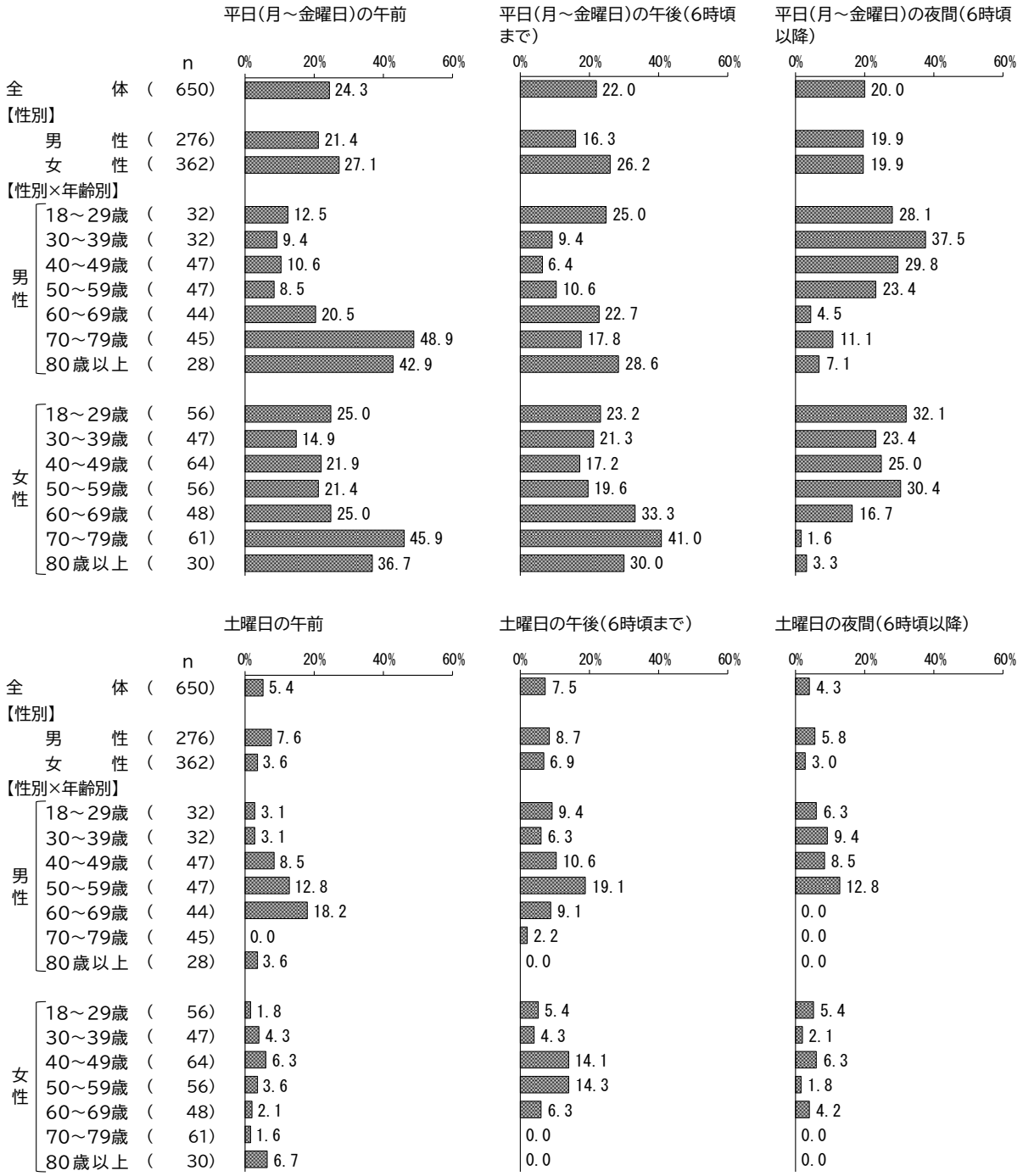


図Ⅲ－５－１　生涯学習活動を行う主な曜日と時間帯

【性別／性別×年齢別】

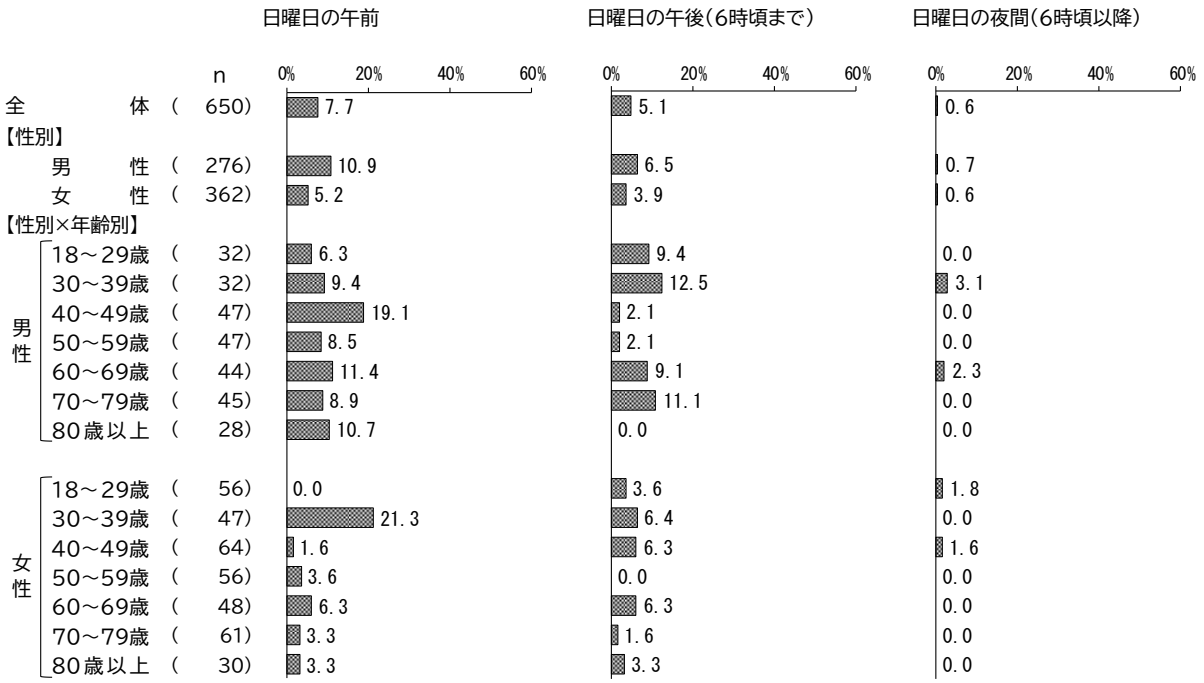
性別にみると、「平日（月～金曜日）の午後（６時頃まで)」は、女性で 26.2%と高くなっている。

性別×年齢別にみると、「平日（月～金曜日）の午前」は、男女ともに 70～79 歳と男性 80 歳以上で 4 割を超えて高く、「平日（月～金曜日）の午後（６時頃まで)」は、女性 70～79 歳（41.0%)、「平日（月～金曜日）の夜間（６時頃以降)」は、男性 30～39 歳（37.5%）で高くなっている。また、「日曜日の午前」は、女性 30～39 歳（21.3%）で高くなっている。



図Ⅲ－５－２　生涯学習活動を行う主な曜日と時間帯（性別／性別×年齢別）

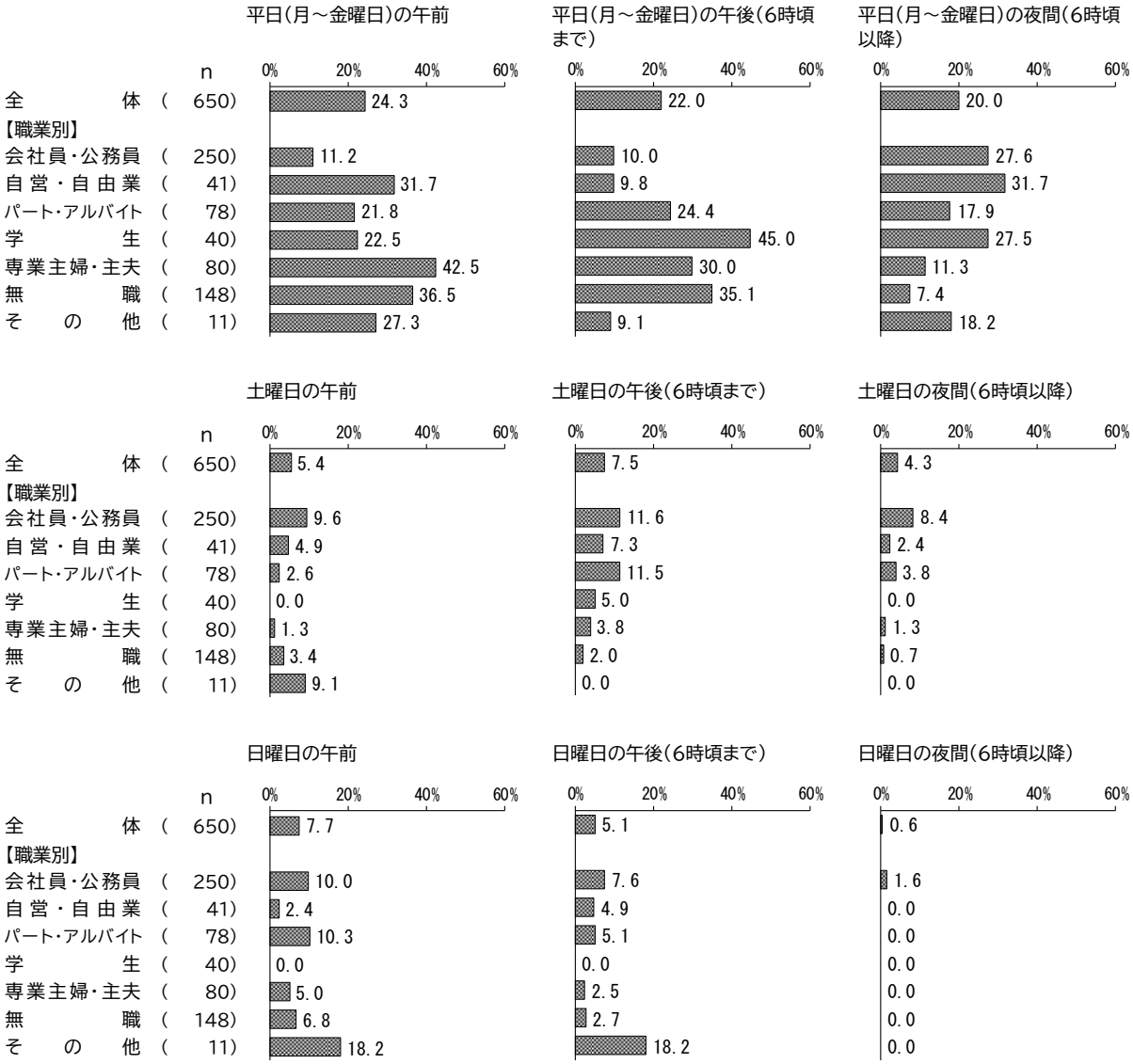
【性別／性別×年齢別】（続き）



図Ⅲ－５－３　生涯学習活動を行う主な曜日と時間帯（性別／性別×年齢別）

【職業別】

職業別にみると、「平日（月～金曜日）の午後（６時頃まで)」は、学生で 45.0%と高く、「平日（月～金曜日）の午前」は、専業主婦・主夫で 42.5%と 4 割を超えて高くなっている。「平日（月～金曜日）の夜間（６時頃以降)」は、自営・自由業で 31.7%と 3 割を超えて高くなっている。

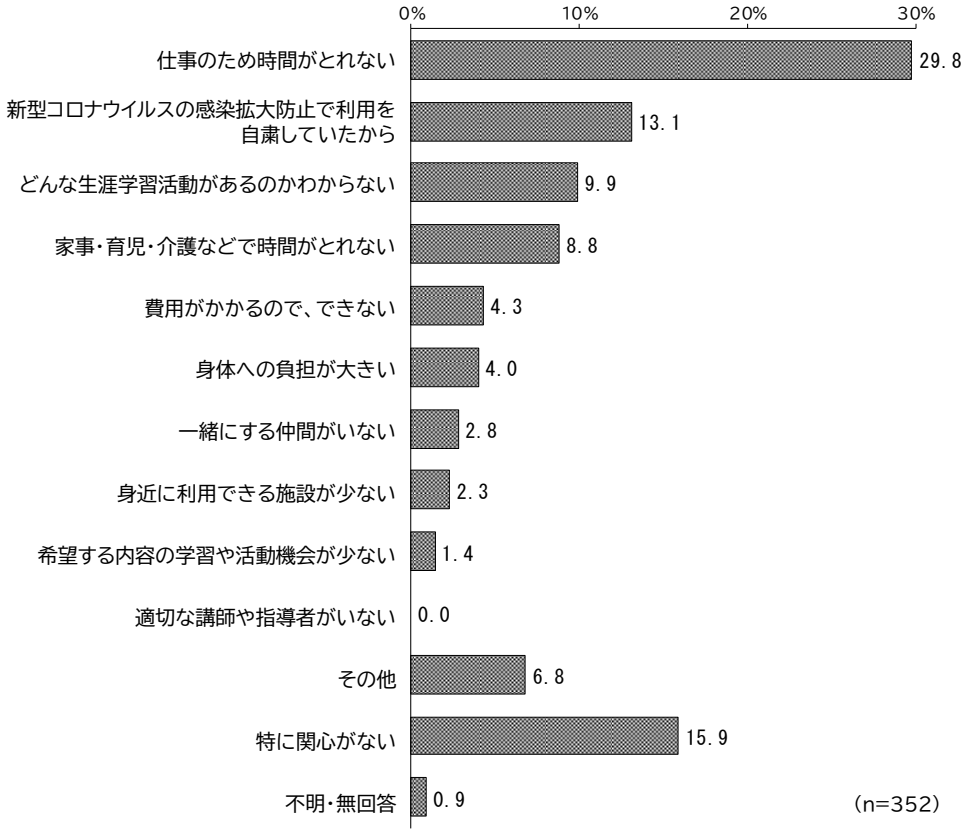


図Ⅲ－５－４　生涯学習活動を行う主な曜日と時間帯（職業別）

６．生涯学習活動をしない理由

問３で１４に○印をつけた方（この１年間に生涯学習活動を行っていない方）におたずねします。
【問６】あなたが、生涯学習活動をしない理由は何ですか。もっともあてはまる番号に１つ○印をつけてください。

この１年間に生涯学習活動を行っていないと回答した方に、生涯学習活動をしない理由についてたずねたところ、「仕事のため時間がとれない」が 29.8％で最も高く、次いで「特に関心がない」（15.9％）、「新型コロナウイルスの感染拡大防止で利用を自粛していたから」（13.1％）などと続いている。

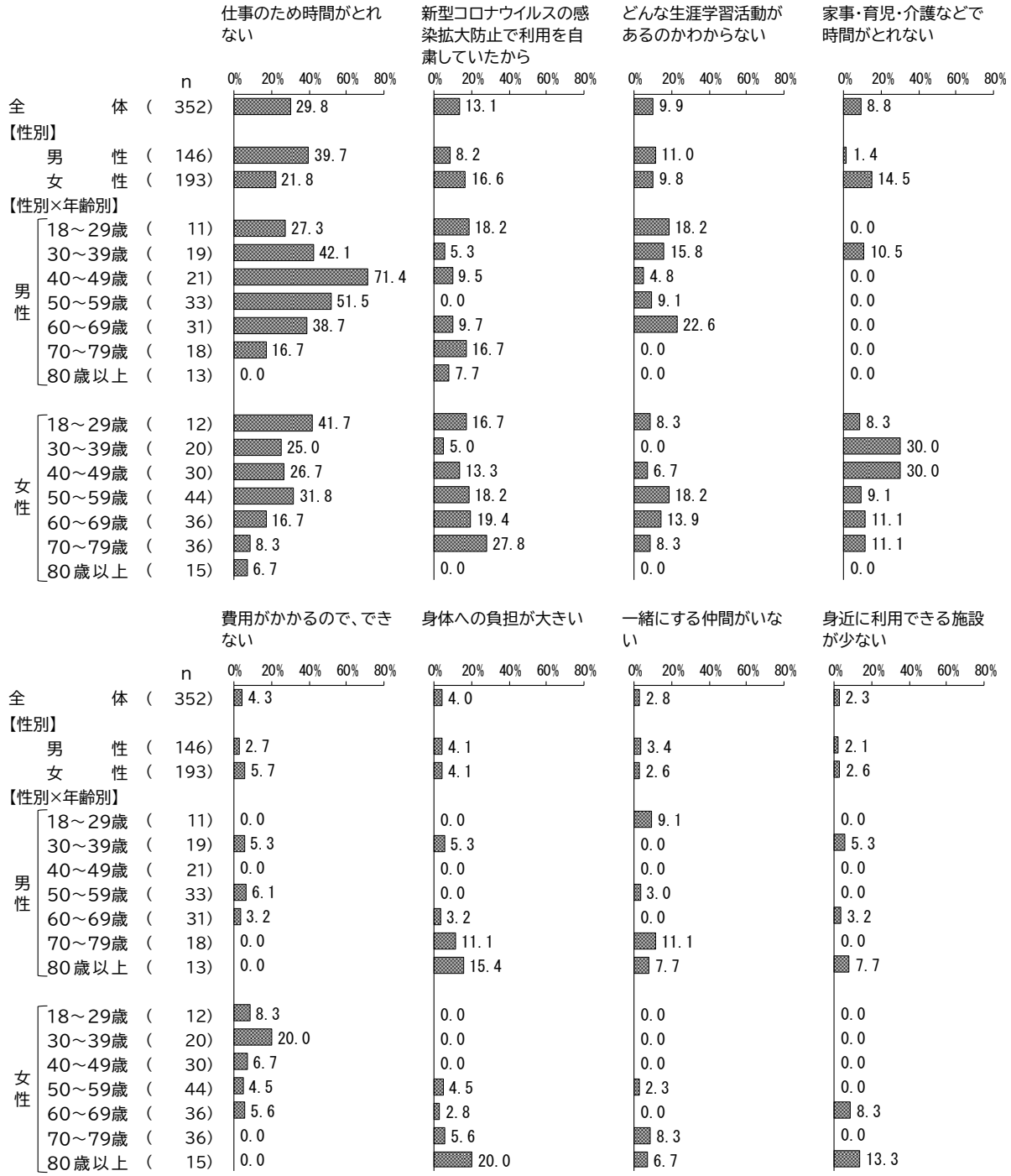


図Ⅲ－６－１　生涯学習活動をしない理由

【性別／性別×年齢別】

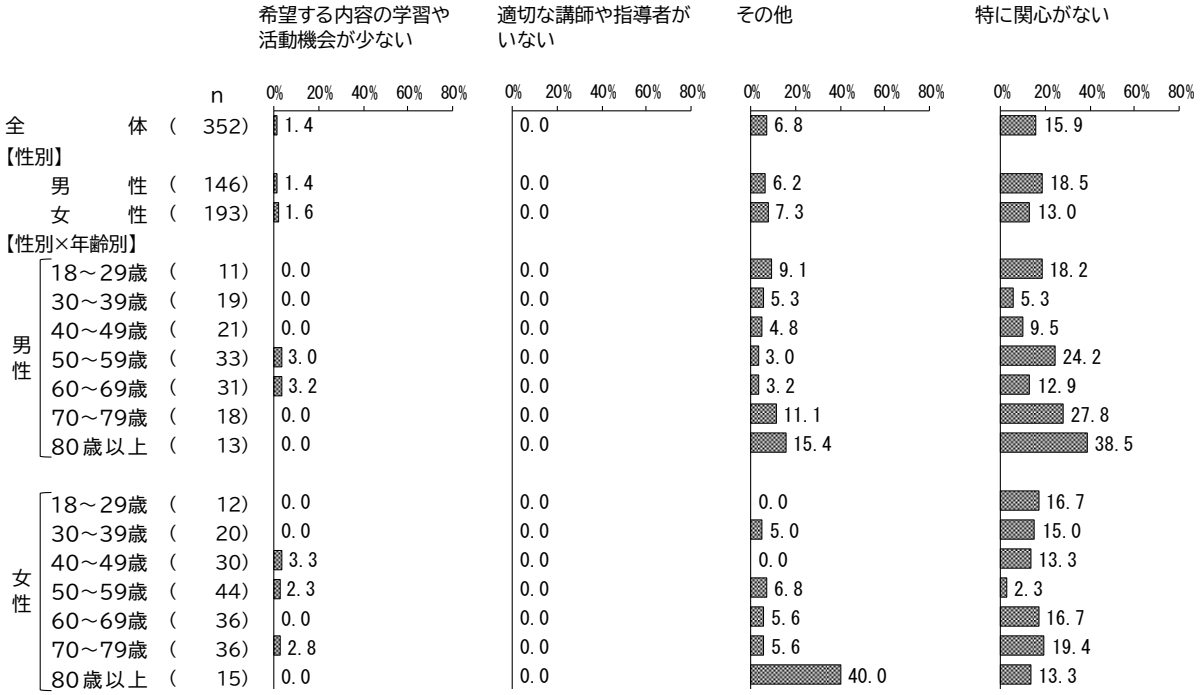
性別にみると、「仕事のため時間がとれない」は、男性で 39.7%と高く、「新型コロナウイルスの感染拡大防止で利用を自粛していたから」と「家事・育児・介護などで時間がとれない」は、女性でそれぞれ 16.6%、14.5%と高くなっている。

性別×年齢別にみると、「仕事のため時間がとれない」は、男性 30～39 歳から男性 50～59 歳までと女性 18～29 歳で 4 割を超えて高く、中でも男性 40～49 歳では 71.4%と 7 割を超えている。また、「家事・育児・介護などで時間がとれない」は、女性 30～39 歳と女性 40～49 歳で 3 割と、他の年齢層と比べて高くなっている。



図Ⅲ－６－２　生涯学習活動をしない理由（性別／性別×年齢別）

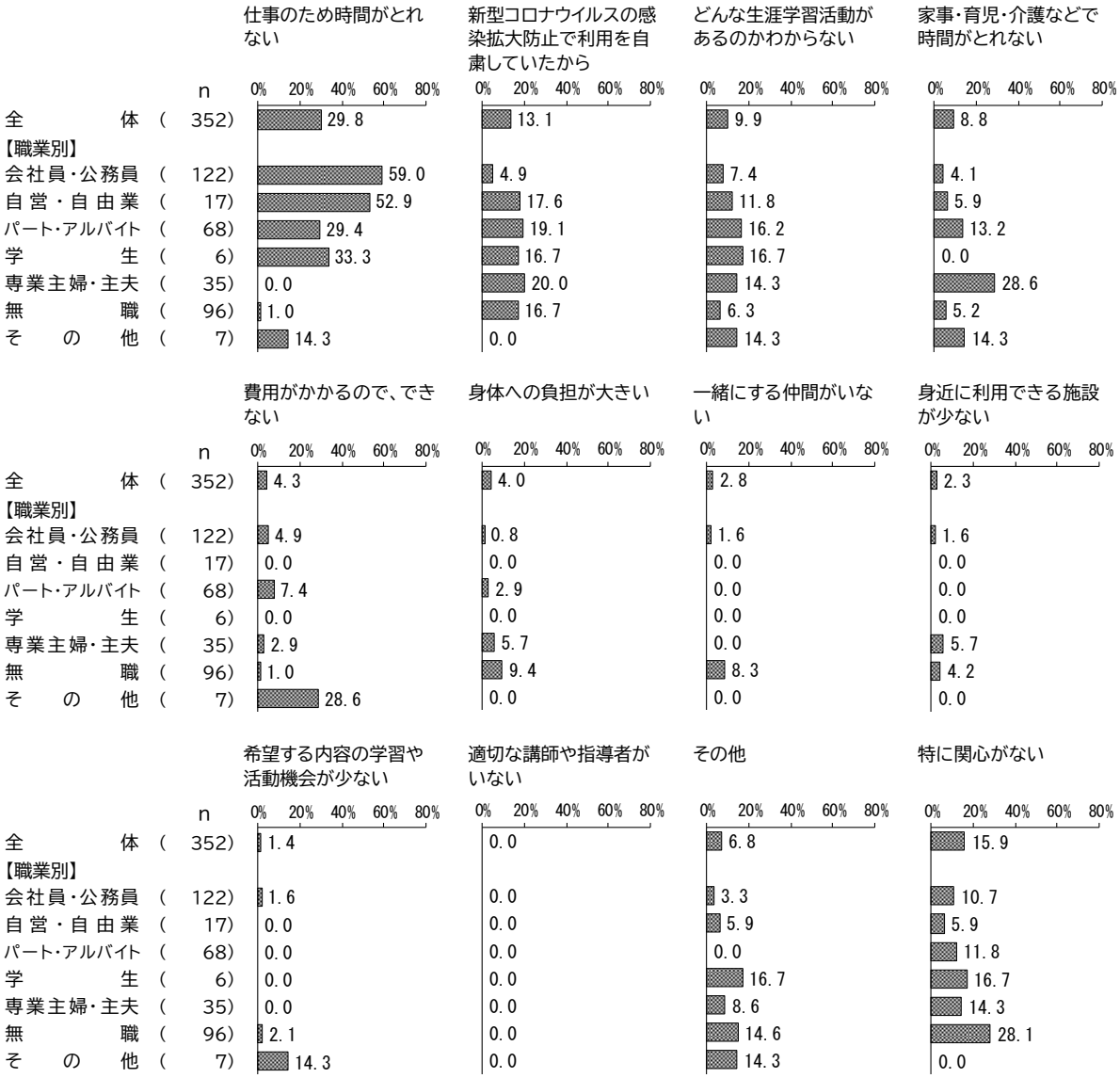
【性別／性別×年齢別】（続き）



図Ⅲ－６－３　生涯学習活動をしない理由（性別／性別×年齢別）

【職業別】

職業別にみると、「仕事のため時間がとれない」は、会社員・公務員で 59.0%、自営・自由業で 52.9%とどちらも 5 割を超えて高くなっている。また、「家事・育児・介護などで時間がとれない」は、専業主婦・主夫で 28.6%、「特に関心がない」は、無職で 28.1%と他の年齢層と比べて高くなっている。



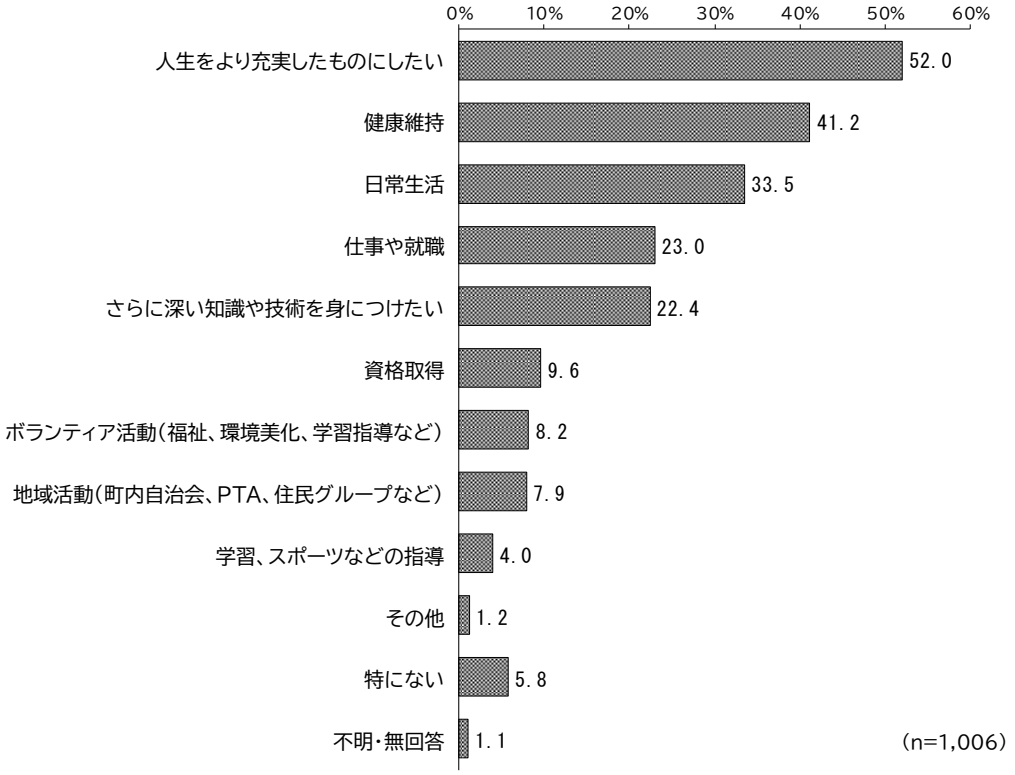
※n数が10未満の属性は参考に留める

図Ⅲ－６－４　生涯学習活動をしない理由（職業別）

７．生涯学習活動を通じて身につけた知識・技能や経験の生かし方

全員の方におたずねします。
【問７】あなたは、生涯学習活動を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのような形で生かしたいと思いますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

生涯学習活動を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのような形で生かしたいかについてたずねたところ、「人生をより充実したものにしたい」が 52.0%で最も高く、次いで「健康維持」(41.2%)、「日常生活」(33.5%)、「仕事や就職」(23.0%)、「さらに深い知識や技術を身につけたい」(22.4%) などと続いている。

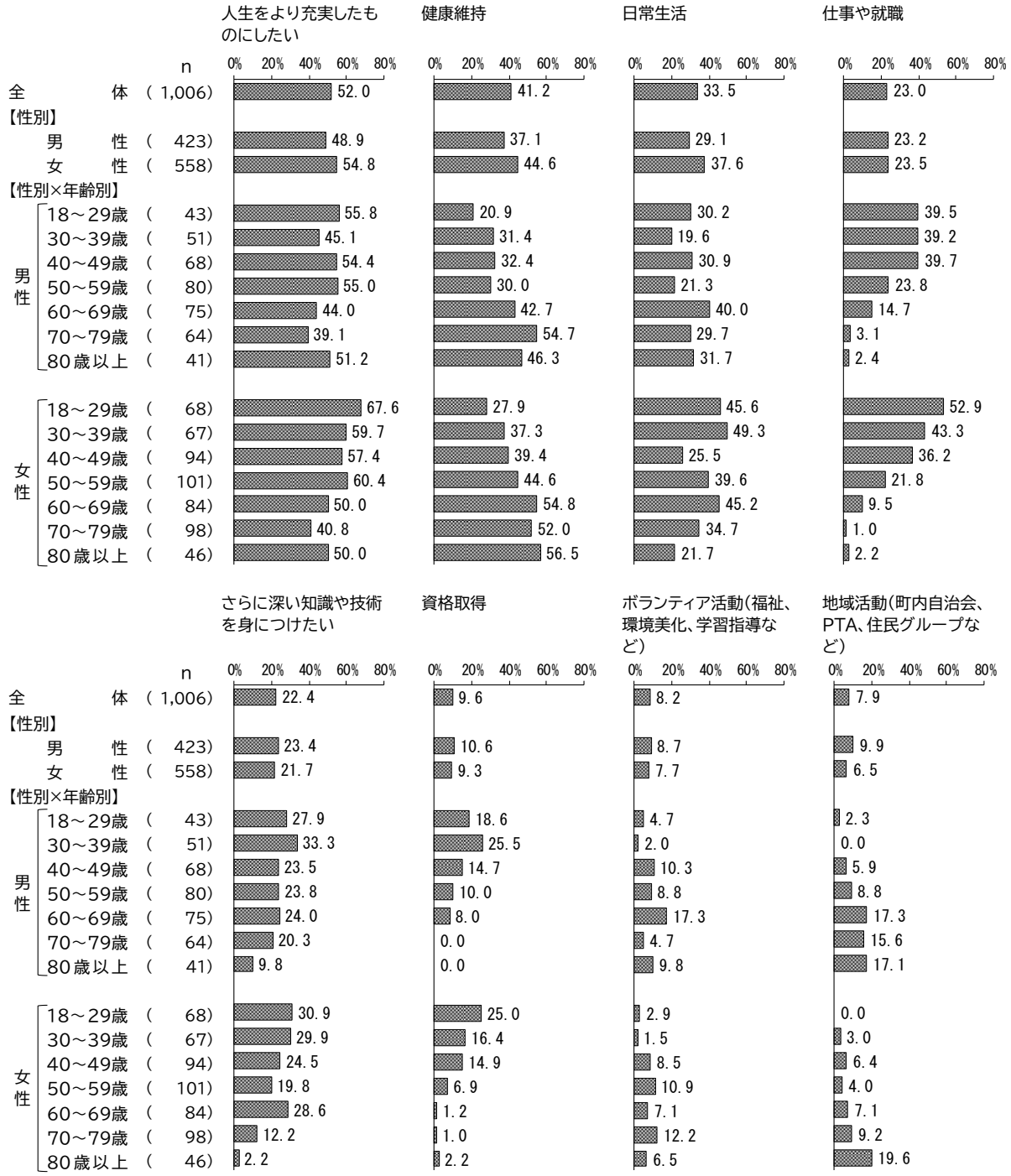


図Ⅲ－７－１　生涯学習活動を通じて身につけた知識・技能や経験の生かし方

【性別／性別×年齢別】

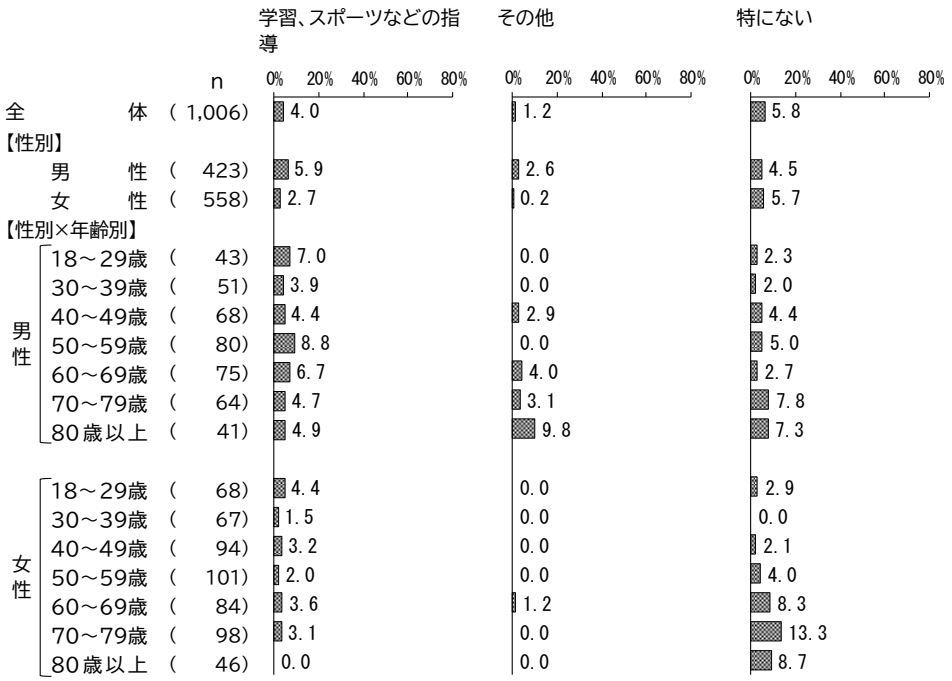
性別にみると、「健康維持」と「日常生活」は、女性でそれぞれ 44.6%、37.6%と高くなっている。

性別×年齢別にみると、「人生をより充実したものにしたい」は、女性 18～29 歳と女性 50～59 歳で 6 割を超えて高く、「健康維持」は、男性 70～79 歳と女性 60～69 歳から女性 80 歳以上までの層で 5 割を超えて高くなっている。また、「仕事や就職」は、女性 18～29 歳で 52.9%と高くなっている。



図Ⅲ－７－２　生涯学習活動を通じて身につけた知識・技能や経験の生かし方
（性別／性別×年齢別）

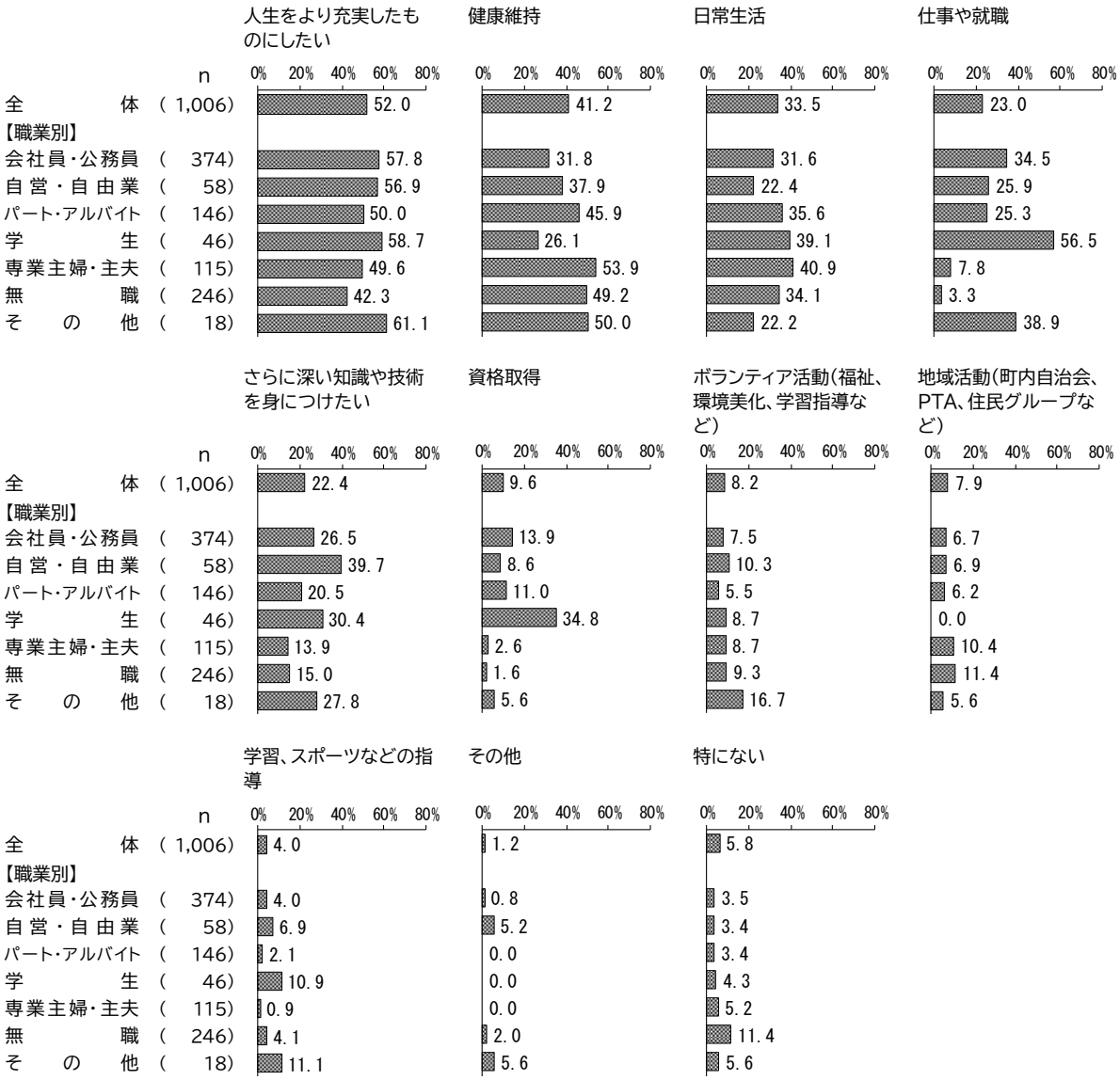
【性別／性別×年齢別】（続き）



図Ⅲ－７－３　生涯学習活動を通じて身につけた知識・技能や経験の生かし方
（性別／性別×年齢別）

【職業別】

職業別にみると、「健康維持」は、専業主婦・主夫と無職でそれぞれ 53.9%、49.2%と 5 割前後で高く、「仕事や就職」と「資格取得」は、学生でそれぞれ 56.5%、34.8%と他の職業に比べて高くなっている。また、「さらに深い知識や技術を身につけたい」は、自営・自由業で 39.7%と高くなっている。



図Ⅲ－７－４　生涯学習活動を通じて身につけた知識・技能や経験の生かし方（職業別）

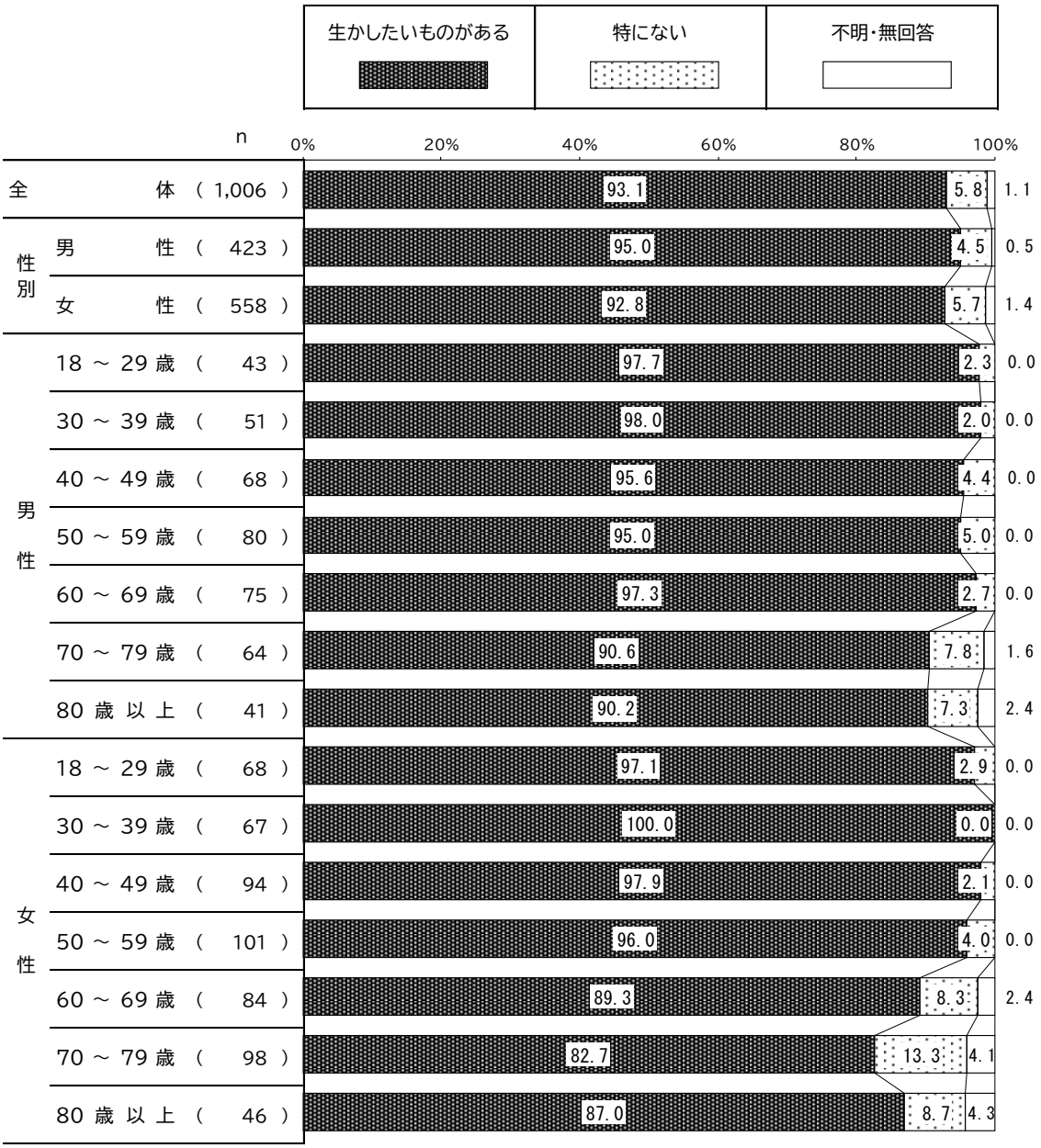
■生涯学習活動を通じて身につけた知識・技能や経験の活用意向

生涯学習活動を通じて身につけた知識・技能や経験を生かしたいか否かの割合をみるため、回答選択肢１～10（P113、調査票参照）の中から１つ以上選んだ方を「生かしたいものがある」として、集計を行った。

全体で、生涯学習活動を通じて身につけた知識・技能や経験の活用意向がある方の割合をみると、「生かしたいものがある」は 93.1%だった。

性別で比較しても、男女間で大きな差はみられない。

性別×年齢別にみると、「生かしたいものがある」は、女性 60～69 歳から女性 80 歳以上の層で９割を下回っており、他の年齢層と比べて低くなっている。

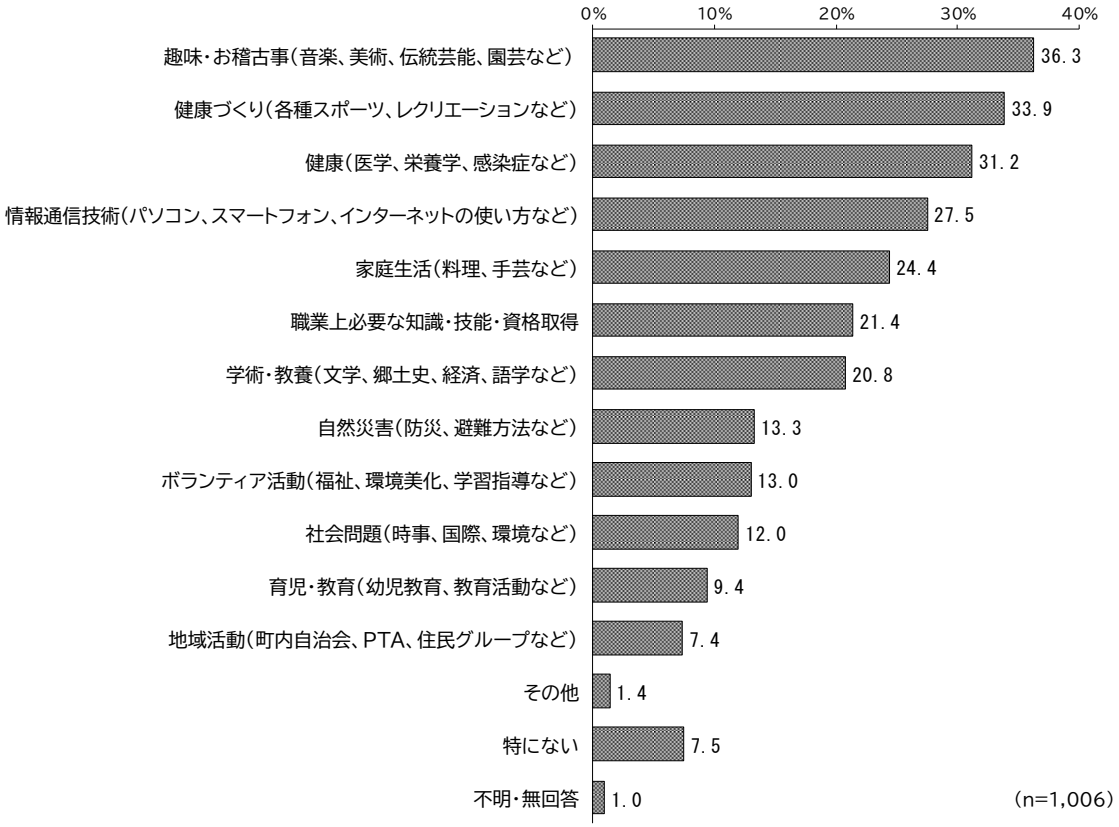


図Ⅲ－７－５　生涯学習活動を通じて身につけた知識・技能や経験の活用意向
（性別／性別×年齢別）

８．今後の生涯学習活動意向

【問８】あなたは、今後どのような生涯学習活動をしてみたいと思いますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

今後どのような生涯学習活動をしてみたいと思うかについてたずねたところ、「趣味・お稽古事（音楽、美術、伝統芸能、園芸など）」が 36.3%で最も高く、次いで「健康づくり（各種スポーツ、レクリエーションなど）」(33.9%)、「健康（医学、栄養学、感染症など）」(31.2%)、「情報通信技術（パソコン、スマートフォン、インターネットの使い方など）」(27.5%)、「家庭生活（料理、手芸など）」(24.4%）などと続いている。

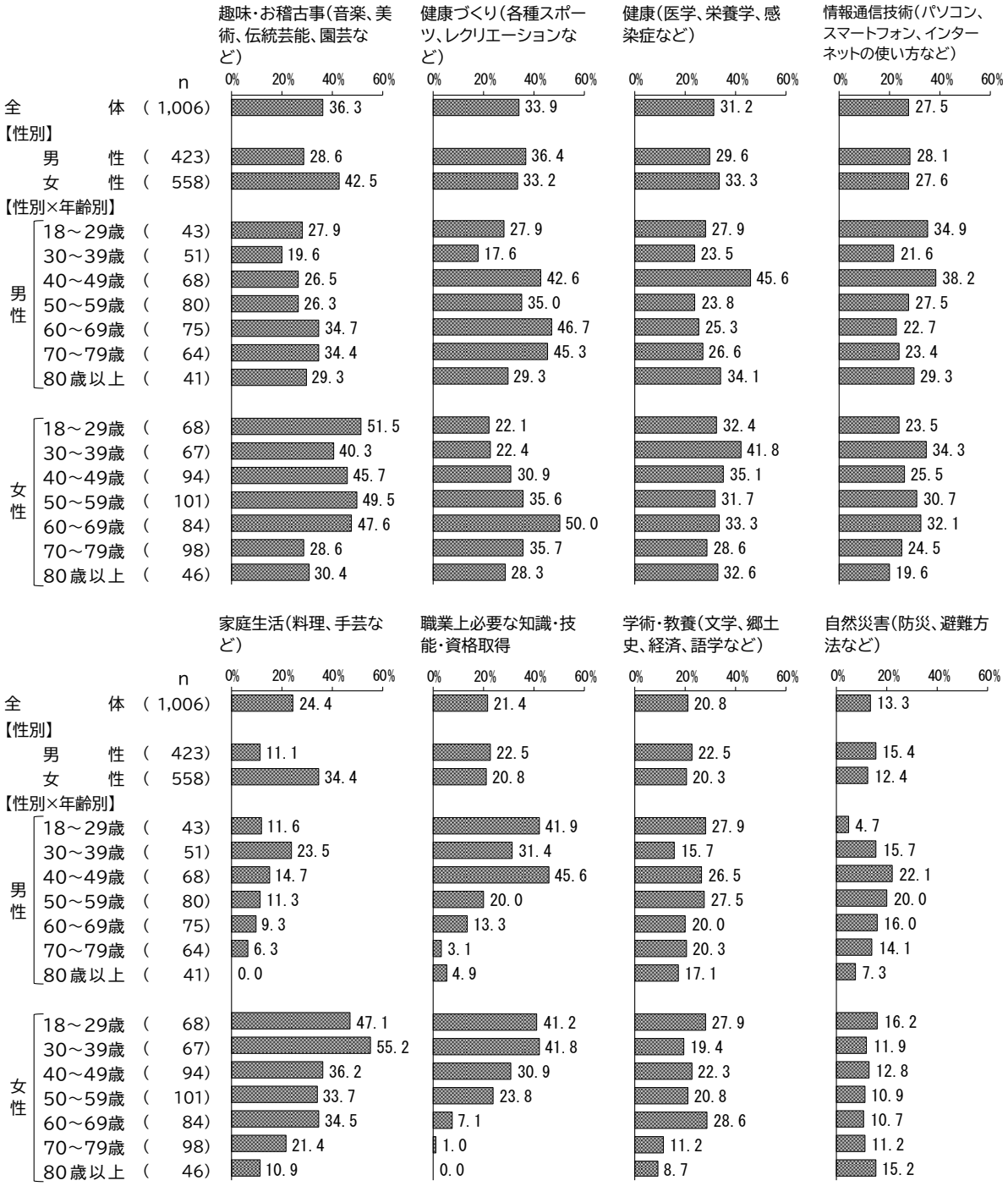


図Ⅲ－８－１　今後の生涯学習活動意向

【性別／性別×年齢別】

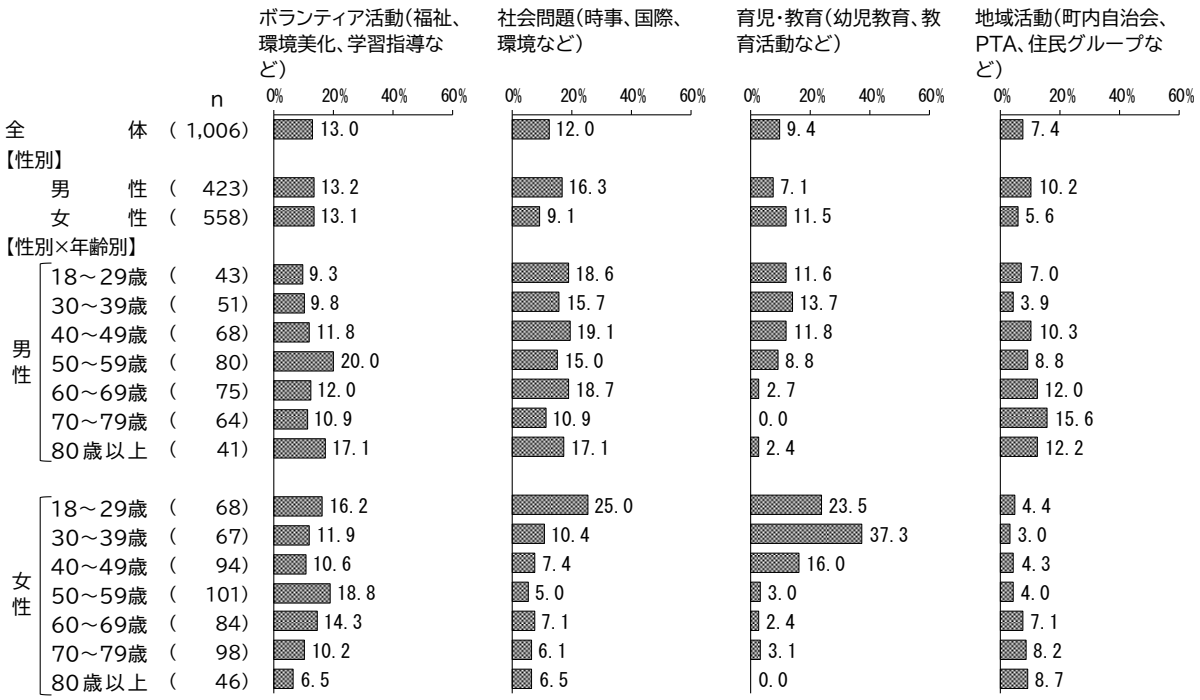
性別にみると、「趣味・お稽古事（音楽、美術、伝統芸能、園芸など）」と「家庭生活（料理、手芸など）」は、女性でそれぞれ 42.5%、34.4%と高くなっている。

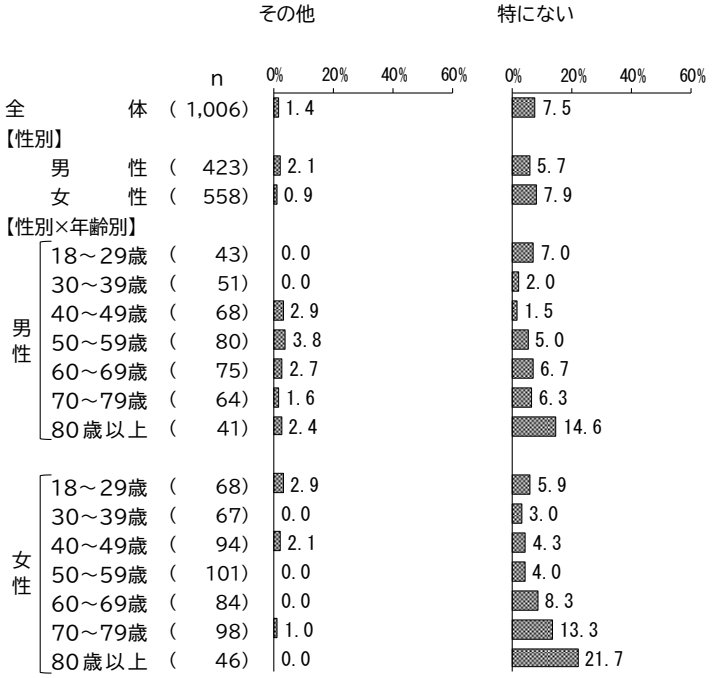
性別×年齢別にみると、「趣味・お稽古事（音楽、美術、伝統芸能、園芸など）」は、女性 18～29 歳で 51.5%、「健康づくり（各種スポーツ、レクリエーションなど）」は、女性 60～69 歳で 50.0%、「家庭生活（料理、手芸など）」は、女性 30～39 歳で 55.2%と高くなっている。また、「健康（医学、栄養学、感染症など）」は、男性 40～49 歳と女性 30～39 歳で、「職業上必要な知識・技能・資格取得」は、男性 18～29 歳と男性 40～49 歳、女性 18～29 歳と女性 30～39 で 4 割を超えて高くなっている。



図Ⅲ－８－２　今後の生涯学習活動意向（性別／性別×年齢別）

【性別／性別×年齢別】（続き）

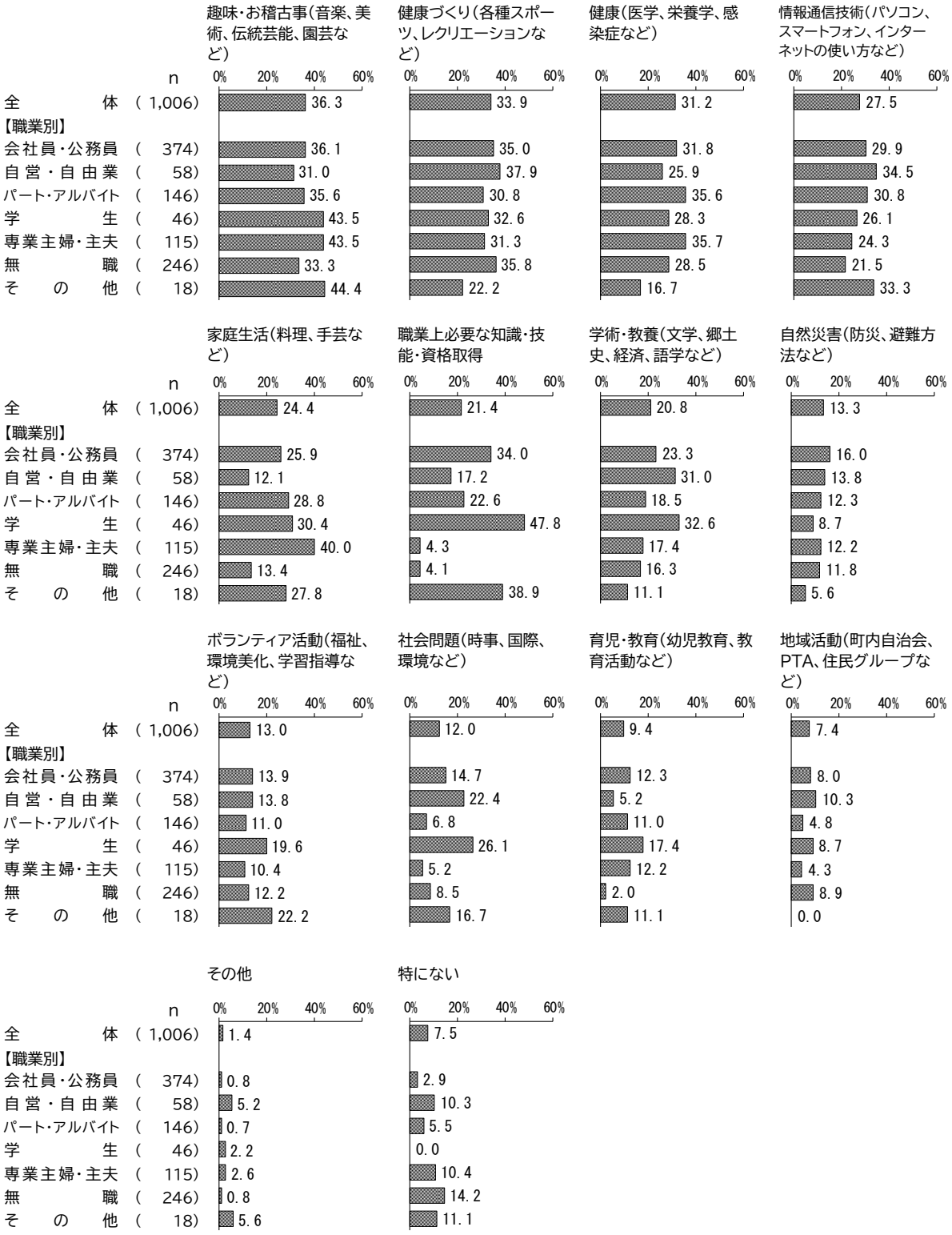




図Ⅲ－８－３　今後の生涯学習活動意向（性別／性別×年齢別）

【職業別】

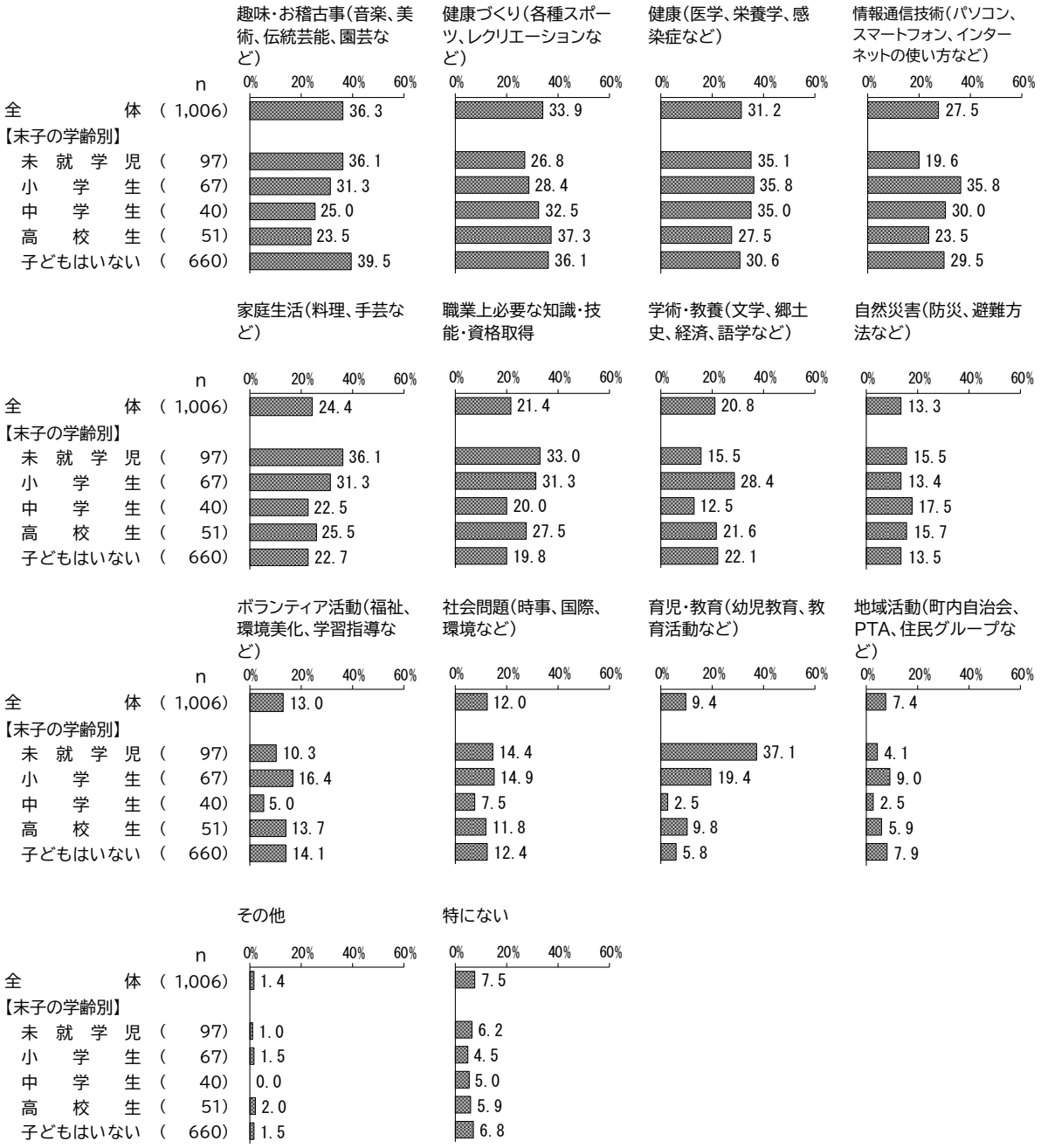
職業別にみると、「職業上必要な知識・技能・資格取得」は、学生で 47.8%、「趣味・お稽古事（音楽、美術、伝統芸能、園芸など)」は、学生と専業主婦・主夫でともに 43.5%、「家庭生活（料理、手芸など)」は、専業主婦・主夫で 40.0%といずれも 4 割を超えて高くなっている。



図Ⅲ－８－４　今後の生涯学習活動意向（職業別）

【末子の学齢別】

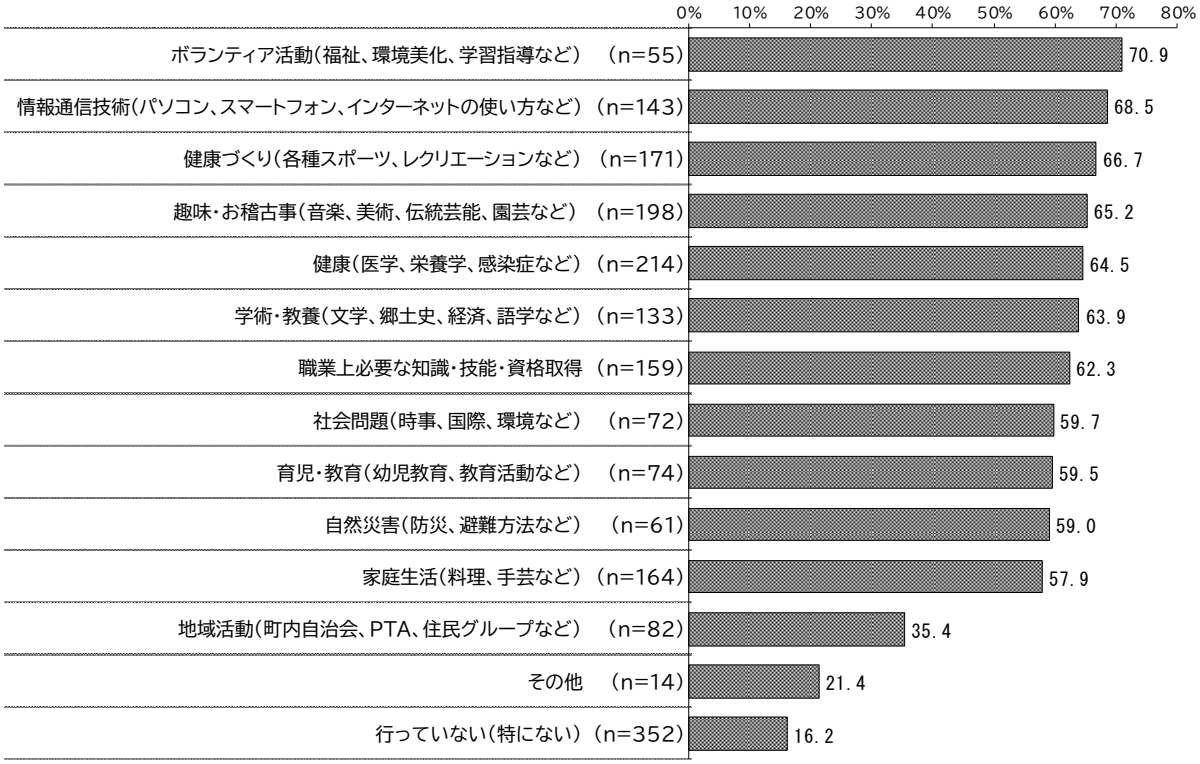
末子の学齢別にみると、「育児・教育（幼児教育、教育活動など）」、「家庭生活（料理、手芸など）」、「職業上必要な知識・技能・資格取得」は、末子に未就学児がいる層でそれぞれ 37.1%、36.1%、33.0%と他の職業に比べて最も高くなっている。「健康（医学、栄養学、感染症など）」と「情報通信技術（パソコン、スマートフォン、インターネットの使い方など）」は、小学生がいる層でともに 35.8%と高くなっている。



図Ⅲ－８－５　今後の生涯学習活動意向（末子の学齢別）

【直近１年間に行った生涯学習活動別】

直近１年間で実際に活動した内容と同じ内容の生涯学習活動を今後行いたいと回答した割合（継続率）をみると、「ボランティア活動（福祉、環境美化、学習指導など）」は７割を超えており、生涯学習活動の継続意向が特に高くなっている。



※各ｎ数は、問３での回答者数を表す

図Ⅲ－８－６　今後の生涯学習活動意向（直近１年間に行った生涯学習活動別）

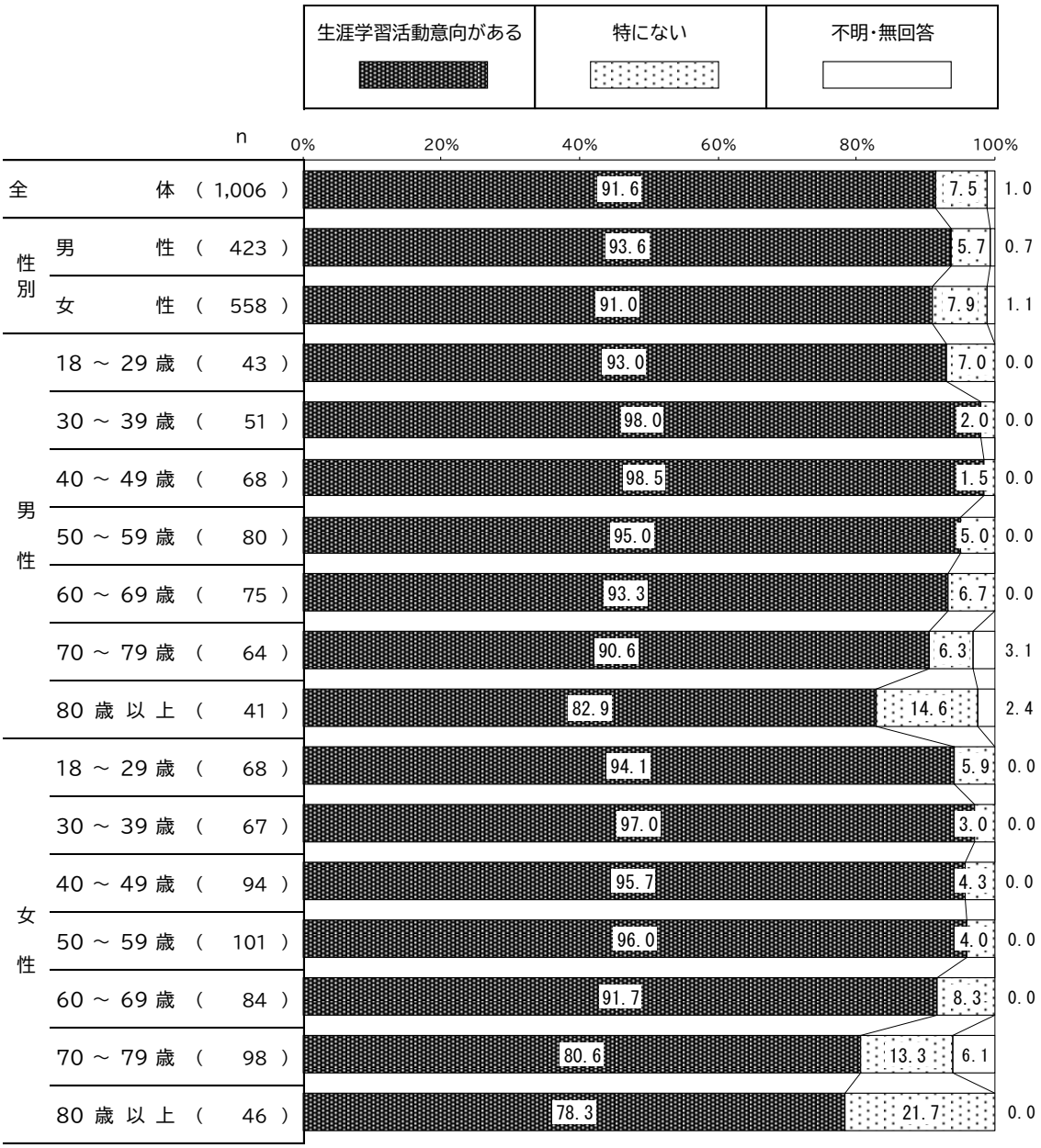
■今後の生涯学習活動の活動意向有無

今後の生涯学習活動の活動意向があるか否かの割合をみるため、回答選択肢１～13（P113、調査票参照）の中から１つ以上選んだ方を「生涯学習活動意向がある」として、集計を行った。

全体で、今後に生涯学習活動の活動意向がある方の割合をみると、91.6%だった。

性別で比較しても、男女間で大きな差はみられない。

性別×年齢別にみると、「生涯学習活動意向がある」は、男性 30～39 歳と男性 40～49 歳で 98.0%を超えて高くなっている。一方、男女ともに 80 歳以上と女性 70～79 歳で「生涯学習活動意向がある」は、8 割前後と他の年齢層と比べて低くなっている。



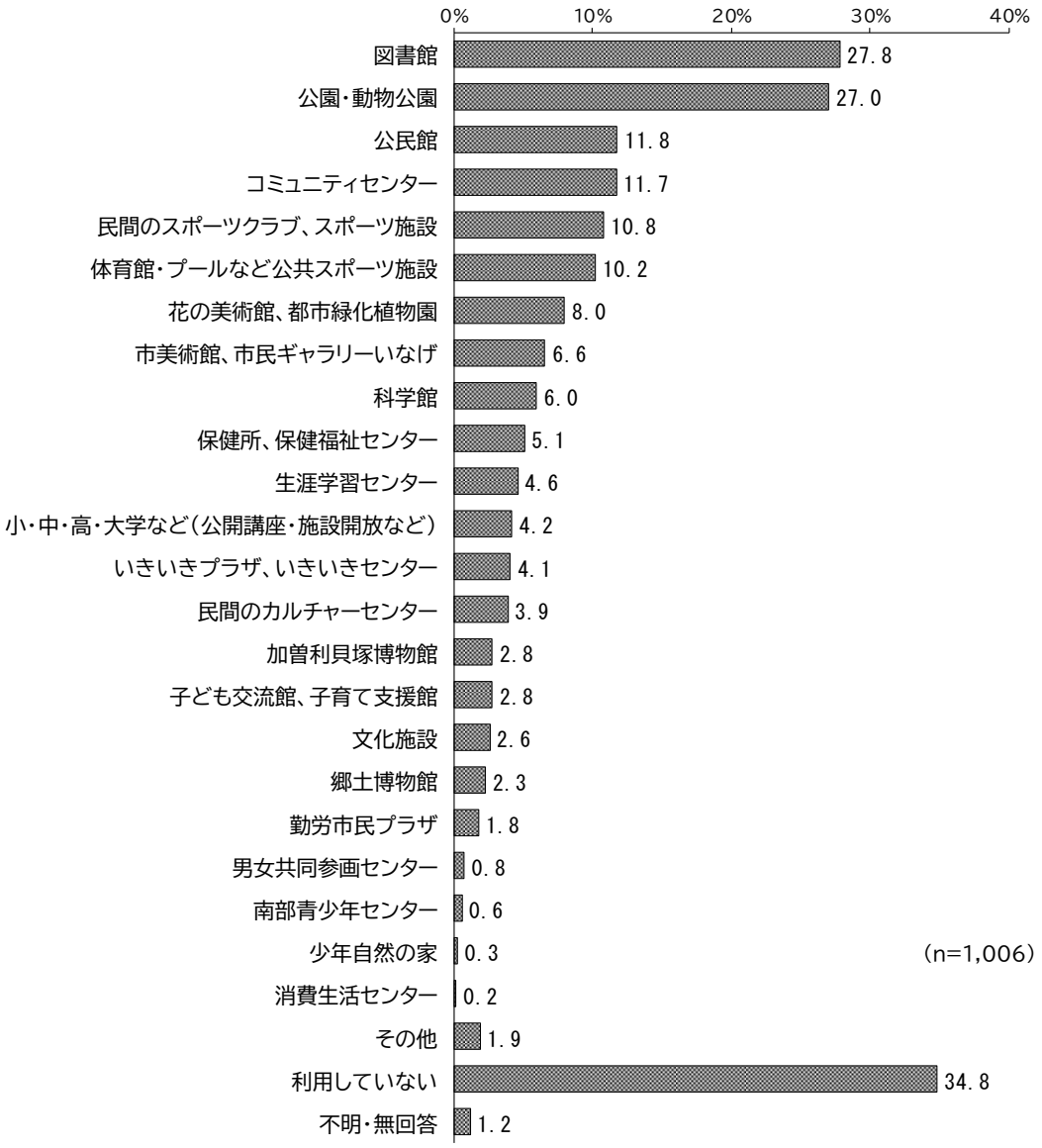
図Ⅲ－８－7　今後の生涯学習活動の活動意向有無（性別／性別×年齢別）

９．この１年間に利用した施設

【問９】あなたは、この１年間にどの施設を利用しましたか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

この１年間にどの施設を利用したかについてたずねたところ、「図書館」が 27.8％で最も高く、僅差で「公園・動物公園」（27.0％）、次いで「公民館」（11.8％）、「コミュニティセンター」（11.7％）、「民間のスポーツクラブ、スポーツ施設」（10.8％）、「体育館・プールなど公共スポーツ施設」（10.2％）などと続いている。

一方、「利用していない」は、34.8％で３割台半ばとなっている。



図Ⅲ－９－１　この１年間に利用した施設

【性別／性別×年齢別】

性別にみると、「民間のスポーツクラブ、スポーツ施設」は、男性で 14.2%と高くなっている。

性別×年齢別にみると、「公園・動物公園」は、女性 30～39 歳で 55.2%と 5 割を超えており、「図書館」は、女性 40～49 歳で 40.4%と 4 割を超えて高くなっている。また、「公民館」は、男女ともに 80 歳以上と女性 70～79 歳で 20.4～26.1%、「小・中・高・大学など（公開講座・施設開放など)」は、男性 18～29 歳で 25.6%、「体育館・プールなど公共スポーツ施設」は、男性 18～29 歳で 20.9%、「科学館」は、女性 30～39 歳で 20.9%と、いずれも 2 割を超えて他の年齢層と比べて高くなっている。

	(n)	図書館	公園・動物公園	公民館	コミュニティセンター	民間のスポーツクラブ、スポーツ施設	体育館・プールなど公共スポーツ施設	花の美術館、都市緑化植物園	市美術館、市民ギャラリーいなげ	科学館
										(%)
全　体	1,006	27.8	27.0	11.8	11.7	10.8	10.2	8.0	6.6	6.0
男　性	423	26.0	26.0	10.2	11.6	14.2	12.8	6.9	4.5	4.7
18～29歳	43	30.2	18.6	9.3	14.0	11.6	20.9	-	-	2.3
30～39歳	51	25.5	33.3	5.9	2.0	13.7	7.8	3.9	2.0	5.9
40～49歳	68	27.9	29.4	2.9	16.2	13.2	23.5	4.4	1.5	14.7
50～59歳	80	25.0	22.5	8.8	12.5	13.8	13.8	6.3	2.5	1.3
60～69歳	75	25.3	25.3	8.0	8.0	18.7	8.0	4.0	5.3	1.3
70～79歳	64	21.9	28.1	18.8	10.9	17.2	9.4	17.2	9.4	3.1
80歳以上	41	29.3	24.4	22.0	17.1	7.3	4.9	12.2	12.2	4.9
女　性	558	29.9	28.3	13.3	12.2	8.6	8.6	9.1	8.2	7.0
18～29歳	68	33.8	27.9	10.3	8.8	7.4	4.4	1.5	4.4	7.4
30～39歳	67	32.8	55.2	9.0	11.9	10.4	11.9	10.4	3.0	20.9
40～49歳	94	40.4	33.0	8.5	13.8	8.5	16.0	6.4	4.3	9.6
50～59歳	101	31.7	24.8	10.9	7.9	5.9	7.9	9.9	4.0	3.0
60～69歳	84	29.8	28.6	11.9	14.3	11.9	8.3	11.9	11.9	8.3
70～79歳	98	21.4	14.3	20.4	14.3	8.2	6.1	11.2	18.4	-
80歳以上	46	13.0	17.4	26.1	15.2	8.7	2.2	13.0	10.9	2.2

	(n)	保健所、保健福祉センター	生涯学習センター	小・中・高・大学など（公開講座・施設開放など）	いきいきプラザ、いきいきセンター	民間のカルチャーセンター	加曽利貝塚博物館	子ども交流館、子育て支援館	文化施設	郷土博物館
										(%)
全　体	1,006	5.1	4.6	4.2	4.1	3.9	2.8	2.8	2.6	2.3
男　性	423	2.6	5.4	4.7	4.0	2.8	2.1	1.9	2.8	2.1
18～29歳	43	-	4.7	25.6	-	2.3	2.3	2.3	4.7	-
30～39歳	51	3.9	-	3.9	2.0	-	2.0	3.9	2.0	-
40～49歳	68	1.5	1.5	1.5	2.9	-	5.9	4.4	1.5	2.9
50～59歳	80	3.8	3.8	3.8	1.3	3.8	2.5	-	3.8	5.0
60～69歳	75	2.7	6.7	4.0	2.7	2.7	-	1.3	1.3	-
70～79歳	64	-	6.3	-	9.4	4.7	1.6	-	3.1	3.1
80歳以上	41	7.3	19.5	-	12.2	7.3	-	2.4	4.9	2.4
女　性	558	7.0	4.1	3.9	4.3	4.5	3.4	3.6	2.5	2.5
18～29歳	68	2.9	2.9	14.7	-	-	1.5	4.4	1.5	1.5
30～39歳	67	17.9	4.5	3.0	-	3.0	3.0	19.4	1.5	3.0
40～49歳	94	16.0	4.3	3.2	-	6.4	3.2	3.2	2.1	5.3
50～59歳	101	3.0	2.0	5.0	-	4.0	1.0	-	4.0	-
60～69歳	84	6.0	7.1	1.2	4.8	6.0	3.6	1.2	2.4	1.2
70～79歳	98	1.0	2.0	1.0	14.3	6.1	6.1	-	4.1	3.1
80歳以上	46	2.2	8.7	-	13.0	4.3	6.5	-	-	4.3

図Ⅲ－９－２　この１年間に利用した施設（性別／性別×年齢別）

【性別／性別×年齢別】（続き）

	(n)	勤労市民プラザ	男女共同参画センター	南部青少年センター	少年自然の家	消費生活センター	その他	利用していない
								(%)
全　体	1,006	1.8	0.8	0.6	0.3	0.2	1.9	34.8
男　性	423	2.6	0.9	0.2	0.5	-	1.7	35.9
18～29歳	43	2.3	-	-	2.3	-	-	30.2
30～39歳	51	-	-	-	-	-	-	45.1
40～49歳	68	2.9	-	1.5	1.5	-	1.5	44.1
50～59歳	80	3.8	-	-	-	-	-	42.5
60～69歳	75	1.3	2.7	-	-	-	4.0	32.0
70～79歳	64	6.3	-	-	-	-	4.7	21.9
80歳以上	41	-	4.9	-	-	-	-	34.1
女　性	558	1.3	0.7	0.9	0.2	0.4	2.2	33.2
18～29歳	68	-	-	-	-	-	1.5	30.9
30～39歳	67	1.5	-	1.5	1.5	-	1.5	22.4
40～49歳	94	1.1	2.1	-	-	2.1	1.1	28.7
50～59歳	101	1.0	-	1.0	-	-	1.0	36.6
60～69歳	84	1.2	1.2	2.4	-	-	2.4	38.1
70～79歳	98	3.1	1.0	1.0	-	-	4.1	33.7
80歳以上	46	-	-	-	-	-	4.3	43.5

図Ⅲ－９－３　この１年間に利用した施設（性別／性別×年齢別）

【職業別】

職業別にみると、「図書館」と「小・中・高・大学など（公開講座・施設開放など）」は、学生でそれぞれ 50.0%、41.3%と突出して高くなっている。

なお、「利用していない」は、パート・アルバイトで 40.4%と高くなっている。

		(n)	図書館	公園・動物公園	公民館	コミュニティセンター	民間のスポーツクラブ、スポーツ施設	体育館・プールなど公共スポーツ施設	花の美術館、都市緑化植物園	市美術館、市民ギャラリーいなげ	科学館
											(%)
全体		1,006	27.8	27.0	11.8	11.7	10.8	10.2	8.0	6.6	6.0
職業別	会社員・公務員	374	28.9	28.1	8.3	11.5	12.0	12.0	7.2	3.7	9.1
	自営・自由業	58	25.9	22.4	13.8	8.6	17.2	6.9	8.6	8.6	3.4
	パート・アルバイト	146	23.3	30.1	7.5	8.2	6.2	9.6	4.8	4.8	4.1
	学生	46	50.0	23.9	15.2	19.6	10.9	19.6	-	-	8.7
	専業主婦・主夫	115	36.5	31.3	13.9	15.7	12.2	11.3	13.0	12.2	4.3
	無職	246	21.5	22.4	17.9	12.2	9.8	6.5	10.6	10.2	2.8
	その他	18	27.8	38.9	11.1	5.6	11.1	11.1	-	5.6	11.1

		(n)	保健所、保健福祉センター	生涯学習センター	小・中・高・大学など（公開講座・施設開放など）	いきいきプラザ、いきいきセンター	民間のカルチャーセンター	加曽利貝塚博物館	子ども交流館、子育て支援館	文化施設	郷土博物館
											(%)
全体		1,006	5.1	4.6	4.2	4.1	3.9	2.8	2.8	2.6	2.3
職業別	会社員・公務員	374	5.1	2.9	3.2	1.1	3.5	3.5	3.7	2.1	2.9
	自営・自由業	58	6.9	6.9	1.7	3.4	6.9	1.7	-	10.3	1.7
	パート・アルバイト	146	6.2	2.7	2.7	3.4	2.7	0.7	0.7	1.4	1.4
	学生	46	2.2	6.5	41.3	-	-	-	4.3	4.3	2.2
	専業主婦・主夫	115	7.8	3.5	2.6	5.2	4.3	4.3	7.0	0.9	1.7
	無職	246	3.3	8.1	0.8	9.8	5.3	3.3	0.8	2.4	2.4
	その他	18	5.6	-	5.6	-	-	-	5.6	5.6	-

		(n)	勤労市民プラザ	男女共同参画センター	南部青少年センター	少年自然の家	消費生活センター	その他	利用していない
									(%)
全体		1,006	1.8	0.8	0.6	0.3	0.2	1.9	34.8
職業別	会社員・公務員	374	1.9	0.3	0.5	0.5	0.3	0.8	39.0
	自営・自由業	58	3.4	-	-	-	-	5.2	27.6
	パート・アルバイト	146	0.7	-	0.7	-	0.7	1.4	40.4
	学生	46	2.2	-	-	-	-	-	10.9
	専業主婦・主夫	115	2.6	-	1.7	0.9	-	2.6	26.1
	無職	246	1.2	2.0	0.4	-	-	3.3	35.0
	その他	18	5.6	11.1	-	-	-	-	38.9

図Ⅲ－９－４　この１年間に利用した施設（職業別）

【末子の学齢別】

末子の学齢別にみると、「公園・動物公園」と「子ども交流館、子育て支援館」は、末子に未就学児がいる層でそれぞれ 56.7%、22.7%と高く、「図書館」、「体育館・プールなど公共スポーツ施設」、「科学館」は、小学生がいる層でそれぞれ 46.3%、26.9%、26.9%と高くなっている。

		(n)	図書館	公園・動物公園	公民館	コミュニティセンター	民間のスポーツクラブ、スポーツ施設	体育館・プールなど公共スポーツ施設	花の美術館、都市緑化植物園	市美術館、市民ギャラリーいなげ	科学館
											(%)
全体		1,006	27.8	27.0	11.8	11.7	10.8	10.2	8.0	6.6	6.0
末子の学齢別	未就学児	97	33.0	56.7	6.2	14.4	9.3	18.6	6.2	1.0	17.5
	小学生	67	46.3	44.8	17.9	11.9	10.4	26.9	6.0	3.0	26.9
	中学生	40	40.0	17.5	15.0	25.0	7.5	17.5	7.5	5.0	5.0
	高校生	51	41.2	23.5	7.8	23.5	19.6	19.6	5.9	2.0	2.0
	子どもはいない	660	24.8	23.0	10.9	9.7	11.2	7.0	8.0	8.2	2.9

		(n)	保健所、保健福祉センター	生涯学習センター	小・中・高・大学など（公開講座・施設開放など）	いきいきプラザ、いきいきセンター	民間のカルチャーセンター	加曽利貝塚博物館	子ども交流館、子育て支援館	文化施設	郷土博物館
											(%)
全体		1,006	5.1	4.6	4.2	4.1	3.9	2.8	2.8	2.6	2.3
末子の学齢別	未就学児	97	15.5	3.1	3.1	3.1	3.1	5.2	22.7	3.1	1.0
	小学生	67	11.9	4.5	9.0	-	-	3.0	4.5	4.5	4.5
	中学生	40	2.5	5.0	7.5	2.5	7.5	5.0	-	2.5	2.5
	高校生	51	2.0	3.9	5.9	-	2.0	-	-	2.0	-
	子どもはいない	660	3.6	4.7	3.9	4.8	4.4	2.6	0.5	2.1	2.4

		(n)	勤労市民プラザ	男女共同参画センター	南部青少年センター	少年自然の家	消費生活センター	その他	利用していない
									(%)
全体		1,006	1.8	0.8	0.6	0.3	0.2	1.9	34.8
末子の学齢別	未就学児	97	-	1.0	1.0	-	-	-	25.8
	小学生	67	-	-	-	3.0	3.0	-	19.4
	中学生	40	2.5	-	2.5	-	-	2.5	30.0
	高校生	51	7.8	-	-	-	-	2.0	21.6
	子どもはいない	660	1.8	1.1	0.5	0.2	-	2.1	38.8

図Ⅲ－９－５　この１年間に利用した施設（末子の学齢別）

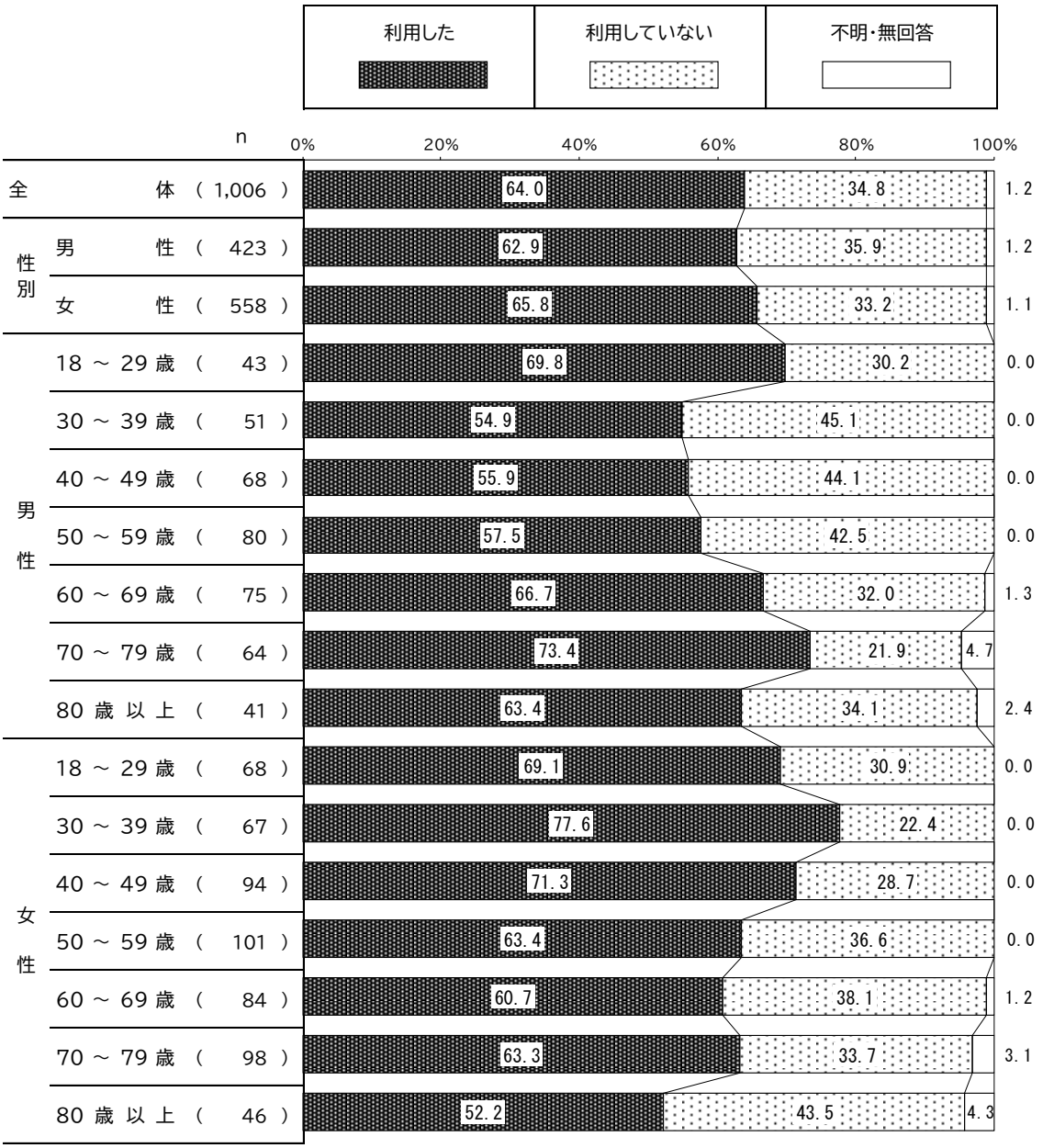
■この１年間の施設の利用有無

この１年間に生涯学習関連施設を利用したか否かの割合をみるため、回答選択肢１～24（P113、調査票参照）の中から１つ以上選んだ方を「利用した」として、集計を行った。

全体で、この１年間に施設を利用した方の割合をみると、64.0%だった。

性別で比較しても、男女間で大きな差はみられない。

性別×年齢別にみると、「利用した」は、女性 30～39 歳と男性 70～79 歳でそれぞれ 77.6%、73.4%と７割を超えて高くなっている。一方、「利用していない」は、男性 30～39 歳から男性 50～59 歳までと女性 80 歳以上で４割を超え、他の年齢層と比べて高くなっている。

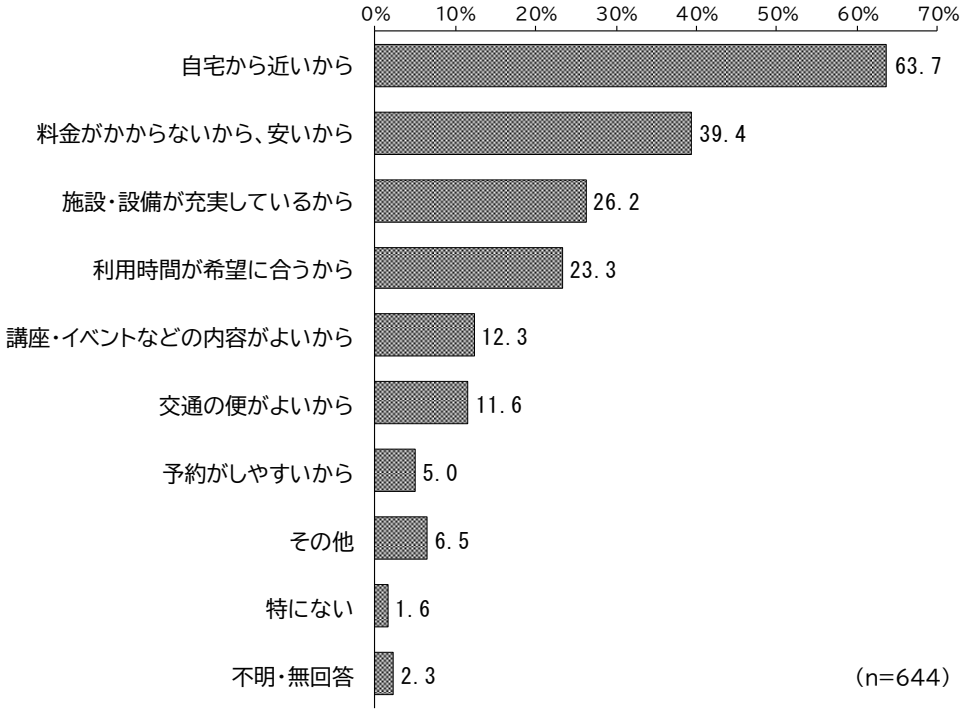


図Ⅲ－９－６　この１年間の施設の利用有無（性別／性別×年齢別）

１０．施設を利用する理由

問９で１～２４に○印をつけた方（生涯学習関連施設をこの１年間に利用した方）におたずねします。
【問１０】その施設を利用する理由は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

この１年間に生涯学習関連施設を利用したと回答した方に、その施設を利用する理由についてたずねたところ、「自宅から近いから」が 63.7%で最も高く、次いで「料金がかからないから、安いから」(39.4%)、「施設・設備が充実しているから」(26.2%)、「利用時間が希望に合うから」(23.3%)、「講座・イベントなどの内容がよいから」(12.3%) などと続いている。

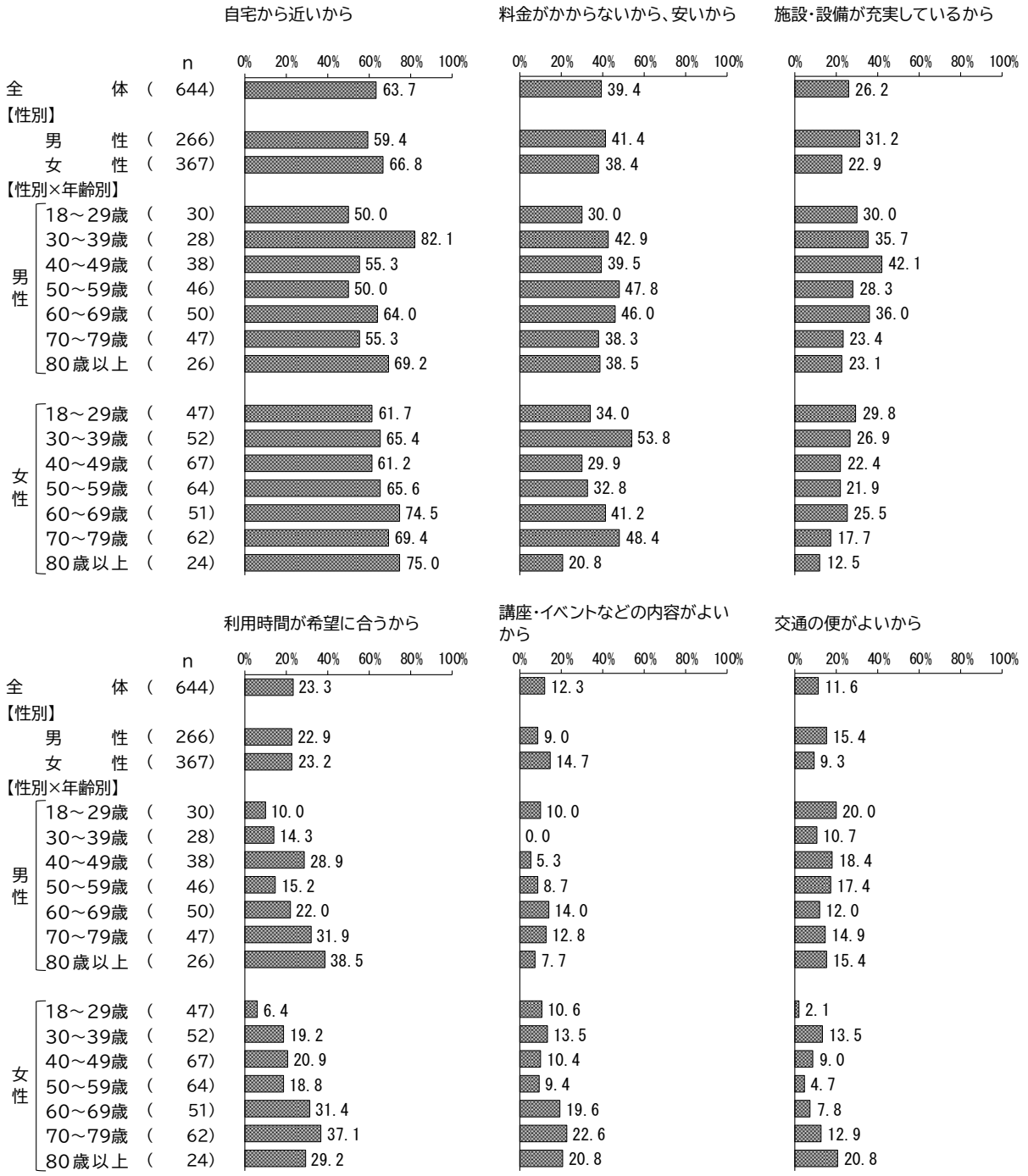


図Ⅲ－１０－１　施設を利用する理由

【性別／性別×年齢別】

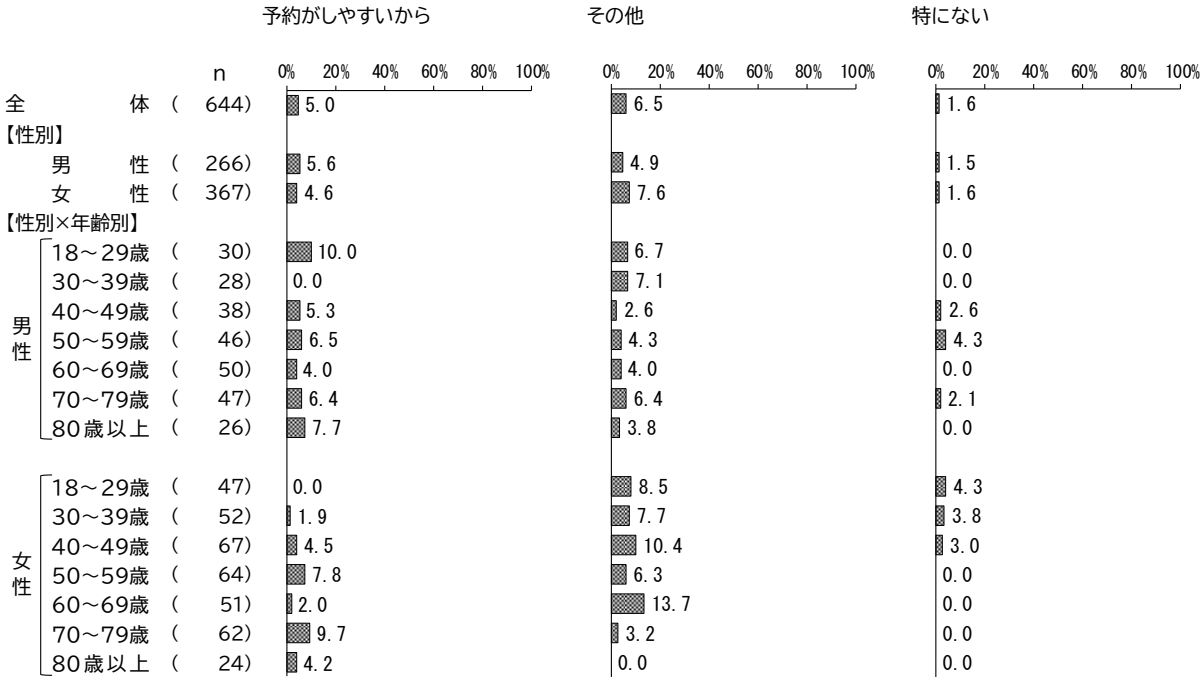
性別にみると、「施設・設備が充実しているから」は、男性が 31.2%と高くなっている。

年齢別にみると、「自宅から近いから」は、男性 30～39 歳で 82.1%と 8 割を超えて最も高くなっている。「料金がかからないから、安いから」は、女性 30～39 歳で 53.8%、「施設・設備が充実しているから」は、男性 40～49 歳で 42.1%、「利用時間が希望に合うから」は、男性 80 歳以上と女性 70～79 歳でそれぞれ 38.5%、37.1%と、他の年齢層と比べて高くなっている。



図Ⅲ－１０－２　施設を利用する理由（性別／性別×年齢別）

【性別／性別×年齢別】（続き）

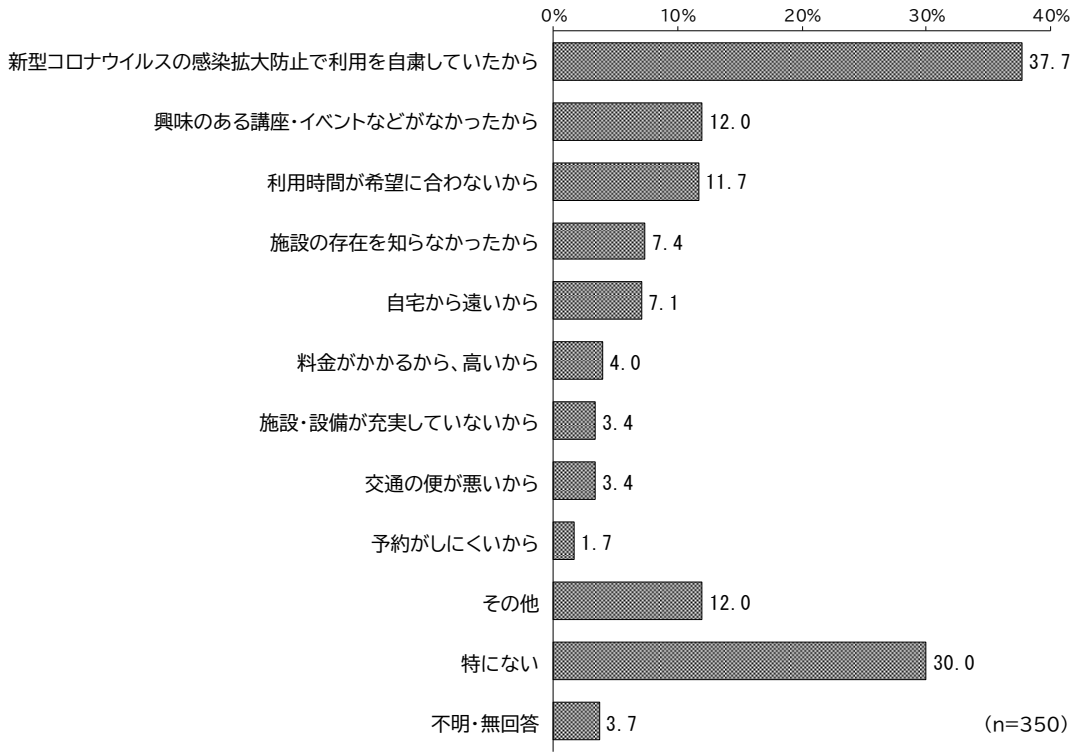


図Ⅲ－１０－３　施設を利用する理由（性別／性別×年齢別）

１１．施設を利用しなかった理由

問９で２５に○印をつけた方（生涯学習関連施設をこの１年間に利用しなかった方）におたずねします。
【問１１】施設を利用しなかった理由は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

この１年間に生涯学習関連施設を利用しなかったと回答した方に、施設を利用しなかった理由についてたずねたところ、「新型コロナウイルスの感染拡大防止で利用を自粛していたから」が 37.7%で突出して高く、次いで「興味のある講座・イベントなどがなかったから」(12.0%)、「利用時間が希望に合わないから」(11.7%) などと続いている。
一方、「特にない」は、30.0%でちょうど 3 割となっている。

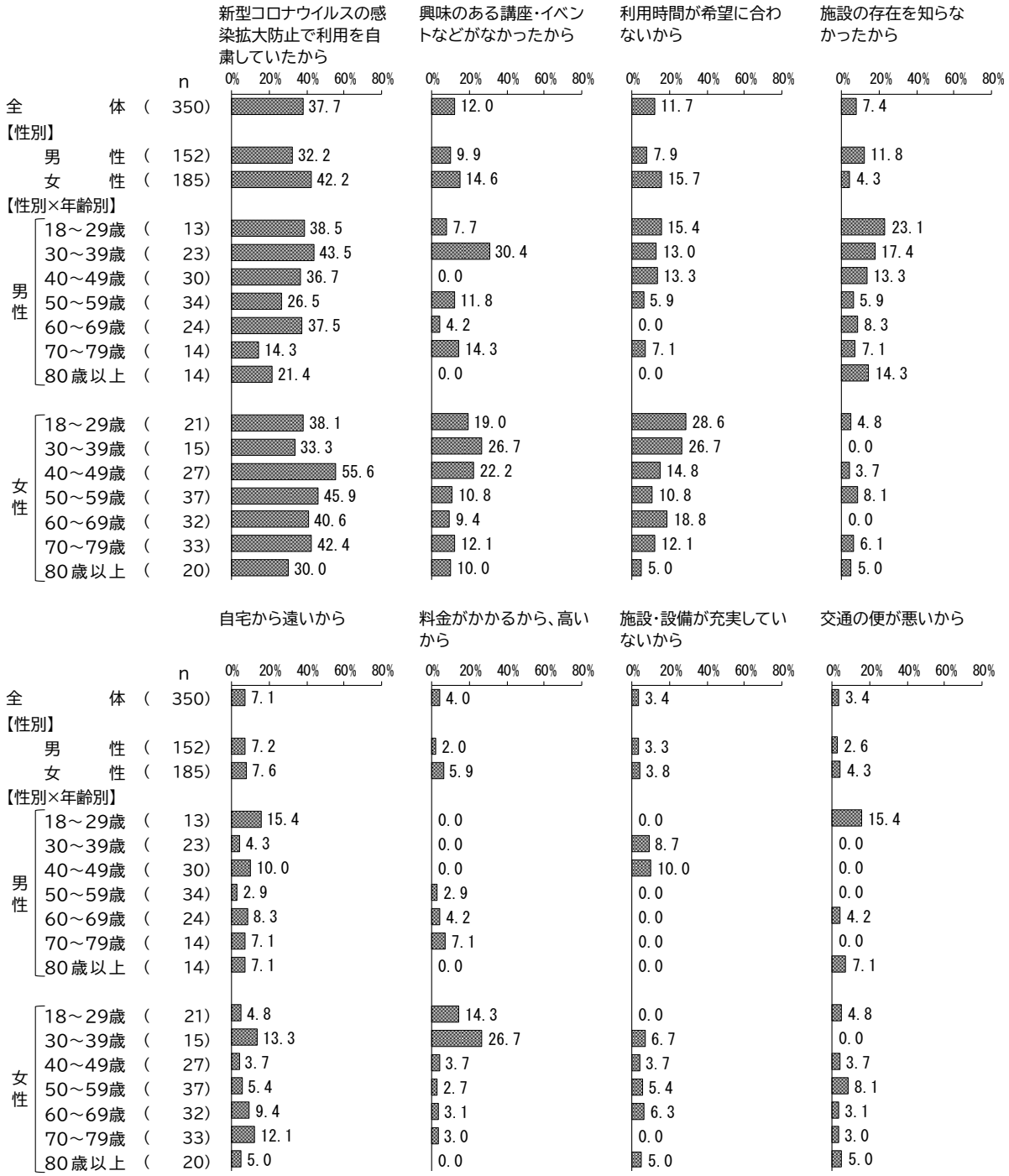


図Ⅲ－１１－１　施設を利用しなかった理由

【性別／性別×年齢別】

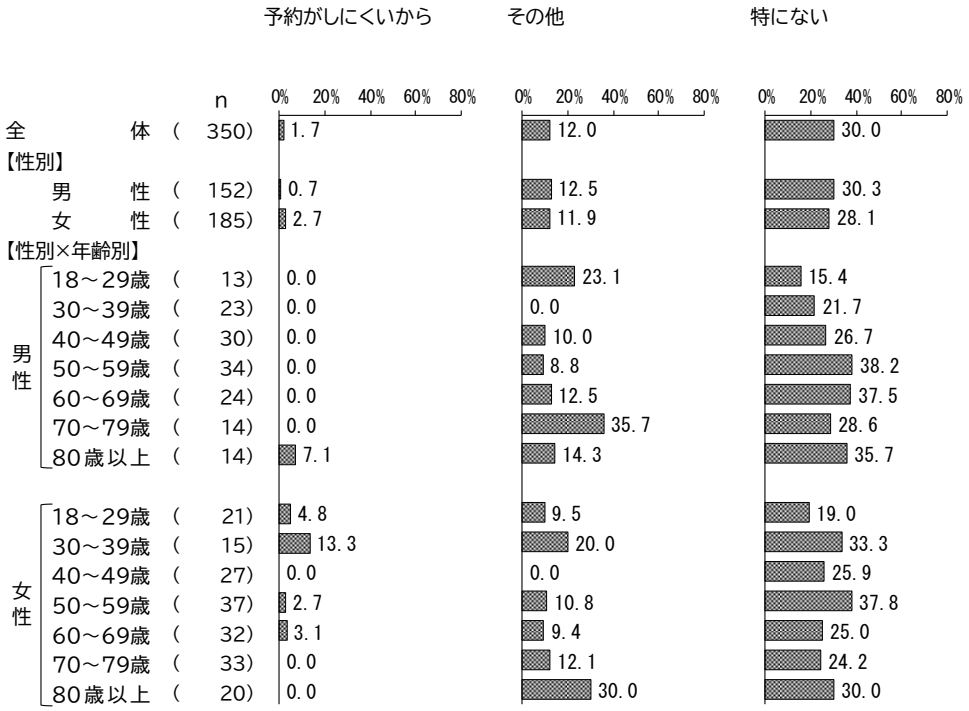
性別にみると、「利用時間が希望に合わないから」は、女性が 15.7%と高く、「施設の存在を知らなかったから」は、男性が 11.8%と高くなっている。

年齢別にみると、「新型コロナウイルスの感染拡大防止で利用を自粛していたから」は、女性 40～49 歳で 55.6%と 5 割を超えて最も高くなっている。「興味のある講座・イベントなどがなかったから」は、男性 30～39 歳で 30.4%、「利用時間が希望に合わないから」は、女性 18～29 歳で 28.6%と、他の年齢層と比べて高くなっている。



図Ⅲ－１１－２　施設を利用しなかった理由（性別／性別×年齢別）

【性別／性別×年齢別】（続き）

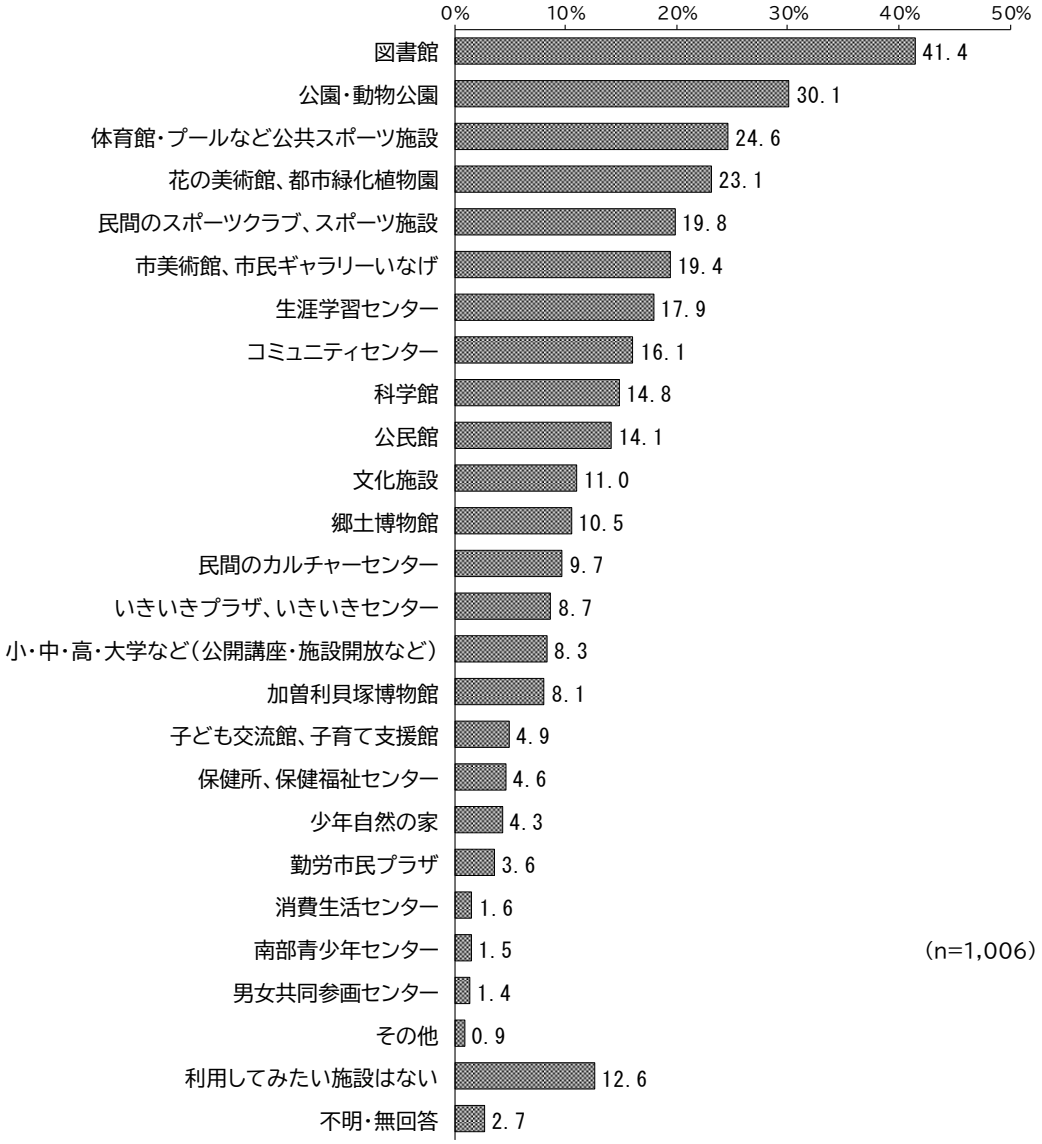


図Ⅲ－１１－３　施設を利用しなかった理由（性別／性別×年齢別）

１２．今後利用してみたい施設

全員の方におたずねします。
【問１２】あなたが、今後利用してみたい施設はどれですか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

今後利用してみたい施設についてたずねたところ、「図書館」が 41.4%で最も高く、次いで「公園・動物公園」（30.1%）、「体育館・プールなど公共スポーツ施設」（24.6%）、「花の美術館、都市緑化植物園」（23.1%）、「民間のスポーツクラブ、スポーツ施設」（19.8%）、「市美術館、市民ギャラリーいなげ」（19.4%）などと続いている。



図Ⅲ－１２－１　今後利用してみたい施設

【性別／性別×年齢別】

性別にみると、「花の美術館、都市緑化植物園」は、女性で 28.3%と高く、「民間のスポーツクラブ、スポーツ施設」は、男性で 23.6%と高くなっている。

性別×年齢別にみると、「図書館」は、女性 30～39 歳で 52.2%と 5 割を超えており、「公園・動物公園」も、女性 30～39 歳で 49.3%と 5 割近くと高くなっている。また、「体育館・プールなど公共スポーツ施設」は、男性 18～29 歳、男女ともに 30～39 歳と 40～49 歳で 31.4～38.8%、「花の美術館、都市緑化植物園」は、女性 50～59 歳と女性 60～69 歳でそれぞれ 31.7%、38.1%と、いずれも 3 割を超えて他の年齢層と比べて高くなっている。なお、「公民館」は、女性 70～79 歳と女性 80 歳以上でそれぞれ 29.6%、28.3%と、どちらも 3 割近く他の年齢層と比べて高くなっている。

	(n)	図書館	公園・動物公園	体育館・プールなど公共スポーツ施設	花の美術館、都市緑化植物園	民間のスポーツクラブ、スポーツ施設	市美術館、市民ギャラリーいなげ	生涯学習センター	コミュニティセンター	科学館
全　体	1,006	41.4	30.1	24.6	23.1	19.8	19.4	17.9	16.1	14.8
男　性	423	41.8	28.8	27.9	16.5	23.6	16.1	17.3	15.6	14.7
18～29歳	43	37.2	20.9	37.2	4.7	27.9	11.6	7.0	4.7	16.3
30～39歳	51	45.1	27.5	31.4	13.7	17.6	11.8	7.8	9.8	15.7
40～49歳	68	41.2	38.2	36.8	19.1	25.0	17.6	22.1	20.6	25.0
50～59歳	80	43.8	27.5	26.3	10.0	26.3	13.8	21.3	15.0	13.8
60～69歳	75	46.7	28.0	26.7	21.3	28.0	20.0	18.7	17.3	16.0
70～79歳	64	37.5	32.8	23.4	23.4	21.9	17.2	21.9	20.3	6.3
80歳以上	41	39.0	22.0	12.2	22.0	12.2	19.5	14.6	17.1	7.3
女　性	558	41.6	31.7	22.8	28.3	17.4	22.0	18.6	17.0	15.1
18～29歳	68	48.5	23.5	22.1	29.4	10.3	23.5	16.2	10.3	22.1
30～39歳	67	52.2	49.3	38.8	22.4	25.4	19.4	10.4	11.9	29.9
40～49歳	94	39.4	36.2	37.2	27.7	20.2	19.1	18.1	18.1	21.3
50～59歳	101	46.5	33.7	22.8	31.7	20.8	23.8	24.8	21.8	9.9
60～69歳	84	41.7	36.9	22.6	38.1	20.2	32.1	26.2	22.6	17.9
70～79歳	98	35.7	20.4	8.2	26.5	14.3	20.4	16.3	15.3	2.0
80歳以上	46	21.7	19.6	2.2	15.2	4.3	10.9	13.0	15.2	4.3

(%)

	(n)	公民館	文化施設	郷土博物館	民間のカルチャーセンター	いきいきプラザ、いきいきセンター	小・中・高・大学など（公開講座・施設開放など）	加曽利貝塚博物館	子ども交流館、子育て支援館	保健所、保健福祉センター
全　体	1,006	14.1	11.0	10.5	9.7	8.7	8.3	8.1	4.9	4.6
男　性	423	11.1	11.3	13.2	7.1	8.7	9.0	8.0	3.3	2.4
18～29歳	43	7.0	4.7	7.0	4.7	－	16.3	2.3	2.3	－
30～39歳	51	2.0	7.8	17.6	2.0	－	3.9	7.8	11.8	2.0
40～49歳	68	7.4	13.2	17.6	7.4	10.3	11.8	16.2	5.9	5.9
50～59歳	80	12.5	10.0	13.8	8.8	2.5	16.3	7.5	－	2.5
60～69歳	75	10.7	18.7	18.7	13.3	9.3	8.0	8.0	1.3	4.0
70～79歳	64	18.8	9.4	6.3	3.1	21.9	1.6	6.3	1.6	－
80歳以上	41	19.5	12.2	7.3	7.3	17.1	2.4	4.9	2.4	－
女　性	558	16.5	11.1	8.6	11.6	9.0	7.9	7.9	6.3	6.3
18～29歳	68	10.3	8.8	5.9	4.4	－	10.3	4.4	8.8	5.9
30～39歳	67	9.0	10.4	13.4	10.4	1.5	9.0	7.5	28.4	10.4
40～49歳	94	7.4	7.4	8.5	11.7	2.1	8.5	8.5	4.3	7.4
50～59歳	101	12.9	12.9	5.0	22.8	3.0	10.9	6.9	1.0	5.0
60～69歳	84	20.2	16.7	10.7	8.3	14.3	7.1	8.3	3.6	7.1
70～79歳	98	29.6	8.2	8.2	11.2	22.4	4.1	5.1	2.0	5.1
80歳以上	46	28.3	15.2	10.9	6.5	21.7	4.3	19.6	－	2.2

(%)

図Ⅲ－１２－２　今後利用してみたい施設（性別／性別×年齢別）

【性別／性別×年齢別】（続き）

	(n)	少年自然の家	勤労市民プラザ	消費生活センター	南部青少年センター	男女共同参画センター	その他	利用してみたい施設はない
								(%)
全　体	1,006	4.3	3.6	1.6	1.5	1.4	0.9	12.6
男　性	423	5.0	5.2	1.9	1.4	1.7	1.2	11.8
18～29歳	43	-	-	2.3	2.3	-	-	11.6
30～39歳	51	5.9	2.0	-	-	-	3.9	13.7
40～49歳	68	14.7	7.4	5.9	5.9	2.9	1.5	10.3
50～59歳	80	6.3	8.8	-	1.3	-	-	13.8
60～69歳	75	1.3	6.7	4.0	-	2.7	-	13.3
70～79歳	64	3.1	4.7	-	-	4.7	1.6	9.4
80歳以上	41	-	2.4	-	-	-	2.4	9.8
女　性	558	3.9	2.5	1.4	1.6	1.3	0.5	12.9
18～29歳	68	7.4	-	1.5	1.5	-	-	22.1
30～39歳	67	9.0	1.5	-	3.0	-	1.5	14.9
40～49歳	94	6.4	3.2	2.1	-	1.1	-	8.5
50～59歳	101	5.0	3.0	-	3.0	1.0	1.0	8.9
60～69歳	84	-	4.8	1.2	2.4	2.4	-	4.8
70～79歳	98	-	2.0	2.0	-	2.0	1.0	17.3
80歳以上	46	-	2.2	4.3	2.2	2.2	-	19.6

図Ⅲ－１２－３　今後利用してみたい施設（性別／性別×年齢別）

【職業別】

職業別にみると、「図書館」と「小・中・高・大学など（公開講座・施設開放など）」は、学生でそれぞれ 54.3%、26.1%と他の職業に比べて高くなっている。「花の美術館、都市緑化植物園」は、専業主婦・主夫で 32.2%、「体育館・プールなど公共スポーツ施設」、「民間のスポーツクラブ、スポーツ施設」、「科学館」は、会社員・公務員でそれぞれ 32.1%、24.9%、21.1%、「公民館」と「いきいきプラザ、いきいきセンター」は、無職でそれぞれ 20.7%、15.9%、「加曽利貝塚博物館」と「郷土博物館」は、自営・自由業でともに 17.2%と他の職業に比べて高くなっている。

		(n)	図書館	公園・動物公園	体育館・プールなど公共スポーツ施設	花の美術館、都市緑化植物園	民間のスポーツクラブ、スポーツ施設	市美術館、市民ギャラリーいなげ	生涯学習センター	コミュニティセンター	科学館
											(%)
全体		1,006	41.4	30.1	24.6	23.1	19.8	19.4	17.9	16.1	14.8
職業別	会社員・公務員	374	43.3	32.1	32.1	21.7	24.9	19.5	19.5	16.6	21.1
	自営・自由業	58	43.1	27.6	25.9	19.0	15.5	25.9	24.1	15.5	17.2
	パート･アルバイト	146	42.5	26.7	24.0	20.5	20.5	18.5	13.7	14.4	12.3
	学生	46	54.3	26.1	32.6	17.4	26.1	15.2	15.2	6.5	21.7
	専業主婦・主夫	115	42.6	34.8	20.9	32.2	16.5	20.9	15.7	16.5	11.3
	無職	246	34.6	27.2	12.6	24.0	12.6	17.9	17.5	17.9	6.1
	その他	18	38.9	38.9	33.3	27.8	22.2	22.2	27.8	22.2	16.7

		(n)	公民館	文化施設	郷土博物館	民間のカルチャーセンター	いきいきプラザ、いきいきセンター	小・中・高・大学など（公開講座・施設開放など）	加曽利貝塚博物館	子ども交流館、子育て支援館	保健所、保健福祉センター
											(%)
全体		1,006	14.1	11.0	10.5	9.7	8.7	8.3	8.1	4.9	4.6
職業別	会社員・公務員	374	11.0	10.4	12.3	10.4	2.7	9.6	7.8	6.7	4.5
	自営・自由業	58	10.3	13.8	17.2	15.5	10.3	5.2	17.2	1.7	10.3
	パート･アルバイト	146	9.6	11.0	10.3	11.0	10.3	7.5	10.3	6.2	4.1
	学生	46	13.0	13.0	4.3	4.3	-	26.1	-	4.3	4.3
	専業主婦・主夫	115	17.4	11.3	11.3	9.6	14.8	6.1	6.1	6.1	7.0
	無職	246	20.7	10.2	6.9	7.7	15.9	5.3	7.3	1.6	2.8
	その他	18	22.2	22.2	16.7	11.1	5.6	5.6	11.1	5.6	-

		(n)	少年自然の家	勤労市民プラザ	消費生活センター	南部青少年センター	男女共同参画センター	その他	利用してみたい施設はない
									(%)
全体		1,006	4.3	3.6	1.6	1.5	1.4	0.9	12.6
職業別	会社員・公務員	374	6.7	4.5	2.4	2.1	1.3	1.1	13.1
	自営・自由業	58	-	8.6	3.4	-	1.7	1.7	10.3
	パート･アルバイト	146	3.4	2.7	0.7	0.7	-	1.4	13.0
	学生	46	6.5	-	2.2	2.2	-	-	8.7
	専業主婦・主夫	115	7.0	3.5	0.9	2.6	1.7	-	8.7
	無職	246	0.4	2.0	0.8	0.4	2.4	0.4	15.0
	その他	18	5.6	5.6	-	5.6	-	5.6	11.1

図Ⅲ－１２－４　今後利用してみたい施設（職業別）

【末子の学齢別】

末子の学齢別にみると、「公園・動物公園」は、末子に未就学児がいる層で 46.4％と高く、「体育館・プールなど公共スポーツ施設」は、未就学児、高校生、小学生がいる層でそれぞれ 46.4％、39.2％、38.8％、「子ども交流館、子育て支援館」は、未就学児がいる層で 30.9％、「科学館」は、小学生と未就学児がいる層でそれぞれ 28.4％、27.8％、「コミュニティセンター」は、中学生がいる層で 27.5％と他の学齢層と比べて高くなっている。

		(n)	図書館	公園・動物公園	体育館・プールなど公共スポーツ施設	花の美術館、都市緑化植物園	民間のスポーツクラブ、スポーツ施設	市美術館、市民ギャラリーいなげ	生涯学習センター	コミュニティセンター	科学館
全体		1,006	41.4	30.1	24.6	23.1	19.8	19.4	17.9	16.1	14.8
末子の学齢別	未就学児	97	45.4	46.4	46.4	20.6	25.8	16.5	10.3	19.6	27.8
	小学生	67	35.8	31.3	38.8	23.9	19.4	19.4	16.4	10.4	28.4
	中学生	40	35.0	20.0	22.5	25.0	20.0	25.0	22.5	27.5	17.5
	高校生	51	41.2	27.5	39.2	17.6	23.5	13.7	17.6	17.6	17.6
	子どもはいない	660	43.5	28.6	20.8	23.6	19.1	20.8	20.0	15.9	12.3

(%)

		(n)	公民館	文化施設	郷土博物館	民間のカルチャーセンター	いきいきプラザ、いきいきセンター	小・中・高・大学など（公開講座・施設開放など）	加曽利貝塚博物館	子ども交流館、子育て支援館	保健所、保健福祉センター
全体		1,006	14.1	11.0	10.5	9.7	8.7	8.3	8.1	4.9	4.6
末子の学齢別	未就学児	97	12.4	8.2	16.5	6.2	6.2	9.3	9.3	30.9	9.3
	小学生	67	9.0	10.4	10.4	7.5	3.0	14.9	13.4	9.0	6.0
	中学生	40	10.0	12.5	7.5	5.0	5.0	2.5	12.5	2.5	－
	高校生	51	9.8	3.9	7.8	11.8	5.9	9.8	7.8	－	2.0
	子どもはいない	660	14.7	12.7	10.6	10.9	9.8	8.2	7.3	1.7	4.7

(%)

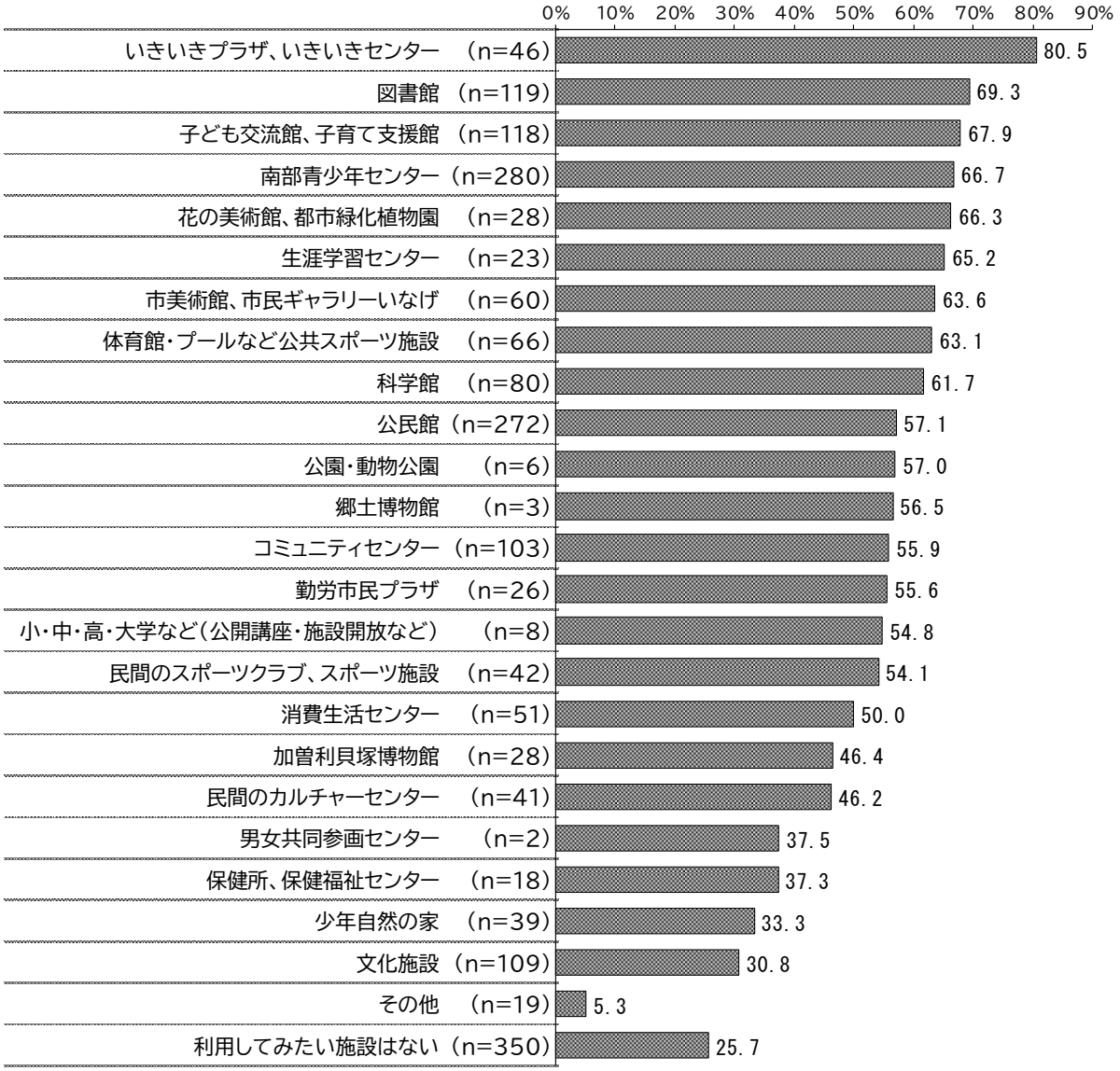
		(n)	少年自然の家	勤労市民プラザ	消費生活センター	南部青少年センター	男女共同参画センター	その他	利用してみたい施設はない
全体		1,006	4.3	1.5	1.4	1.5	1.4	0.9	12.6
末子の学齢別	未就学児	97	13.4	3.1	1.0	3.1	1.0	1.0	9.3
	小学生	67	13.4	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	13.4
	中学生	40	5.0	2.5	－	2.5	－	－	7.5
	高校生	51	11.8	2.0	－	2.0	－	－	5.9
	子どもはいない	660	1.8	1.4	1.8	1.4	1.8	0.8	13.5

(%)

図Ⅲ－１２－５　今後利用してみたい施設（末子の学齢別）

【直近１年間に利用した施設別】

直近１年間で実際に利用した施設と同じ施設を今後利用してみたいと回答した割合（継続率）をみると、「いきいきプラザ、いきいきセンター」は 80.5％と唯一８割を超え、施設の利用継続意向が特に高くなっている。



※n数が10未満の属性は参考に留める

※各ｎ数は、問９での回答者数を表す

図Ⅲ－１２－６　今後利用してみたい施設（直近１年間に利用した施設別）

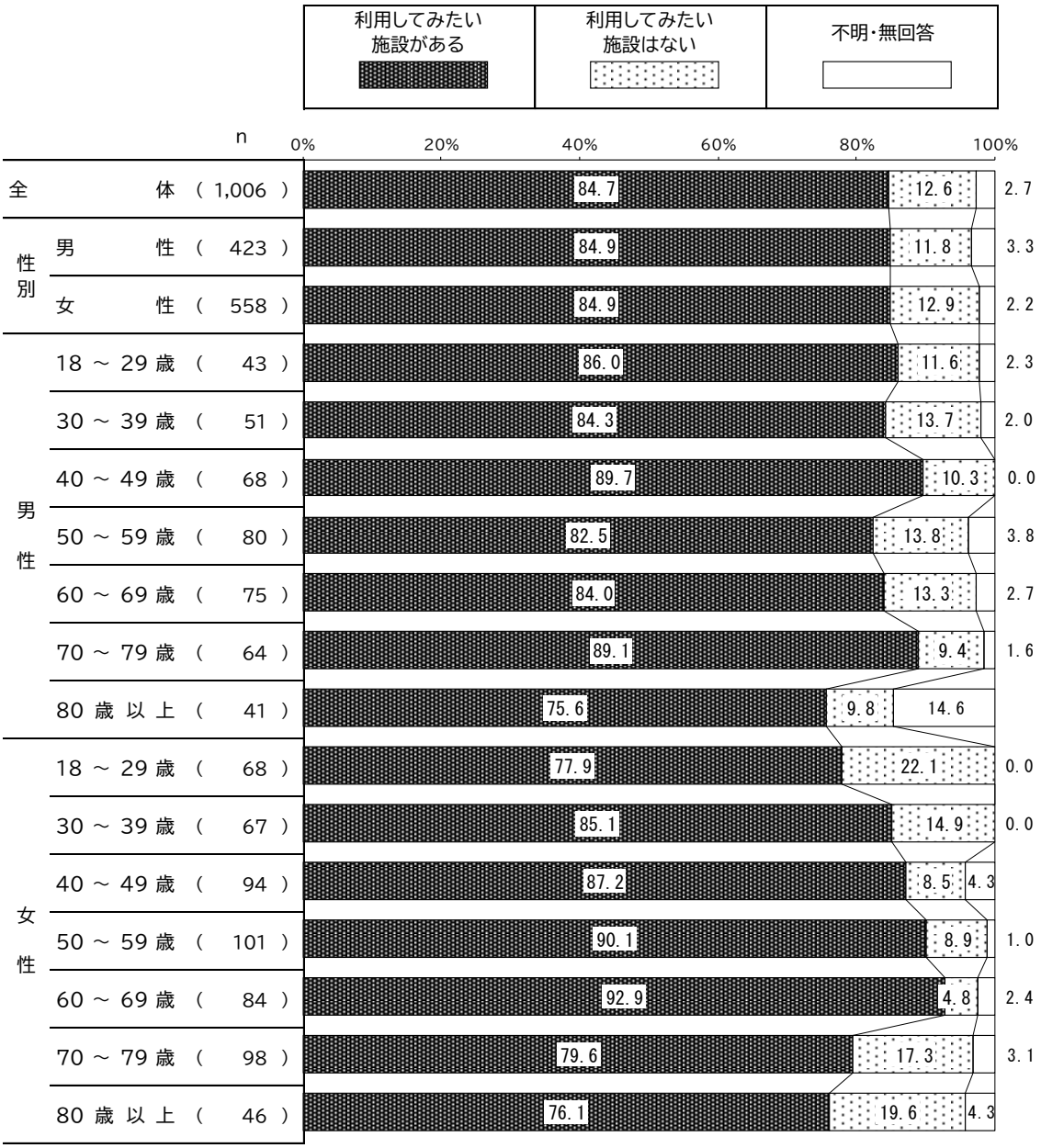
■今後の施設の利用意向有無

今後の施設の利用意向があるか否かの割合をみるため、回答選択肢１～24（P114、調査票参照）の中から１つ以上選んだ方を「利用してみたい施設がある」として、集計を行った。

全体で、今後の施設利用意向がある方の割合をみると、84.7%だった。

性別で比較しても、男女間で大きな差はみられない。

性別×年齢別にみると、「利用してみたい施設がある」は、女性 50～59 歳と女性 60～69 歳でそれぞれ 90.1%、92.9%と 9 割を超えて高くなっている。一方、女性 18～29 歳で「利用してみたい施設はない」が、22.1%と 2 割を超え他の年齢層と比べて高くなっている。

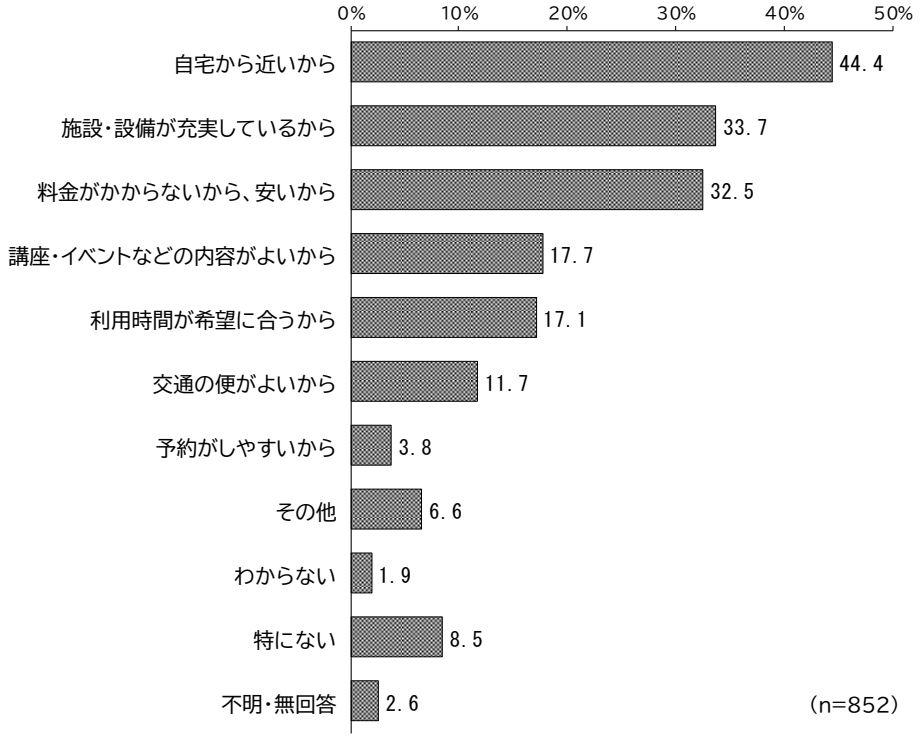


図Ⅲ－１２－７　今後の施設の利用意向有無（性別／性別×年齢別）

１３．施設を利用してみたい理由

問１２で１～２４に○印をつけた方（今後利用してみたい施設がある方）におたずねします。
【問１３】その施設を利用してみたい理由は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

今後利用してみたい施設がある方にその施設を利用してみたい理由についてたずねたところ、「自宅から近いから」が 44.4%で最も高く、次いで「施設・設備が充実しているから」(33.7%)、「料金がかからないから、安いから」(32.5%)、「講座・イベントなどの内容がよいから」(17.7%)、「利用時間が希望に合うから」（17.1%）などと続いている。

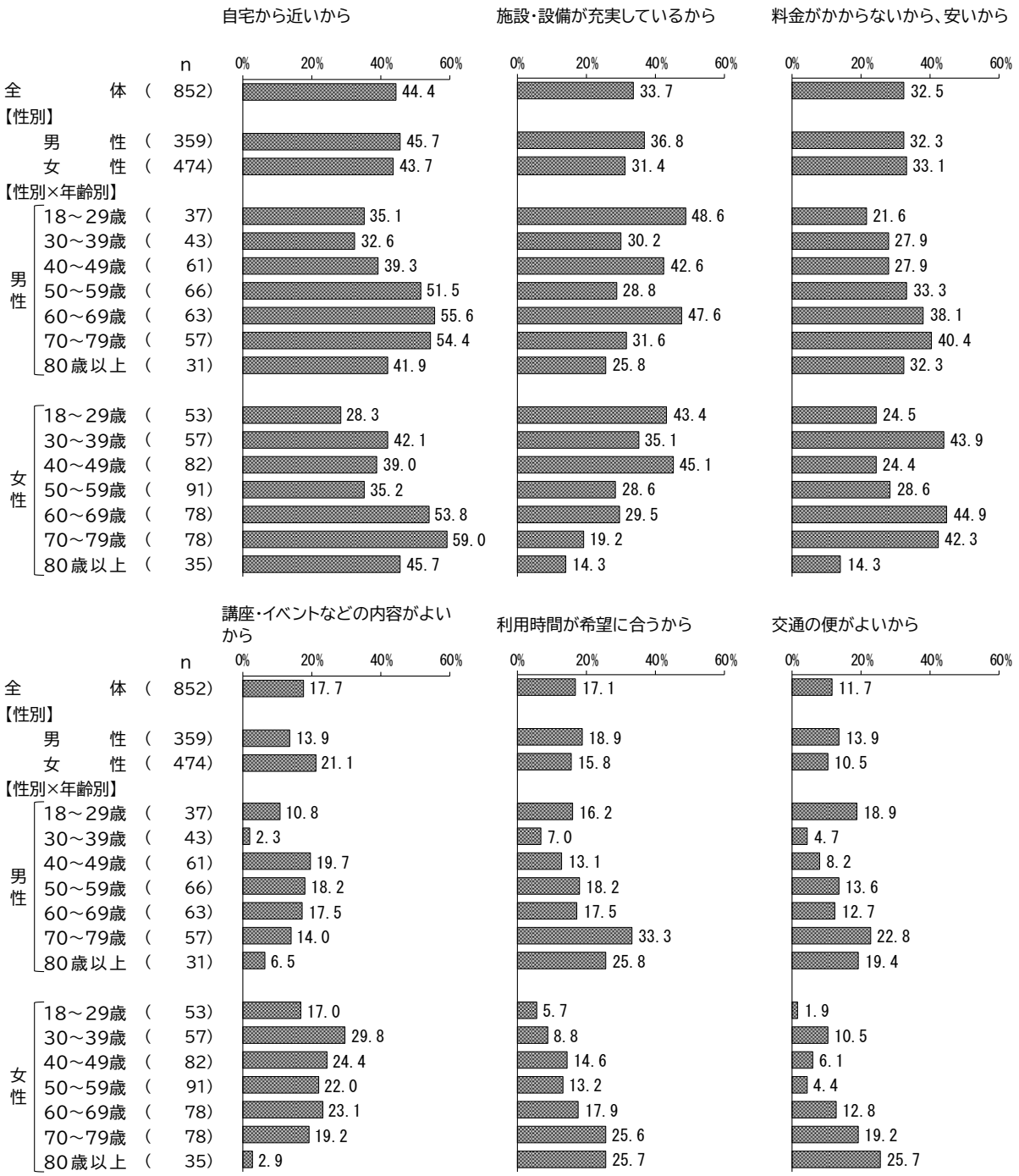


図Ⅲ－１３－１　施設を利用してみたい理由

【性別／性別×年齢別】

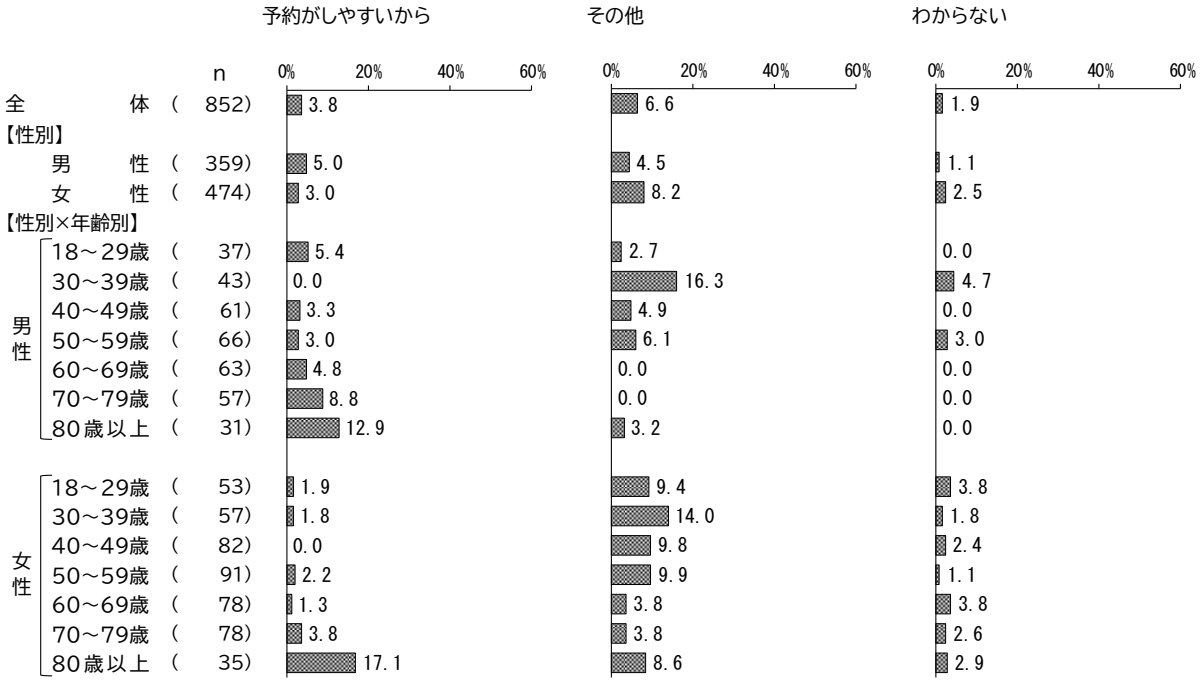
性別にみると、「講座・イベントなどの内容がよいから」は、女性で 21.1%と高くなっている。

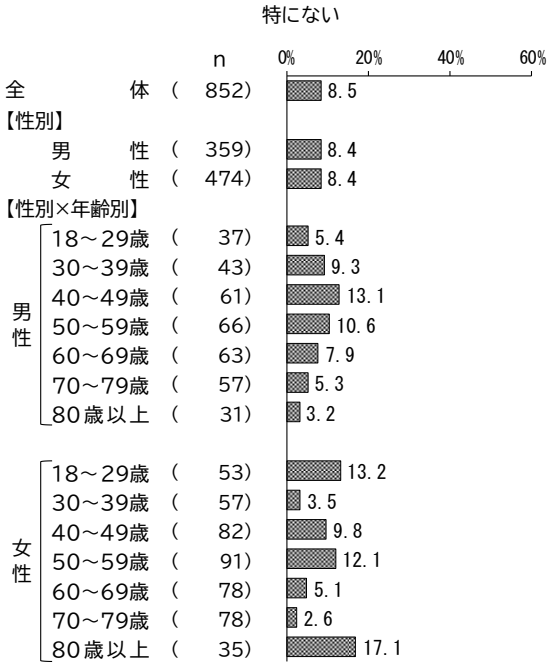
性別×年齢別にみると、「自宅から近いから」は、男性 50～59 歳、男女ともに 60～69 歳と 70～79 歳で 51.5～59.0%と 5 割を超えて高く、「施設・設備が充実しているから」は、男女ともに 18～29 歳と 40～49 歳、男性 60～69 歳で 42.6～48.6%、「料金がかからないから、安いから」は、女性 30～39 歳と女性 60～69 歳、男女ともに 70～79 歳で 40.4～44.9%と、どちらも 4 割を超えて高くなっている。



図Ⅲ－１３－２　施設を利用してみたい理由（性別／性別×年齢別）

【性別／性別×年齢別】（続き）





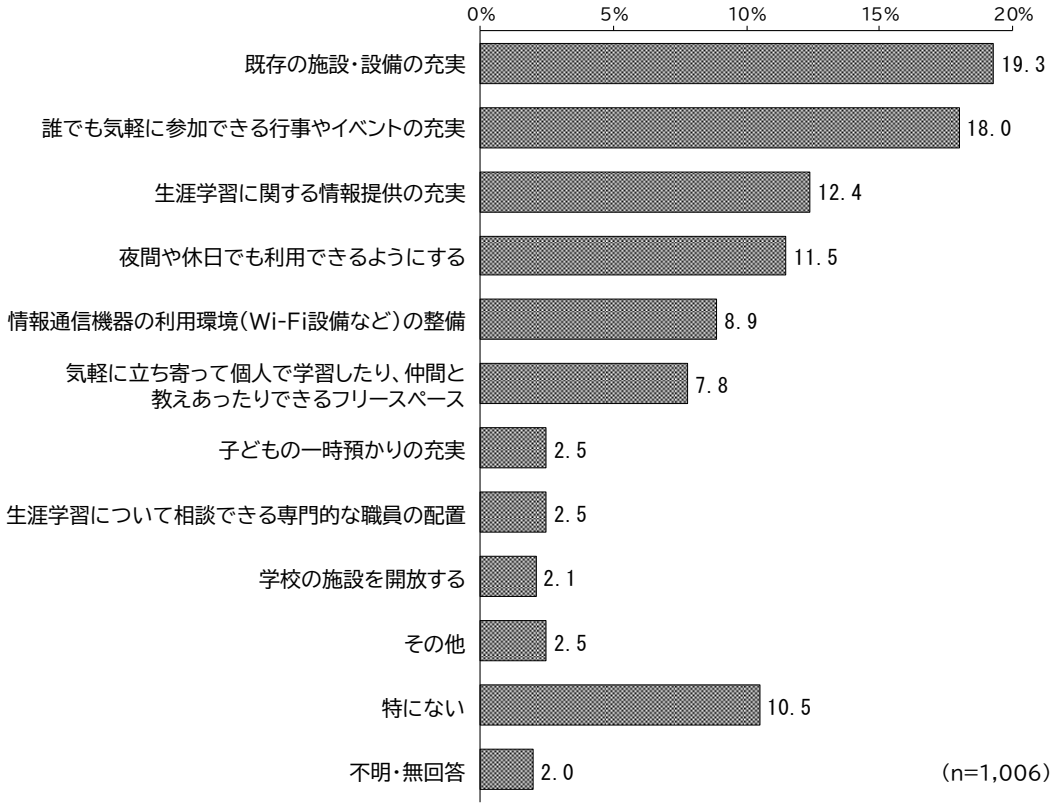
図Ⅲ－１３－３　施設を利用してみたい理由（性別／性別×年齢別）

１４．生涯学習関連施設について、市が力を入れる点

全員の方におたずねします。
【問１４】あなたは、千葉市の生涯学習関連施設について、市はどのような点に力を入れるとよいと思いますか。あなたのお考えにもっとも近い番号に１つ○印をつけてください。

千葉市の生涯学習関連施設について、市はどのような点に力を入れるとよいと思うかをたずねたところ、「既存の施設・設備の充実」が 19.3%で最も高く、次いで「誰でも気軽に参加できる行事やイベントの充実」（18.0%）、「生涯学習に関する情報提供の充実」（12.4%）、「夜間や休日でも利用できるようにする」（11.5%）、「情報通信機器の利用環境（Wi-Fi 設備など）の整備」（8.9%）などと続いている。

一方、「特にない」は、10.5%となっている。

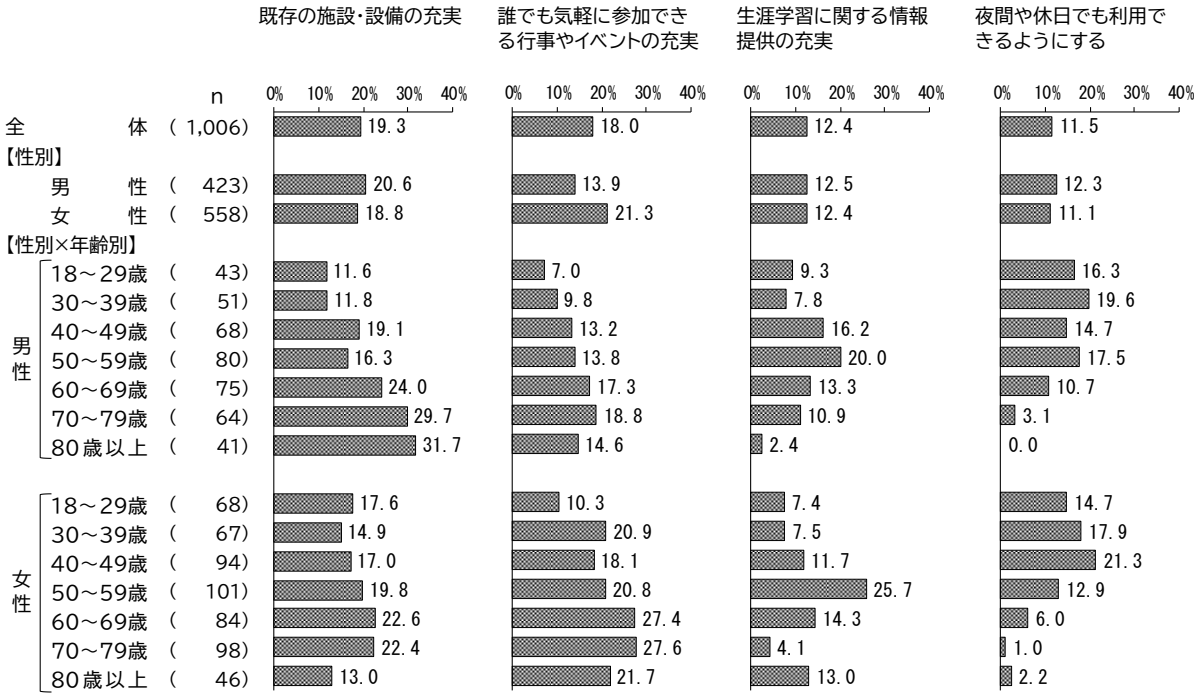


図Ⅲ－１４－１　生涯学習関連施設について、市が力を入れる点

【性別／性別×年齢別】

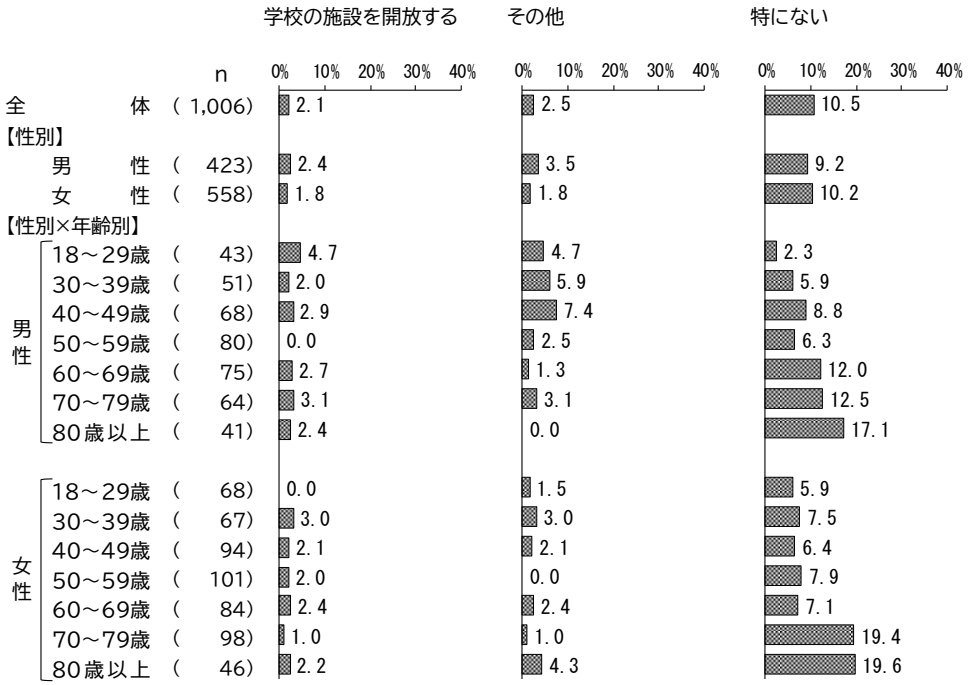
性別にみると、「誰でも気軽に参加できる行事やイベントの充実」は、女性で 21.3%と高くなっている。

性別×年齢別にみると、「既存の施設・設備の充実」は、男性 70～79 歳と男性 80 歳以上でそれぞれ 29.7%、31.7%と 3 割前後で高く、「誰でも気軽に参加できる行事やイベントの充実」は、女性 60～69 歳と女性 70～79 歳でそれぞれ 27.4%、27.6%、「生涯学習に関する情報提供の充実」は、女性 50～59 歳で 25.7%と、他の年齢層と比べて高くなっている。



図Ⅲ－１４－２　生涯学習関連施設について、市が力を入れる点（性別／性別×年齢別）

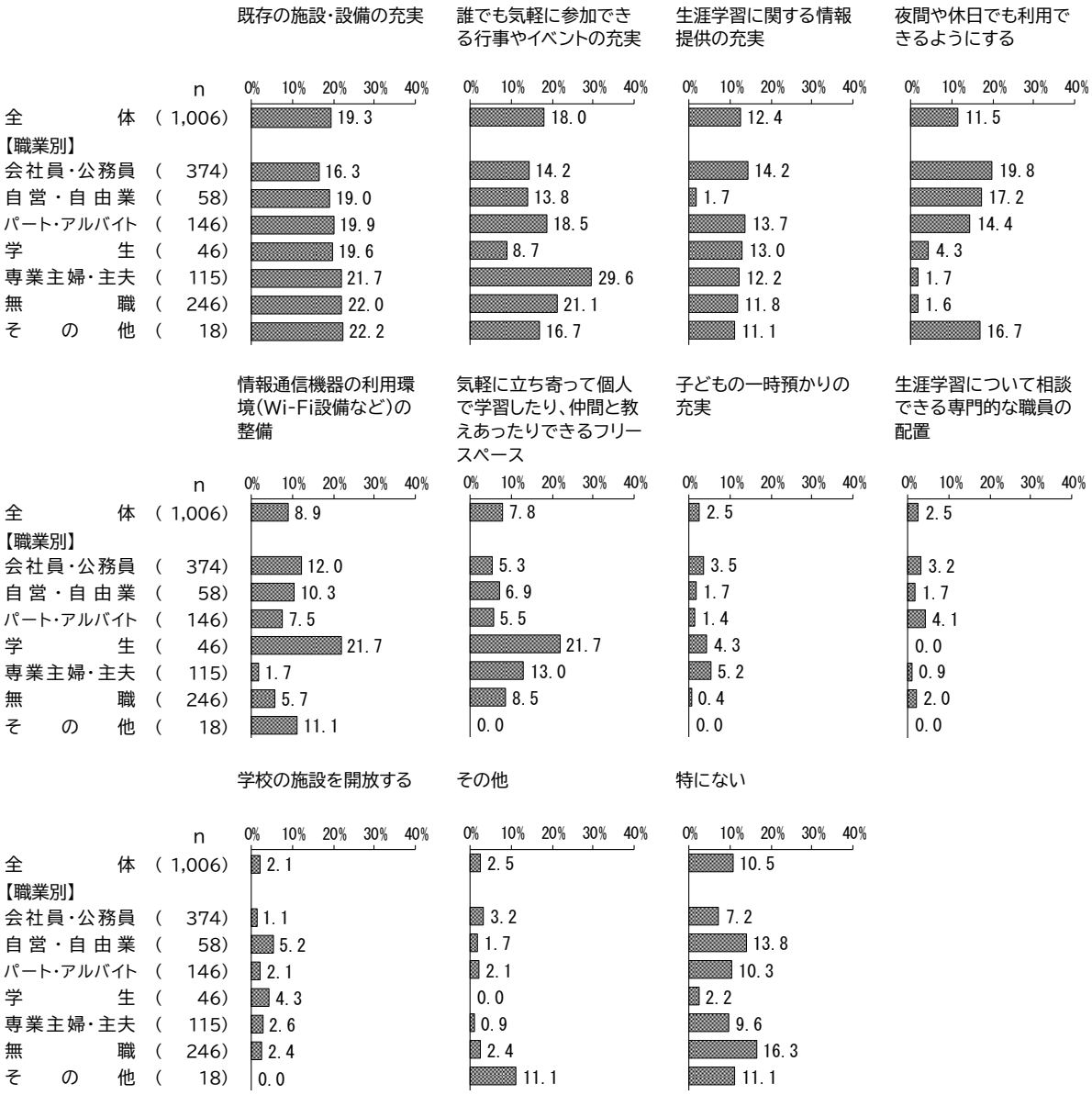
【性別／性別×年齢別】（続き）



図Ⅲ－１４－３　生涯学習関連施設について、市が力を入れる点（性別／性別×年齢別）

【職業別】

職業別にみると、「誰でも気軽に参加できる行事やイベントの充実」は、専業主婦・主夫で29.6％と高く、「情報通信機器の利用環境（Wi-Fi 設備など）の整備」と「気軽に立ち寄って個人で学習したり、仲間と教えあったりできるフリースペース」は、学生でともに 21.7％、「夜間や休日でも利用できるようにする」は、会社員・公務員で 19.8％と、他の職業に比べて高くなっている。

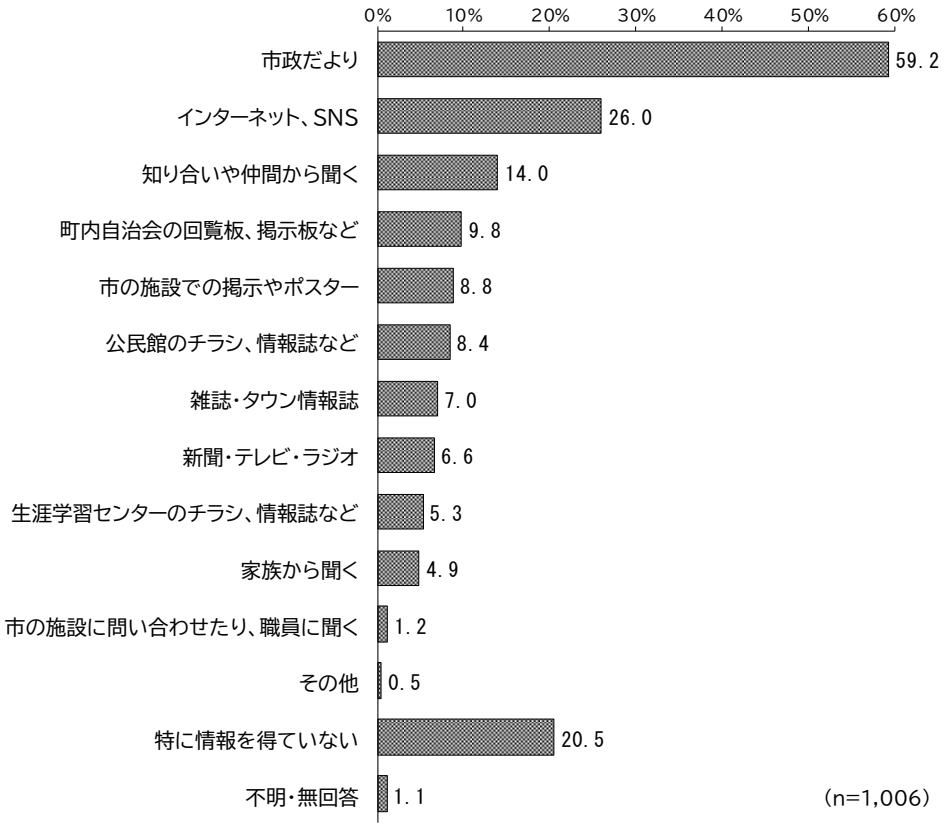


図Ⅲ－１４－４　生涯学習関連施設について、市が力を入れる点（職業別）

１５．生涯学習に関する情報の入手経路

【問１５】あなたは、千葉市の生涯学習に関する情報をどのようにして手に入れていますか。
あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

千葉市の生涯学習に関する情報をどのようにして手に入れているかについてたずねたところ、「市政だより」が 59.2%で突出して高く、次いで「インターネット、ＳＮＳ」(26.0%)、「知り合いや仲間から聞く」(14.0%)、「町内自治会の回覧板、掲示板など」(9.8%)、「市の施設での掲示やポスター」(8.8%) などと続いている。

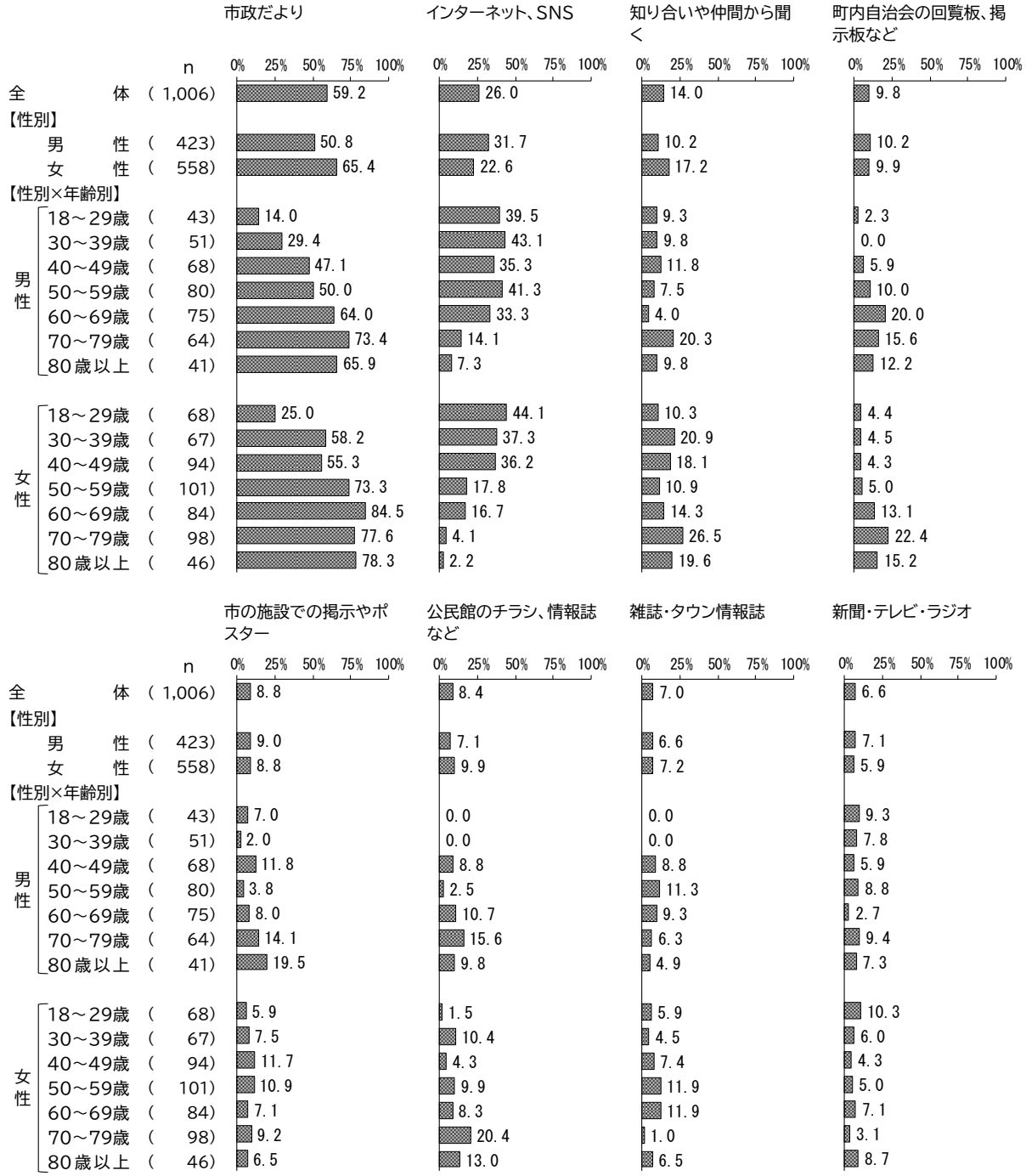


図Ⅲ－１５－１　生涯学習に関する情報の入手経路

【性別／性別×年齢別】

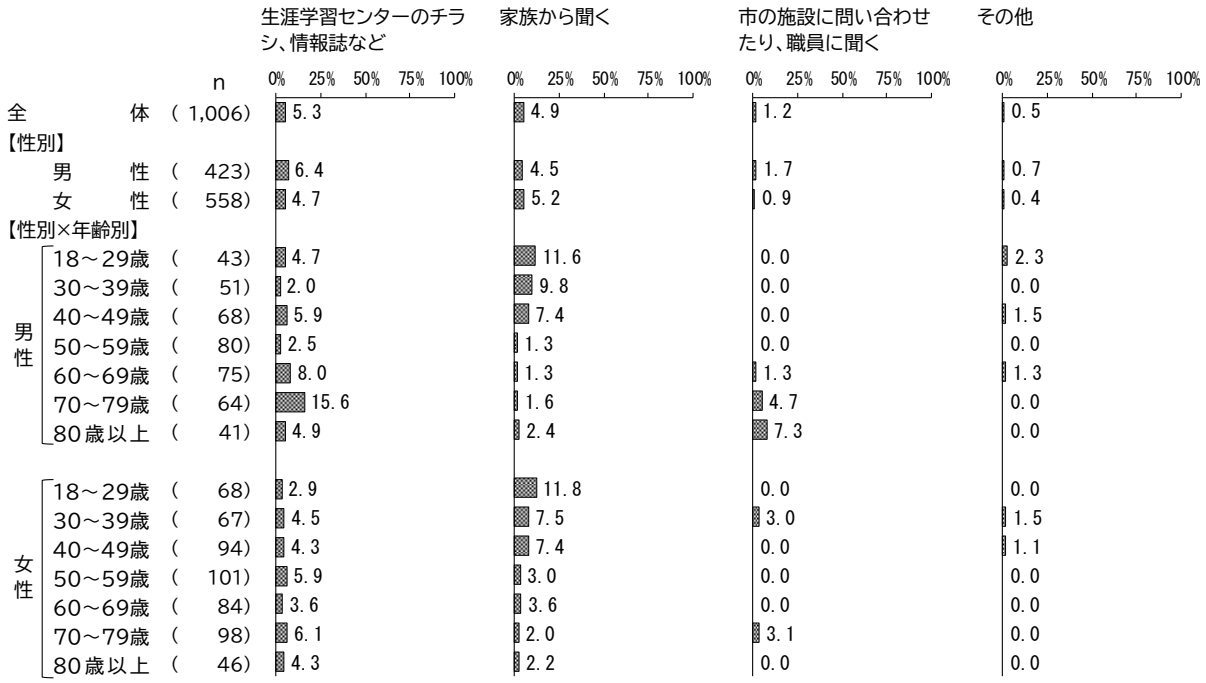
性別にみると、「市政だより」は、女性で 65.4％と高く、「インターネット、ＳＮＳ」は、男性で 31.7％と高くなっている。

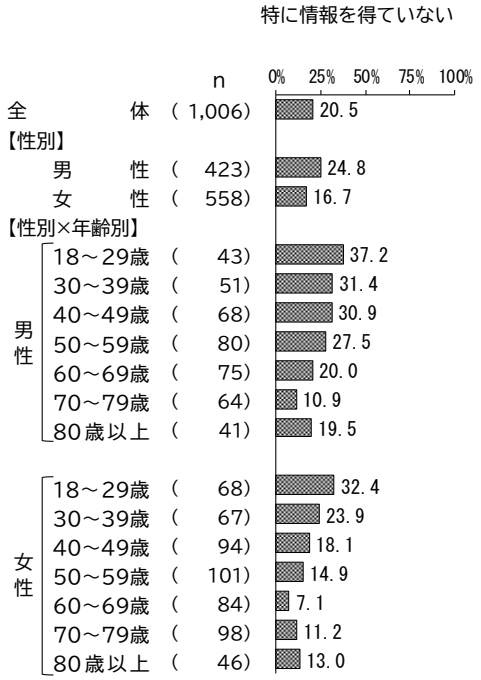
性別×年齢別にみると、「市政だより」は、男性 70～79 歳と女性 50～59 歳以上の全年齢層で 73.3～84.5％と高くなっている。「インターネット、ＳＮＳ」は、女性 18～29 歳と男性 30～39 歳、男性 50～59 歳で 41.3～44.1％と 4 割を超えており、他の年齢層と比べて高くなっている。



図Ⅲ－１５－２　生涯学習に関する情報の入手経路（性別／性別×年齢別）

【性別／性別×年齢別】（続き）



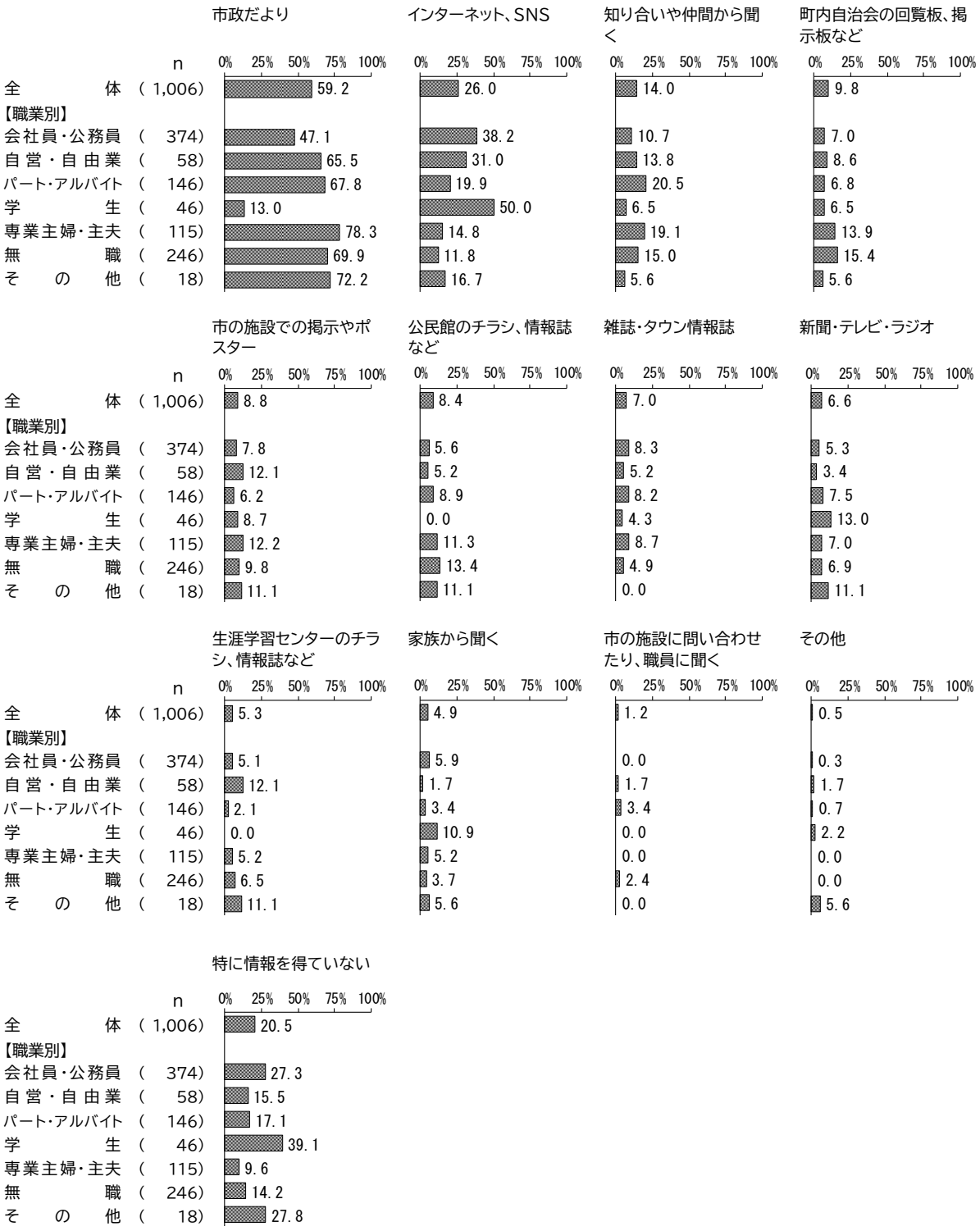


図Ⅲ－１５－３　生涯学習に関する情報の入手経路（性別／性別×年齢別）

【職業別】

職業別にみると、「市政だより」は、専業主婦・主夫、その他、無職でそれぞれ 78.3%、72.2%、69.9%と高くなっている。「インターネット、ＳＮＳ」は、学生と会社員・公務員でそれぞれ 50.0%、38.2%と他の職業に比べて高くなっている。

なお、「特に情報を得ていない」は学生で 39.1%と 4 割近くを占めている。



図Ⅲ－１５－４　生涯学習に関する情報の入手経路（職業別）

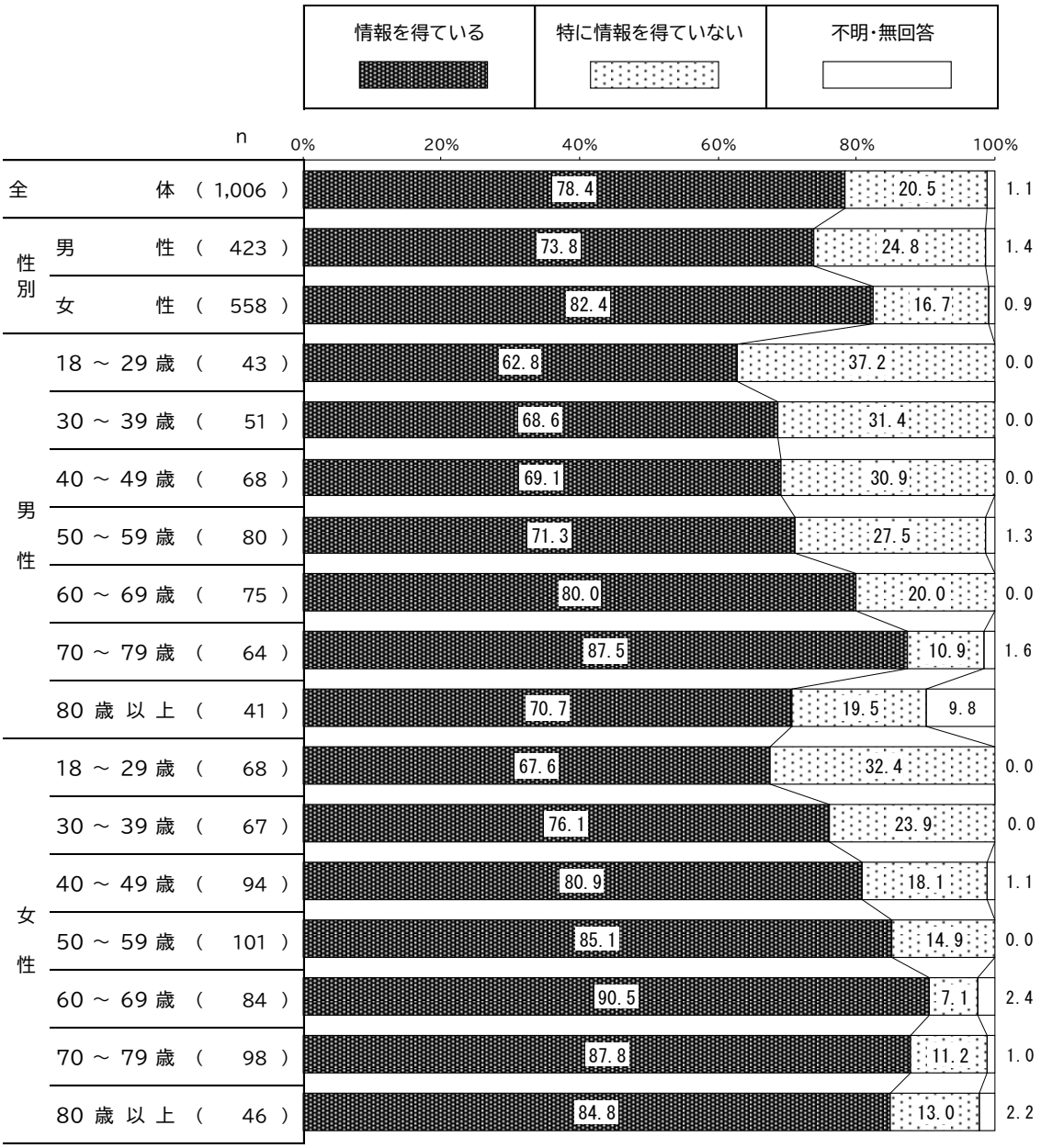
■生涯学習に関する情報の入手有無

生涯学習に関する情報を得ているか否かの割合をみるため、回答選択肢１～12（P115、調査票参照）の中から１つ以上選んだ方を「情報を得ている」として、集計を行った。

全体で、情報を得ている方の割合をみると、78.4%だった。

性別にみると、「情報を得ている」は、女性で 82.4%と高くなっている。

性別×年齢別にみると、「情報を得ている」は、女性 60～69 歳で 90.5%と 9 割を超えて最も高く、また、男女ともに 70～79 歳では 87%台と 9 割近い。なお、男女ともに 18～29 歳では「特に情報を得ていない」が、それぞれ 37.2%、32.4%と他の年齢層と比べて高くなっている。



図Ⅲ－１５－５　生涯学習に関する情報の入手有無（性別／性別×年齢別）

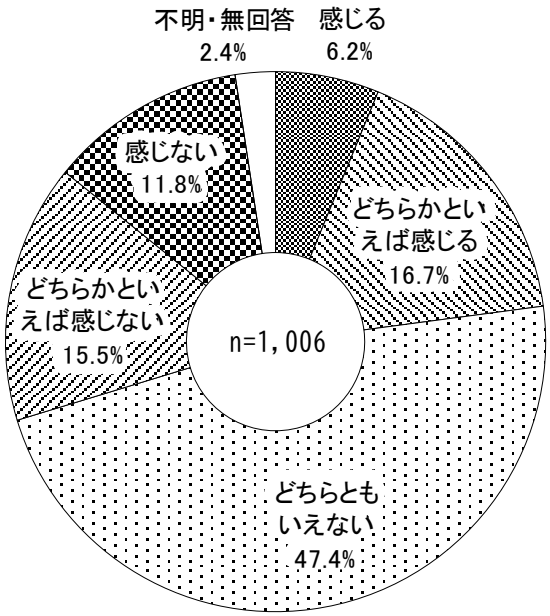
１６．生涯学習活動に関する情報の充実度合い

【問１６】あなたは、千葉市の生涯学習活動に関する情報は充実していると感じますか。あてはまる番号に１つ○印をつけてください。

千葉市の生涯学習活動に関する情報は充実していると感じるかについてたずねたところ、「感じる」（6.2%）と「どちらかといえば感じる」（16.7%）を合わせた『感じる』の割合は、22.9%となっている。

一方、「どちらかといえば感じない」（15.5%）と「感じない」（11.8%）を合わせた『感じない』の割合は、27.3%となっており、『感じる』の割合（22.9%）よりも 4.4 ポイント高くなっている。

なお、「どちらともいえない」の割合は、47.4%とほぼ半数を占めている。

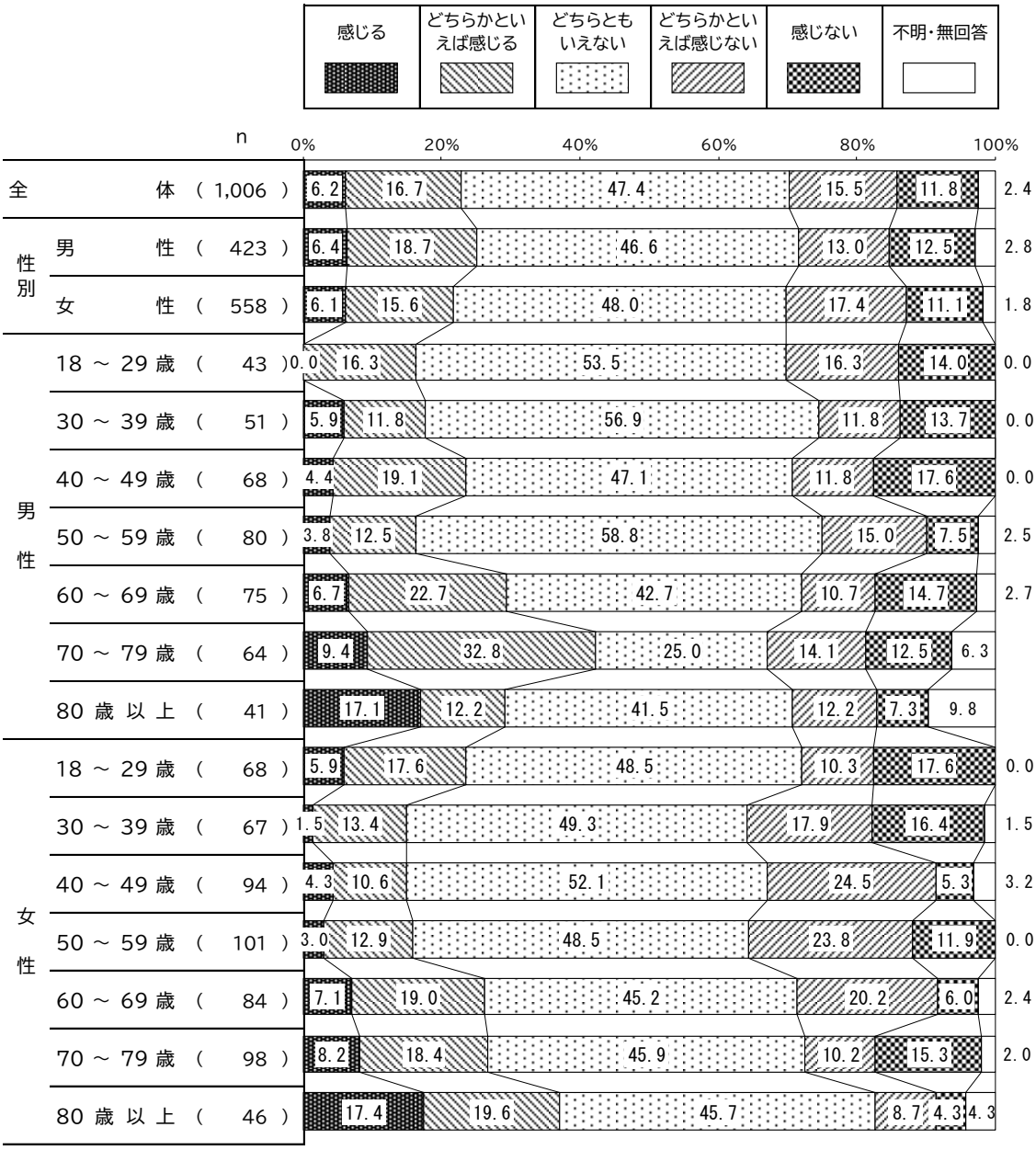


図Ⅲ－１６－１　生涯学習活動に関する情報の充実度合い

【性別／性別×年齢別】

性別にみると、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合わせた『感じる』の割合は、男性（25.1%）が女性（21.7%）より 3.4 ポイント高くなっている。

性別×年齢別にみると、『感じる』の割合は、性別に関係なく年齢が上がるにつれて高くなる傾向があり、割合が最も低い男性 18～29 歳（16.3%）と最も高い男性 70～79 歳（42.2%）には 25.9 ポイントの差がある。

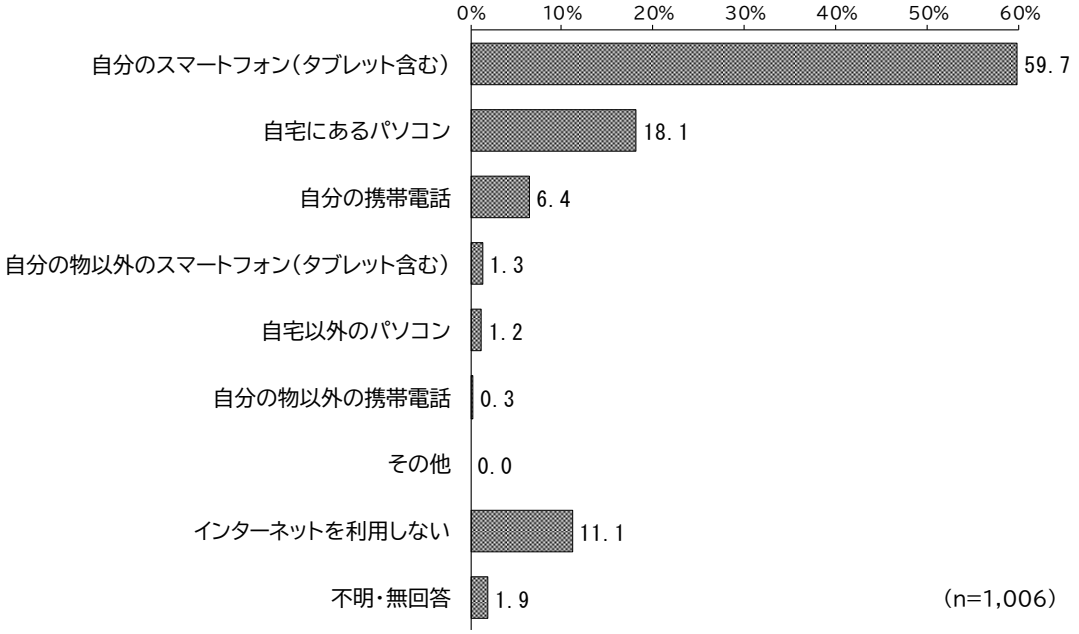


図Ⅲ－１６－２　生涯学習活動に関する情報の充実度合い（性別／性別×年齢別）

１７．インターネットを利用する際、最も使用している機器

【【問１７】あなたは、インターネットを利用する際、どの機器をもっとも使用していますか。あてはまる番号に１つ○印をつけてください。

インターネットを利用する際、どの機器をもっとも使用しているかについてたずねたところ、「自分のスマートフォン（タブレット含む）」が 59.7％で突出して高く、次いで「自宅にあるパソコン」（18.1％）、「自分の携帯電話」（6.4％）などと続いている。

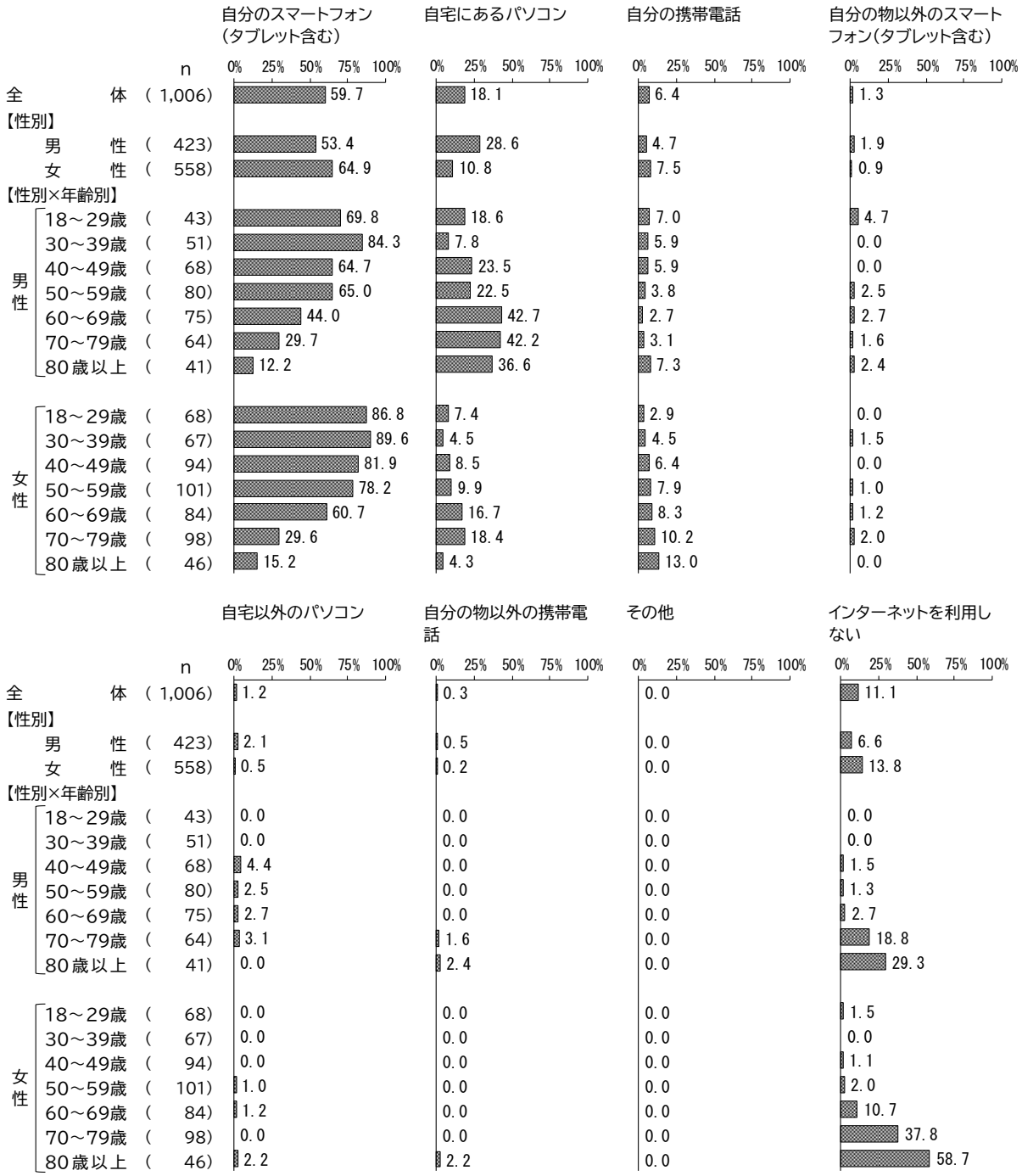


図Ⅲ－１７－１　インターネットを利用する際、最も使用している機器

【性別／性別×年齢別】

性別にみると、「自分のスマートフォン（タブレット含む）」は、女性で 64.9％と高く、「自宅にあるパソコン」は、男性で 28.6％と高くなっている。

性別×年齢別にみると、「自分のスマートフォン（タブレット含む）」は、男性 30～39 歳と女性 18～29 歳から女性 40～49 歳で 81.9～89.6％と 8 割を超えて高く、「自宅にあるパソコン」は、男性 60～69 歳と男性 70～79 歳でそれぞれ 42.7％、42.2％と 4 割を超えており、他の年齢層と比べて高くなっている。



図Ⅲ－１７－２　インターネットを利用する際、最も使用している機器（性別／性別×年齢別）

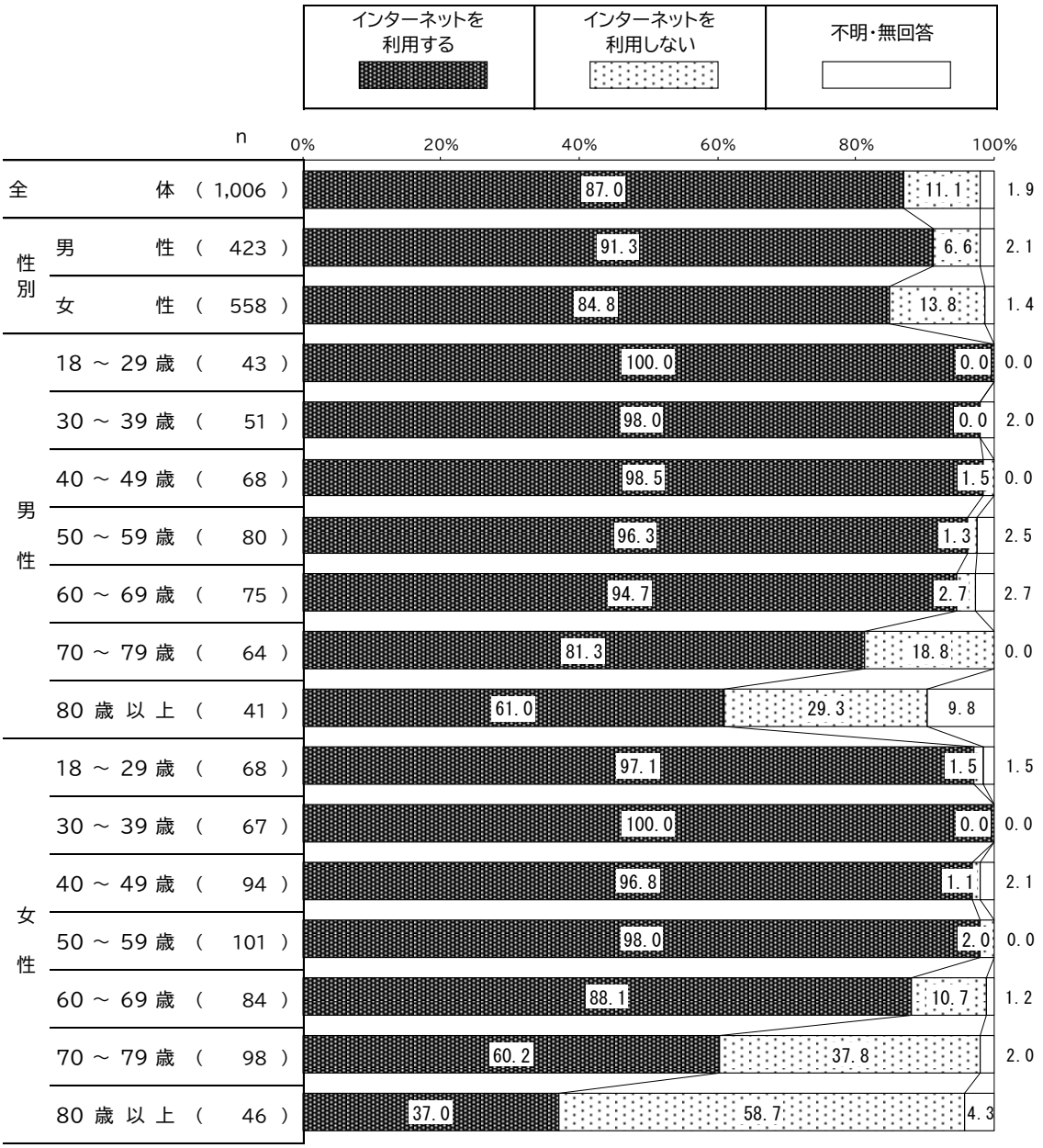
■インターネットの利用有無

インターネットを利用しているか否かの割合をみるため、回答選択肢１～7（P116、調査票参照）の中からいずれか1つ選んだ方を「インターネットを利用する」として、集計を行った。

全体で、インターネットを利用する方の割合をみると、87.0%だった。

性別にみると、「インターネットを利用する」は、男性で91.3%と高くなっている。

性別×年齢別にみると、「インターネットを利用する」は、男女ともに18～29歳から50～59歳までの年齢層で96.3～100.0%とほぼ10割となっている。一方、女性80歳以上でインターネットを利用する」は、37.0%と3割台に留まり、他の年齢層と比べて突出して低くなっている。

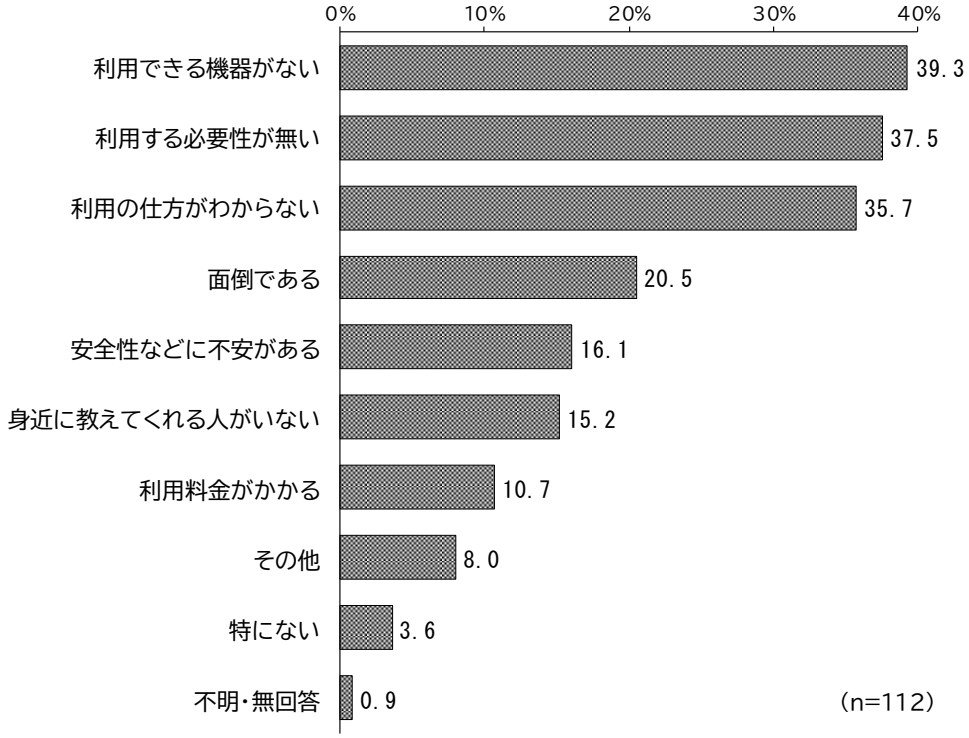


図Ⅲ－１７－３　インターネットの利用有無（性別／性別×年齢別）

１８．インターネットを利用しない理由

問１７で８に○印をつけた方（インターネットを利用しない方）におたずねします。
【問１８】インターネットを利用しない理由は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

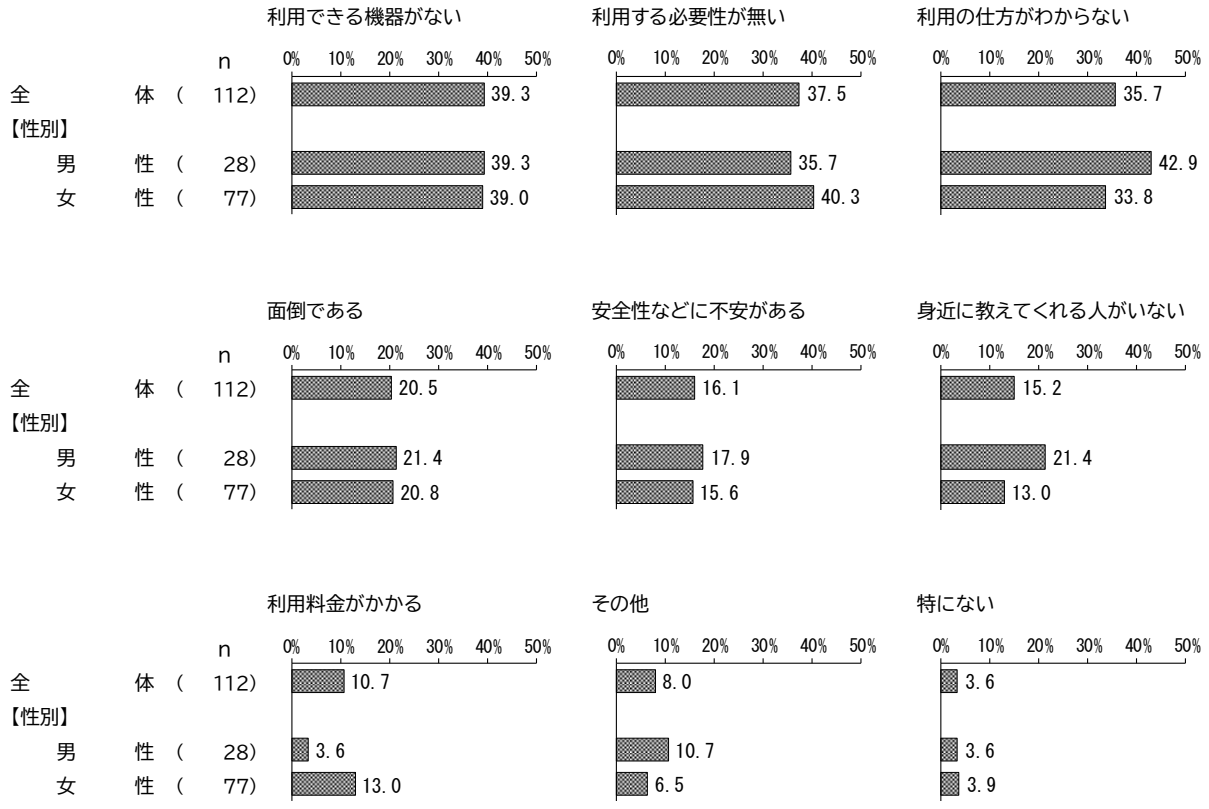
インターネットを利用しない方にその理由についてたずねたところ、「利用できる機器がない」が 39.3%で最も高く、次いで「利用する必要性が無い」（37.5%）、「利用の仕方がわからない」（35.7%）、「面倒である」（20.5%）、「安全性などに不安がある」（16.1%）などと続いている。



図Ⅲ－１８－１　インターネットを利用しない理由

【性別】

性別にみると、「利用の仕方がわからない」と「身近に教えてくれる人がいない」は、男性がそれぞれ 42.9%、21.4%と高く、「利用する必要性が無い」と「利用料金がかかる」は、女性がそれぞれ 40.3%、13.0%と高くなっている。



図Ⅲ－１８－２　インターネットを利用しない理由（性別）

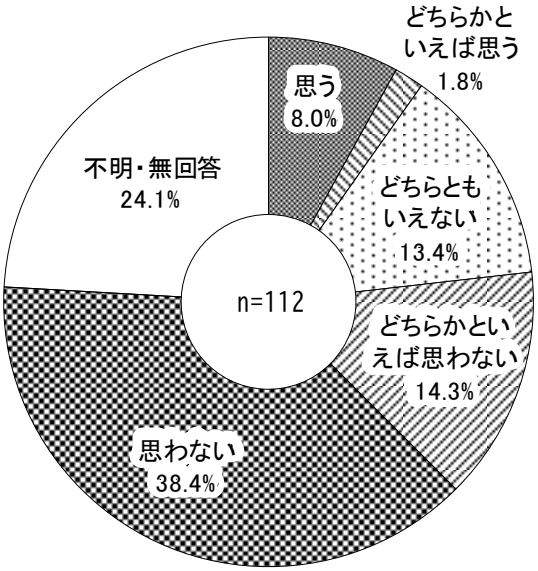
１９．今後のインターネット利用意向

引き続き、問１７で８に○印をつけた方（インターネットを利用しない方）におたずねします。
【問１９】あなたは、インターネットを利用したいと思いますか。あてはまる番号に１つ○印をつけてください。

インターネットを利用しない方に今後インターネットを利用したいと思うかについてたずねたところ、「思う」（8.0%）と「どちらかといえば思う」（1.8%）を合わせた『思う』の割合は、9.8%となっている。

一方、「どちらかといえば思わない」（14.3%）と「思わない」（38.4%）を合わせた『思わない』の割合は、52.7%と半数を超えており、『感じる』の割合（9.8%）よりも 42.9 ポイント高くなっている。

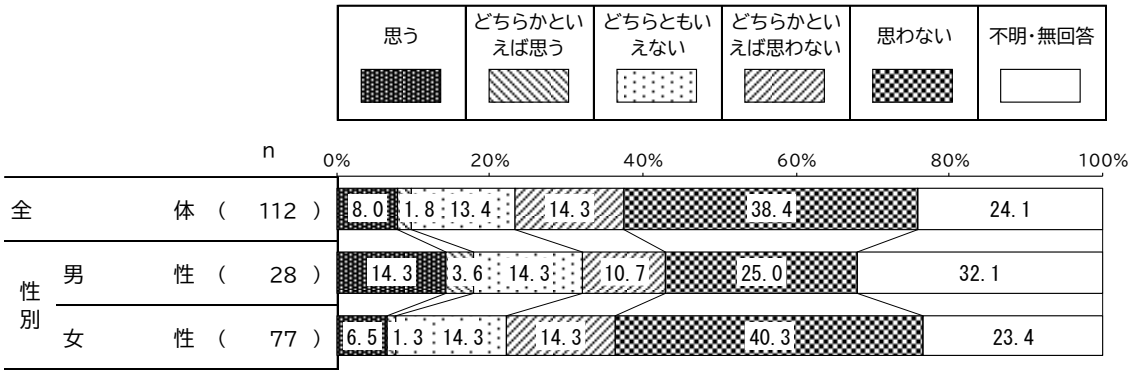
なお、「どちらともいえない」の割合は、13.4%となっている。



図Ⅲ－１９－１　今後のインターネット利用意向

【性別】

性別で比較すると、「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『思う』の割合は、男性（17.9%）が女性（7.8%）より 10.1 ポイント高く、一方、「思わない」と「どちらかといえば思わない」を合わせた『思わない』の割合は、女性（54.6%）が男性（35.7%）より 18.9 ポイント高くなっている。



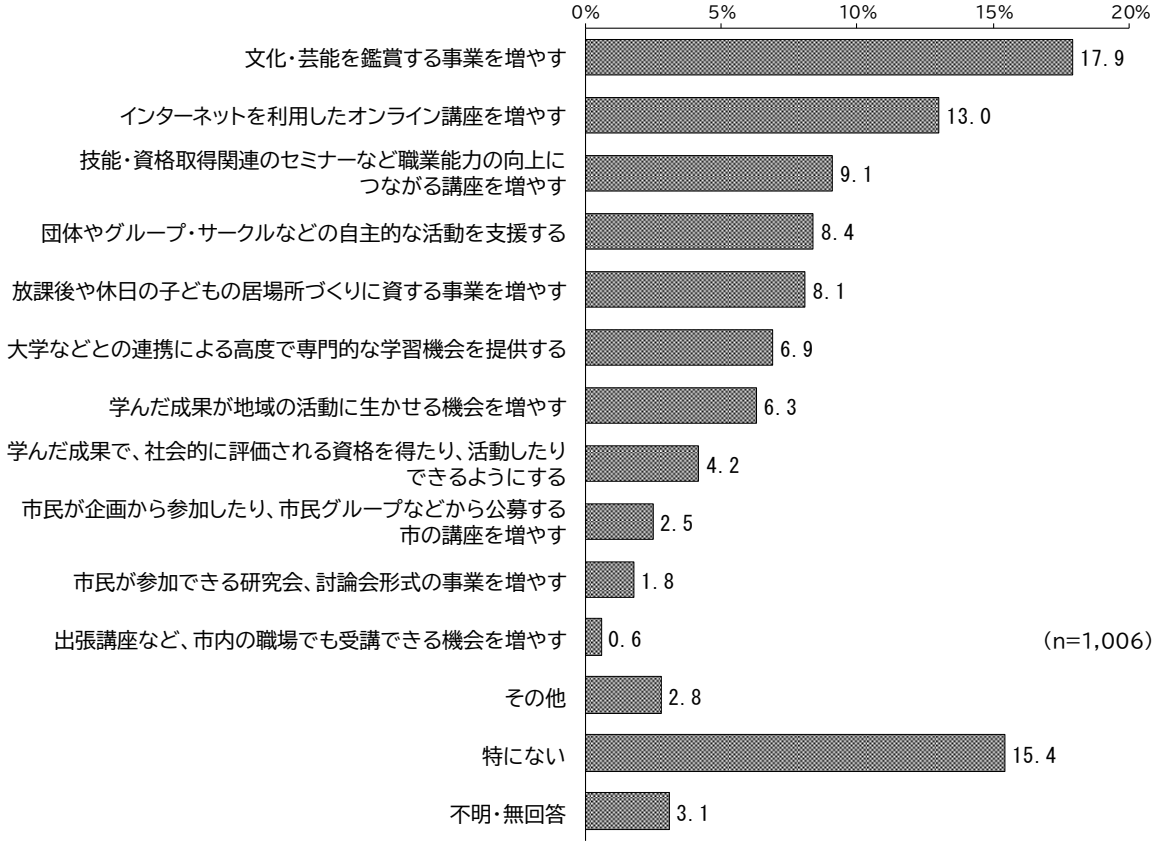
図Ⅲ－１９－２　今後のインターネット利用意向（性別）

２０．生涯学習事業について、市が力を入れる点

全員の方におたずねします。
【問２０】あなたは、千葉市の生涯学習事業について、市はどのような点に力を入れるとよいと思いますか。あなたのお考えにもっとも近い番号に１つ○印をつけてください。

千葉市の生涯学習事業について、市はどのような点に力を入れるとよいと思うかについてたずねたところ、「文化・芸能を鑑賞する事業を増やす」が 17.9％で最も高く、次いで「インターネットを利用したオンライン講座を増やす」（13.0％）、「技能・資格取得関連のセミナーなど職業能力の向上につながる講座を増やす」（9.1％）、「団体やグループ・サークルなどの自主的な活動を支援する」（8.4％）、「放課後や休日の子どもの居場所づくりに資する事業を増やす」（8.1％）などと続いている。

なお、「特にない」の割合は、15.4％となっている。

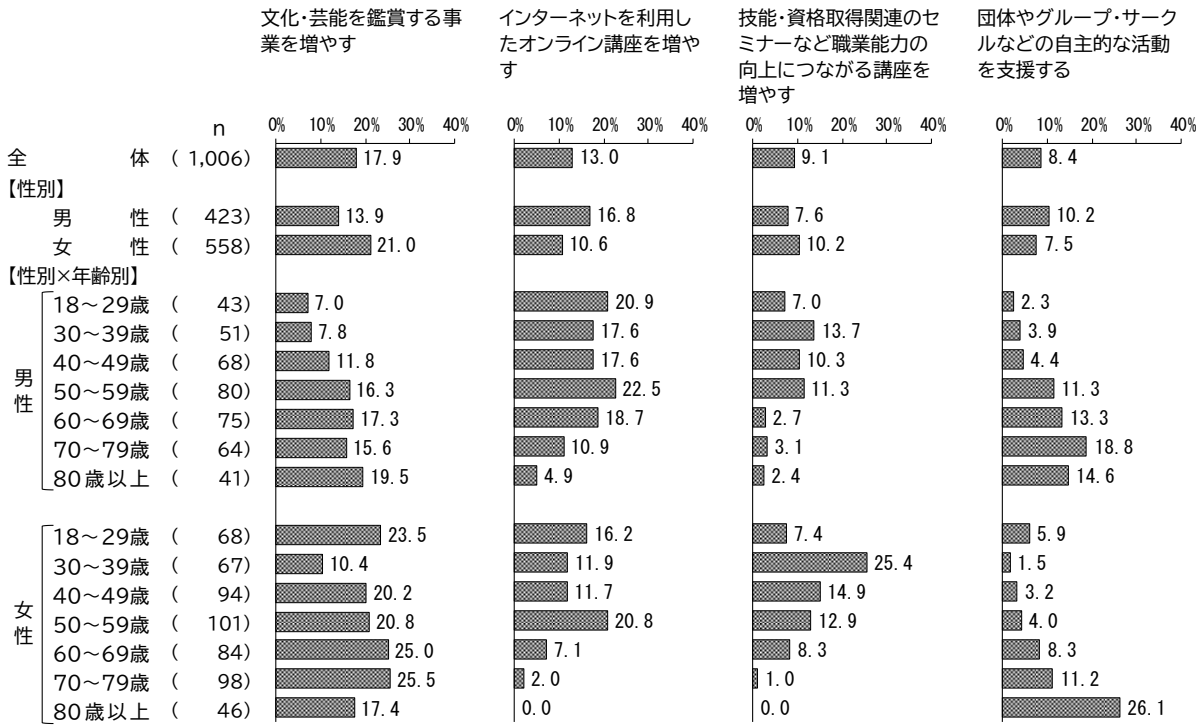


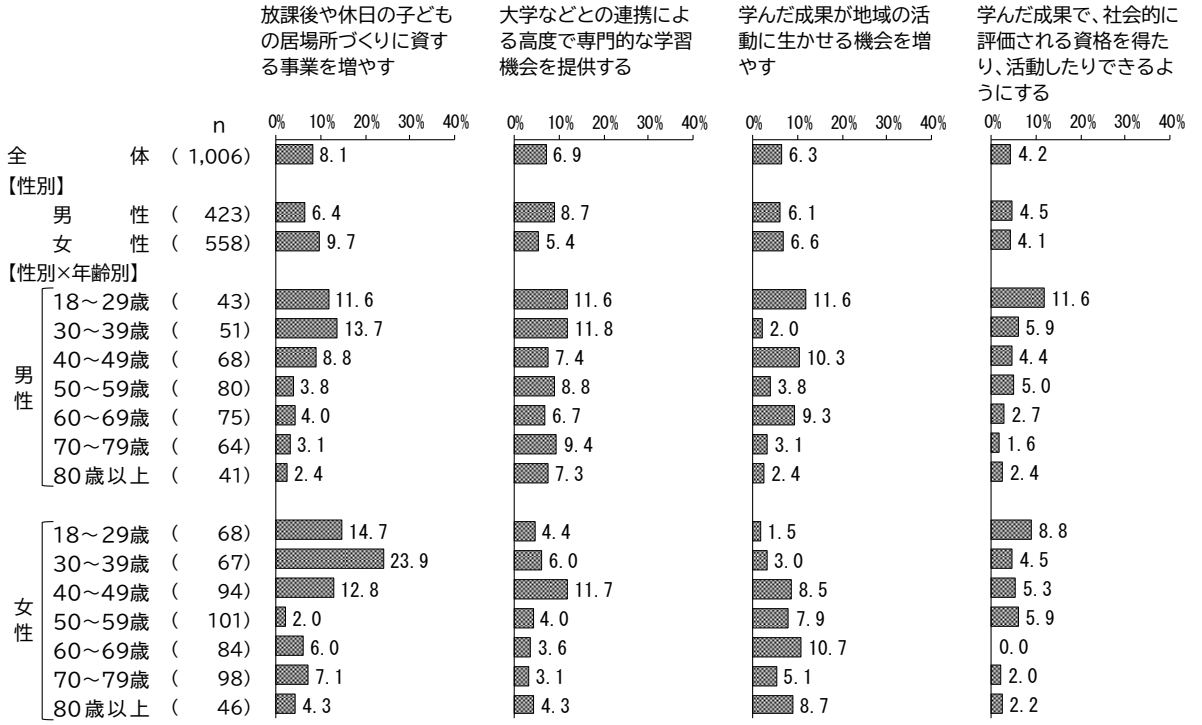
図Ⅲ－２０－１　生涯学習事業について、市が力を入れる点

【性別／性別×年齢別】

性別にみると、「文化・芸能を鑑賞する事業を増やす」は、女性で 21.0％と高く、「インターネットを利用したオンライン講座を増やす」は、男性で 16.8％と高くなっている。

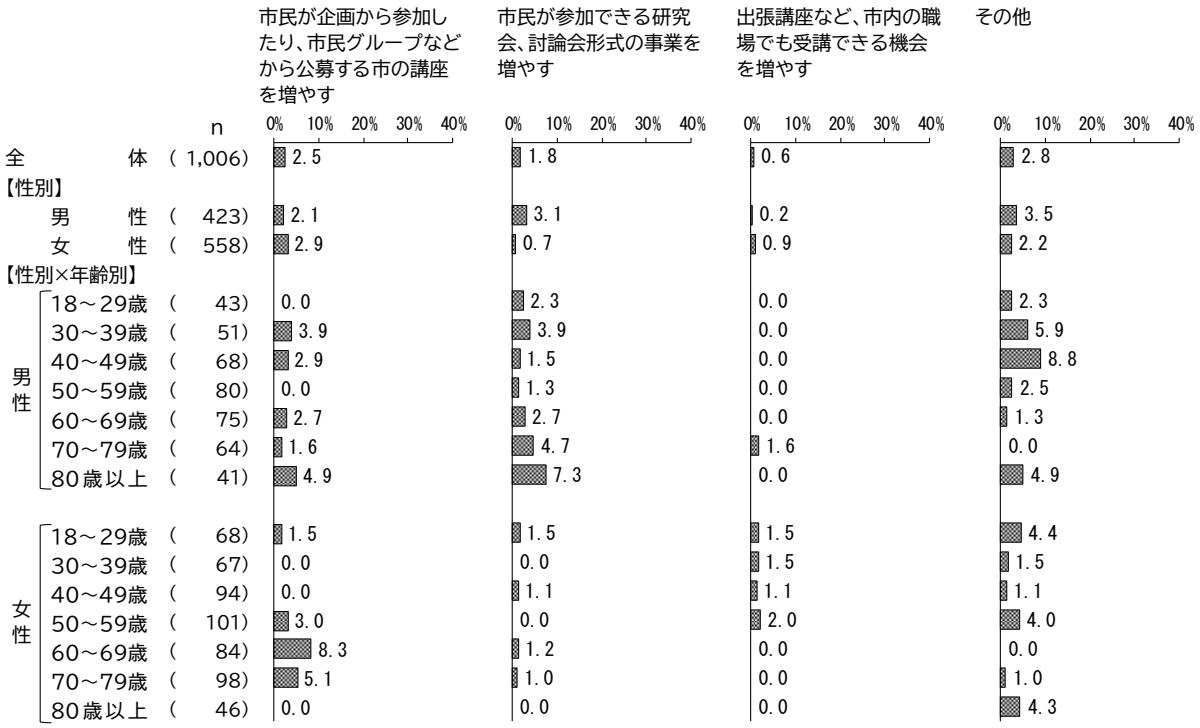
性別×年齢別にみると、「団体やグループ・サークルなどの自主的な活動を支援する」は、女性 80 歳以上で 26.1％、「文化・芸能を鑑賞する事業を増やす」は、女性 60～69 歳と女性 70～79 歳でそれぞれ 25.0％、25.5％、「技能・資格取得関連のセミナーなど職業能力の向上につながる講座を増やす」は、女性 30～39 歳で 25.4％、「放課後や休日の子どもの居場所づくりに資する事業を増やす」も、女性 30～39 歳で 23.9％と他の年齢層に比べて高くなっている。

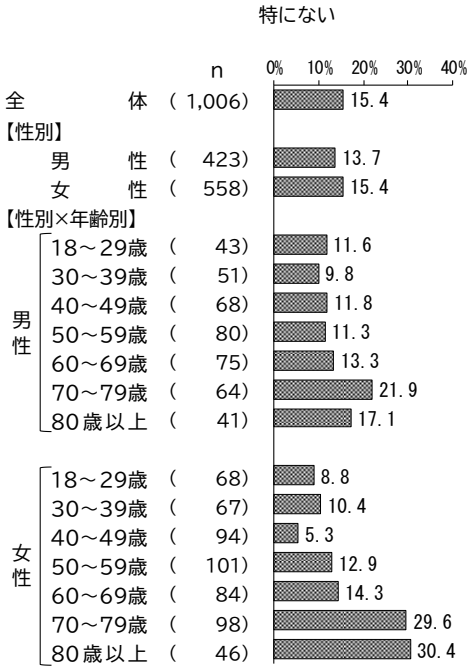




図Ⅲ－２０－２　生涯学習事業について、市が力を入れる点（性別／性別×年齢別）

【性別／性別×年齢別】（続き）

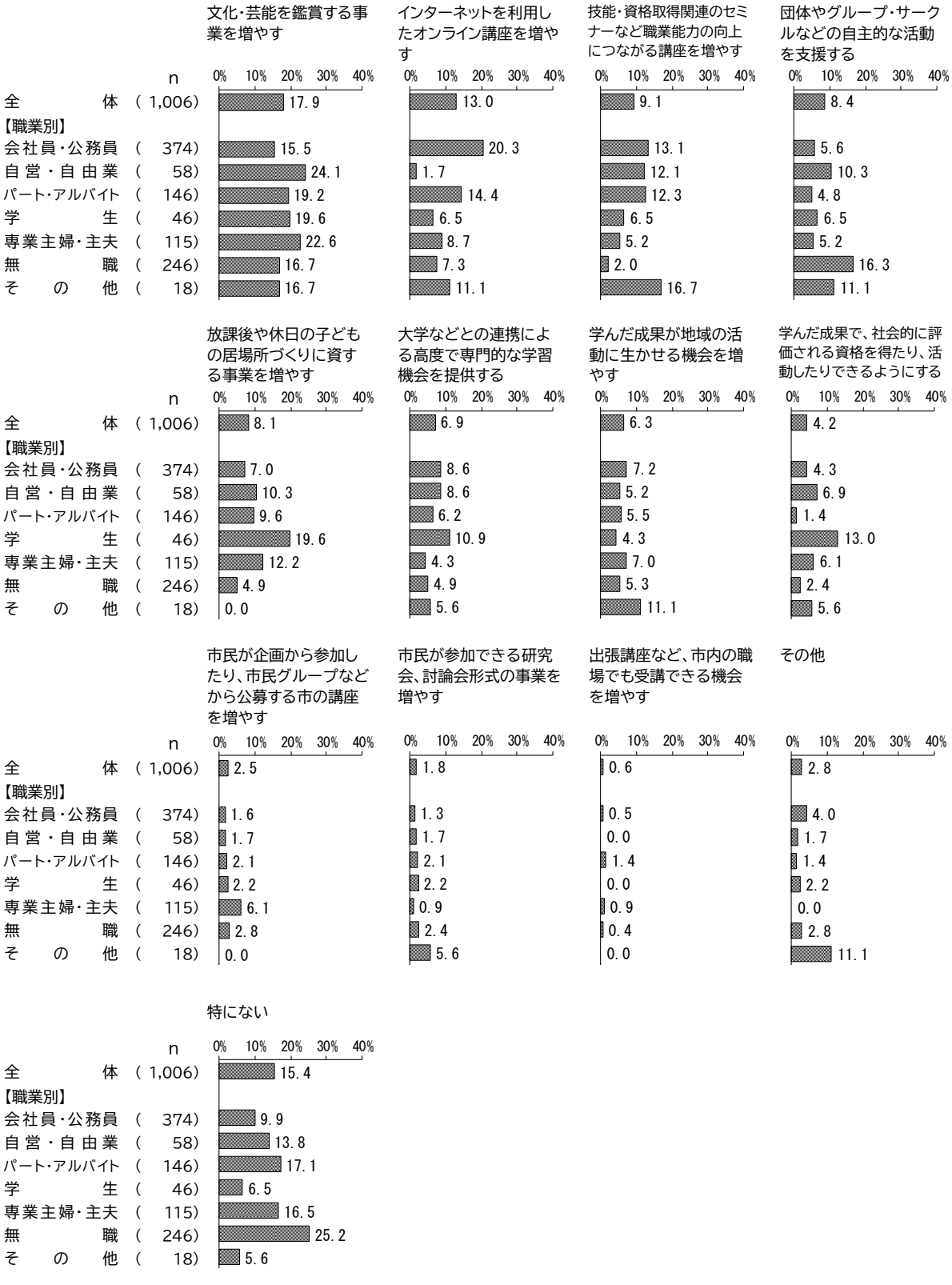




図Ⅲ－２０－３　生涯学習事業について、市が力を入れる点（性別／性別×年齢別）

【職業別】

職業別にみると、「文化・芸能を鑑賞する事業を増やす」は、自営・自由業で 24.1%、「インターネットを利用したオンライン講座を増やす」は、会社員・公務員で 20.3%、「放課後や休日の子どもの居場所づくりに資する事業を増やす」と「学んだ成果で、社会的に評価される資格を得たり、活動したりできるようにする」は、学生でそれぞれ 19.6%、13.0%、「団体やグループ・サークルなどの自主的な活動を支援する」は、無職で 16.3%と他の職業に比べて高くなっている。



図Ⅲ－２０－４　生涯学習事業について、市が力を入れる点（職業別）

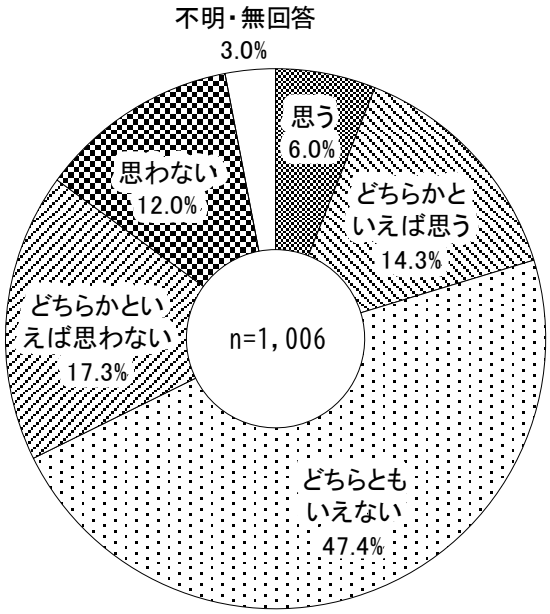
２１．地域課題の解決などへの取組状況

【問２１】千葉市では、学習活動を通じて地域課題を自ら解決するコミュニティが形成されることを目標に事業を行っています。住民同士が、互いに協力して地域の課題の解決などに取り組んでいると思いますか。あてはまる番号に１つ○印をつけてください。

住民同士が互いに協力して地域の課題の解決などに取り組んでいると思うかについてたずねたところ、「思う」（6.0%）と「どちらかといえば思う」（14.3%）を合わせた『思う』の割合は、20.3%となっている。

一方、「どちらかといえば思わない」（17.3%）と「思わない」（12.0%）を合わせた『思わない』の割合は、29.3%となっており、『思う』の割合（20.3%）よりも 9.0 ポイント高くなっている。

なお、「どちらともいえない」の割合は、47.4%と半数近くを占めている。

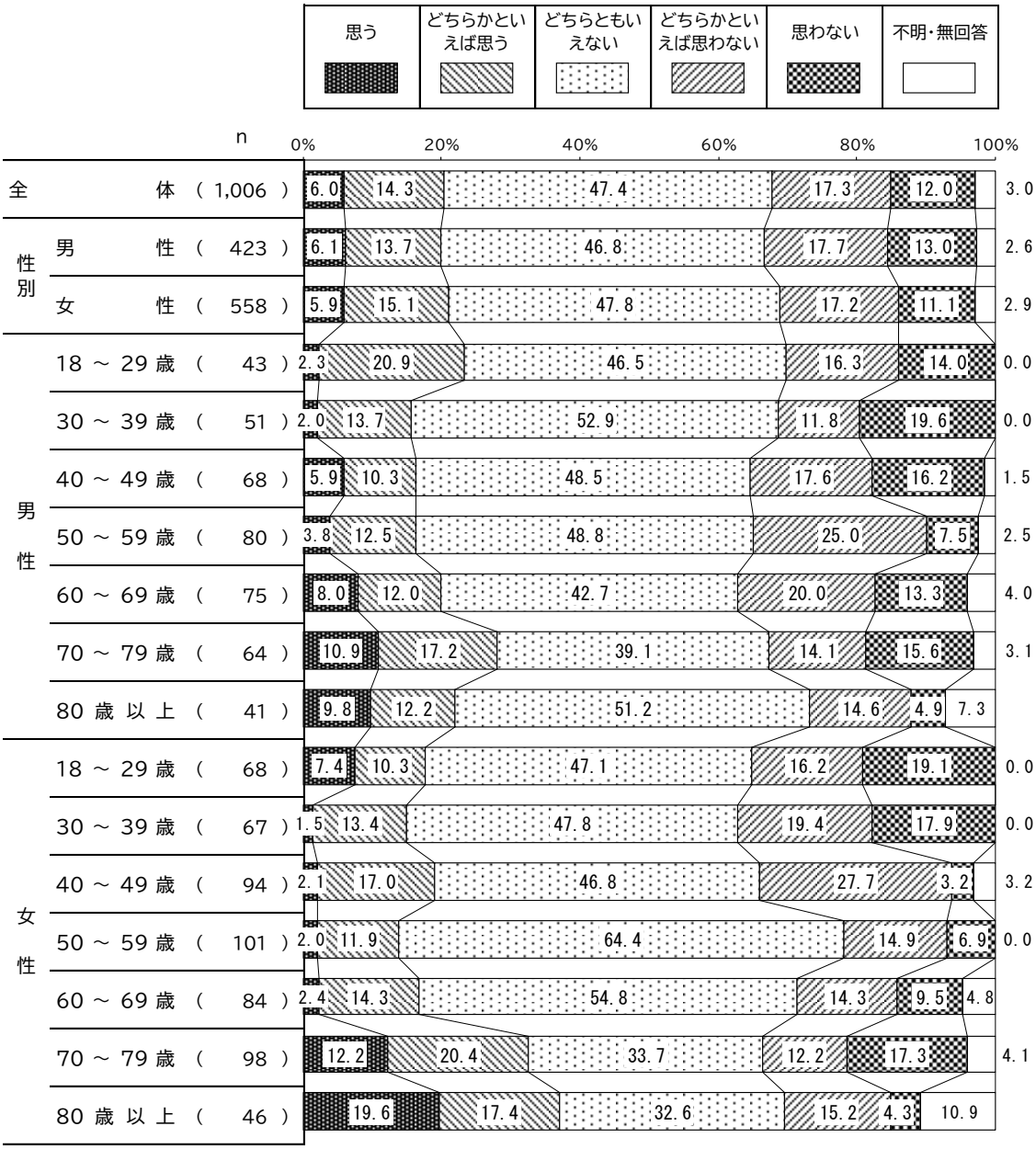


図Ⅲ－２１－１　地域課題の解決などへの取組状況

【性別／性別×年齢別】

性別で比較しても、男女間で大きな差はみられない。

性別×年齢別にみると、「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『思う』の割合は、女性 70～79 歳と女性 80 歳以上でそれぞれ 32.6%、37.0%と 3 割を超えており、他の年齢層と比べて高くなっている。一方、「どちらかといえば思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』の割合は、男性 18～29 歳から男性 60～69 歳までと女性 18～29 歳から女性 40～49 歳までの年齢層で 30.3～37.3%と、3 割を超えて高くなっている。



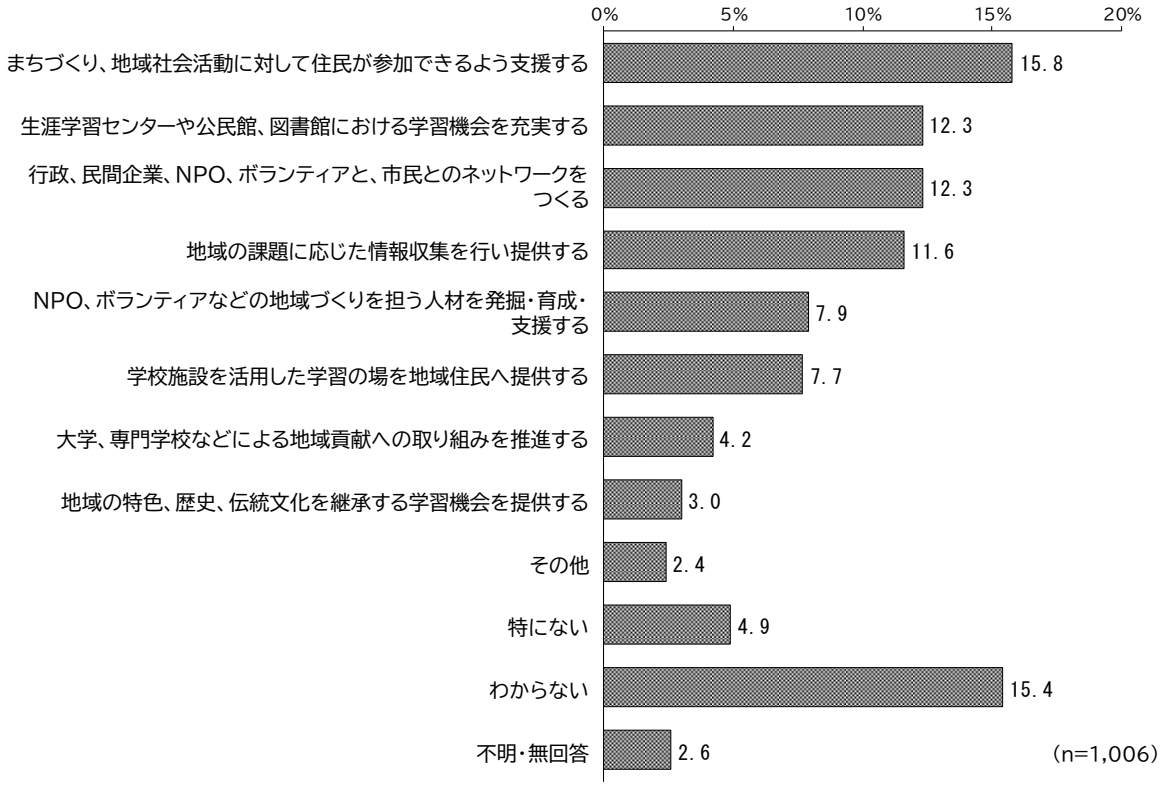
図Ⅲ－２１－２　地域課題の解決などへの取組状況（性別／性別×年齢別）

２２．地域社会の活力を向上させるために市が力を入れる点

【問２２】地域社会の活力の低下が指摘されています。地域社会の活力を向上させるためには、市はどのような点に力を入れるとよいと思いますか。あなたのお考えにもっとも近い番号に1つ○印をつけてください。

地域社会の活力を向上させるためには、市はどのような点に力を入れるとよいと思うかについてたずねたところ、「まちづくり、地域社会活動に対して住民が参加できるよう支援する」が15.8％で最も高く、次いで「生涯学習センターや公民館、図書館における学習機会を充実する」と「行政、民間企業、ＮＰＯ、ボランティアと、市民とのネットワークをつくる」（ともに12.3％）、「地域の課題に応じた情報収集を行い提供する」（11.6％）、「ＮＰＯ、ボランティアなどの地域づくりを担う人材を発掘・育成・支援する」（7.9％）、「学校施設を活用した学習の場を地域住民へ提供する」（7.7％）などと続いている。

なお、「特にない」は、4.9％、「わからない」は15.4％となっている。

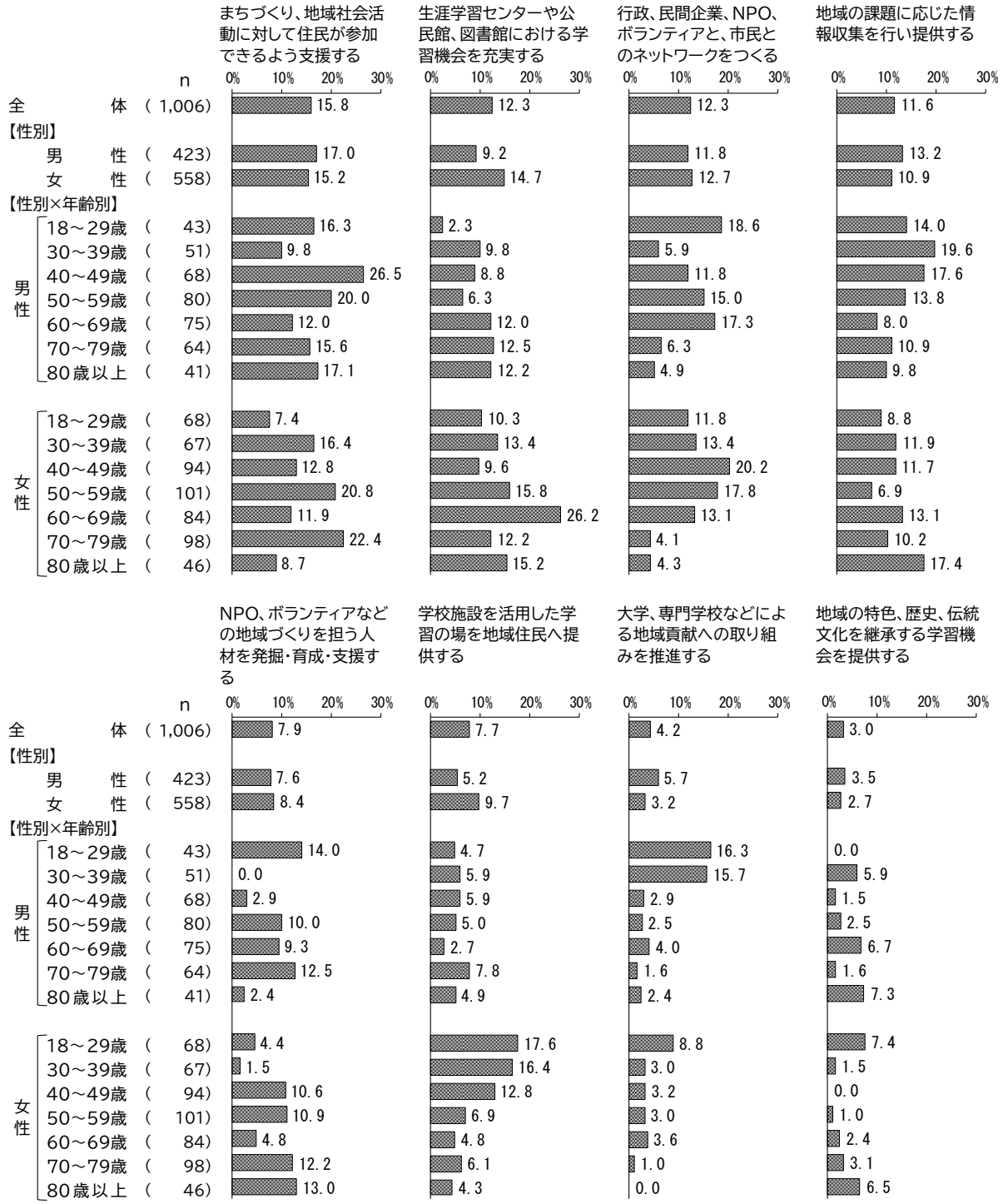


図Ⅲ－２２－１　地域社会の活力を向上させるために市が力を入れる点

【性別／性別×年齢別】

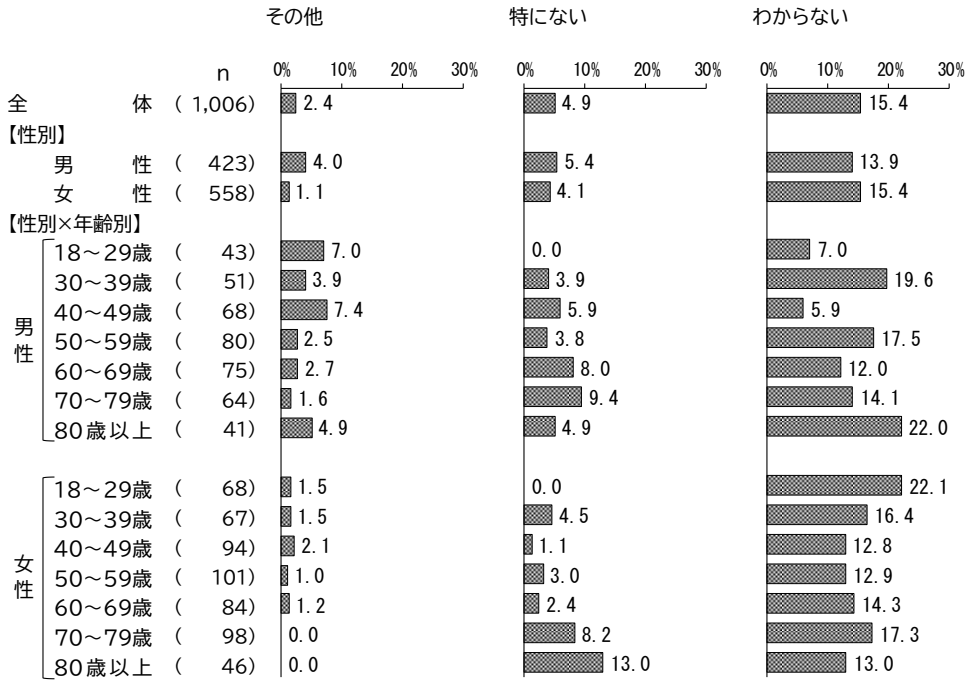
性別にみると、「生涯学習センターや公民館、図書館における学習機会を充実する」は、女性で 14.7%と高くなっている。

性別×年齢別にみると、「まちづくり、地域社会活動に対して住民が参加できるよう支援する」は、男性 40～49 歳で 26.5%、「生涯学習センターや公民館、図書館における学習機会を充実する」は、女性 60～69 歳で 26.2%、「行政、民間企業、ＮＰＯ、ボランティアと、市民とのネットワークをつくる」は、女性 40～49 歳で 20.2%と他の年齢層に比べて高くなっている。



図Ⅲ－２２－２　地域社会の活力を向上させるために市が力を入れる点（性別／性別×年齢別）

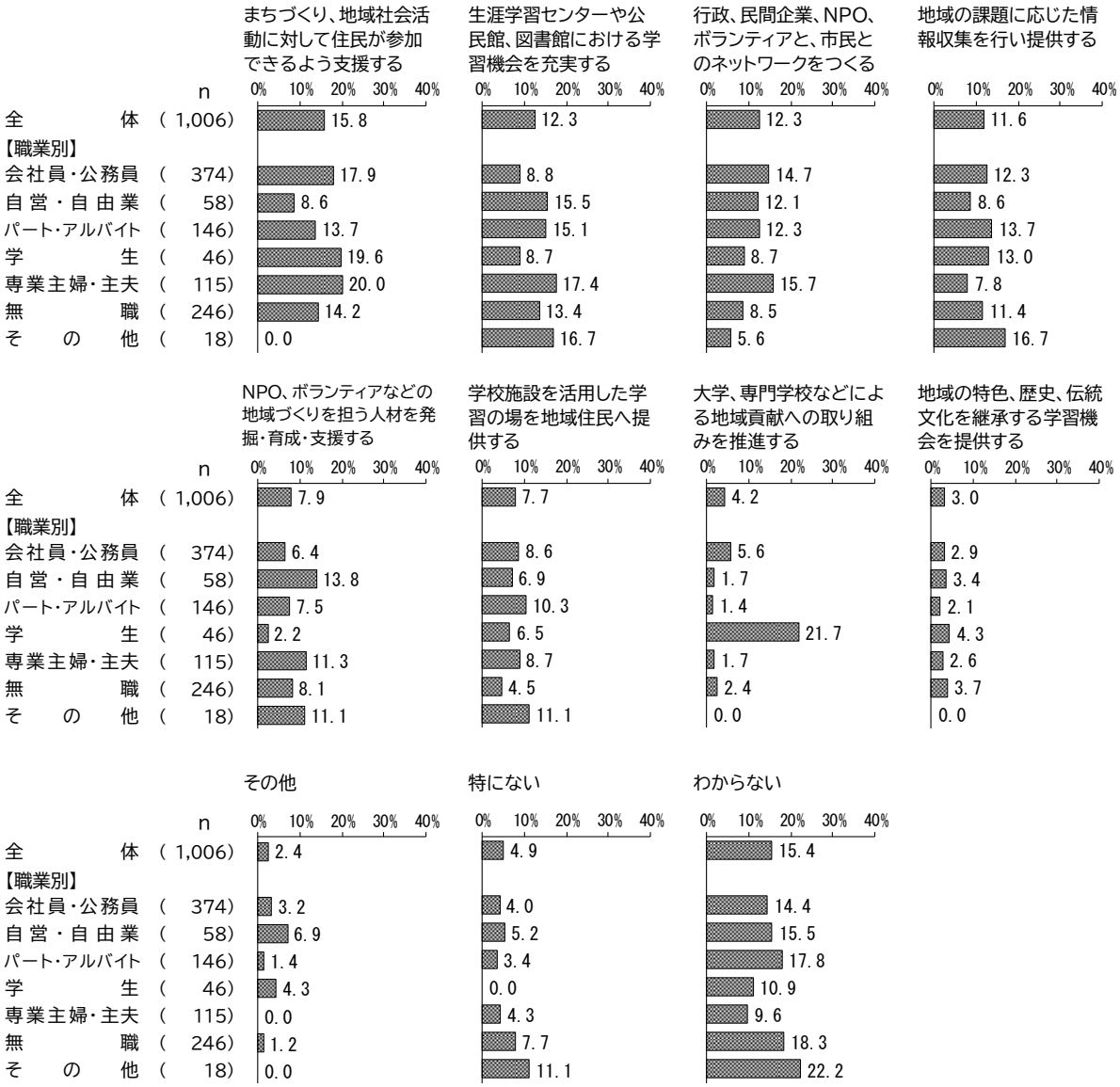
【性別／性別×年齢別】（続き）



図Ⅲ－２２－３　地域社会の活力を向上させるために市が力を入れる点（性別／性別×年齢別）

【職業別】

職業別にみると、「大学、専門学校などによる地域貢献への取り組みを推進する」は、学生で21.7%、「生涯学習センターや公民館、図書館における学習機会を充実する」は、専業主婦・主夫で 17.4%、「ＮＰＯ、ボランティアなどの地域づくりを担う人材を発掘・育成・支援する」は、自営・自由業で13.8%と他の職業に比べて高くなっている。

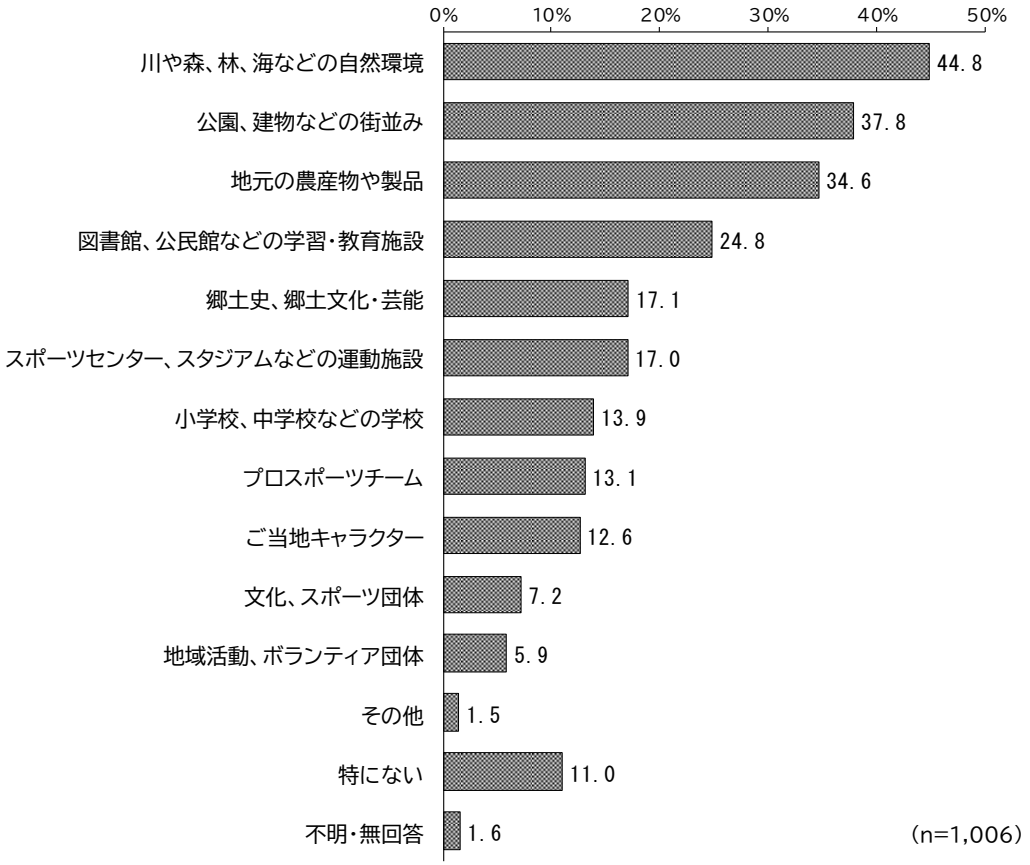


図Ⅲ－２２－４　地域社会の活力を向上させるために市が力を入れる点（職業別）

２３．身近な地域のどのようなものに愛着を感じるか

【問２３】あなたは、身近な地域のどのようなものに愛着を感じますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

身近な地域のどのようなものに愛着を感じているかについてたずねたところ、「川や森、林、海などの自然環境」が 44.8％で最も高く、次いで、「公園、建物などの街並み」（37.8％）、「地元の農産物や製品」（34.6％）、「図書館、公民館などの学習・教育施設」（24.8％）、「郷土史、郷土文化・芸能」（17.1％）、「スポーツセンター、スタジアムなどの運動施設」（17.0％）などと続いている。

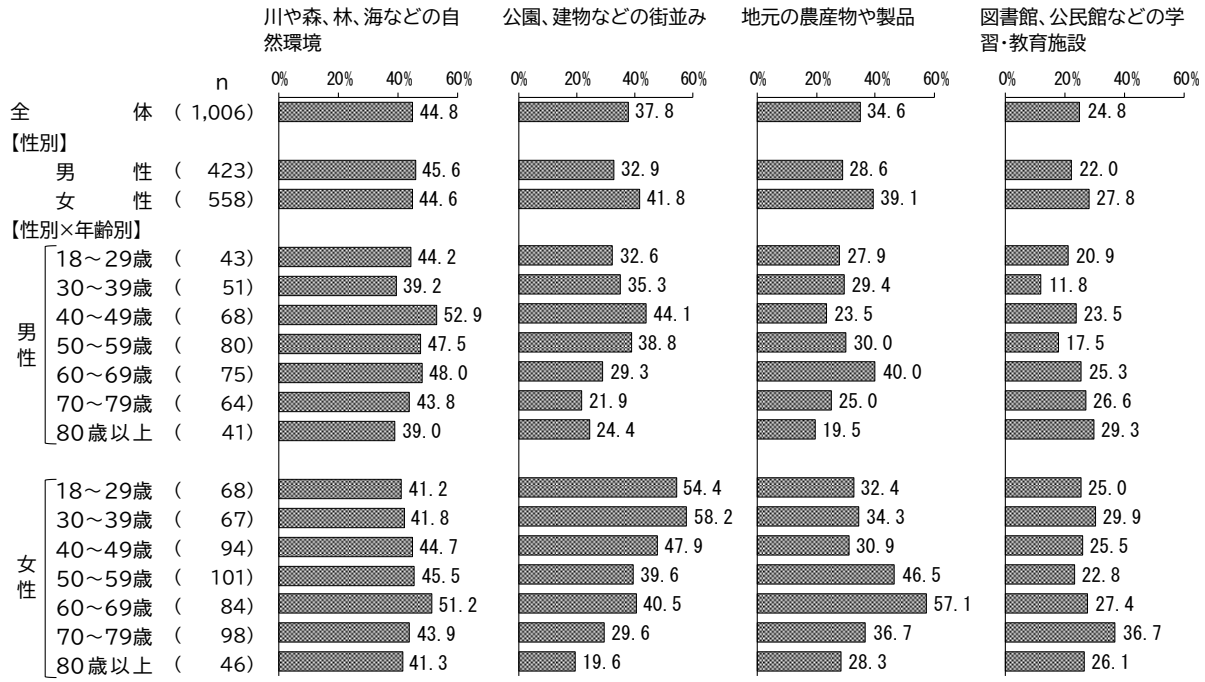


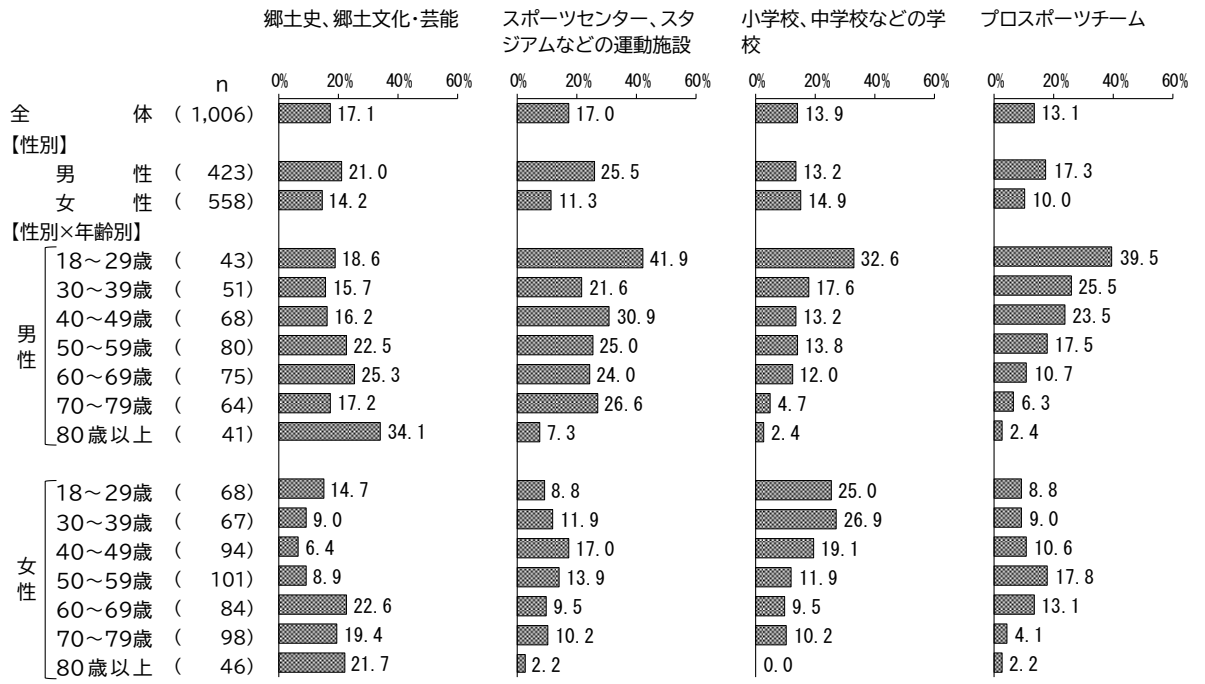
図Ⅲ－２３－１　身近な地域のどのようなものに愛着を感じるか

【性別／性別×年齢別】

性別にみると、「公園、建物などの街並み」と「地元の農産物や製品」は、女性でそれぞれ41.8%、39.1%と高く、「スポーツセンター、スタジアムなどの運動施設」、「郷土史、郷土文化・芸能」、「プロスポーツチーム」は、男性でそれぞれ25.5%、21.0%、17.3%と高くなっている。

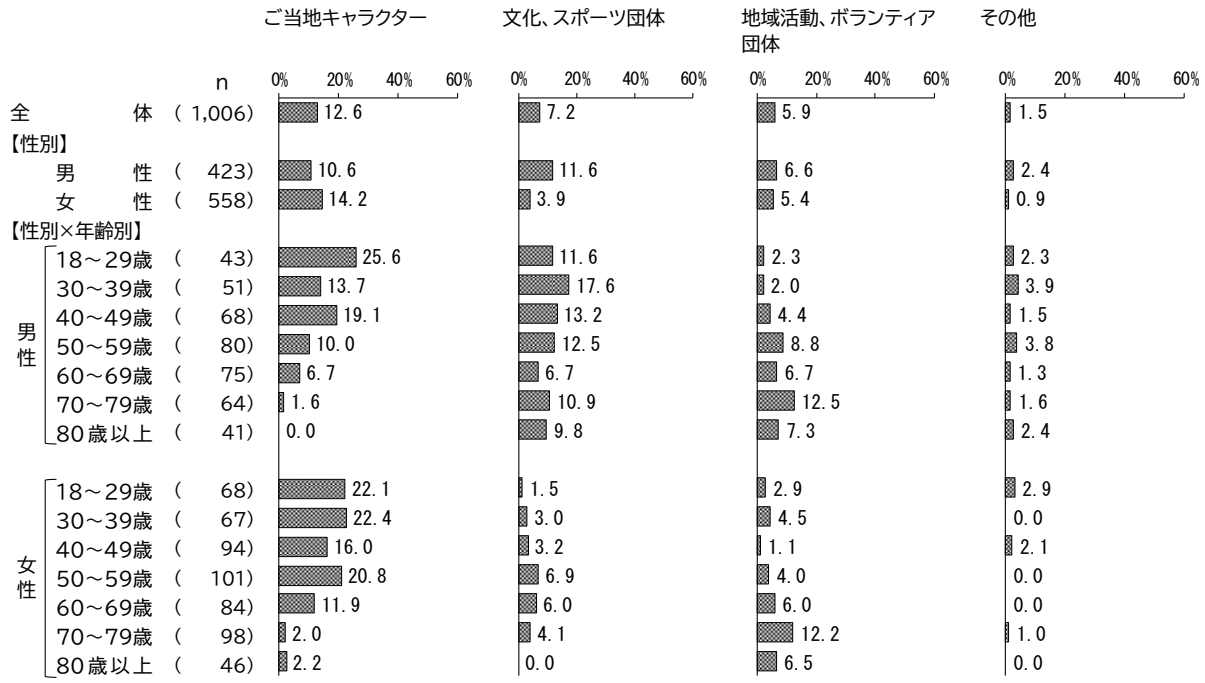
性別×年齢別にみると、「公園、建物などの街並み」は、女性18～29歳と30～39歳でそれぞれ54.4%、58.2%、「地元の農産物や製品」は、女性60～69歳で57.1%と5割を超えて高くなっている。「スポーツセンター、スタジアムなどの運動施設」、「プロスポーツチーム」、「小学校、中学校などの学校」は、いずれも男性18～29歳でそれぞれ41.9%、39.5%、32.6%と他の年齢層に比べて高く、「図書館、公民館などの学習・教育施設」は、女性70～79歳で36.7%、「郷土史、郷土文化・芸能」は、男性80歳以上で34.1%と高くなっている。





図Ⅲ－２３－２　身近な地域のどのようなものに愛着を感じるか（性別／性別×年齢別）

【性別／性別×年齢別】（続き）



図Ⅲ－２３－３　身近な地域のどのようなものに愛着を感じるか（性別／性別×年齢別）

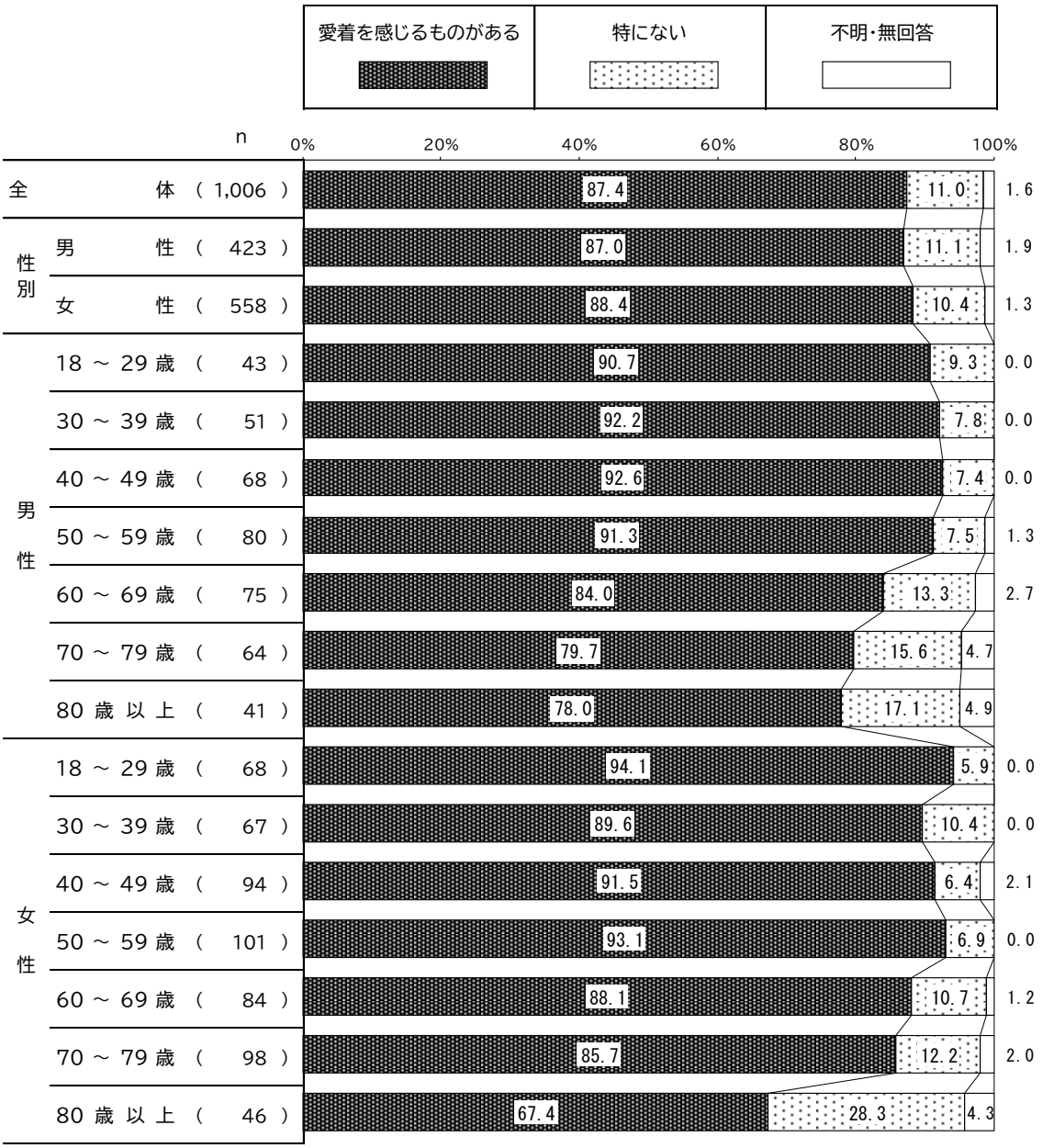
■身近な地域への愛着の有無

身近な地域に愛着を感じるものがあるか否かの割合をみるため、回答選択肢１～12（P117、調査票参照）の中から１つ以上選んだ方を「愛着を感じるものがある」として、集計を行った。

全体で、愛着を感じるものがある方の割合をみると、87.4%だった。

性別で比較しても、男女間で大きな差はみられない。

性別×年齢別にみると、「愛着を感じるものがある」は、男性 18～29 歳から男性 50～59 歳までの年齢層と女性 18～29 歳、女性 40～49 歳、女性 50～59 歳で 90.7～94.1%と 9 割を超えて高くなっている。一方、女性 80 歳以上で「愛着を感じるものがある」は、67.4%と 6 割台に留まり、他の年齢層と比べて低くなっている。



図Ⅲ－２３－４　身近な地域への愛着の有無（性別／性別×年齢別）

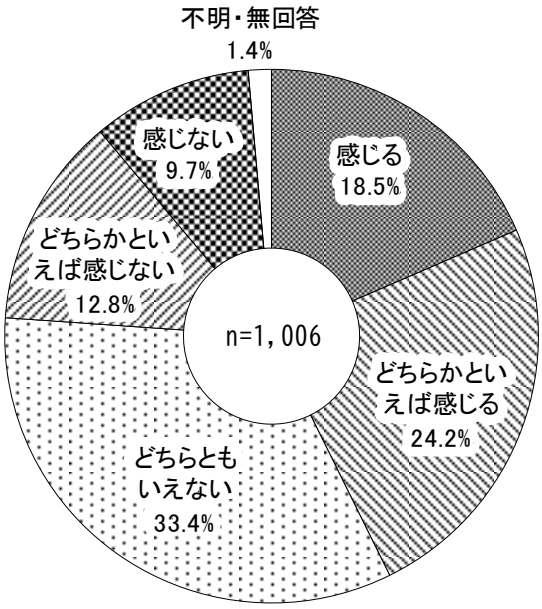
２４．千葉市の歴史や文化財への愛着

【問２４】千葉市の歴史や文化財に愛着を感じていますか。あてはまる番号に１つ○印をつけてください。

千葉市の歴史や文化財に愛着を感じているかについてたずねたところ、「感じる」（18.5%）と「どちらかといえば感じる」（24.2%）を合わせた『感じる』の割合は、42.7%となっている。

一方、「どちらかといえば感じない」（12.8%）と「感じない」（9.7%）を合わせた『感じない』の割合は、22.5%となっており、『感じる』の割合（42.7%）よりも 20.2 ポイント低くなっている。

なお、「どちらともいえない」の割合は、33.4%と 1/3 を占めている。

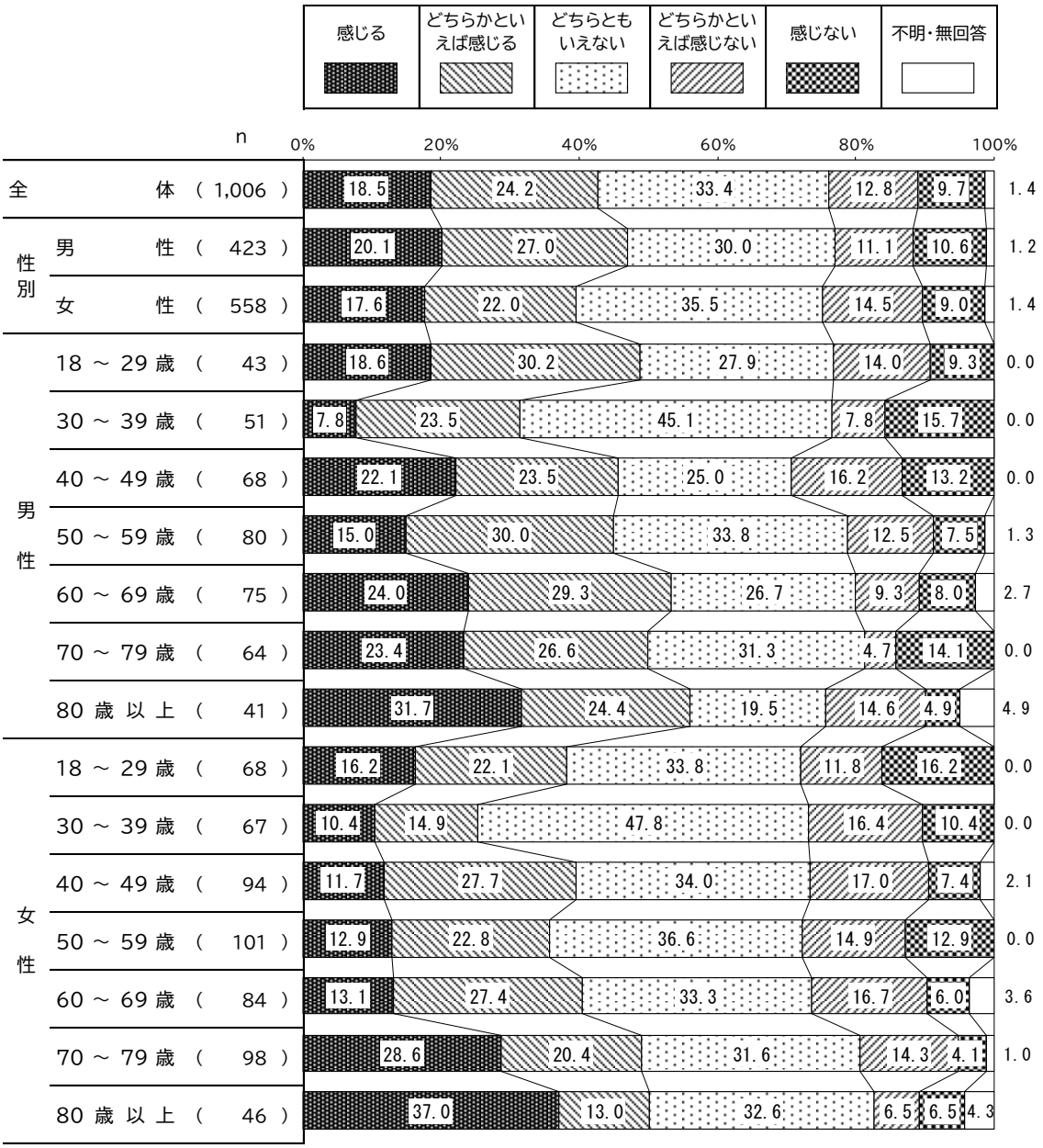


図Ⅲ－２４－１　千葉市の歴史や文化財への愛着

【性別／性別×年齢別】

性別で比較すると、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合わせた『感じる』は、男性（47.1%）が女性（39.6%）より、7.5 ポイント高くなっている。

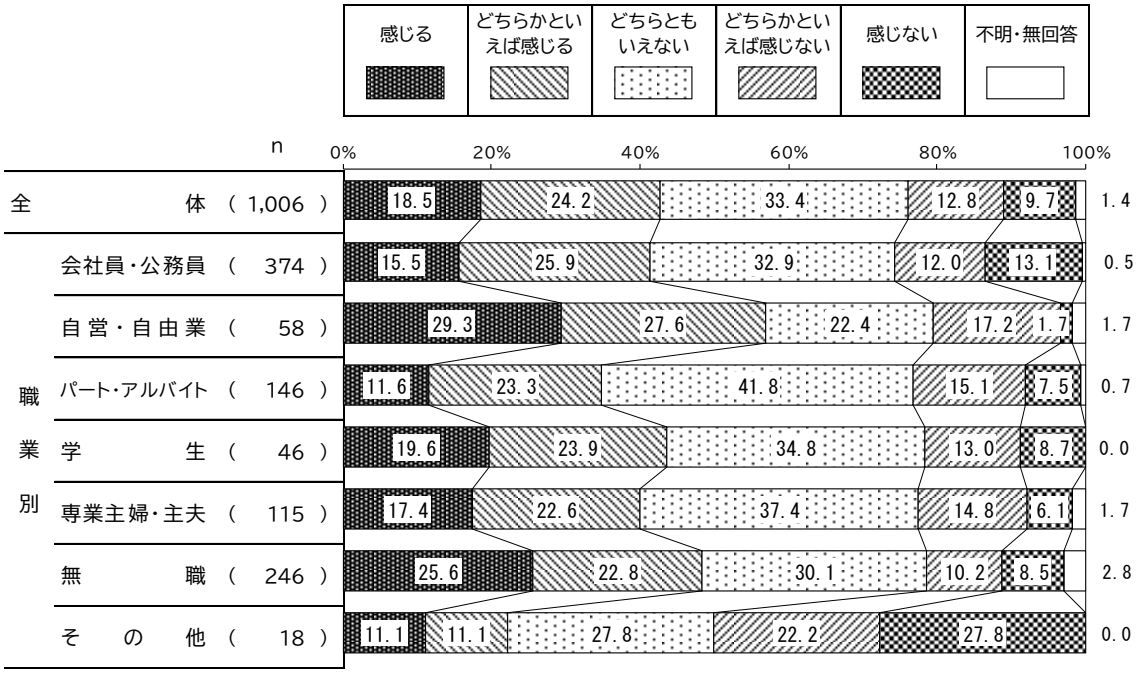
性別×年齢別にみると、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合わせた『感じる』の割合は、男性 60～69 歳、男性 70～79 歳までと男女ともに 80 歳以上で 50.0～56.1%と 5 割を超えており、他の年齢層と比べて高くなっている。一方、「どちらかといえば感じない」と「感じない」を合わせた『感じない』の割合は、男性 40～49 歳と女性 18～29 歳でそれぞれ 29.4%、28.0%と、3 割近くを占め高くなっている。



図Ⅲ－２４－２　千葉市の歴史や文化財への愛着（性別／性別×年齢別）

【職業別】

職業別にみると、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合わせた『感じる』の割合は、自営・自由業と無職でそれぞれ 56.9%、48.4%と他の職業と比べて高くなっている。一方、「どちらかといえば感じない」と「感じない」を合わせた『感じない』の割合は、その他で 50.0%と 5 割を占め高くなっている。



図Ⅲ－２４－３　千葉市の歴史や文化財への愛着（職業別）

Ⅳ．調査票

千葉市生涯学習市民意識調査

-アンケート調査ご協力のお願い-

皆様には、日ごろより千葉市の教育行政にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

この調査は、千葉市における生涯学習の推進に関して、その方向性を定める「第６次生涯学習推進計画」を策定するための基礎資料として実施するものです。

市内にお住まいの１８歳以上の方から、「ランダム・サンプリング」というくじ引きに似た方法で無作為に抽出した2,500名の皆様にお願いしております。

この調査は無記名であり、個人が特定されることはありません。また、調査結果につきましては、すべて統計的に処理いたしますので、ご回答いただいた皆様にご迷惑をおかけすることは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、率直なご意見をお聞かせくださいますよう、ご協力のほどお願い申しあげます。

令和３年１０月

千葉市教育委員会

◆生涯学習活動とは◆

私たち一人ひとりが、生活の向上、職業上の能力の向上や自己の充実を目指し、自らの生活を豊かにするために、生涯のいろいろな時期に自分から進んで行うものです。

学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場や機会において行われる学習のことをいいます。

◆ご回答方法について◆

ご回答は、封筒あて名にあるご本人様にお願いいたします。
また、郵送もしくはインターネットのどちらかでお願いいたします。
それぞれの回答方法は、裏面をご覧ください。

この調査につきまして、ご質問などがございましたら、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。

＜問い合わせ先＞千葉市教育委員会事務局 生涯学習部 生涯学習振興課 管理班
千葉市中央区問屋町１番３５号　千葉ポートサイドタワー１１階
電話：０４３（２４５）５９５３
E-mail：shogaigakushu.EDL@city.chiba.lg.jp

◆郵送でのご回答の場合◆

1．ご回答は、調査票のあてはまる番号に○印をつけてください。各設問によって○印をつける数が異なりますので、そのつど、記載されている記入方法に沿ってご記入ください。
2．設問によっては、お答えしていただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きにご注意ください。
3．ご回答で「その他」を選ばれた方は、（具体的に＿＿＿＿＿）に内容をご記入ください。
4．ご記入は、黒や青のペンまたは濃い鉛筆でお願いいたします。
5．調査票にご記入いただきましたら、恐れ入りますが、同封の返信用封筒に調査票を入れて、**１１月１２日（金）までに**、ご投函ください。切手は不要です。

◆インターネットでのご回答の場合◆

1．インターネットでのご回答は次の方法で回答サイトにアクセスしてください。
（「ちば電子申請サービス」を使用してご回答となります。）

千葉市役所ホームページ　サイト内検索	２次元バーコード
生涯学習市民意識調査　検索	

＜参考：上記でアクセスするサイトのＵＲＬ＞
https://www.city.chiba.jp/kyoiku/shogaigakushu/shogaigakushu/r03shogaigakushu_shiminishiki_chosa.html

2．ご回答は、あてはまる選択肢を選択してください。各設問によって選択する数が異なりますので、そのつど、記載されている記入方法に沿ってご選択ください。
3．設問によっては、お答えしていただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きにご注意ください。
4．ご回答で「その他」を選ばれた方は、文字入力欄に内容を具体的にご記入ください。
5．ご回答は、**１１月１２日（金）２３時５９分までに**、送信してください。

千葉市生涯学習市民意識調査

インターネットでのご回答の場合、 右記の回答ＩＤを回答サイトに入力してください。 ※回答ＩＤは重複回答の確認のみに使用し、個人が特定されることはありません。	回答 ＩＤ	

【問１】生涯学習活動はこれからの時代にどのような意義があると思いますか。あなたのお考えにもっとも近い番号に１つ○印をつけてください。

1．生きがいづくり
2．新しい知識・教養の習得
3．余暇時間の活用
4．仲間づくり・交流活動
5．職業上必要な知識・技能・資格取得
6．地域づくり・まちづくり
7．その他（具体的に……）
8．特にない

【問２】あなたが生涯学習活動を行う上で最も重視していることは何ですか。あてはまる番号に１つ○印をつけてください。

1．健康に役立つ
2．家庭生活に役立つ
3．今の仕事や将来の仕事に役立つ
4．知識や技術を高められる
5．資格取得に役立つ
6．人生を豊かにする
7．ストレスの解消になる
8．仲間づくりができる
9．地域や社会全体との関わりが深められる
10．社会に貢献できる
11．その他（具体的に……）
12．特にない

【問３】あなたは、この１年間に、どのような生涯学習活動を行いましたか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

1．健康（医学、栄養学、感染症など）
2．家庭生活（料理、手芸など）
3．育児・教育（幼児教育、教育活動など）
4．学術・教養（文学、郷土史、経済、語学など）
5．社会問題（時事、国際、環境など）
6．自然災害（防災、避難方法など）
7．情報通信技術（パソコン、スマートフォン、インターネットの使い方など）
8．職業上必要な知識・技能・資格取得
9．趣味・お稽古事（音楽、美術、伝統芸能、園芸など）
10．健康づくり（各種スポーツ、レクリエーションなど）
11．地域活動（町内自治会、PTA、住民グループなど）
12．ボランティア活動（福祉、環境美化、学習指導など）
13．その他（具体的に……）
14．行っていない ⟶ **問６へ**

- 1 -

問３で１～13に○印をつけた方（この１年間に生涯学習活動を行った方）におたずねします。

【問４】あなたは、どのような方法・機会を利用して生涯学習活動を行っていますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

1．生涯学習センター、公民館、図書館など行政機関や公共施設の講座・教室
2．カルチャーセンターなど民間の講座・スポーツ教室
3．大学・短大・高校の公開講座・教室
4．けいこ事などの個人教授
5．友人・知人のグループや同好会
6．町内自治会など地域のグループ
7．職場のサークル
8．職場の研修
9．テレビ、ラジオ、本（参考書など含む）、通信教育などを利用した個人学習
10．パソコン、インターネットなどを利用した個人学習
11．その他（具体的に＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

引き続き、問３で１～13に○印をつけた方（この１年間に生涯学習活動を行った方）におたずねします。

【問５】あなたが、生涯学習活動を行うのは、主に何曜日のどの時間帯ですか。もっともあてはまる番号に１つ○印をつけてください。

1．平日（月～金曜日）の午前
2．平日（月～金曜日）の午後（６時頃まで）
3．平日（月～金曜日）の夜間（６時頃以降）
4．土曜日の午前
5．土曜日の午後（６時頃まで）
6．土曜日の夜間（６時頃以降）
7．日曜日の午前
8．日曜日の午後（６時頃まで）
9．日曜日の夜間（６時頃以降）

→ 問７へ

問３で14に○印をつけた方（この１年間に生涯学習活動を行っていない方）におたずねします。

【問６】あなたが、生涯学習活動をしない理由は何ですか。もっともあてはまる番号に１つ○印をつけてください。

1．仕事のため時間がとれない
2．家事・育児・介護などで時間がとれない
3．一緒にする仲間がいない
4．費用がかかるので、できない
5．どんな生涯学習活動があるのかわからない
6．適切な講師や指導者がいない
7．身近に利用できる施設が少ない
8．希望する内容の学習や活動機会が少ない
9．身体への負担が大きい
10．新型コロナウイルスの感染拡大防止で利用を自粛していたから
11．その他（具体的に＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
12．特に関心がない

全員の方におたずねします。

【問７】あなたは、生涯学習活動を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのような形で生かしたいと思いますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

1．健康維持
2．日常生活
3．仕事や就職
4．さらに深い知識や技術を身につけたい
5．資格取得
6．人生をより充実したものにしたい
7．学習、スポーツなどの指導
8．地域活動（町内自治会、PTA、住民グループなど）
9．ボランティア活動（福祉、環境美化、学習指導など）
10．その他（具体的に＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
11．特にない

【問８】あなたは、今後どのような生涯学習活動をしてみたいと思いますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

1．健康（医学、栄養学、感染症など）
2．家庭生活（料理、手芸など）
3．育児・教育（幼児教育、教育活動など）
4．学術・教養（文学、郷土史、経済、語学など）
5．社会問題（時事、国際、環境など）
6．自然災害（防災、避難方法など）
7．情報通信技術（パソコン、スマートフォン、インターネットの使い方など）
8．職業上必要な知識・技能・資格取得
9．趣味・お稽古事（音楽、美術、伝統芸能、園芸など）
10．健康づくり（各種スポーツ、レクリエーションなど）
11．地域活動（町内自治会、PTA、住民グループなど）
12．ボランティア活動（福祉、環境美化、学習指導など）
13．その他（具体的に＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
14．特にない

【問９】あなたは、この１年間にどの施設を利用しましたか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

1．生涯学習センター
2．公民館
3．コミュニティセンター
4．図書館
5．加曽利貝塚博物館
6．郷土博物館
7．科学館
8．市美術館、市民ギャラリーいなげ
9．花の美術館、都市緑化植物園
10．公園・動物公園
11．南部青少年センター
12．少年自然の家
13．体育館・プールなど公共スポーツ施設
14．文化施設
15．男女共同参画センター
16．小・中・高・大学など（公開講座・施設開放など）
17．保健所、保健福祉センター
18．子ども交流館、子育て支援館
19．いきいきプラザ、いきいきセンター
20．消費生活センター
21．勤労市民プラザ
22．民間のカルチャーセンター
23．民間のスポーツクラブ、スポーツ施設
24．その他（具体的に＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
25．利用していない → 問１１へ

問９で１～24に○印をつけた方（生涯学習関連施設をこの１年間に利用した方）におたずねします。

【問１０】その施設を利用する理由は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

1．自宅から近いから	6．予約がしやすいから
2．施設・設備が充実しているから	7．交通の便がよいから
3．利用時間が希望に合うから	8．その他（具体的に＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
4．講座・イベントなどの内容がよいから	9．特にない
5．料金がかからないから、安いから	

→ 問１２へ

問９で25に○印をつけた方（生涯学習関連施設をこの１年間に利用しなかった方）におたずねします。

【問１１】施設を利用しなかった理由は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

1．自宅から遠いから	7．交通の便が悪いから
2．施設・設備が充実していないから	8．新型コロナウイルスの感染拡大防止で利用を自粛していたから
3．利用時間が希望に合わないから	9．施設の存在を知らなかったから
4．興味のある講座・イベントなどがなかったから	10．その他（具体的に＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
5．料金がかかるから、高いから	11．特にない
6．予約がしにくいから	

全員の方におたずねします。

【問１２】あなたが、今後利用してみたい施設はどれですか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

1．生涯学習センター	14．文化施設
2．公民館	15．男女共同参画センター
3．コミュニティセンター	16．小・中・高・大学など（公開講座・施設開放など）
4．図書館	17．保健所、保健福祉センター
5．加曽利貝塚博物館	18．子ども交流館、子育て支援館
6．郷土博物館	19．いきいきプラザ、いきいきセンター
7．科学館	20．消費生活センター
8．市美術館、市民ギャラリーいなげ	21．勤労市民プラザ
9．花の美術館、都市緑化植物園	22．民間のカルチャーセンター
10．公園・動物公園	23．民間のスポーツクラブ、スポーツ施設
11．南部青少年センター	24．その他（具体的に＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
12．少年自然の家	25．利用してみたい施設はない → 問１４へ
13．体育館・プールなど公共スポーツ施設	

問１２で１～24に○印をつけた方（今後利用してみたい施設がある方）におたずねします。

【問１３】その施設を利用してみたい理由は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

1．自宅から近いから	6．予約がしやすいから
2．施設・設備が充実しているから	7．交通の便がよいから
3．利用時間が希望に合うから	8．その他（具体的に＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
4．講座・イベントなどの内容がよいから	9．わからない
5．料金がかからないから、安いから	10．特にない

全員の方におたずねします。

【問１４】あなたは、千葉市の生涯学習関連施設について、市はどのような点に力を入れるとよいと思いますか。あなたのお考えにもっとも近い番号に１つ○印をつけてください。

1．既存の施設・設備の充実
2．情報通信機器の利用環境（Wi-Fi 設備など）の整備
3．夜間や休日でも利用できるようにする
4．誰でも気軽に参加できる行事やイベントの充実
5．子どもの一時預かりの充実
6．生涯学習について相談できる専門的な職員の配置
7．生涯学習に関する情報提供の充実
8．気軽に立ち寄って個人で学習したり、仲間と教えあったりできるフリースペース
9．学校の施設を開放する
10．その他（具体的に＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
11．特にない

【問１５】あなたは、千葉市の生涯学習に関する情報をどのようにして手に入れていますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

1．市政だより	8．新聞・テレビ・ラジオ
2．公民館のチラシ、情報誌など	9．雑誌・タウン情報誌
3．生涯学習センターのチラシ、情報誌など	10．家族から聞く
4．市の施設での掲示やポスター	11．知り合いや仲間から聞く
5．市の施設に問い合わせたり、職員に聞く	12．その他（具体的に＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
6．インターネット、SNS	13．特に情報を得ていない
7．町内自治会の回覧板、掲示板など	

【問１６】あなたは、千葉市の生涯学習活動に関する情報は充実していると感じますか。あてはまる番号に１つ○印をつけてください。

1．感じる	3．どちらともいえない	4．どちらかといえば感じない
2．どちらかといえば感じる		5．感じない

【問１７】あなたは、インターネットを利用する際、どの機器をもっとも使用していますか。
あてはまる番号に１つ○印をつけてください。

1．自宅にあるパソコン
2．自分のスマートフォン（タブレット含む）
3．自分の携帯電話
4．自宅以外のパソコン
→ 問２０へ
5．自分の物以外のスマートフォン（タブレット含む）
6．自分の物以外の携帯電話
7．その他（具体的に……）
8．インターネットを利用しない

問１７で８に○印をつけた方（インターネットを利用しない方）におたずねします。

【問１８】インターネットを利用しない理由は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

1．利用できる機器がない
2．利用の仕方がわからない
3．利用料金がかかる
4．安全性などに不安がある
5．身近に教えてくれる人がいない
6．面倒である
7．利用する必要性が無い
8．その他（具体的に……）
9．特にない

引き続き、問１７で８に○印をつけた方（インターネットを利用しない方）におたずねします。

【問１９】あなたは、インターネットを利用したいと思いますか。あてはまる番号に１つ○印をつけてください。

1．思う
2．どちらかといえば思う
3．どちらともいえない
4．どちらかといえば思わない
5．思わない

全員の方におたずねします。

【問２０】あなたは、千葉市の生涯学習事業について、市はどのような点に力を入れるとよいと思いますか。あなたのお考えにもっとも近い番号に１つ○印をつけてください。

1．大学などとの連携による高度で専門的な学習機会を提供する
2．文化・芸能を鑑賞する事業を増やす
3．市民が参加できる研究会、討論会形式の事業を増やす
4．市民が企画から参加したり、市民グループなどから公募する市の講座を増やす
5．団体やグループ・サークルなどの自主的な活動を支援する
6．技能・資格取得関連のセミナーなど職業能力の向上につながる講座を増やす
7．出張講座など、市内の職場でも受講できる機会を増やす
8．放課後や休日の子どもの居場所づくりに資する事業を増やす
9．インターネットを利用したオンライン講座を増やす
10．学んだ成果が地域の活動に生かせる機会を増やす
11．学んだ成果で、社会的に評価される資格を得たり、活動したりできるようにする
12．その他（具体的に……）
13．特にない

【問２１】千葉市では、学習活動を通じて地域課題を自ら解決するコミュニティが形成されることを目標に事業を行っています。住民同士が、互いに協力して地域の課題の解決などに取り組んでいると思いますか。あてはまる番号に１つ○印をつけてください。

※取り組み例　地域住民と公民館が連携した地域の課題解決に資する講座、公民館コンサート（地域住民の交流）、公民館での伝承遊び講座（世代間の交流）、学校施設開放（地域活動や生涯学習の場の提供）など

1．思う
2．どちらかといえば思う
3．どちらともいえない
4．どちらかといえば思わない
5．思わない

【問２２】地域社会の活力の低下が指摘されています。地域社会の活力を向上させるためには、市はどのような点に力を入れるとよいと思いますか。あなたのお考えにもっとも近い番号に１つ○印をつけてください。

1．学校施設を活用した学習の場を地域住民へ提供する
2．大学、専門学校などによる地域貢献への取り組みを推進する
3．生涯学習センターや公民館、図書館における学習機会を充実する
4．ＮＰＯ、ボランティアなどの地域づくりを担う人材を発掘・育成・支援する
5．まちづくり、地域社会活動に対して住民が参加できるよう支援する
6．行政、民間企業、ＮＰＯ、ボランティアと、市民とのネットワークをつくる
7．地域の課題に応じた情報収集を行い提供する
8．地域の特色、歴史、伝統文化を継承する学習機会を提供する
9．その他（具体的に……）
10．特にない
11．わからない

【問２３】あなたは、身近な地域のどのようなものに愛着を感じますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

1．郷土史、郷土文化・芸能
2．地元の農産物や製品
3．川や森、林、海などの自然環境
4．公園、建物などの街並み
5．地域活動、ボランティア団体
6．文化、スポーツ団体
7．小学校、中学校などの学校
8．図書館、公民館などの学習・教育施設
9．スポーツセンター、スタジアムなどの運動施設
10．プロスポーツチーム
11．ご当地キャラクター
12．その他（具体的に……）
13．特にない

【問２４】千葉市の歴史や文化財に愛着を感じていますか。あてはまる番号に１つ○印をつけてください。

※文化財とは、歴史上、芸術上または学術上の価値が高いものをさし、そのうち重要なものを国・県・市が指定・登録しています。千葉市にあるものでは、加曽利貝塚、稲毛浅間神社の神楽、旧川崎銀行千葉支店本館(現在の千葉市美術館 1～2 階部分)などが該当します。

1．感じる
2．どちらかといえば感じる
3．どちらともいえない
4．どちらかといえば感じない
5．感じない

【問２５】あなたの性別はどちらですか。あてはまる番号に１つ○印をつけてください。

※性別を回答したくない場合は、選ばなくて構いません。

1．男性	2．女性

【問２６】あなたの年齢は次のうちどれですか。あてはまる番号に１つ○印をつけてください。

1．18～22 歳	6．60～64 歳
2．23～29 歳	7．65～69 歳
3．30～39 歳	8．70～74 歳
4．40～49 歳	9．75～79 歳
5．50～59 歳	10．80 歳以上

【問２７】あなたのお住まいの区は次のうちどれですか。あてはまる番号に１つ○印をつけてください。

1．中央区	4．若葉区
2．花見川区	5．緑区
3．稲毛区	6．美浜区

【問２８】あなたの職業は次のうちどれですか。あてはまる番号に１つ○印をつけてください。

1．会社員・公務員	5．専業主婦・主夫
2．自営・自由業	6．無職（年金生活を含む）
3．パート・アルバイト	7．その他（具体的に……）
4．学生	

【問２９】あなたと同居している一番下のお子さんの学齢は次のうちどれですか。あてはまる番号に１つ○印をつけてください。

1．未就学児
2．小学生
3．中学生
4．高校生（高校生に相当する年齢の方を含む）
5．未就学児から高校生（高校生に相当する年齢の方を含む）の同居している子どもはいない

質問は以上です。長時間にわたってアンケートにご協力いただきありがとうございました。

令和３年度　千葉市生涯学習市民意識調査報告書

令和４年３月発行

【発　行】　〒260-8730　千葉市中央区問屋町 1-35 千葉ポートサイドタワー11 階
千葉市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習振興課
☎　043（245）5953（直通）
ホームページ
https://www.city.chiba.jp/kyoiku/shogaigakushu/shogaigakushu/index.html
メールアドレス　shogaigakushu.EDL@city.chiba.lg.jp

【実　施】　〒261-8501　千葉県千葉市美浜区中瀬１丁目３番地
幕張テクノガーデン CB 棟３階 MBP
株式会社　綜合企画　千葉事務所
☎　043（330）3600（代表）

●この冊子は、地球環境保全推進のため、再生紙を使用しています。

令和３年度

千葉市生涯学習関係団体調査報告書

千葉市教育委員会

目　　次

Ⅰ．　調査概要 2
１．　調査目的 2
２．　調査設計 2
３．　配布・回収結果 2
４．　報告書の見方 3
Ⅱ．　調査回答団体の属性 5
１．　活動場所 5
２．　活動地区 5
３．　会員規模 6
Ⅲ．　調査結果の分析 8
１．　会員数の多い（活動が盛んな）年代 8
２．　主な活動分野 10
３．　生涯学習施設の利用のしやすさ 13
４．　学習成果の活用状況 15
５．　学習成果の活用頻度 19
６．　学習成果を活用していない理由 21
７．　現在抱えている問題 23
８．　市の施策への要望 28
Ⅳ．　調査票 33

Ⅰ．調査概要

Ⅰ．調査概要

１．調査目的

本調査は、次年度策定予定の第６次生涯学習推進計画の基礎的資料として活用するため、前回実施した調査以降の市内の生涯学習グループの変化を調査することにより、第５次生涯学習推進計画における課題の洗い出しを行うとともに、千葉市内の生涯学習グループの生涯学習の現状と将来の動向、生涯学習推進施策の課題を明らかにすることを目的とする。

２．調査設計

（１）調査地域：千葉市全域
（２）調査対象：千葉市内生涯学習関係団体の代表者
（３）標 本 数：1,000 団体
（４）標本抽出：公民館・コミュニティセンター・生涯学習センターを利用している登録団体からの無作為抽出
（５）調査方法：直接配布－郵送及びインターネット回収
（６）調査項目：後掲の調査票を参照
（７）調査期間：令和 3 年 10 月 27 日（水）～11 月 24 日（水）
（８）調査機関：株式会社綜合企画　千葉事務所

３．配布・回収結果

配布数	回収数			回収率
		郵送回収	インターネット回収	
1,000件	767件	720件	47件	76.7%

４．報告書の見方

（１）結果の表示方法

本報告書を見るにあたって、留意すべきこととして以下の事項があげられる。

①比率はすべて百分率で表し、小数点第２位を四捨五入して算出した。したがって、すべての選択肢の比率の合計が 100%にならないことがある。

②基数となるべき実数はｎとして掲載した。各比率はｎを 100%として算出した。

③複数回答の質問では、すべての選択肢の比率の合計は通常 100%を超える。

④誤差を考慮し、ｎが小さい場合（10 未満）は、基本的に検討の対象としない。

（２）標本誤差

標本誤差は、次式により得られる。ただし、信頼度は一般的に用いられる 95%とする。

（注）「信頼度 95%」とは、100 回同じ調査を実施したときに、おおむね 95 回はこの精度が得られることを示す。

$$b = \pm 1.96\sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}} \fallingdotseq \pm 1.96\sqrt{\frac{P(1-P)}{n}}$$

ただし、ｂ＝標本誤差
Ｎ＝母集団数（千葉市全登録団体・件）
ｎ＝サンプル数（件）…本報告書ではこれをｎ（比率算出の基数）で示す。
Ｐ＝回答比率

また、Ｎはｎより大きいため、$\frac{N-n}{N-1} \fallingdotseq 1$ とみなしている。

上式をもとに、本調査の標本誤差の早見表を掲げる。

◆今回の調査結果の標本誤差（信頼度95%）

回答比率（Ｐ）／ｎ（件）	10%または90%程度	20%または80%程度	30%または70%程度	40%または60%程度	50%程度
767	±2.12%	±2.83%	±3.24%	±3.47%	±3.54%
500	±2.63%	±3.51%	±4.02%	±4.29%	±4.38%
200	±4.16%	±5.54%	±6.35%	±6.79%	±6.93%
100	±5.88%	±7.84%	±8.98%	±9.60%	±9.80%
50	±8.32%	±11.09%	±12.70%	±13.58%	±13.86%

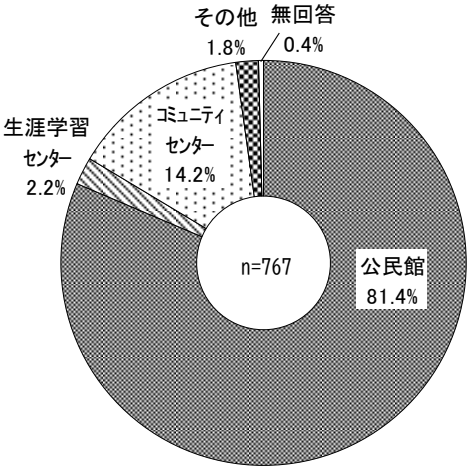
（表の見方）例えば、ある設問の回答件数が 767 件であり、その設問中にある選択肢の回答比率が 50%であった場合、「回答比率の誤差の範囲は±3.54%以内（46.46%～53.54%）である。ただし信頼度が 95%であるので、誤差の範囲が±3.54%以内となる確率は 95%である。」と見ることができる。

Ⅱ．調査回答団体の属性

Ⅱ．調査回答団体の属性

１．活動場所

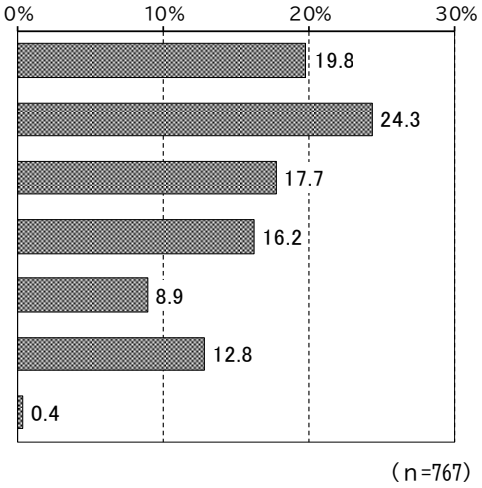
	件数	構成比（%）
１．公民館	624	81.4
２．生涯学習センター	17	2.2
３．コミュニティセンター	109	14.2
４．その他	14	1.8
（不明・無回答）	3	0.4
合　計	767	100.0



図Ⅱ－１　活動場所

２．活動地区

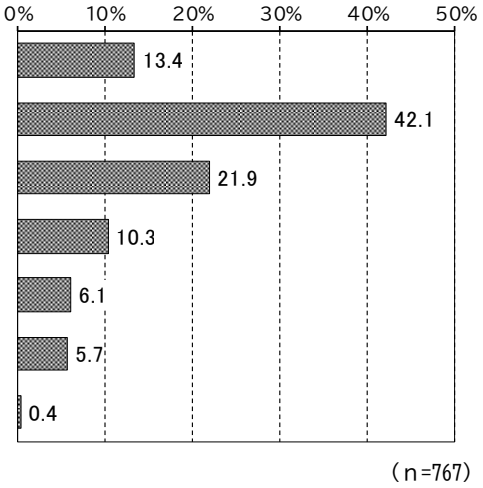
	件数	構成比（%）
１．中央区	152	19.8
２．花見川区	186	24.3
３．稲毛区	136	17.7
４．若葉区	124	16.2
５．緑区	68	8.9
６．美浜区	98	12.8
（不明・無回答）	3	0.4
合　計	767	100.0



図Ⅱ－２　活動地区

３．会員規模

	件数	構成比（%）
１．５人以下	103	13.4
２．６～１０人	323	42.1
３．１１～１５人	168	21.9
４．１６～２０人	79	10.3
５．２１～３０人	47	6.1
６．３１人以上	44	5.7
（不明・無回答）	3	0.4
合　　計	767	100.0



図Ⅱ－３　会員規模

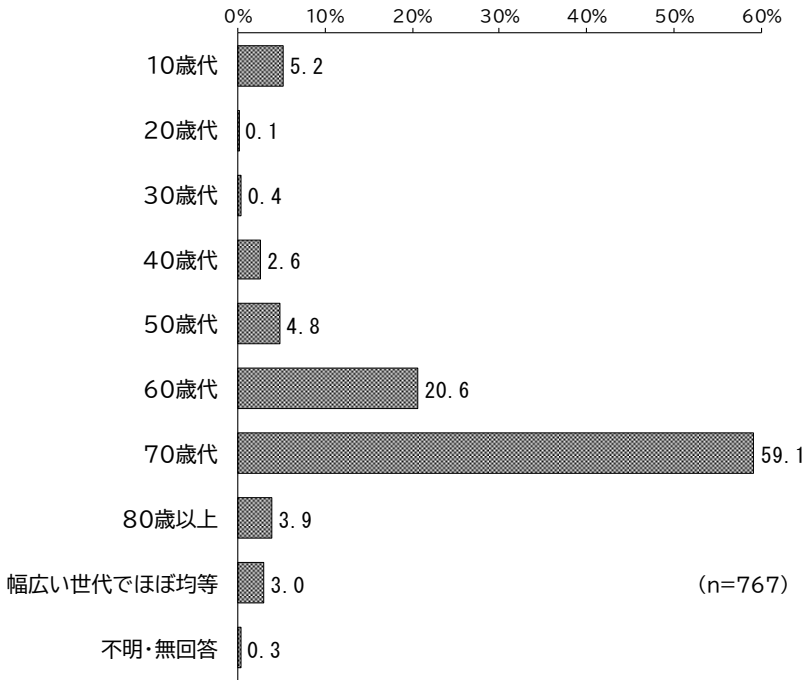
Ⅲ．調査結果の分析

Ⅲ．調査結果の分析

１．会員数の多い（活動が盛んな）年代

【問４】貴団体の会員で、もっとも多い（活動の盛んな）年代は次のうちどれにあたりますか。あてはまる番号に１つ○印をつけてください。

貴団体の会員で、もっとも多い（活動の盛んな）年代についてたずねたところ、「70 歳代」（59.1%）が最も高く、次いで「60 歳代」（20.6%）、「10 歳代」（5.2%）、「50 歳代」（4.8%）などと続いている。



図Ⅲ－１　会員数の多い（活動が盛んな）年代

【活動場所別／活動地区別／会員規模別／活動分野別】

活動場所別にみると、コミュニティセンターでは「10 歳代」が 11.9%と高くなっている。

活動地区別にみると、緑区では「10 歳代」、「40 歳代」、「50 歳代」がそれぞれ 10.3%、10.3%、11.8%と高くなっている。

会員規模別にみると、31 人以上では「幅広い世代でほぼ均等」が 18.2%と高くなっている。

活動分野別にみると、家庭生活では「60 歳代」が 36.4%と高く、地域活動では「幅広い世代でほぼ均等」が 26.7%と高くなっている。

		(n)	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	幅広い世代でほぼ均等
	全体	767	5.2	0.1	0.4	2.6	4.8	20.6	59.1	3.9	3.0
活動場所別	公民館	624	3.8	-	0.3	2.2	4.8	18.9	63.0	4.0	2.6
	生涯学習センター	17	-	-	-	-	5.9	29.4	58.8	-	5.9
	コミュニティセンター	109	11.9	-	0.9	4.6	5.5	30.3	39.4	3.7	3.7
	その他	14	21.4	7.1	-	7.1	-	14.3	28.6	7.1	14.3
活動地区別	中央区	152	3.3	-	0.7	-	5.3	23.7	60.5	2.6	3.9
	花見川区	186	3.2	-	-	2.2	7.5	21.5	58.6	3.8	2.2
	稲毛区	136	5.1	-	1.5	1.5	-	20.6	64.0	5.9	1.5
	若葉区	124	4.8	0.8	-	0.8	0.8	15.3	65.3	7.3	4.8
	緑区	68	10.3	-	-	10.3	11.8	16.2	50.0	-	1.5
	美浜区	98	9.2	-	-	6.1	5.1	23.5	50.0	2.0	4.1
会員規模別	５人以下	103	-	1.0	-	2.9	11.7	26.2	50.5	7.8	-
	６～１０人	323	5.3	-	0.3	2.5	2.8	21.4	61.6	4.3	1.5
	１１～１５人	168	6.5	-	0.6	3.0	7.7	15.5	59.5	2.4	4.2
	１６～２０人	79	5.1	-	1.3	-	1.3	22.8	63.3	3.8	2.5
	２１～３０人	47	8.5	-	-	-	-	23.4	63.8	2.1	2.1
	３１人以上	44	6.8	-	-	9.1	4.5	15.9	45.5	-	18.2
活動分野別	健康	18	-	-	-	5.6	16.7	16.7	61.1	-	-
	家庭生活	33	-	-	-	-	3.0	36.4	57.6	3.0	-
	学術・教養	38	7.9	-	-	-	2.6	31.6	44.7	7.9	5.3
	趣味・お稽古事	363	4.4	-	0.3	1.9	4.1	17.9	63.6	4.7	2.8
	健康づくり	229	6.1	-	-	3.5	4.4	18.3	62.4	3.5	1.7
	地域活動	15	13.3	-	-	-	13.3	20.0	26.7	-	26.7
	ボランティア活動	17	-	-	-	11.8	-	35.3	41.2	5.9	5.9

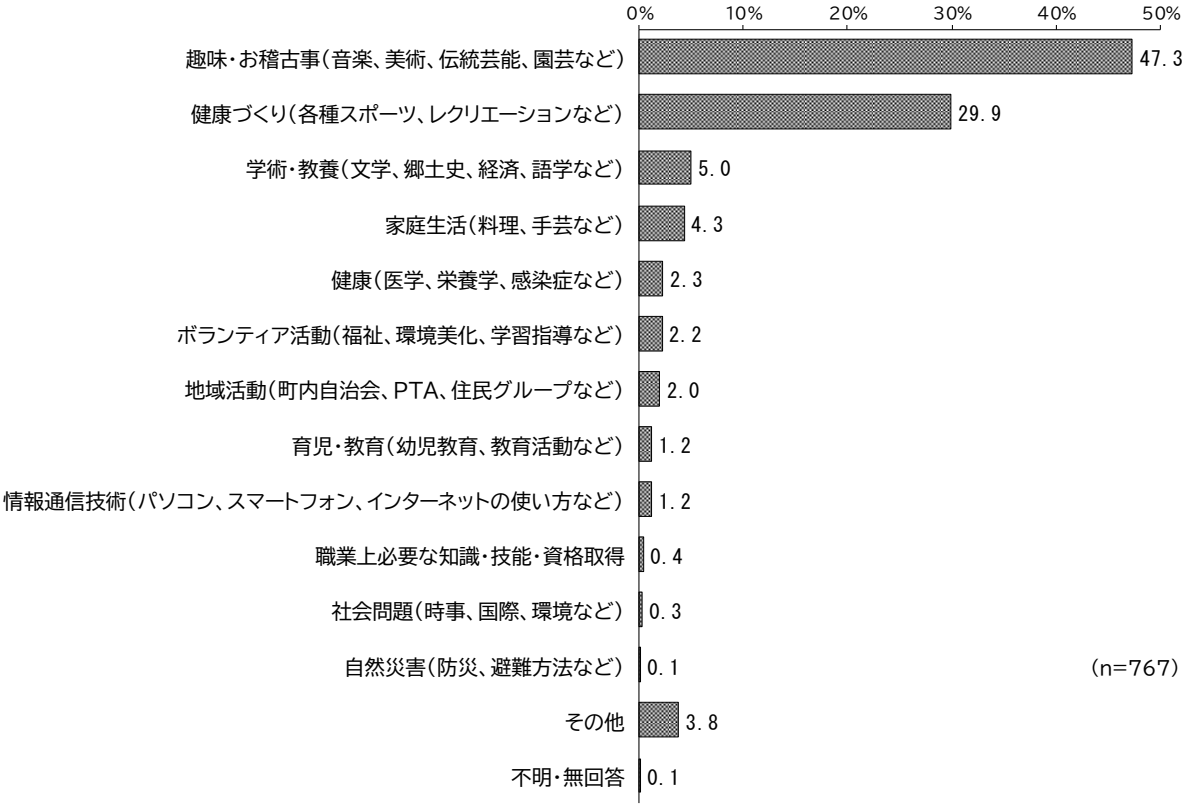
(%)

図Ⅲ－２　会員数の多い（活動が盛んな）年代
（活動場所別／活動地区別／会員規模別／活動分野別）

２．主な活動分野

【問５】貴団体の主な活動分野は、次のうちどれにあたりますか。もっともあてはまる番号に１つ○印をつけてください。

主な活動分野についてたずねたところ、「趣味・お稽古事（音楽、美術、伝統芸能、園芸など）」が 47.3％で最も高く半数近くを占めている。次いで「健康づくり（各種スポーツ、レクリエーションなど）」（29.9％）、「学術・教養（文学、郷土史、経済、語学など）」（5.0％）、「家庭生活（料理、手芸など）」（4.3％）などと続いている。

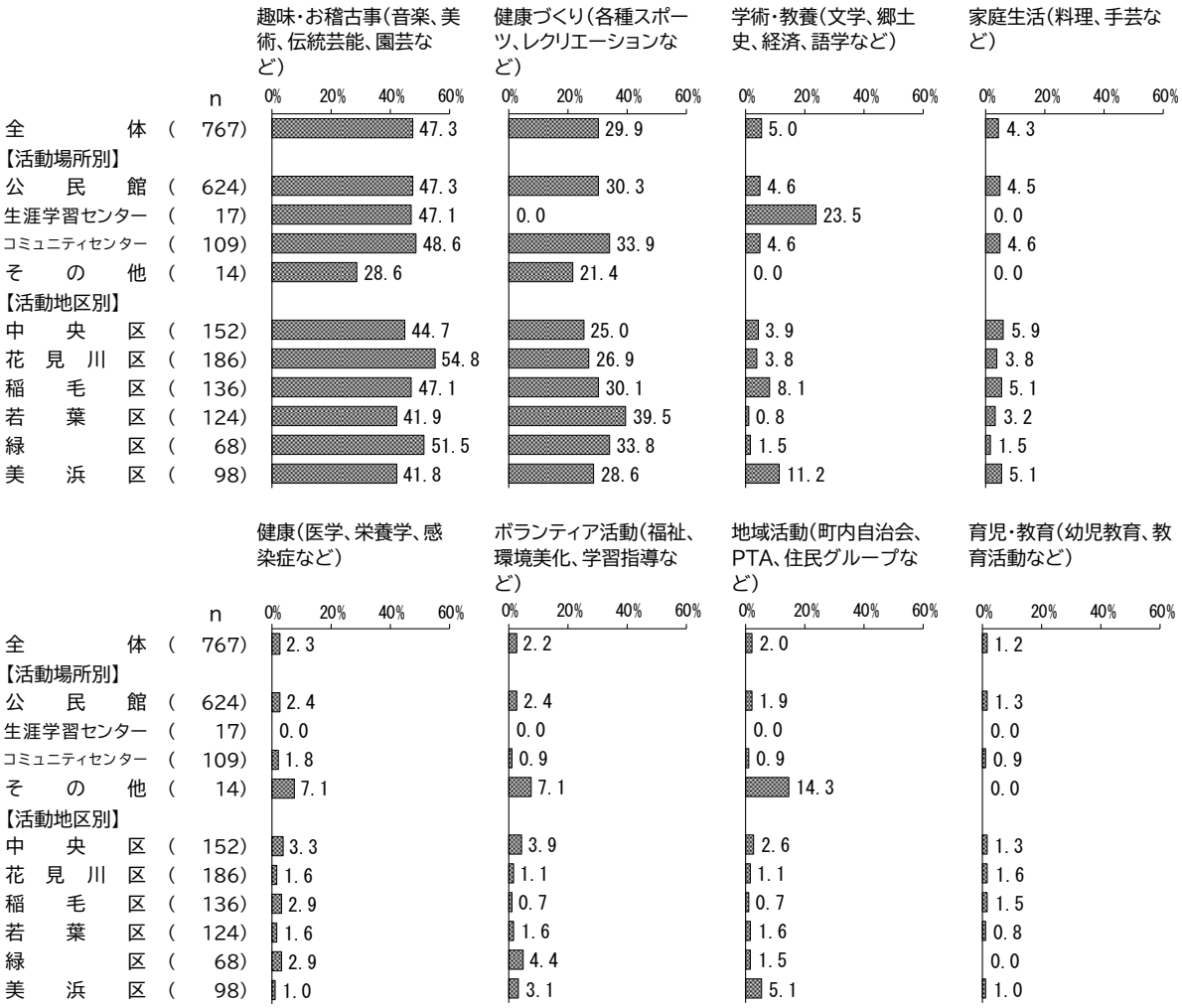


図Ⅲ－３　主な活動分野

【活動場所別／活動地区別】

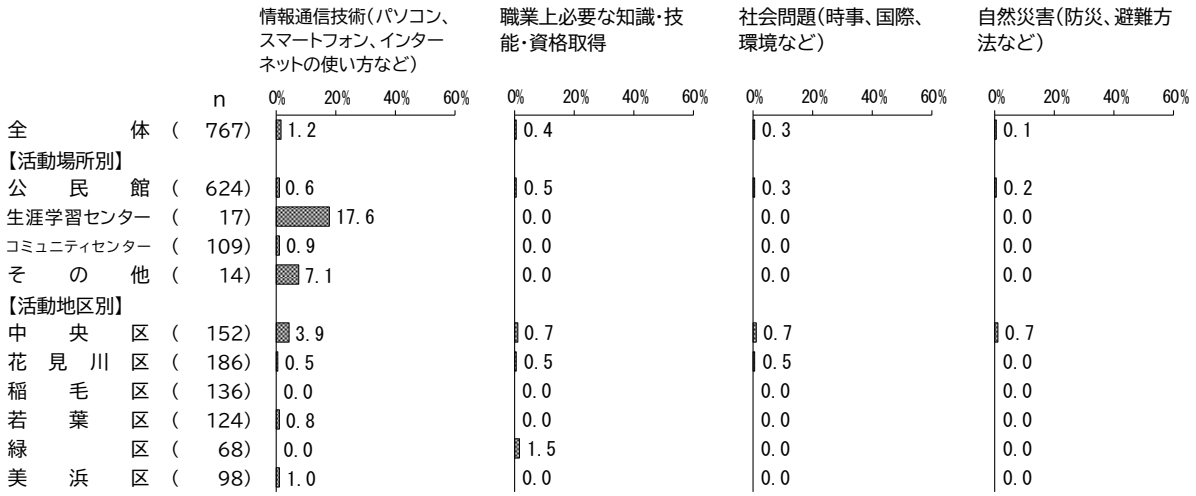
活動場所別にみると、生涯学習センターでは「学術・教養（文学、郷土史、経済、語学など）」が 23.5%、「情報通信技術（パソコン、スマートフォン、インターネットの使い方など）」が 17.6%と高くなっている。

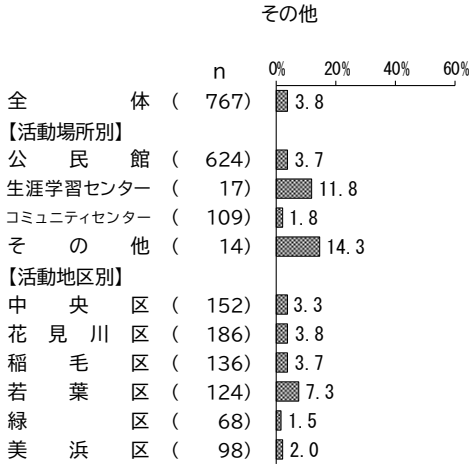
活動地区別にみると、花見川区では「趣味・お稽古事（音楽、美術、伝統芸能、園芸など）」が 54.8%、若葉区では「健康づくり（各種スポーツ、レクリエーションなど）」が 39.5%、美浜区では「学術・教養（文学、郷土史、経済、語学など）」が 11.2%と高くなっている。



図Ⅲ－４　主な活動分野（活動場所別／活動地区別）（その１）

【活動場所別／活動地区別】（続き）





図Ⅲ－５　主な活動分野（活動場所別／活動地区別）（その２）

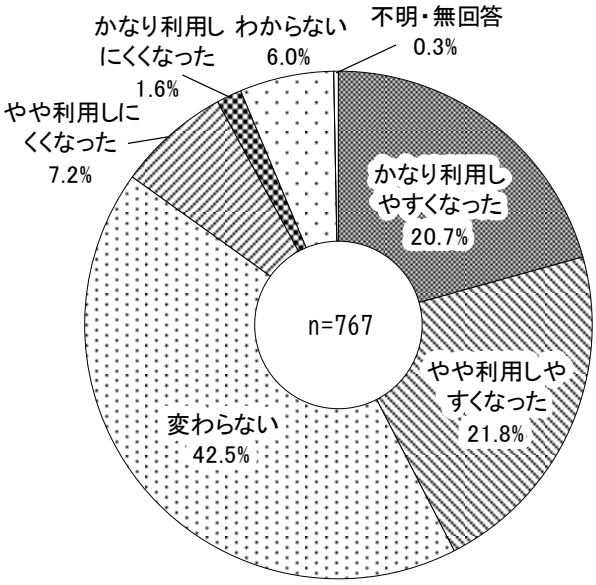
３．生涯学習施設の利用のしやすさ

【問６】貴団体にとっての、５年前と比べた現在の千葉市の生涯学習施設の利用のしやすさは、次のうちどれにあたりますか。あてはまる番号に１つ○印をつけてください。

５年前と比べた現在の千葉市の生涯学習施設の利用のしやすさについてたずねたところ、「かなり利用しやすくなった」（20.7%）と「やや利用しやすくなった」（21.8%）を合わせた『利用しやすくなった』の割合は、42.5%と４割を超えている。

一方、「やや利用しにくくなった」（7.2%）と「かなり利用しやすくなった」（1.6%）を合わせた『利用しにくくなった』の割合は、8.8%と１割未満であり、『利用しやすくなった』の割合（42.5%）が『利用しにくくなった』の割合を33.7ポイント上回っている。

なお、「変わらない」の割合は、42.5%となっている

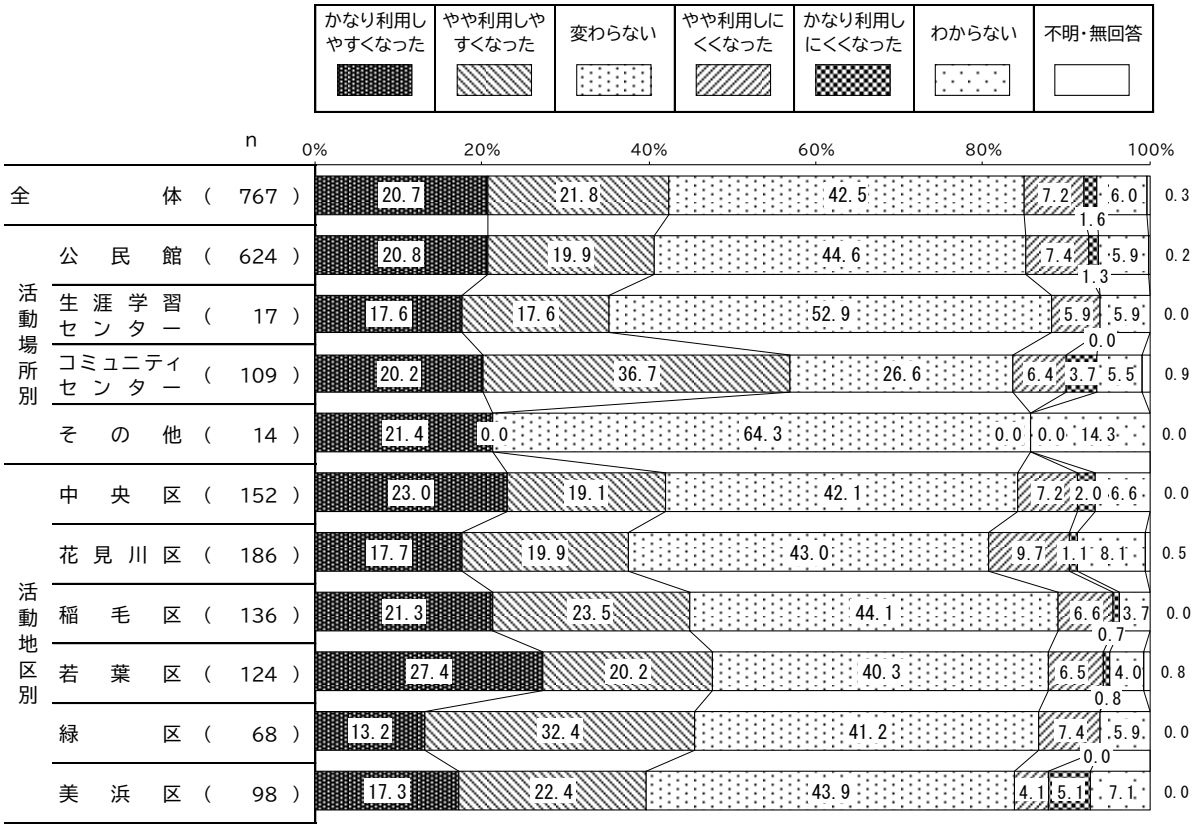


図Ⅲ－６　生涯学習施設の利用のしやすさ

【活動場所別／活動地区別】

活動場所別にみると、「かなり利用しやすくなった」と「やや利用しやすくなった」を合わせた『利用しやすくなった』の割合は、コミュニティセンターで 56.9％と他の活動場所に比べて高くなっている。

活動地区別にみると、『利用しやすくなった』の割合は、若葉区で 47.6％と他の活動地区に比べて高くなっている。



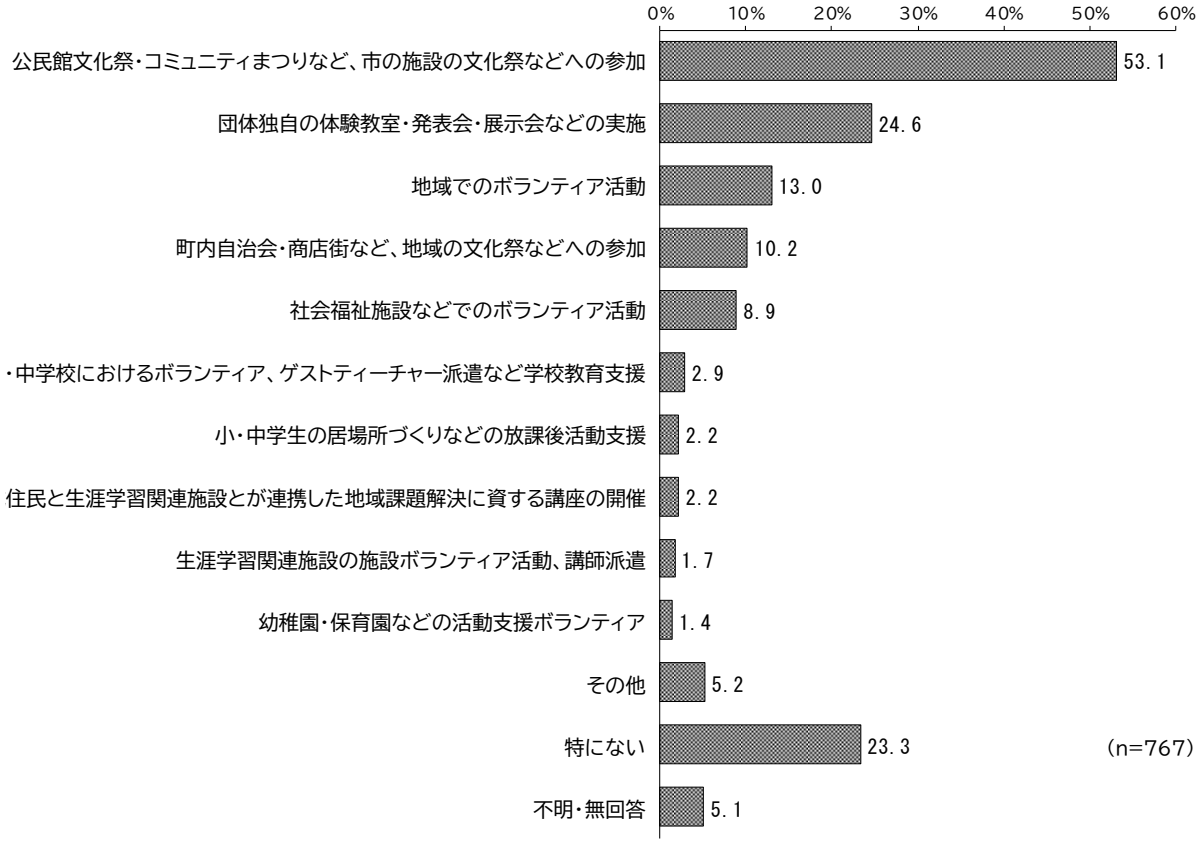
図Ⅲ－７　生涯学習施設の利用のしやすさ（活動場所別／活動地区）

４．学習成果の活用状況

【問７】貴団体では、会員の学習成果をどのように活用していますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

会員の学習成果をどのように活用しているかについてたずねたところ、「公民館文化祭・コミュニティまつりなど、市の施設の文化祭などへの参加」が 53.1％で最も高く、半数を占めている。次いで「団体独自の体験教室・発表会・展示会などの実施」（24.6％）、「地域でのボランティア活動」（13.0％）、「町内自治会・商店街など、地域の文化祭などへの参加」（10.2％）、「社会福祉施設などでのボランティア活動」（8.9％）などと続いている。

なお、「特にない」は 23.3％となっている。

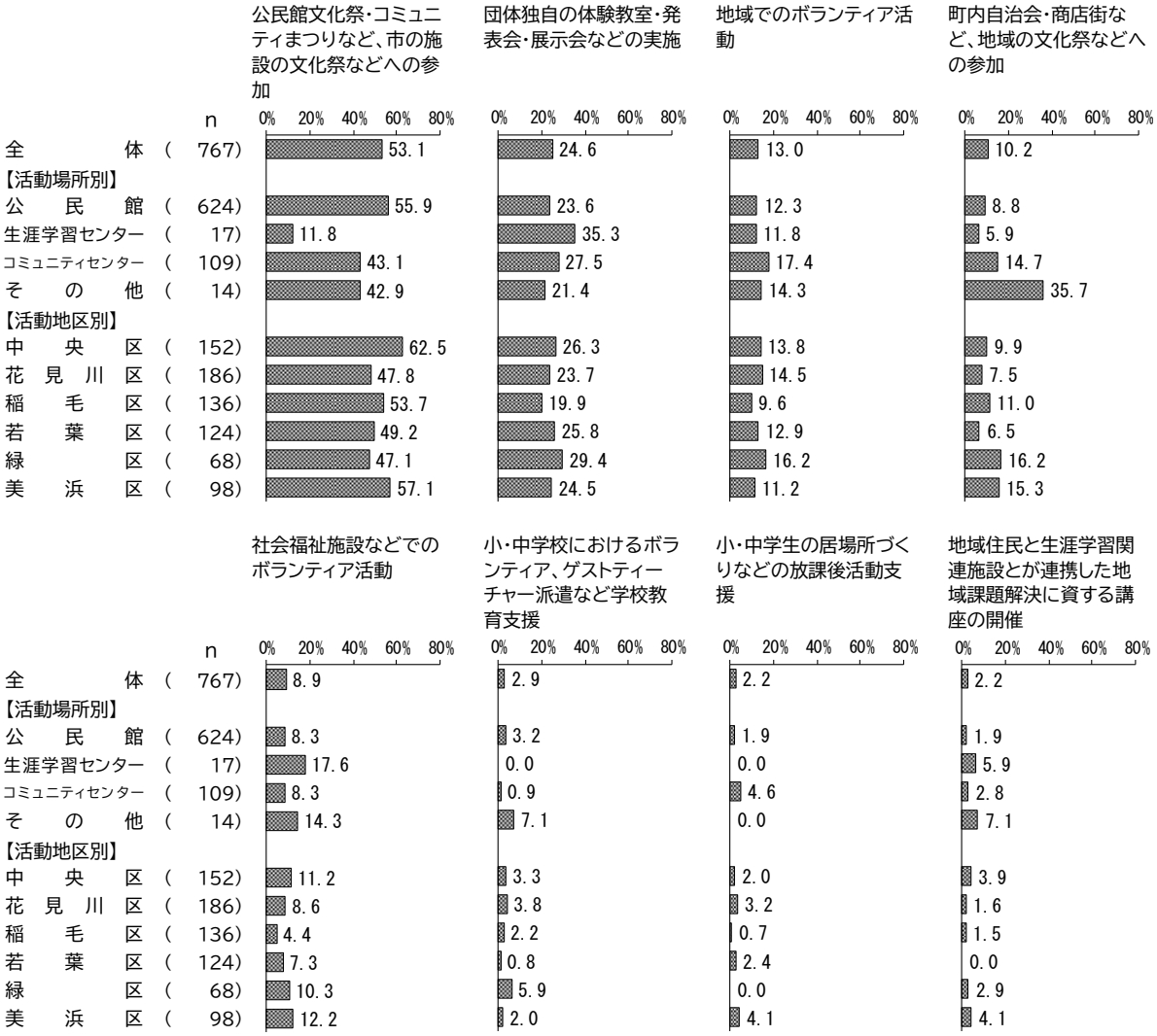


図Ⅲ－８　学習成果の活用状況

【活動場所別／活動地区別】

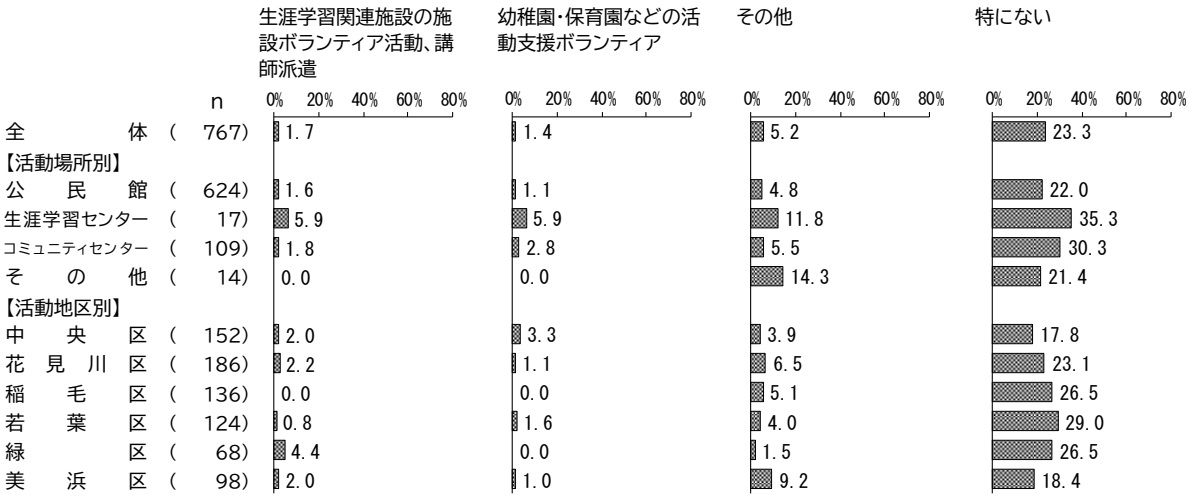
活動場所別にみると、生涯学習センターでは「公民館文化祭・コミュニティまつりなど、市の施設の文化祭などへの参加」が 11.8％と他の活動場所に比べて低くなっている。

活動地区別にみると、中央区では「公民館文化祭・コミュニティまつりなど、市の施設の文化祭などへの参加」が 62.5％と他の活動地区に比べて高くなっている。



図Ⅲ－９　学習成果の活用状況（活動場所別／活動地区別）（その１）

【活動場所別／活動地区別】（続き）



図Ⅲ－１０　学習成果の活用状況（活動場所別／活動地区別）（その２）

■学習成果の活用状況

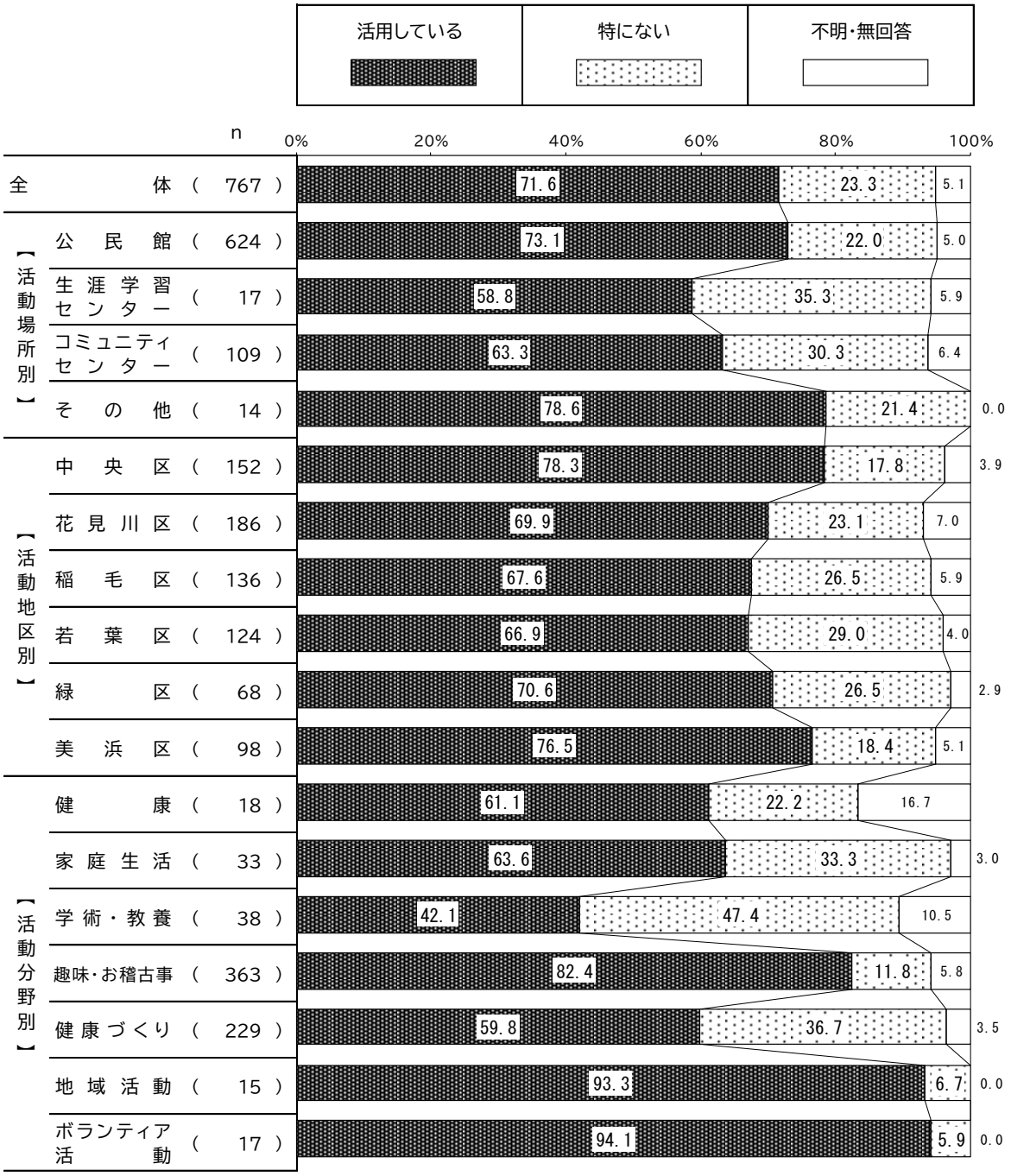
学習成果を活用しているか否かの割合をみるため、回答選択肢１～11（P36、調査票参照）の中から１つ以上選んだ場合を「活用している」として、集計を行った。

全体で、学習成果を活用している割合をみると、「活用している」は 71.6%だった。

活動場所別にみると、生涯学習センターで「特にない」が 35.3%と高くなっている。

活動地区別にみると、中央区で「活用している」が 78.3%と他の活動地域に比べて高くなっている。

活動分野別にみると、地域活動とボランティア活動で「活用している」がそれぞれ 93.3%、94.1%と 9 割を上回っており、他の活動分野に比べて高くなっている。一方、学術・教養では「活用している」が 42.1%と他の活動分野に比べて低くなっている。

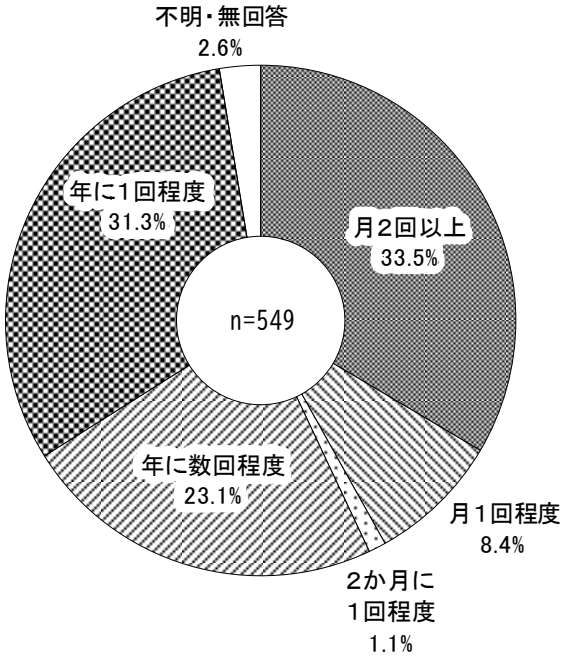


図Ⅲ－１１　学習成果の活用状況（活動場所別／活動地区別／活動分野別）

５．学習成果の活用頻度

問７で 1～11 に○印をつけた団体（会員の学習成果を活用した団体）におたずねします。
【問８】貴団体の学習成果の活用の頻度は次のうちどれにあたりますか。あてはまる番号に１つ○印をつけてください。

会員の学習成果を活用している回答した団体に、学習成果の活用の頻度についてたずねたところ、「月２回以上」が 33.5％で最も高く、次いで「年に１回程度」（31.3％）、「年に数回程度」（23.1％）、「月１回程度」（8.4％）などと続いている。

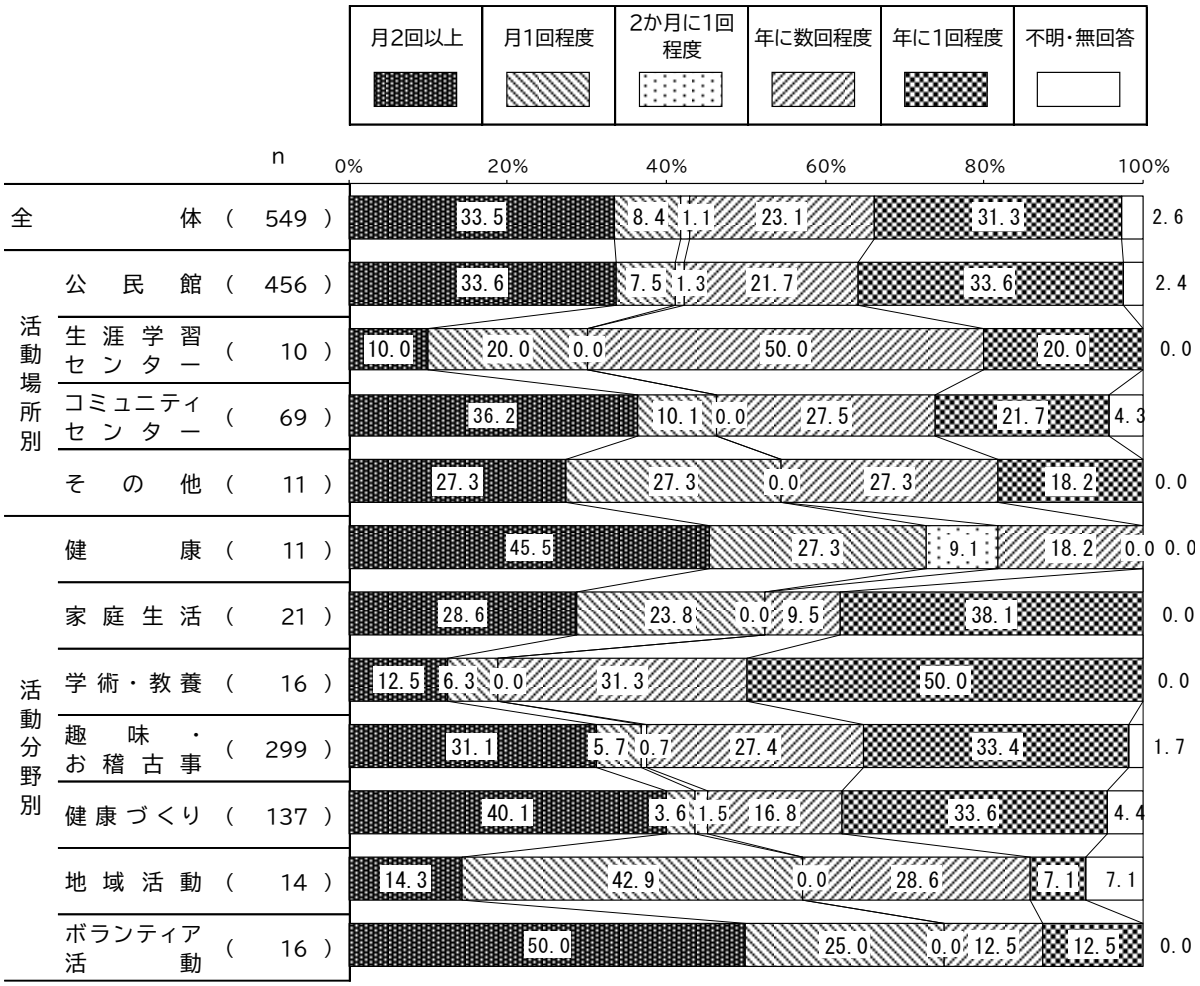


図Ⅲ－１２　学習成果の活用頻度

【活動場所別／活動分野別】

活動場所別にみると、生涯学習センターで「年に数回程度」が 50.0%と高く、コミュニティセンターでは「年に１回程度」が 21.7%%と低くなっている。

活動分野別にみると、健康と健康づくりとボランティア活動で「月２回以上」がそれぞれ 45.5%、40.1%、50.0%と他の活動分野に比べて高くなっている。また、学術・教養では「年に１回程度」が 50.0%と半数を占め高くなっている

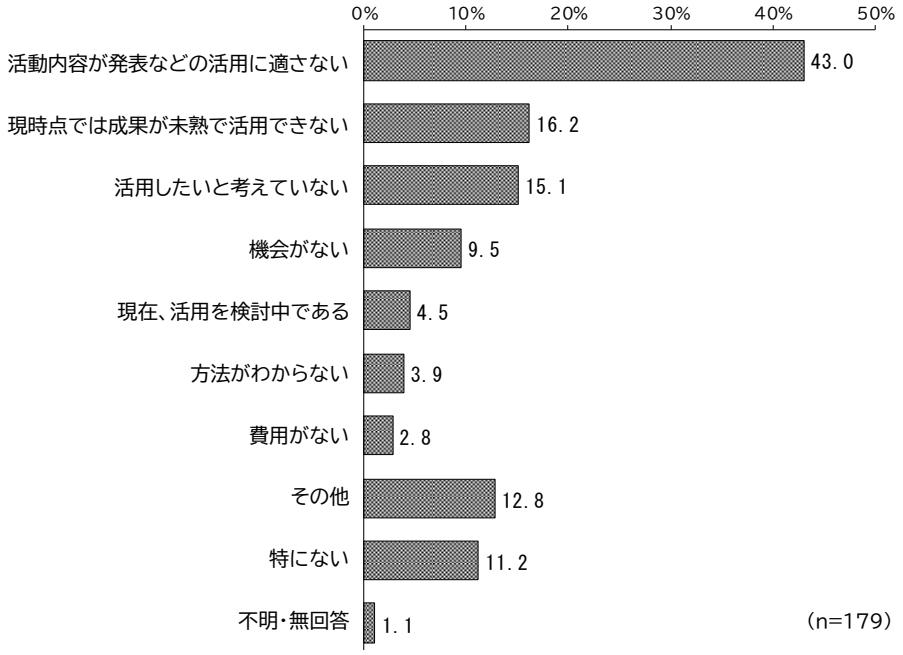


図Ⅲ－１３　学習成果の活用頻度（活動場所別／活動分野別）

６．学習成果を活用していない理由

問７で12に○印をつけた団体(会員の学習成果を特に活用していない団体)におたずねします。
【問９】貴団体が学習成果の活用をしていない理由は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

会員の学習成果を特に活用していないと回答した団体に、学習成果の活用をしていない理由についてたずねたところ、「活動内容が発表などの活用に適さない」が 43.0%で最も高く、次いで「現時点では成果が未熟で活用できない」(16.2%)、「活用したいと考えていない」(15.1%)、「機会がない」(9.5%) などと続いている。



図Ⅲ－１４　学習成果を活用していない理由

【活動場所別／会員規模別／活動分野別】

活動場所別にみると、コミュニティセンターで「機会がない」が 18.2%と他の活動場所に比べて高くなっている。

会員規模別にみると、11～15 人と 16～20 人で「活動内容が発表などの活用に適さない」がそれぞれ 52.9%、54.2%と他の会員規模に比べて高い傾向がある。

活動分野別にみると、健康づくりで「活動内容が発表などの活用に適さない」が 52.4%と他の活動分野に比べて高く、学術・教養では「現時点では成果が未熟で活用できない」が 33.3%と高くなっている

		(n)	活動内容が発表などの活用に適さない	現時点では成果が未熟で活用できない	活用したいと考えていない	機会がない	現在、活用を検討中である	方法がわからない	費用がない	その他	特にない
全体		179	43.0	16.2	15.1	9.5	4.5	3.9	2.8	12.8	11.2
活動場所別	公民館	137	47.4	13.9	14.6	8.0	4.4	2.9	2.2	13.1	10.9
	コミュニティセンター	33	30.3	24.2	18.2	18.2	6.1	9.1	6.1	6.1	9.1
会員規模別	５人以下	33	33.3	21.2	6.1	18.2	12.1	9.1	6.1	12.1	12.1
	６～１０人	77	37.7	22.1	24.7	7.8	2.6	1.3	1.3	11.7	10.4
	１１～１５人	34	52.9	11.8	5.9	5.9	5.9	2.9	5.9	17.6	11.8
	１６～２０人	24	54.2	-	8.3	8.3	-	8.3	-	16.7	8.3
活動分野別	家庭生活	11	36.4	18.2	27.3	9.1	9.1	-	-	27.3	-
	学術・教養	18	50.0	33.3	16.7	16.7	5.6	5.6	-	16.7	-
	趣味･お稽古事	43	23.3	18.6	14.0	16.3	9.3	7.0	7.0	11.6	9.3
	健康づくり	84	52.4	10.7	16.7	6.0	1.2	1.2	1.2	9.5	13.1

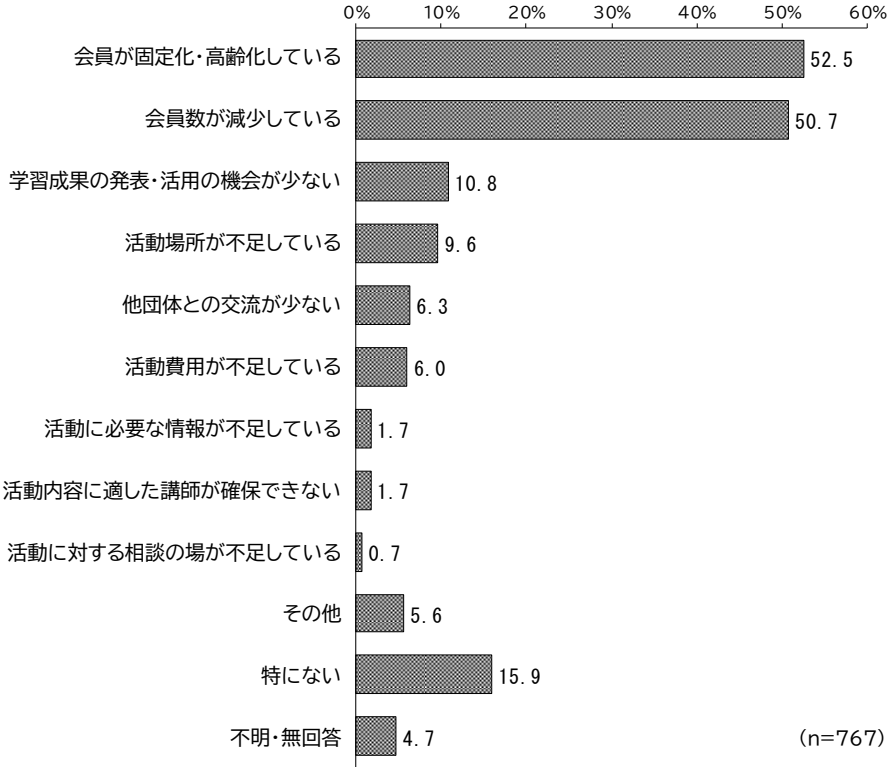
(%)

図Ⅲ－１５　学習成果を活用していない理由（活動場所別／会員規模別／活動分野別）

７．現在抱えている問題

全団体の方におたずねします。
【問１０】貴団体では、現在どのような問題がありますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

現在どのような問題があるかについてたずねたところ、「会員が固定化・高齢化している」が52.5%で最も高く、次いで「会員数が減少している」（50.7%）、「学習成果の発表・活用の機会が少ない」（10.8%）、「活動場所が不足している」（9.6%）などと続いている。



図Ⅲ－１６　現在抱えている問題

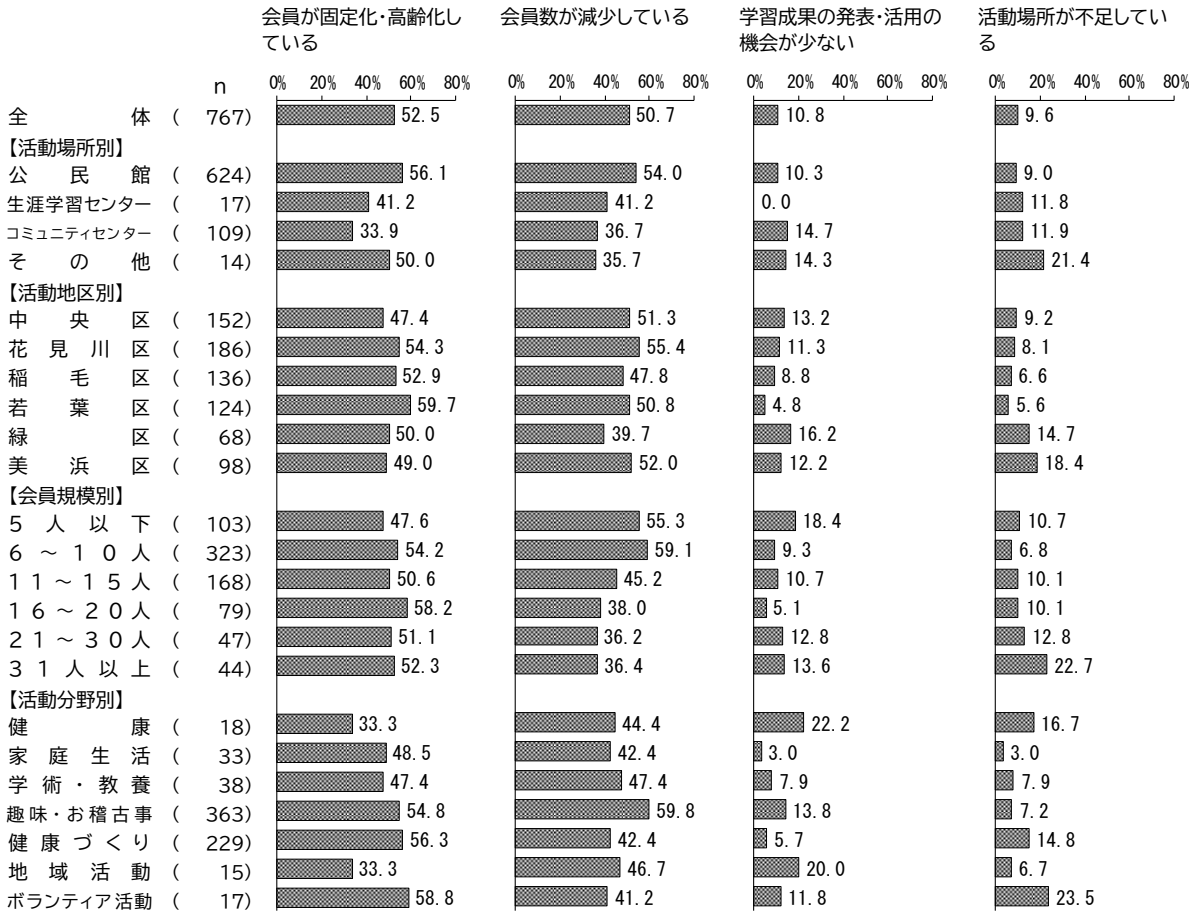
【活動場所別／活動地区別／会員規模別／活動分野別】

活動場所別にみると、公民館で「会員が固定化・高齢化している」が 56.1%、「会員数が減少している」が 54.0%と他の活動場所に比べて高くなっている。

活動地区別にみると、美浜区で「活動場所が不足している」が 18.4%と他の活動地域に比べて高くなっている。

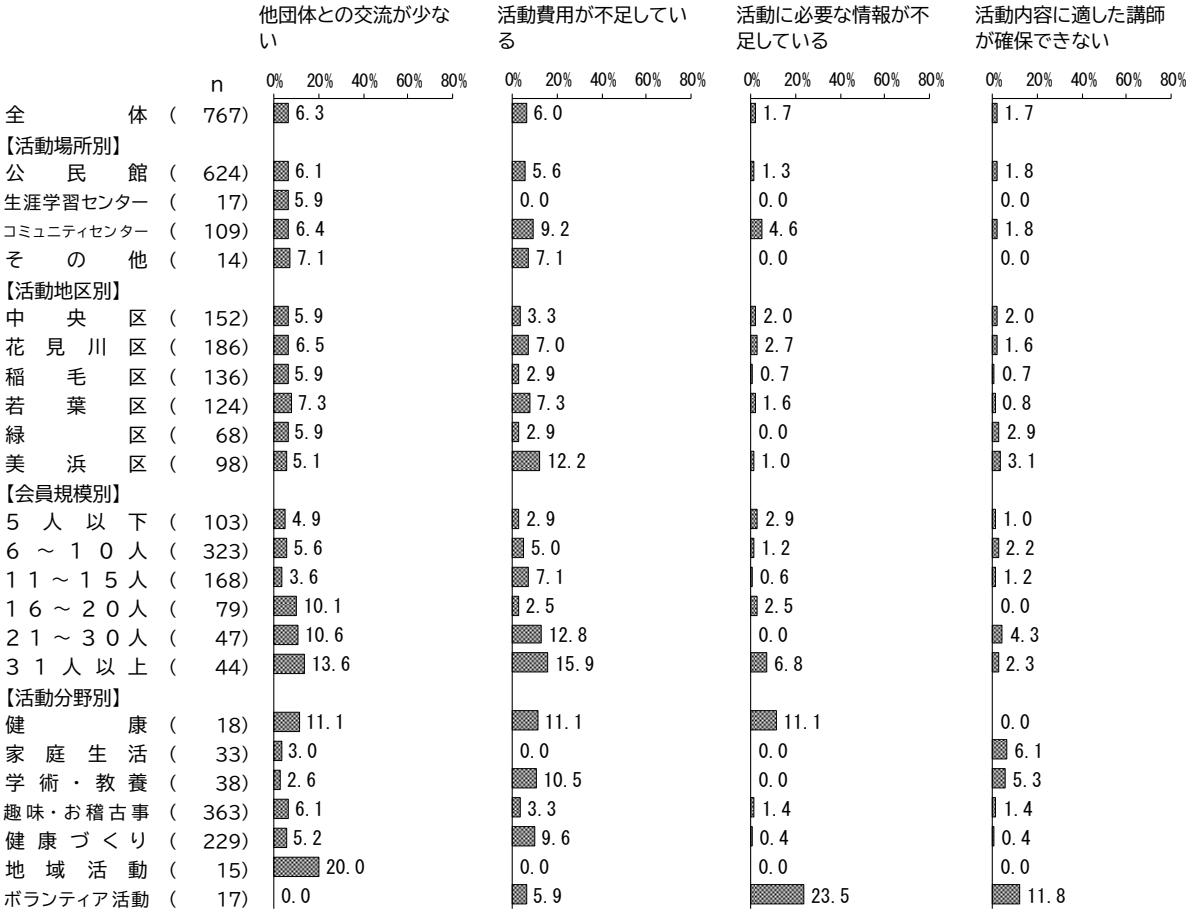
会員規模別にみると、会員規模が小さくなるほど「会員数が減少している」が高く傾向がある。一方、会員規模が大きくなるほど「活動場所が不足している」、「他団体との交流が少ない」、「活動費用が不足している」が高くなる傾向がある。

活動分野別にみると、ボランティア活動で「会員が固定化・高齢化している」が 58.8%、「活動場所が不足している」と「活動に必要な情報が不足している」がともに 23.5%と高くなっている。また、趣味・お稽古事では「会員数が減少している」が 59.8%と他の活動分野に比べて高くなっている。



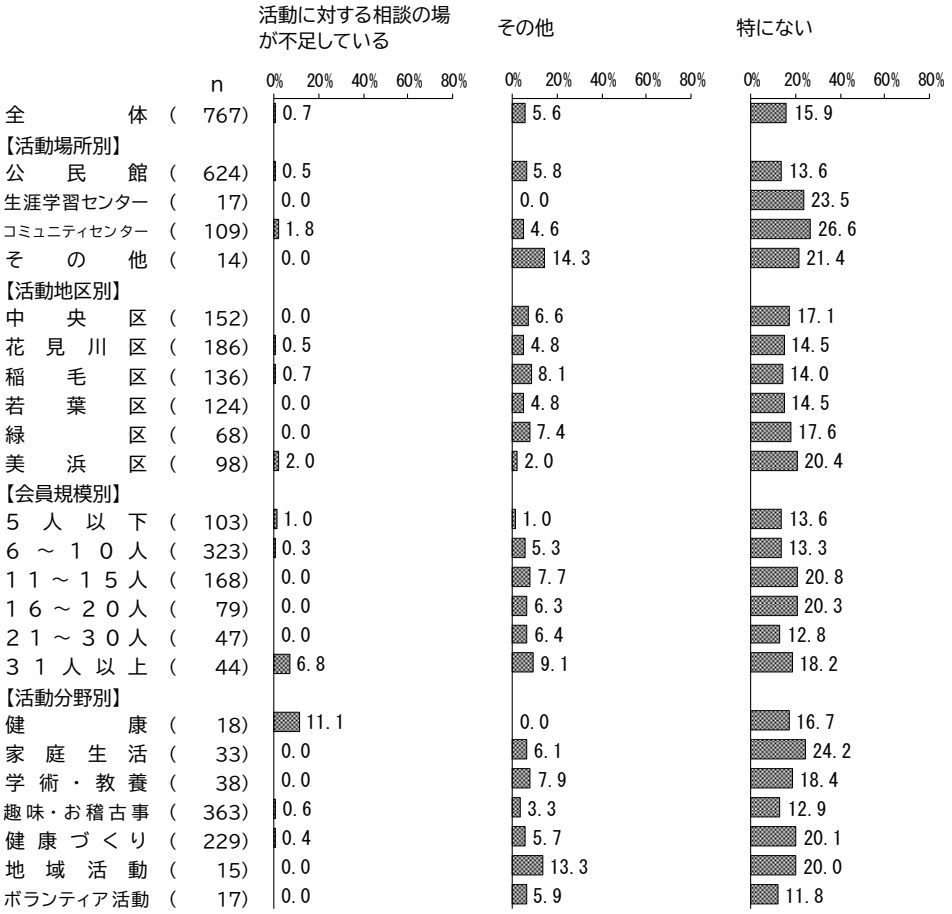
図Ⅲ－１７　現在抱えている問題（活動場所別／活動地区別／会員規模別／活動分野別）（その 1）

【活動場所別／活動地区別／会員規模別／活動分野別】（続き）



図Ⅲ－１８　現在抱えている問題（活動場所別／活動地区別／会員規模別／活動分野別）（その 2）

【活動場所別／活動地区別／会員規模別／活動分野別】（続き）



図Ⅲ－１９　現在抱えている問題（活動場所別／活動地区別／会員規模別／活動分野別）（その 3）

■現在抱えている問題の有無

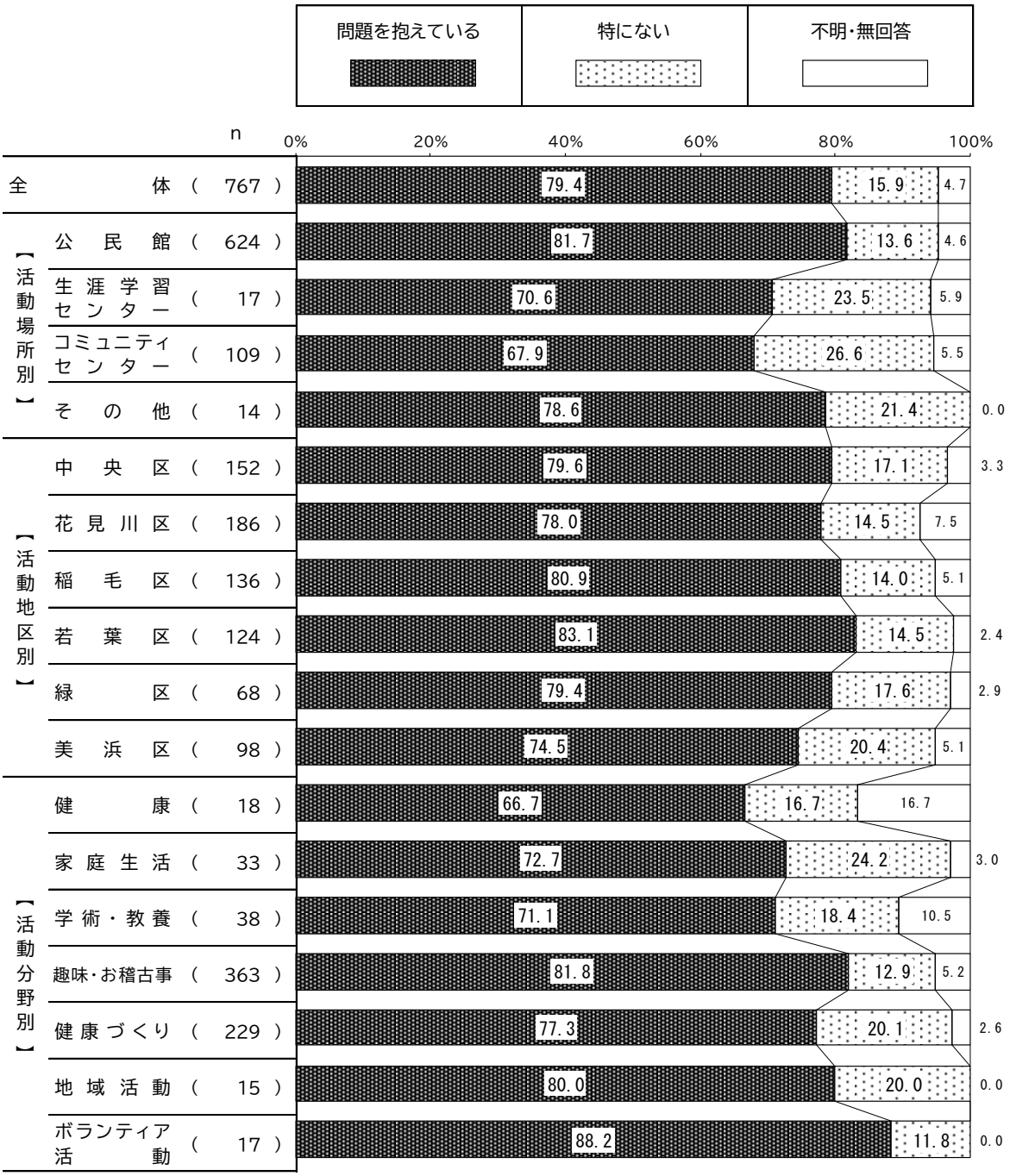
現在問題を抱えているか否かの割合をみるため、回答選択肢１～10（P36、調査票参照）の中から１つ以上選んだ場合を「問題を抱えている」として、集計を行った。

全体で、問題を抱えている割合をみると、「問題を抱えている」は 79.4%だった。

活動場所別にみると、コミュニティセンターで「特にない」が 26.6%と高くなっている。

活動地区別にみると、若葉区で「問題を抱えている」が 83.1%と他の活動地域に比べて高い傾向がある。

活動分野別にみると、ボランティア活動で「問題を抱えている」が 88.2%と他の活動分野に比べて高い傾向がある。

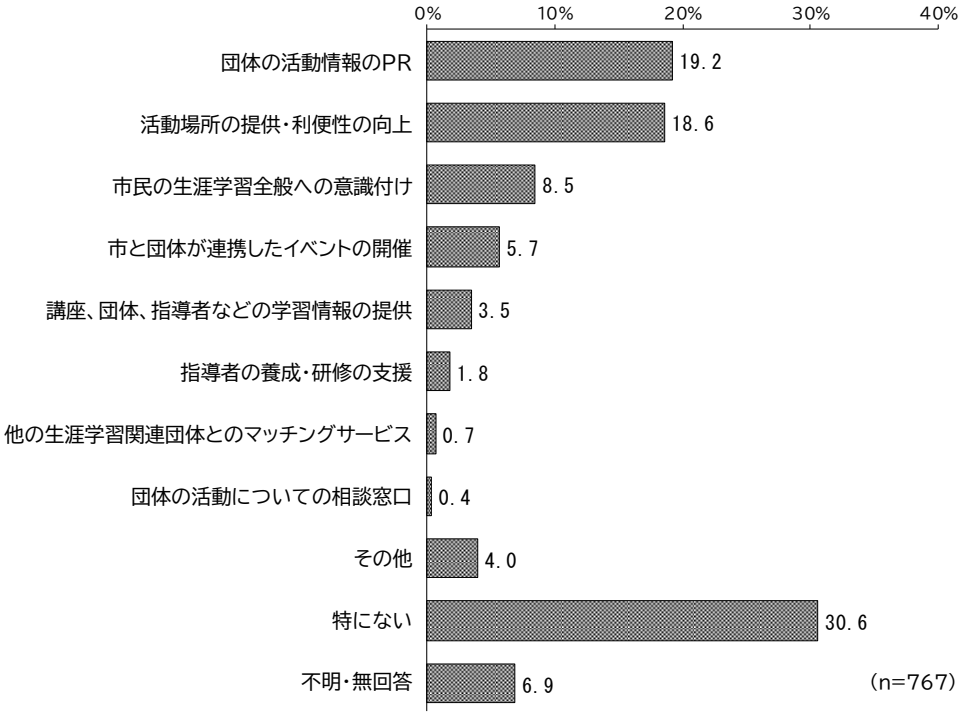


図Ⅲ－２０　現在抱えている問題の有無（活動場所別／活動地区別／活動分野別）

８．市の施策への要望

【問１１】貴団体の活動に関連して、千葉市にどのような施策を望みますか。もっともあてはまる番号に１つ○印をつけてください。

団体の活動に関連して、千葉市にどのような施策を望むかについてたずねたところ、「特にない」が 30.6％で最も高く、次いで「団体の活動情報のＰＲ」（19.2％）、「活動場所の提供・利便性の向上」（18.6％）、「市民の生涯学習全般への意識付け」（8.5％）、「市と団体が連携したイベントの開催」（5.7％）などと続いている。



図Ⅲ－２１　市の施策への要望

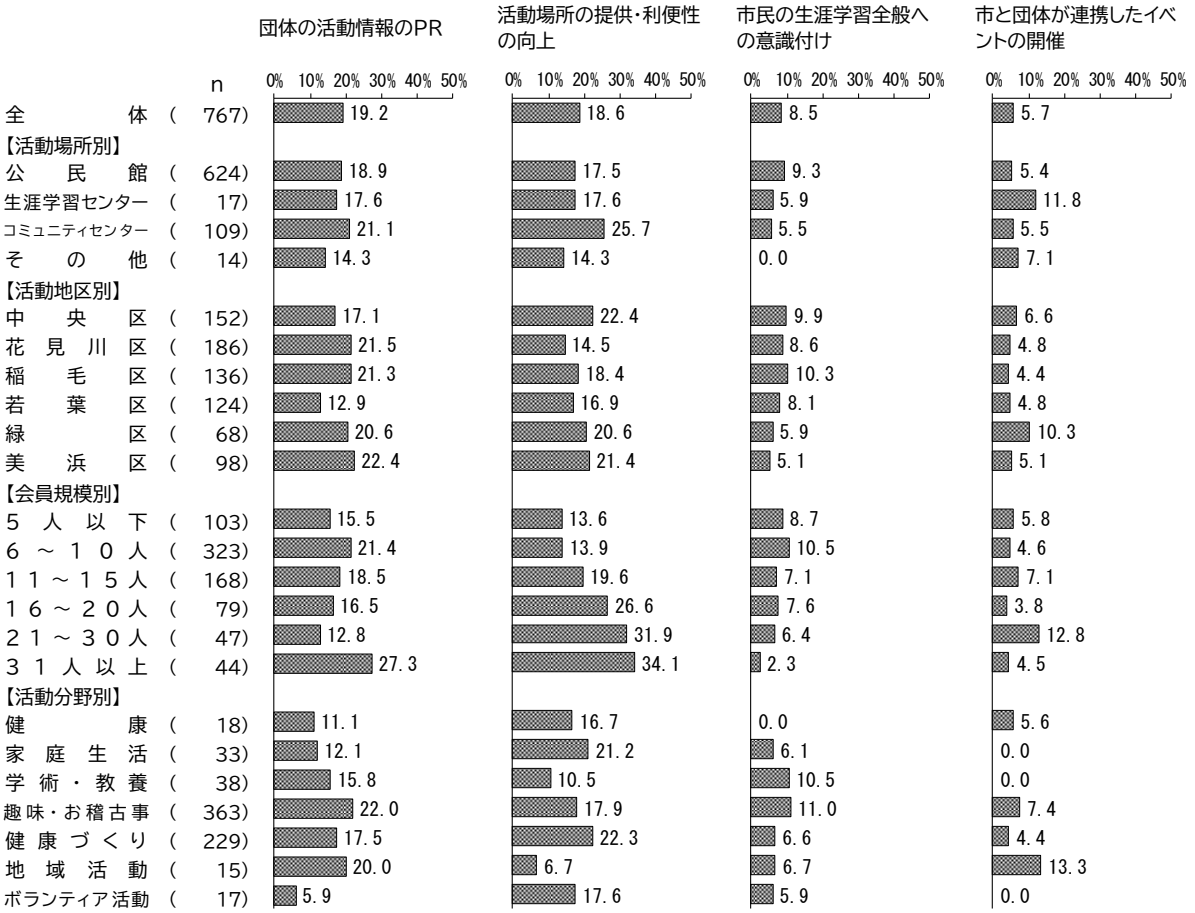
【活動場所別／活動地区別／会員規模別／活動分野別】

活動場所別にみると、コミュニティセンターで「活動場所の提供・利便性の向上」が 25.7%と他の活動場所に比べて高くなっている。

活動地区別にみると、緑区で「講座、団体、指導者などの学習情報の提供」が 10.3%と他の活動地域に比べて高くなっている。

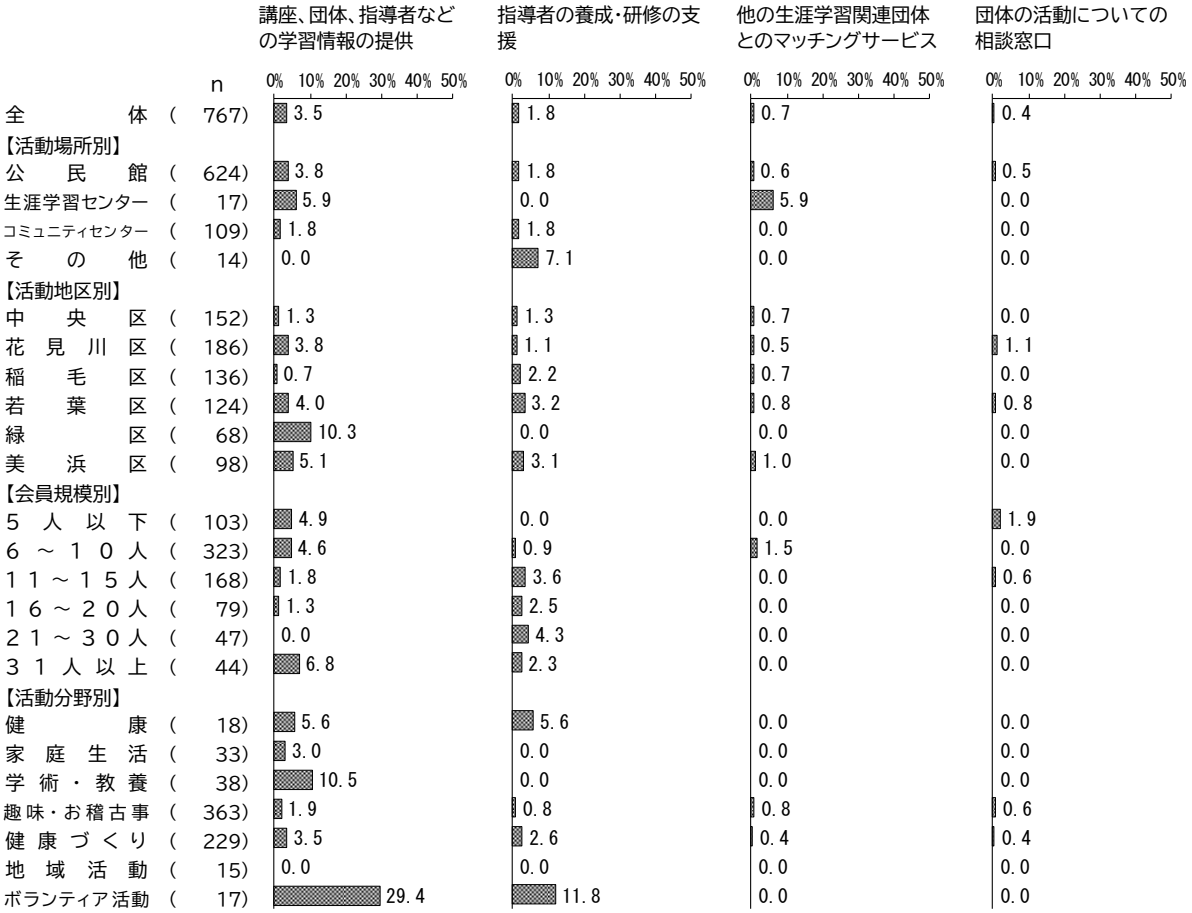
会員規模別にみると、会員規模が大きくなるほど「活動場所の提供・利便性の向上」が高くなる傾向があり、31 人以上では 34.1%と最も高くなっている。

活動分野別にみると、健康づくりで「会活動場所の提供・利便性の向上」が 22.3%と他の活動分野に比べて高くなっている。また、ボランティア活動では「講座、団体、指導者などの学習情報の提供」が 29.4%と高くなっている。



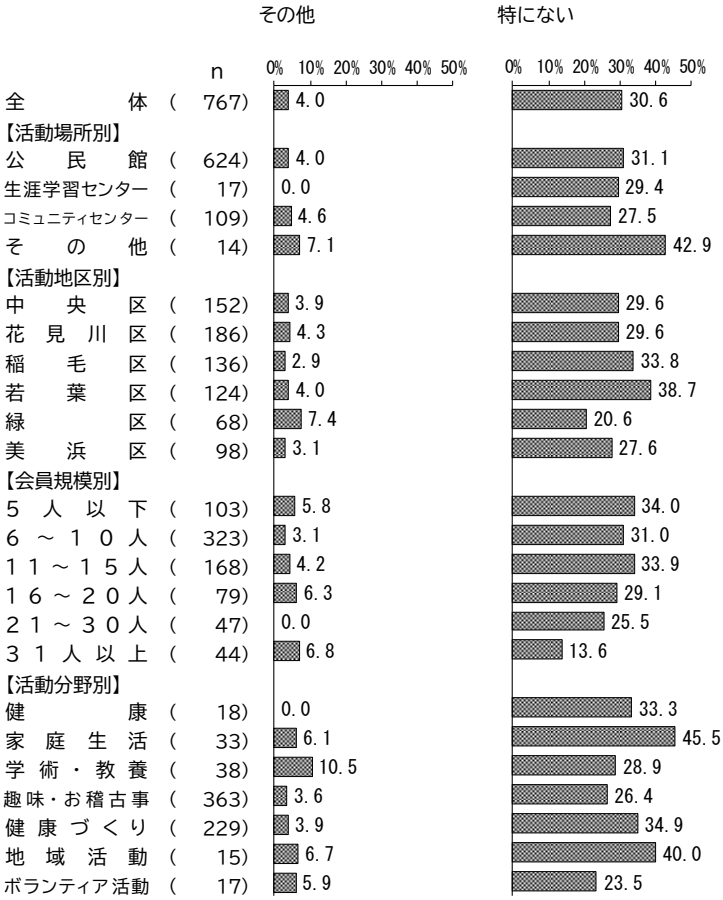
図Ⅲ－２２　市の施策への要望（活動場所別／活動地区別／会員規模別／活動分野別）（その 1）

【活動場所別／活動地区別／会員規模別／活動分野別】（続き）



図Ⅲ－２３　市の施策への要望（活動場所別／活動地区別／会員規模別／活動分野別）（その 2）

【活動場所別／活動地区別／会員規模別／活動分野別】（続き）



図Ⅲ－２４　市の施策への要望（活動場所別／活動地区別／会員規模別／活動分野別）（その 3）

Ⅳ．調査票

Ⅳ．調査票　　千葉市生涯学習関係団体調査

-アンケート調査ご協力のお願い-

日ごろより、団体活動を通じ生涯学習に取り組まれるとともに、千葉市の教育行政にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

この調査は、千葉市における生涯学習の推進に関して、その方向性を定める「第６次生涯学習推進計画」を策定するための基礎資料として実施するものです。

市内で活動している生涯学習団体の活動状況や要望を調査するため、生涯学習センター、公民館、コミュニティセンターに登録の団体から無作為に抽出した1,000団体の代表者様にお願いしております。

この調査は無記名であり、個人や団体名が特定されることはありません。また、調査結果につきましては、すべて統計的に処理いたしますので、ご回答いただいた皆様にご迷惑をおかけすることは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、率直なご意見をお聞かせくださいますよう、ご協力のほどお願い申しあげます。

令和３年１０月

千葉市教育委員会

◆生涯学習活動とは◆

私たち一人ひとりが、生活の向上、職業上の能力の向上や自己の充実を目指し、自らの生活を豊かにするために、生涯のいろいろな時期に自分から進んで行うものです。

学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場や機会において行われる学習のことをいいます。

◆ご回答方法について◆

ご回答は、団体代表者様にお願いいたします。
また、郵送もしくはインターネットのどちらかでお願いいたします。
それぞれの回答方法は、裏面をご覧ください。

この調査につきまして、ご質問などがございましたら、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。

＜問い合わせ先＞千葉市教育委員会事務局 生涯学習部 生涯学習振興課 管理班
千葉市中央区問屋町１番３５号　千葉ポートサイドタワー１１階
電話：０４３（２４５）５９５３
E-mail：shogaigakushu.EDL@city.chiba.lg.jp

◆郵送でのご回答の場合◆

1．ご回答は、調査票のあてはまる番号に○印をつけてください。各設問によって○印をつける数が異なりますので、そのつど、記載されている記入方法に沿ってご記入ください。
2．設問によっては、お答えしていただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きにご注意ください。
3．ご回答で「その他」を選ばれた方は、（具体的に＿＿＿＿＿）に内容をご記入ください。
4．ご記入は、黒や青のペンまたは濃い鉛筆でお願いいたします。
5．調査票にご記入いただきましたら、恐れ入りますが、同封の返信用封筒に調査票を入れて、**１１月２４日（水）までに**、ご投函ください。切手は不要です。

◆インターネットでのご回答の場合◆

1．インターネットでのご回答は次の方法で回答サイトにアクセスしてください。
（「ちば電子申請サービス」を使用してご回答となります。）

千葉市役所ホームページ　サイト内検索	２次元バーコード
生涯学習関係団体調査　検索	

＜参考：上記でアクセスするサイトのＵＲＬ＞
https://www.city.chiba.jp/kyoiku/shogaigakushu/shogaigakushu/r03_shogaigakushu_kankeidantai_chosa.html

2．ご回答は、あてはまる選択肢を選択してください。各設問によって選択する数が異なりますので、そのつど、記載されている記入方法に沿ってご選択ください。
3．設問によっては、お答えしていただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きにご注意ください。
4．ご回答で「その他」を選ばれた方は、文字入力欄に内容を具体的にご記入ください。
5．ご回答は、**１１月２４日（水）２３時５９分までに**、送信してください。

千葉市生涯学習関係団体調査

インターネットでのご回答の場合、 右記の回答ＩＤを回答サイトに入力してください。 ※回答ＩＤは重複回答の確認のみに使用し、団体が特定されることはありません。	回答 ＩＤ	

【問１】貴団体が千葉市内で主に活動している場所は次のうちどれですか。あてはまる番号に１つ○印をつけてください。

1．公民館	3．コミュニティセンター
2．生涯学習センター	4．その他（具体的に……）

【問２】上記活動場所のある区は次のうちどれですか。あてはまる番号に１つ○印をつけてください。

1．中央区	3．稲毛区	5．緑区
2．花見川区	4．若葉区	6．美浜区

【問３】貴団体の会員数は次のうちどれにあたりますか。あてはまる番号に１つ○印をつけてください。

1．５人以下	3．１１～１５人	5．２１～３０人
2．６～１０人	4．１６～２０人	6．３１人以上

【問４】貴団体の会員で、もっとも多い（活動の盛んな）年代は次のうちどれにあたりますか。あてはまる番号に１つ○印をつけてください。

1．10 歳代	4．40 歳代	7．70 歳代
2．20 歳代	5．50 歳代	8．80 歳以上
3．30 歳代	6．60 歳代	9．幅広い世代でほぼ均等

【問５】貴団体の主な活動分野は、次のうちどれにあたりますか。もっともあてはまる番号に１つ○印をつけてください。

1．健康（医学、栄養学、感染症など）	8．職業上必要な知識・技能・資格取得
2．家庭生活（料理、手芸など）	9．趣味・お稽古事（音楽、美術、伝統芸能、園芸など）
3．育児・教育（幼児教育、教育活動など）	10．健康づくり（各種スポーツ、レクリエーションなど）
4．学術・教養（文学、郷土史、経済、語学など）	11．地域活動（町内自治会、PTA、住民グループなど）
5．社会問題（時事、国際、環境など）	12．ボランティア活動（福祉、環境美化、学習指導など）
6．自然災害（防災、避難方法など）	13．その他（具体的に……）
7．情報通信技術（パソコン、スマートフォン、インターネットの使い方など）	

【問６】貴団体にとっての、５年前と比べた現在の千葉市の生涯学習施設の利用のしやすさは、次のうちどれにあたりますか。あてはまる番号に１つ○印をつけてください。

1．かなり利用しやすくなった	4．やや利用しにくくなった
2．やや利用しやすくなった	5．かなり利用しにくくなった
3．変わらない	6．わからない

【問７】貴団体では、会員の学習成果をどのように活用していますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

1．公民館文化祭・コミュニティまつりなど、市の施設の文化祭などへの参加
2．町内自治会・商店街など、地域の文化祭などへの参加
3．団体独自の体験教室・発表会・展示会などの実施
4．小・中学生の居場所づくりなどの放課後活動支援
5．小・中学校におけるボランティア、ゲストティーチャー派遣など学校教育支援
6．幼稚園・保育園などの活動支援ボランティア
7．地域でのボランティア活動
8．社会福祉施設などでのボランティア活動
9．生涯学習関連施設の施設ボランティア活動、講師派遣
10．地域住民と生涯学習関連施設とが連携した地域課題解決に資する講座の開催
11．その他（具体的に　　）
12．特にない　→ 問９へ

問７で１～11に○印をつけた団体（会員の学習成果を活用した団体）におたずねします。

【問８】貴団体の学習成果の活用の頻度は次のうちどれにあたりますか。あてはまる番号に１つ○印をつけてください。

1．月２回以上
2．月１回程度
3．２か月に１回程度
4．年に数回程度
5．年に１回程度

→ 問１０へ

問７で12に○印をつけた団体（会員の学習成果を特に活用していない団体）におたずねします。

【問９】貴団体が学習成果の活用をしていない理由は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

1．方法がわからない
2．機会がない
3．費用がない
4．活用したいと考えていない
5．現時点では成果が未熟で活用できない
6．現在、活用を検討中である
7．活動内容が発表などの活用に適さない
8．その他（具体的に　　）
9．特にない

全団体の方におたずねします。

【問１０】貴団体では、現在どのような問題がありますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

1．会員数が減少している
2．活動費用が不足している
3．会員が固定化・高齢化している
4．活動場所が不足している
5．活動に必要な情報が不足している
6．他団体との交流が少ない
7．学習成果の発表・活用の機会が少ない
8．活動内容に適した講師が確保できない
9．活動に対する相談の場が不足している
10．その他（具体的に　　）
11．特にない

【問１１】貴団体の活動に関連して、千葉市にどのような施策を望みますか。もっともあてはまる番号に１つ○印をつけてください。

1．団体の活動情報のＰＲ
2．市民の生涯学習全般への意識付け
3．活動場所の提供・利便性の向上
4．講座、団体、指導者などの学習情報の提供
5．他の生涯学習関連団体とのマッチングサービス
6．市と団体が連携したイベントの開催
7．指導者の養成・研修の支援
8．団体の活動についての相談窓口
9．その他（具体的に　　）
10．特にない

質問は以上です。長時間にわたってアンケートにご協力いただきありがとうございました。

令和３年度　千葉市生涯学習関係団体調査報告書

令和４年３月発行

【発　行】　〒260-8730　千葉市中央区問屋町 1-35 千葉ポートサイドタワー11 階
千葉市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習振興課
☎　043（245）5953（直通）
ホームページ
https://www.city.chiba.jp/kyoiku/shogaigakushu/shogaigakushu/index.html
メールアドレス　shogaigakushu.EDL@city.chiba.lg.jp

【実　施】　〒261-8501　千葉県千葉市美浜区中瀬１丁目３番地
幕張テクノガーデン CB 棟３階 MBP
株式会社　綜合企画　千葉事務所
☎　043（330）3600（代表）

●この冊子は、地球環境保全推進のため、再生紙を使用しています。